

札幌国際大学
地域・産学連携センター一年報
第3号

札幌国際大学
地域・産学連携センター

札幌国際大学
札幌国際大学 地域・産学連携センター年報
第3号

目 次

<研究報告・事業報告>

1. AI搭載人型ロボットを利用した観光地での“おもてなし”戦略Ⅱ ……
千葉 里美・川名 典人・(株)知床グランドホテル …… [p1] , pp2-38
2. 早期の企業訪問による、就業・キャリア意識向上についての研究……
原 一将・武井 昭也・小林 純・石田 麻英子
一社)北海道商工会議所連合会 …………… pp1-30
3. 住民との協働による能動的学修の展開Ⅱ
～今金町美利河地区をフィールドとしたプロジェクト学習の推進～ 事業報告書 ……
佐久間 章・横田 久貴・千葉 里美・新井 貢・
本多 理紗・坂梨 夏代・越田 賢一郎……[p1-2] , pp1-39
4. 高齢者のウォーキングを通じた健康の維持・増進 - 清田区と美唄市を対象に - ……
国田 賢治・阿南 浩司・佐藤 文亮
藤原 勝夫 (金沢学院大学)・矢口 智恵 (日本医療大学) …… pp1-143

2018 年度(平成 30 年度) 奨励研究(共同研究)

札幌国際大学 × 株式会社知床グランドホテル

報告書

「AI 搭載人型ロボットを利用した 観光地での”もてなし”戦略 II」

Hospitality Strategy II at Sightseeing Areas by
Using a Humanoid Robot with AI Installed

札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科 千葉里美

札幌国際大学観光学部国際観光学科 川名典人

【目 次】

1	研究の背景・目的	3
1-1	先行研究から見るロボットを利用した観光サービス動向	
	(1)観光地での最新”もてなし”事例と傾向	
	(2)論文によるこれまでの研究状況と傾向	
1-3	研究目的	
1-4	研究推進体制(研究者役割分担)	
1-5	実地調査研究スケジュール	
2	実証調査に向けた AI 搭載人型ロボットのプログラム	9
2-1	プログラム構想	
2-2	プログラム構成方法	
2-3	“もてなし”ストーリーとあらすじ	
2-4	実証実験方法	
3	実証実験による人的 vs AI 搭載人型ロボットの”もてなし”	17
3-1	現代社会におけるキュレーションの変遷	
3-2	調査概要・方法	
3-3	情報発信”もてなし”度アンケート調査作成	
	(1)”もてなし”を測るキュレーション指標	
	(2)アンケート調査票	
3-4	アンケート調査結果	
	(1)AI 搭載人型ロボットの”もてなし”調査結果	
	(2)人的”もてなし”調査結果	
4	おわりに	35
	【参考文献・URL】	37

1 研究の背景・目的

1-1 先行研究から見るロボットを利用した観光サービス動向

(1) 観光地での最新”もてなし”事例と傾向

Hapi-robo の富田は、2013 年、ロボホンというシャープからだしているアンドロイド携帯電話 20 台に群制御機能を持たせることで携帯が音楽演奏できることを証明し、携帯電話も今やロボットと同じ存在であると述べている。そしてこの機能を、そもそも物を運ぶ機能とだけ世間一般的に認知されていたドローン 300 台に導入させ、音楽と一緒にドローンが空中で踊ることができることも紹介し、イベント誘致の可能性を示唆した。この発表から 2 年後の 2015 年、同氏は(株)HIS が佐世保市に開業したハウステンボス内にあるホテル「変なホテル」に日本語と英語を話す恐竜や女性など 6 種類 82 台のロボット¹を駆使したオペレーション機能を導入した。これによりインバウンド対応、人件費削減、高稼働、客室単価上昇と合理化経営が可能となったことから、人手不足やインバウンド誘致に課題を持つ地方の観光戦略としても脚光を浴びた。²³⁴

創業 104 年の伝統企業セーラー万年筆は、人口減少と IT 化により文具を使う需要層の急激な減少に悩まされていたが、新しく開発したロボットによる射出成形機で作ったプラスチック製品が医療や食品関連分野に高く評価が得られたことを契機に、更なる新しい分野への挑戦を考え、音声が出る「音声ペン」を発明した。目に見えないドットを印刷した冊子にペンを当てると声が出る製品で、「名作ふたたび」という製品にて日本の明治や大正の小説 101 作品をこのペンで読むことができるものである。日本語だけでなく英語や中国語や韓国語にも対応していることから語学学習にも使用された経緯を逆に、この機能を各地の観光地での外国人向け音声ガイドとして提供することとなった。⁵本やパンフレットにドットをふり、音と繋げるこのノウハウは、東京オリンピック・パラリンピック時の外国人もてなし一環としてボランティアガイドの親切なガイドや事前のガイド育成へ向けた使い方が期待され開発が進んでいる。⁶

¹ 翌年には 16 種類 182 台のロボットが導入され、言語は 4 ケ国語に対応している。(将来的には 6 カ国を計画予定)

² 富田直美(2017)「ハウステンボス発”変なホテルの”ロボット活用×観光展開(JAPAN 新需要創造と超スマート社会への挑戦:第 103 回不動産経営者講座から)」、不動産経済 No.103、pp.75-85

³ 月刊ホテル旅館(2016)「特集:宿泊・観光産業の最新 IT 活用法 国内初スマートホテルの現状レポート」、月刊ホテル旅館 No.53、pp.60-62

⁴ 村田くみ(2015)「澤田秀雄氏に学ぶ地方観光戦略」週刊朝日、p.23

⁵ 2015 年現在、日光東照宮や中尊寺など現在 20 箇所あまりの観光地での利用が報告されている。

⁶ 中島義雄(2015)「新気分屋の開拓は重要。ロボット事業の拡大や東京五輪に向けた”音声ペン”での観光案内にも挑戦したい」、財界 No63、pp.46-49

2014年にAI搭載人型ロボット Pepper がリリースされて以来、ロボットを利用した多様な実証実験が展開されている。注目すべき事例としては、羽田空港や成田空港のような多くの人が行き交う空間での実証実験である。羽田空港では 2016 年から 2017 年に Haneda Robotics Lab 1 が設置された。⁷ 7 種類のロボットが清掃や移動支援、そして空港案内として活動した。次は、観光サービス分野で注目されるロボットは接客要素も伴う案内ロボット CAIBA である。これにより、遠隔地からでも人を的確に目的地まで案内することができるようになった。また、EMIEW3 は人と一緒に移動して接客・案内サービスを行うことができるロボットである。多言語対応機能を活用して、インバウンドへ向けた店舗・施設に関する情報を提供することができる。Pepper は 3 言語対応ロボットであるが、同時に対応できるように複数台配置することでサービスの向上を図った事例も見られる。Pepper で対応できない部分は Pepper の遠隔機能を利用した対応を行った。RoBoHoN は人の声による質問に対して、身振りや映像利用して対応した。⁸ 成田空港では、パナソニックが 2017 年 1 月に自立搬送ロボット HOAPI を使った実証実験を行った。ラウンジでの食事後の下げ膳や、ロビーでのドリンクサービスを行っている。⁹

これらロボットを使った実証実験期間を経た現在、空港では観光サービスを目的としたロボットの利用が 2018 年以降本格化している。例えば中東ドバイのレストランでは胸部にタッチパネルがついたロボットを導入し、歌を歌ったりダンスをするばかりでなく、チケットや割引券の発行サービスを提供している。¹⁰ 一方、仁川空港では、2018 年 7 月 11 日に自動走行、音声認識機能、AI 等の ICT 技術が融合したロボット AIRSTAR を導入している。タッチスクリーン操作、バーコード読み取り等の操作で空港施設の情報を入手することができる。AIRSTAR は英語、日本語、中国語の 3 ヶ国語だけでなく韓国語にも対応し、搭乗客と一

写真 1-1:AIRSTAR 活用例



出典:筆者撮影

⁷ 日本空港ビルディングリリース 2016.12.14 「公募型のロボットの公開実験」
https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/files/whats_new/883_1214_1056.pdf(2019.3.31 最終閲覧)

⁸ livedoor NEWS 2018.7.11 「仁川空港の新型案内ロボが本格運用へ日本語音声も認識可能」
[http://news.livedoor.com/article/detail/14997441/\(2019.3.31](http://news.livedoor.com/article/detail/14997441/(2019.3.31) 最終閲覧)

⁹ パナソニックリリース 2017.1.12 「パナソニックが自立搬送ロボット”HOSPI®”による空港・ホテルでのサービス実証実験を実施」
<https://news.panasonic.com/jp/topics/151281.html>(2019.3.31 最終閲覧)

¹⁰ TimeOut2019.1.13 「This brand-new restaurant in Dubai has a robot that greets guests」
<https://www.timeoutdubai.com/restaurants/394368-this-brand-new-restaurant-in-dubai-has-a-robot-that-greets-guests>(2019.3.31 最終閲覧)

緒に記念写真を撮影し、搭乗者はタッチパネルから送信先を入力することで撮影した写真データを入手することができる。AIRSTARの実用性と遊び心を兼ね備えた機能は、今後のロボットの利用法で参考になる点が多い。¹¹

ここまでロボットを活用した観光サービス最新事例を紹介したが、実証実験の多くが多言語対応可能なロボットのメリットを生かした案内業務としての利用目的であった。これまでの日本にとってロボットは、産業用ロボット(製造業や農業を中心としたもの)であったことから、まさに現在は観光サービスロボットへの揺籃期と言えよう。また海外の最新動向を見る限り、ただの案内目的にとどまらず多様なサービス提供できるロボットの思考と発想が導入され、評価をあつめていることも指摘できよう。

(2)論文によるこれまでの研究状況と傾向

翠他(2007)¹²は、博物館や観光地で利用されているオーディオガイドシステムを例に、情報伝達の方法が一方のみであることを指摘し、これまで開発されてこなかった聞き返しや補足質問に対応できるシステムを情報通信研究機構で開発された頭、手、腰の3箇所部位動作が可能なロボット・フィノを活用しながら、京都観光案内所内で実証実験に取り組んでいる。その際の機能は、顔画像認証とユーザーからの質問に対しネット上の情報を取り上げる際に、書いてあるものを読み上げるのではなく語尾を変化させ話し口調(言葉)にすること、双方の会話に間が生じた際はロボットから質問を投げかける機能等である。この実験により概ね人とロボットの応答が進んだものの、固有表現への対応不可や音声認識の誤りにロボットによる情報サービスの課題が述べられている。

松原他(2010)^{13,14}は、2005年、毎年8月に開催されるイベント「港祭り」にて「イカ踊り」をロボットと一緒に踊りたいという市民の要望を叶える目的でIKABOというロボットを開発したが、函館観光振興用ロボットとして今後更に高みを目指すため、ロボットデザインの再構築による観光シンボルとしてのさらなる強化と人とロボットを繋ぐことで観光誘致やロボット交流に繋がることを目的とし、IKABO動画の作成・発信や、Wiiリモコ

¹¹ LG Guidebot Airstar GUI Design 2017

[https://www.behance.net/gallery/60952683/LG-Guidebot-Airstar-GUI-Design\(2019.3.31](https://www.behance.net/gallery/60952683/LG-Guidebot-Airstar-GUI-Design(2019.3.31) 最終閲覧)

¹² 翠他 3名(2007)「質問応答・情報推薦機能を備えた音声による情報案内システム」情報処理学会論文誌 Vol.48、pp.3602-3611

¹³ 松原他 7名(2010)「ロボットを対象とした新しい相互作用デザインの試み:函館観光振興用ロボットIKABOを例として-」認知科学 No.17、pp.572-579

¹⁴ 鈴木他 11名(2007)「地域の観光活性化を目指したキャラクターとしてのロボット開発-函館イカロボットの開発-」ロボティクスメカトロニクス講演会講演概要集、pp.1-3

ン技術を応用した遠隔操作に挑戦した。その取り組みの中で、時代や地域に寄り添った地域に認められるデザインの重要性と人間とロボットが交流できることが大事であると述べている。

角他(2012)¹⁵は、ロボット技術の発展によりすすむ博物館やショッピングセンターで案内する会話ロボット等やCGアニメーションによる仮想空間内を案内するガイドは、どれも限られた場所内での活動にとどまっているが、仮想ツアーと現実空間ツアーの両方が相互に連動することで実現するより高い観光地理解に結びつけるには、利用者に対し一貫したインタラクションを行うサービスの必要性があると考え、コンテンツを作り上げ実証実験を実施した。その結果、利用者の顔の表情に合わせた説明や利用者の顔を取り入れたCGなどが展開でき仮想と実空間のツアーの往来は可能になるものの、所定の場所にまで誘導してこないと往来機能ができないことから、ロボットによる自然な対話での誘導が課題としてあげている。

久保田他(2017)¹⁶は、近年、様々な分野で人間と円滑なコミュニケーションの取れる知的ロボットの実現が求められていることから、ロボットから人への質問式会話をとおして人が発話した文章から嗜好を読み取り、おすすめ観光地を提案するシステムを研究している。これにより個人の嗜好と観光地提案内容に関係が高いことが証明されたが、発話を単語で処理するシステムのため肯定意見と否定意見が同じように処理されることによる不正確さや、蓄積データに嗜好が似ていれば同じ提案になってしまうなど人間がコミュニケーションに求めている個を尊重したコミュニケーションにはまだ至っていない。

このように観光サービス業界におけるロボットを活用した先行研究は2007年より散見され、①ロボットと人が双方向に作用するためにもロボットが人にとって親近感のあるデザインであること、②ロボットであっても人との交流をイメージした自然な対話になるようシステム構築する必要があること、③既存のデータ活用が容易かつ人の行動や発話が想定しやすいことから、観光案内といったシチュエーションでの実証実験と検証が有効であること、の3点がロボットを活用した観光サービスで今後引き継いでいかなければならないことと考えられる。

一方、ロボットを利用する利用者、すなわち受け手側のソフト部分を検証する研究や、昨今言われている人間ができる事と、ロボットができる事の比較研究は見られなかった。

¹⁵ 角他 2名(2012)「実世界と仮想世界を往来する擬人化エージェントとのインタラクションによる体験協創」電子情報通信学会、pp.7-10

¹⁶ 久保田他 2名(2017)「ロボット会話への利用を想定した観光地推薦システムの構築」電子情報通信学会、pp.1-6

1-2 研究目的

2016年度、株式会社北こぶしグループと本学の共同研究として、同会社が立地する世界自然遺産知床地域で課題となっていた自然・アウトドア系ツアー運行状況がそれぞれの業者で独自に発信していた煩雑状態となっていた情報を、観光客の情報収集拠点機能にもなっている宿泊施設で情報集約の一元化をはかり、デジタルサイネージを通して地域情報発信したいとの試みから実証実験を行った。翌2017年度は、AI搭載人型ロボット Pepper を利用した多言語対応によるインバウンド情報発信の実証実験として、宿泊施設内に併設するお土産屋にて、言語の問題から地元業者が製造している商品を従業員が海外のお客様に説明できなかった課題を克服し売り上げ up を目指した取り組みをおこなってきた。

今年度の奨励研究では、この2年間の研究成果を基盤に、①観光客にとって宿泊施設でもあり世界自然遺産知床の地域自然情報拠点の目的も担う同施設で展開している人気の「ネーチャーガイドトークショー」を、Pepper を活用することでいつでも多言語で発信できる言葉のバリアフリー化による更なるサービス向上に向けたシステムを構築すること、②これまでのロボット研究では散見されなかったロボットによる観光サービスを利用者(受け手)がどう捉えているのか、また利用者(受け手)から見たロボット vs 人による観光サービスの特徴をキュレーション指標で分析し人とロボットの”もてなし”特徴を明らかにすることを目的とする。

1-3 研究推進体制(研究者役割分担)とスケジュール

本奨励研究では、研究代表者の川名が pepper システム構築部門、共同研究者の千葉が受け手キュレーション分析部門と役割を定め、以下図表 1-1 の様なスケジュールで本研究にあたった。

図表 1-1:研究推進体制とスケジュール

	<pepper システム構築部門> (担当:川名)	<受け手キュレーション分析部門> (担当:千葉)
7月	(株)北こぶし施設で展開する人気プロ	先行研究
8月	グラム「ネーチャーコンシェルジュのト	(ロボット×観光の最新動向調査、キュレー ションやキュレーションマーケティングに関 する研究調査)
9月	ークショー」プログラム内容と写真デー タの確認・整理(1年間分)	
10月	pepper用ストーリーづくり	
11月	(日本語、中国語、英語)	アンケート用紙の作成・パイロットテスト
12月	pepper へのシステム構築と操作確・	(日本語、中国語、英語)
1月	pepper パイロットテスト	アンケート実施に向けた備品準備
2月	pepper 郵送・実証実験準備&実施	
3月	報告書づくり	アンケート分析・報告書作り

2 実証調査に向けた AI 搭載人型ロボットプログラム

2-1 プログラム構想

2017 年度に実施した AI 搭載人型ロボットの基礎的研究では、次の 3 点が判明した。

- ① ”母語が通用する日本人に対して、一般的な情報内容の発信だけでは、商品購買意欲といった聞き手への行動にまで至らない。したがって、人の情報と AI 搭載人型ロボットの情報を融合させた魅力ある情報発信が必要であること。
- ②利き手を引き付けるという”ロボット力”を効果的に活用する手法が必要であることから、Pepper らしい説明の仕方を検討すべきであること。
- ③ロボット胸部についている小型のディスプレイにて商品説明用写真を投影し、ロボットが説明してきたが、それでは受け手は不十分であった。商品の魅力を 100% 伝え、インパクトある広報をするためにはデジタルタブレット端末やスマートフォンを利用した大型サイネージ画面での表示手法を検討すべきであること。

この結果を踏まえ、2018 年度の研究では、次の 4 点を考慮したプログラムを構築した。

- ①インパクトのある写真を利用し、写真をイメージさせるストーリー性のある説明文にする。
- ② 単なる説明文ではなく Pepper の可愛らしさが伝わる”ロボット言葉”を意識した表現にする。
- ③ ジェスチャーや間合いなどのチューニングで”ロボットプレゼンテーション力”を最大限発揮させる。
- ④ 利用する写真は大型ディスプレイで表示させ、ロボットの説明と同期させる。

2-2 プログラム構成方法

2017 年度は、”北こぶし知床ホテル&リゾート”館内に併設されたギフトショップのお菓子や地元知床の材料を使った多彩なホテルオリジナル商品の説明をロボットが多言語(日本語、英語、中国語)かつ胸部のデジタルディスプレイに商品を表示して説明したが、今年度の奨励研究では昨年度の課題を踏まえ、知床の大自然を Pepper 横に別付で設置した大型ディスプレイも用いた写真と AI 搭載人型ロボットのスピーチ (日本語、英語、中国語) を同期させて説明した。

【プログラムの構成】

- ・ テーマ：Shiretoko Images 知床の自然紹介

- ・写真枚数：自然紹介写真30枚、事前説明&エンドローリング用写真3枚
(写真はホテルネイチャーガイドS氏が撮影したデータをお借りし、S氏が実施している夜のトークショーを参考に写真30枚を厳選して利用)
- ・パフォーマンスタイム：5～6分
- ・言語：日本語、英語、中国語
- ・表示方法：大型ディスプレイ表示 (Pepperの画面には代表的な写真だけを表示)
- ・操作方法：Pepperは自動操作

大型ディスプレイ表示はiPadから人が操作

写真はPepperの話すスピードに合わせてディスプレイに表示

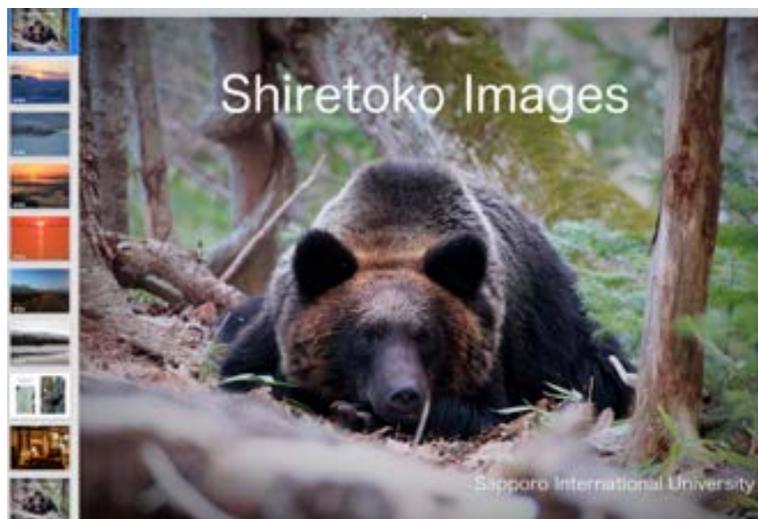
なお本プログラムには、昨年同様の「ペップレ」というアプリを利用したが、そのプログラム方法については昨年報告書どおりのさめ、割愛する。

2-3 “もてなし”ストーリーとあらすじ

Pepperの”ロボット力”はほかのロボットより魅力的である。それは見た目のアピランス以外に話す言葉のスピードや間の取り方が設定できること、そして挨拶や身振りというような動作の選択肢が多いことにも関係している。写真を使って魅力的な情報を発信するためにはこのようなPepperの持つ特性を習熟した上で環境設定する必要がある。本研究では次の点に注意してPepperの発話や身振りを調整した。

- ①話すスピードはゆっくり、短い言葉を使う。
- ②効果的な間合いや身振りを選択する。
- ③魅力的な写真にストーリー性を持たせる。

写真2-1：スライドショー管理画面



【説明文と写真】

- ・ 説明文：日本語、英語、中国語
- ・ 写真：挨拶 1 枚 エンディング 2 枚 写真説明 30 枚

-スライド 1-

みなさんこんにちは！僕は札幌国際大学のペッパーです。今日は、世界自然遺産に登録されている知床の自然をみなさんに紹介したくて、札幌から来ました。知床の大自然やそこに住む野生動物のことを、写真を通して感じてください。写真を見たらまた来たくくなりますよ！それではスタートします。準備いいですか。

Hello, everyone! I am Pepper from Sapporo International University. I came here all the way from Sapporo to talk about nature of Shiretoko, designated as World Natural Heritage. The photos show you great nature and wildlife of Shiretoko with surprise and great impression. You may want to come here again. OK. Are you ready? Let's start.

大家好！我是札幌國際大學的 Pepper。我今天從札幌來是為了給大家介紹被世界遺產登錄的知床自然。希望你們能夠透過照片，感受知床的大自然以及住在那裡的野生動物。看了照片你們一定會想來喔！好吧，這就開始介紹囉。準備好了嗎？

写真 2 - 2：挨拶用写真



-スライド 1-

まず最初は、知床の冬を感じる写真を紹介しますね。最初の写真をみてください。遠くに白いものが見えますね。何かわかりますか。そうです。流氷です。アムール川の河口で生まれた流氷は、ゆっくりこの時期に知床に接岸します。他の流氷の写真も圧巻ですね。知床の冬はとんでもなく寒いんです。有名なフレペの滝も凍るんです。オホーツクのキャンバスに描いた流氷。いいですね。

First, let me show you photos of Shiretoko winter, giving you some ideas about how cold, but beautiful it is. Take a look at the first image. Can you see something white floating over there? They are drift ice, coming down from the mouth of River Amur. At this time of the year drift ice slowly comes to Shiretoko. Other photos are so impressive, too. Winter in Shiretoko is amazingly cold. Even water of famous Furepe Waterfall gets frozen. Drift ice art created on the sea canvas is breathtaking, isn't it?

首先，就從可以感受知床冬天的照片開始吧。請看第一張照片。可以看到遠方白色的東西嗎？知道那是什麼嗎？對了！就是浮冰。黑龍江河口誕生的浮冰在這個時期慢慢地來到知床的海岸。其他的浮冰照片也很棒吧。知床的冬天冷的不得了。連有名的フレベ瀑布都凍結呢。像鄂霍次克畫布上所畫下的浮冰一樣。真是不錯。

写真 2 - 3 : 知床紹介写真 1



-スライド 3-

知床の冬はどんな世界だと思いますか。そうです。白と静寂の世界です。流水を眺めていると、その静寂が、時々流水がぶつかり合う音で破られます。知床五湖でも白の沈黙世界が、時々スノーシューツアーの人の歓声でかき消されます。そうです。酷寒の冬もこの白と静寂を求めてたくさんの人々が来るんです。冬の大自然に包まれた体験。いいです。

Winter in Shiretoko. Yes, it is completely another world, a world of snow and silence. However, this quietness is sometimes broken by the sound of drift ice hitting each other. In Shiretoko lakes, tourists of snow shoe tours also break this silence when they give an exclamation of joy. The snow and silence really attract tourists. And winter experience in the great nature. It is so precious and unforgettable.

您認為冬天的知床是怎麼樣的世界呢？對了。白色和寂靜的世界。在眺望浮冰時，寂靜有時會被冰塊互相擠壓的聲音給劃破。在知床五湖白色的沉寂世界有時候也會因為參加雪鞋之旅的人們的歡笑聲而消失。沒錯。在酷寒的冬天裡一樣有追求白色和寂靜的人來喔。被冬天的大自然所包圍住的體驗。真的很不錯。

写真 2 - 4 : 知床紹介写真 2



-スライド 4-

今度は冬の生き物の様子を少しご紹介しますね。知床の冬は生き物に大変厳しいです。鹿はわずかに残った葉っぱを食べ、鳥は木の中にある虫を探すために一生懸命お仕事です。シマフクロウも真剣ですよ。まるで監視カメラのように地面の動きをじっと見えています。少し早く冬眠から目覚めたクマは食べ物を求めて道路も横切ります。冬の知床。たくさんのドラマがあるんです。

Wildlife, living in this severe winter. They really have to go through the tough time in winter. Deer have to find whatever they can eat. Birds keep pecking at a tree to find worms. Blakiston's fish owl is serious, too. It stands still, gazing at anything moving on the ground, like a surveillance camera. A bear awaking from hibernation a little earlier than usual doesn't mind crossing over a fence to get food.

接下來我來稍微介紹一下冬天動物們的樣子吧。知床的冬天對動物們來說是很嚴峻的考驗。小鹿只能吃些所剩不多的殘葉，鳥兒必須拼命地找尋樹裡的蟲。大島貓頭鷹也很認真喔。就像監視攝影機般的看著地面上的動靜。稍微早點從冬眠覺醒來的熊為了找尋食物也會橫跨道路。冬天的知床有著許多的戲碼上演著呢。

写真 2 - 5 : 知床紹介写真 3



-スライド 5-

さあ、今度は春と夏です。この季節、知床は一番輝きます。眩しいばかりの緑と突き抜けるような広く高い空。そこに生息する生き物はみんな輝いています。大自然の風景を求めて多くの観光客が、知床にやってきます。被写体である大自然を目の前にすると全員プロのカメラマンのよう。太陽が海に沈む瞬間。どんな構図でシャッター切りますか？

Spring and summer in Shiretoko. Everything is so fresh and brilliant. You can feel a breath of spring and a joy of summer. Sky is high, no boundary. Greenery is so green. Many tourists visit Shiretoko, looking for this great nature. Once facing this magnificent view, everyone becomes a real photographer. Facing this breathtaking sunset screen, how do you take a photo?

接下來，換說春天和夏天吧。這個季節是知床最閃耀的時刻。耀眼的綠地劃破廣闊的高空。在那裡生活 的動物們個個意氣昂昂。追求大自然風景的許多觀光客都來到了知床。有了眼前的這片大自然作為拍 照的對象，每個人都好像成了專業攝影師一樣。在太陽沉入大海的那一剎那間，你想用快門構思出什麼 樣的圖畫呢？

写真 2 -6：知床紹介写真 4



-スライド 6-

知床の短い夏。生き物は超多忙です。子供を産み育てる。クマの動きも活発です。道路を運転しているとクマに遭遇するのは普通です！知床ではクマが主役。遭遇したら静かに、じっと見守ってください。また、この時期カムイワッカ湯の滝では温泉を楽しむ人が多いんです。この滝では水でなくお湯が流れています！是非、チャレンジしてください。

Summer is short in Shiretoko, so every living thing is busy. Deer have babies, raising them tenderly and carefully. Bears actively move around. You may often come across them while driving a car. In shiretoko a bear is a king. Keep quiet, just letting it go away when you encounter a bear. At this time of the year many people enjoy bathing at a waterfall because it is not cold, but warm. Why don't you join them?

知床短暫的夏天，動物們非常的忙碌。他們產下並養育下一代。熊也頻繁活動著。在路上開車遇到熊是 家常便飯。在知床，熊是主角。如果遇到牠們的話，請安靜得耐心得看著就好。另外，這個時期來造訪位 於カムイワッカ熱瀑布溫泉的人很多。這個瀑布流的不是冷水而是熱水。請一定要來挑戰看看喔。

写真 2 -7：知床紹介写真 5



-スライド 7-

秋になると知床の風景が大きく変わります。知床連山が紅葉で燃えるようです。そして生

き物たちは厳しい冬に備えて食料確保。サケが遡上する時期になるとクマの活動が最盛期。水中でじっと獲物を見つめて、一撃でサケを仕留める姿は感動的です。この時期が終わると長い冬。湖は凍り、雪が全てを包みます。知床に再び白と静寂の世界が訪れます。

In autumn the Shiretoko scenery changes drastically. The Shiretoko Mountains are covered with beautiful and gorgeous color of leaves. Animals and birds are busy preparing for food. Bears catch salmon skillfully with only one blow. So impressive! After this hunting season is over, a long freezing cold winter sets in. The lakes got frozen. Everything is covered with snow. Here comes a world of white and silence again.

一旦到了秋天，知床的風景就會有很大的轉變。知床連山上的楓葉像是在燃燒一般的紅豔。此外，為了度過嚴峻的冬天，動物們會開始準備及儲存糧食。當鮭魚逆流而上的時期到來時，熊的活動也到了鼎盛期。在水中耐心得找尋獵物，一把抓住鮭魚的樣子很令人感動。這個時期只要一結束，就是漫長的冬天。湖泊凍結，雪將一切封印住。白色和寂靜的世界再度來到知床造訪

写真 2 -8 : 知床紹介写真 6



-スライド 8-

これで知床の四季を感じていただくプレゼンテーションは終わりです。どうでしたか。素晴らしい知床を体験するためには数回訪れる必要がありますね。知床の大自然とそこに生息する生き物たちがお待ちしています。

OK. That's all for the presentation. Have you felt the beauty and charm of Shiretoko? You may have already decided to come again. Right? That's great. Shiretoko is always waiting for you with a big surprise.

讓大家感受知床四季的解說就到這結束。覺得如何呢？為了體驗這樣精采的知床您需要多次造訪才行。知床的大自然和在那裡生活的動物們都等待著您喔。

写真 2 -9 : エンディング写真 1



-スライド 9-

このプレゼンテーションで使用した写真はこのホテルのコンシェルジェである佐藤さんからお借りしました。大変感謝しております。もっと知床の情報が必要な方は佐藤さんに直接お聞きください。これで、札幌国際大学ペッパーのプレゼンテーションを終わります。ありがとうございます。

The photos shown to you today were taken by a concierge, Ms. Sato, working at this hotel. She kindly let us use the precious images. Everyone, please give her a big hand. Thank you, Sato san. And everyone, thank you for sharing time with us. That's all for now. Please come again. Thank you.

在這個解說中所使用到的照片是向飯店的服務員佐藤小姐商借來。非常感謝她。如果您有需要更多知床相關資訊的話，請直接向佐藤小姐詢問。札幌國際大學 Pepper 的介紹到此結束。感謝大家。

写真 2 -10：エンディング写真 2



【ロボットの発話と動作(ジェスチャー)管理】

クラウド上の管理画面でペッパーの発話スピードや動き等を制御させた。

- ・ 間：“間”をクリックし、1 秒～3 0 秒から選択
- ・ 声の高さ：“声の高さ”をクリックし、「高く」「普通」「低く」から選択
- ・ 話すスピード：“話すスピード”をクリックし、「早く」「普通」「遅く」から選択
- ・ 言語：“言語”をクリックし、「日本語」「英語」「中国語」から選択
- ・ ポーズ：“ポーズ”をクリックし、1 1 パターンの動作から選択

写真 2 -11：Pepper 管理画面



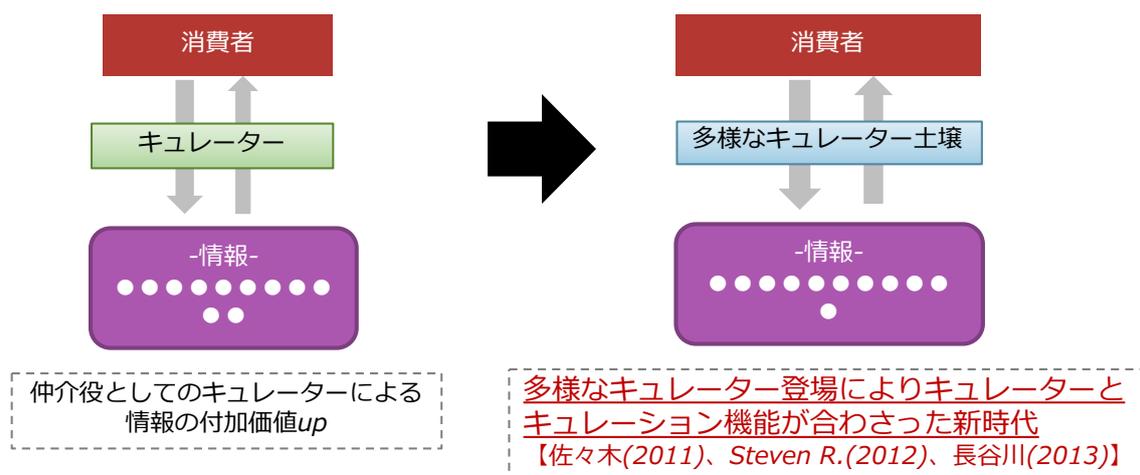
3 キュレーションの視点から検証する人的”もてなし”と AI 搭載人型ロボット”もてなし”

3-1 現代社会におけるキュレーションの変遷

「キュレーション」とは、「無数の情報の海から、自分の価値や世界観に基づいて情報を拾い上げ、そこに新たな意味を与えること」¹⁷であり、情報サービスが始まった古くから存在する言葉である。そして、この言葉と一緒に派生した言葉が「キュレーター」であり、キュレーションされた情報に質という要素すなわち付加価値を与え受け手(消費者、聞き手)の文脈に沿った情報へと結びつける役割を担う人を意味する。博物館の学芸員や地域コンシェルジュなどはまさにこれを示す代表的な存在であり、長谷川(2013)は自身の著書の中でキュレーションについて、あらゆる技能を駆使し、受けて(消費者、聞き手)の知と感性をゆさぶる力と表現している。¹⁸

コンピューターが登場し情報が豊かな時代に突入すると、これまでのキュレーターの土壌はコンピューターの検索機能を中心に多様に変化する。まとめサイトなどといったコンテンツビジネスはその一例ともいえる。特にここ数年においては、情報に付加価値を与えるという視点から考えると、コンピューターだけが新たなキュレーターではなく、VR(仮想現実)、スマートフォンを活用した QR コードや AR(拡張現実)読み取りなど最新 ICT(情報通信技術)や pepper を代表とする AI 搭載人型ロボットもキュレーターと捉えることができる。すなわち、キュレーションとキュレーター機能が合わさった新しい時代へと変容している。

図表 3-1:キュレーションの変遷イメージ図



¹⁷ 佐々木俊尚(2011) 『キュレーションの時代-「つながり」の情報革命が始まる』ちくま新書、p.1

¹⁸ 長谷川祐子(2013) 『キュレーション-知と完成を揺さぶる力』 p.12-25

3-2 調査概要・方法

本実証実験の目的は以下2点であり、調査概要は図表4-2の通りである。

- ①AI 搭載人型ロボット Pepper による地域情報発信は、外国人と日本人にとってどのようなキュレーション力をもっているか=AI 搭載人型ロボットの”もてなし”特徴
- ②ネイチャーコンシェルジュによる人的地域情報発信は、AI 搭載人型ロボットの”もてなし”とどのようなキュレーション力の違いがあるのか=人的”もてなし”特徴

図表 3-2:調査概要

調査時期	2019.2.7-8(pepper実証実験) 2019.2.8-28(コンシェルジュ調査)
実施場所	・2019.2.7-8のpepper実証実験 「北こぶし知床 ホテル&リゾート」ロビー休憩所スペース ・2019.2.8-28コンシェルジュ調査 知床北こぶしグループホテルで展開する夜のネイチャーコンシェルジュによるトークショー会場
回収数・有効回答率	・pepper実証実験:23件(有効回答率100%) ・コンシェルジュ調査:29件(有効回答率(100%))
分析方法	基本統計・クロス集計

pepper 実証実験調査は、ご協力いただける聴講者に利用言語を確認したのち、数分の知床地域情報を紹介する pepper プレゼンテーションを視聴していただく。その後、アンケート用紙とペンをお渡しする形でご協力いただいた。記入後はお礼の粗品としてアンケートで使用したペンと、昨年度までの研究で作成した知床の夏と冬を紹介する AR ハガキを渡した。なお、この実証実験会場には、図表 4-3 のポスターを作成し協力を仰いだ。写真 4-1 はその際の様子の一部である。

一方、コンシェルジュ調査は、知床北こぶしグループホテルで夜に開催しているネイチャーコンシェルジュのトークショーの後に聴講者へアンケート協力のご案内をさせていただき、ご協力いただける方のみ pepper 調査と同様スタイルでホテルの従業員の皆様にご協力いただきながら実施した。「北こぶし知床ホテル&リゾート」施設だけの調査だと、コンシェルジュに偏りがでる等のバイアスが懸念されることから、同ホテルグループの他の施設でも同様の方とで実施させていただいた。

図表 3-3:実証実験ポスター(3ヶ国語)

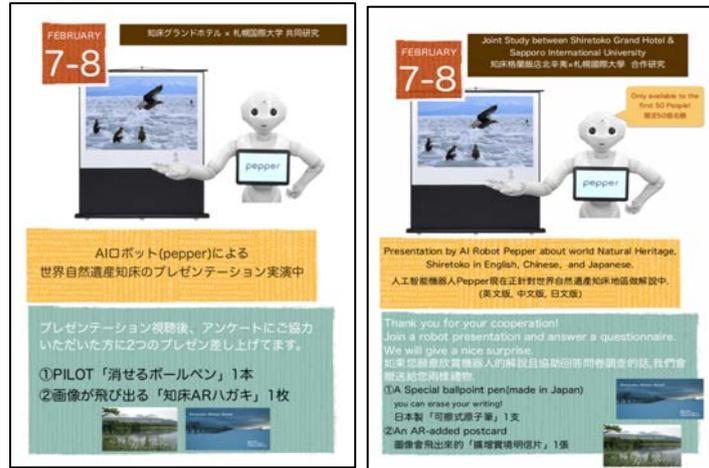


写真 3-1:実証実験・アンケート調査の様子



3-3 情報発信“もてなし”度アンケート調査票作成

(1)“もてなし”を測るキュレーション指標

情報サービスの新時代においてキュレーションビジネスを自身のビジネスで実践する水上(2014)¹⁹は、情報価値を再構築した受け手(聞き手、消費者)の心を動かす差別化するキュレーションステップとして 10 の視点を提唱している。その 10 の視点とは、「プラスワン」「情報商材化」「サポート・不安要素の解消」「カスタマイズ」「個人ブランディング」「信頼性の演出」「専門化」「時間軸」「お値打ち感による価値の演出」「アングル」で、受け手の心が動けばビジネスへ発展することから、マーケティング要素を意識したキーワードが特徴である。千葉(2017)²⁰はこの指標を使って VR の特徴を明らかにした他、同年、科学研究費

¹⁹ 水上浩一(2014)『キュレーション・マーケティング』ごま書房新社、pp.112-219

²⁰ 千葉里美(2017)「観光客の滞在促進へ向けた地域拠点における VR 観光と効果的発信手法に関する研究-キュレーションの視点から-」ロングステイ観光学会

(萌芽)にてARの特徴を分析してきた²¹。そこで今後の研究を鑑み、本実証実験においてもこの指標を用いることとした。

(2)アンケート調査票

AI搭載人型ロボット pepper とネイチャーコンシェルジュそれぞれにおける地域情報の伝達力と、両者の伝達力を比較するため、前述のキュレーション指標を用いた設問を中心に2タイプのアンケート調査票を日本語・英語・中国語の3カ国版にて作成した。以下、それぞれの調査票におけるアンケート項目と調査票サンプルである。

図表 3-4:アンケート調査項目

	pepper による伝達力調査票	ネイチャーコンシェルジュの伝達力調査票
質問項目	①地域情報プレゼンの期待度と満足度 ②キュレーション指標の満足度 ③人手不足の地方観光地での AI ロボットの使い道アイデア(自由記述)	① 地域情報プレゼンの期待度と満足度 ②キュレーション指標の満足度 ③ロボットと人との情報発信で大きく異なる点に関する意見(自由記述)

²¹ 千葉里美、丹治和典、川名典人(2017)「外国人観光客へのAR機能を活かした情報発信手法の開発に向けて-北海道・知床での調査結果から得られた示唆-」日本観光研究学会

図表 3-5: AI 搭載人型ロボット pepper の地域情報伝達力を測るための調査票(日・英・中)

知床グランドホテル × 札幌国際大学 共同研究

地域情報の発信手法に関するアンケート調査のお願い

【アンケート責任者:札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科 川名・千葉】
2019.2.7-8 実施

◆問 1: AI ロボット(pepper)のプレゼンテーション視聴前の期待度と、視聴後の満足度について、それぞれ 1-5 で評価をしてください。

	全く期待しない	あまり期待しない	普通	やや期待した	大変期待した
視聴前期待度	1	2	3	4	5
	全く満足しない	あまり満足しない	普通	やや満足した	大変満足した
視聴後満足度	1	2	3	4	5

◆問 2: AI ロボット(pepper)の地域紹介プレゼンテーションを視聴し、次の項目 1-10 についてどう感じましたか? それぞれの項目ごとに評価してください。

評価項目	全く思わない	あまり思わない	普通	やや思う	非常に思う
例)○○○○○○○○	1	2	3	4	5
1.知床に新たな価値を感じた	1	2	3	4	5
2.映像コンテンツの信頼性や真実性を感じた	1	2	3	4	5
3.知床の興味関心事について知れ不安や質問が解消した	1	2	3	4	5
4.スクリーンによる自動動画映像より楽しく視聴できた	1	2	3	4	5
5.この情報発信のあり方に特別感を感じた	1	2	3	4	5
6.知床について感動・賛同・共感が持てた	1	2	3	4	5
7.知床の観光(資源)についてのイメージが明確になった	1	2	3	4	5
8.季節の様子が理解できた	1	2	3	4	5
9.今回の知床観光(滞在)にお値打ち感を感じた	1	2	3	4	5
10.AI ロボットが地域情報を発信する事に価値が持てた	1	2	3	4	5

◆問 3: 地方の観光地で今後 AI ロボットを普及させるとしたら、どのような情報や使い方を期待しますか? あなたのアイデアを自由にお書きください。

例)AI ロボットで野生動物との接し方に関する注意を色々な場所で説明してほしい

◆問 4: あなたについて教えてください。

①性別: 女性 ・ 男性

②年齢: 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代以上

③国籍: (国名:)

(^)♪ご協力ありがとうございました(^)♪

Questionnaire on How to Send Regional Information

Kawana, Chiba
Faculty of Tourism
Sapporo International University

◆**Question1** Evaluate the expectation before AI Robot (pepper) performs the presentation and the satisfaction after the observation of the presentation. Put your evaluation level from one to five.

Ex) the performance level of this presentation	①0 %	②25 %	③50%	④75%	⑤100%
1) the expectation level before the performance by AI Robot (pepper)	①0 %	②25 %	③50%	④75%	⑤100%
2) the satisfaction level after the performance by AI Robot (pepper)	①0 %	②25 %	③50%	④75%	⑤100%

◆**Question2** Evaluate the following 10 sentences after your observation.

sentences	①0 %	②25 %	③50%	④75%	⑤100%				
例) I found extra value of Shiretoko.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
1) I felt new aspects and value of Shiretoko.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
2) I felt the reliability & credibility of the image contents presented by AI Robot.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
3) I could answer my questions and better plan my trip.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
4) I had more fun watching pepper's presentation than a usual movie-based presentation on the screen.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
5) I felt that pepper's information was special and appealing.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
6) I had more impressions, empathy, and understanding about Shiretoko.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
7) The presentation gave me clear images about tourism resources of Shiretoko.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
8) I understood the beauty of the four seasons of Shiretoko.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
9) This Shiretoko trip (stay in Shiretoko) has its value.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤
10) I realized that AI Robot was worthwhile in terms of sending regional information.	①	·	②	·	③	·	④	·	⑤

◆**Question3** In order to spread more AI Robots in tourist spots, what kind of information or methods do you think would be appropriate? Please write your ideas.

For example) I want to have an explanation of how to behave towards wildlife.

◆**Question4** Answer the following questions about yourself.

- ① Gender: male · female
- ② Age: teenager · twenties · thirties · forties · fifties · over sixties
- ③ Nationality(Country:)

(^^♪ Thanks for your help. ^^♪

懇請協助我們進行這項有關傳播本地資訊方法的問卷調查

【問卷調查負責人員：札幌國際大學觀光學部觀光商業學科 川名、千葉】

2019.2.7-8

◆問題 1. 針對看人工智能機器人 pepper 的說明前的期待度和看完後的滿意度，請分別給予 1-5 分的評價。

	完全沒有期待	不太有期待	普通	還算有些期待	非常期待
視聽前的期待度	1	2	3	4	5
	完全不滿意	不太滿意	普通	還算有點滿意	非常滿意
視聽後的滿意度	1	2	3	4	5

◆問題 2. 在看完人工智能機器人 pepper 的說明後，您對以下 1-10 個項目有什麼樣的感想？請分別給予評價。

評價項目	完全沒感覺	沒什麼感覺	普通	有點感覺	感覺很強
例) ○○○○○○○○	1	2	3	4 ●	5
1. 感受到知床新的價值	1	2	3	4	5
2. 感受到內容的可信度和真實性	1	2	3	4	5
3. 消除了對有興趣和好奇的事物的不安感	1	2	3	4	5
4. 享受到比用一般螢幕撥放影片得到資訊的方式更多的樂趣	1	2	3	4	5
5. 對這樣的資訊有了特別的感受	1	2	3	4	5
6. 對於知床有了更多的感動，共鳴和了解	1	2	3	4	5
7. 對於知床的觀光資源有了著實的印象	1	2	3	4	5
8. 了解了知床的四季	1	2	3	4	5
9. 我覺得知床之旅(在知床停留)是有價值感的	1	2	3	4	5
10. 我覺得人工智能機器人對傳播當地資訊是有價值的	1	2	3	4	5

◆問題 3. 如果人工智能機器人在各地的觀光地普遍使用的話，您希望得到什麼樣的資訊或是以什麼方式使用它，請自由地寫下您的想法。

範例：希望說明和野生動物互動的方式等等。

◆問題 4. 請回答以下關於您自己的問題 (請圈選)

- ①性別: 男 · 女
- ②年齡: 10~19 歲 · 20~29 幾歲 · 30~39 幾歲 · 40~49 幾歲 · 50~59 幾歲 · 60 歲以上
- ③國籍:()

(^^♪ 非常感謝您的協助!! (^^♪

図表 3-6: ネイチャーコンシェルジュの地域情報伝達力を測るための調査票(日・英・中)

知床グランドホテル × 札幌国際大学 共同研究

地域情報の発信手法に関するアンケート調査のお願い

【アンケート責任者:札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科 川名・千葉】
2019.2.7-8実施

◆問 1: ネイチャーコンシェルジュ佐藤様のトークライブ視聴前の期待度と、視聴後の満足度についてそれぞれ 1-5 で評価をしてください。

	全く期待しない	あまり期待しない	普通	やや期待した	大変期待した
視聴前期待度	1	2	3	4	5
	全く満足しない	あまり満足しない	普通	やや満足した	大変満足した
視聴後満足度	1	2	3	4	5

◆問 2: ネイチャーコンシェルジュ佐藤様のトークライブを体験し、次の項目 1-10 についてどう感じましたか? それぞれの項目ごとに評価してください。

評価項目	全く思わない	あまり思わない	普通	やや思う	非常に思う
例)○○○○○○○○	1	2	3	4	5
1.知床に新たな価値を感じた	1	2	3	4	5
2.映像コンテンツの信頼性や真実性を感じた	1	2	3	4	5
3.知床の興味関心事への不安や質問が解消した	1	2	3	4	5
4.スクリーンによる自動動画映像より楽しく視聴できた	1	2	3	4	5
5.この情報発信のあり方に特別感を感じた	1	2	3	4	5
6.知床について感動・賛同・共感が持てた	1	2	3	4	5
7.知床の観光(資源)についてのイメージが明確になった	1	2	3	4	5
8.季節の様子が理解できた	1	2	3	4	5
9.今回の知床観光(滞在)にお値打ち感を感じた	1	2	3	4	5
10.ネイチャーコンシェルジュといった専門の人が地域情報を発信することに価値が持てた	1	2	3	4	5

◆問 3: ロボットによる説明と専門の人からの説明とは、何が大きく違うと考えますか? あなたが思う意見を自由に述べてください。

◆問 4: あなたについて教えてください。

①性別: 女性 ・ 男性

②年齢: 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代以上

③国籍: (国名:)

(^^♪ご協力ありがとうございました(^^♪)

Questionnaire on How to Send Regional Information

Kawana, Chiba
Faculty of Tourism
Sapporo International University

◆Question1 Evaluate the expectation before you joined the talk session by Nature Concierge, Ms. Sato and the satisfaction after her performance. Put your evaluation level from one to five.

Ex) the performance level of this presentation	①0 %	②25 %	③50%	④75%	⑤100%
1) the expectation level before the talk session by Nature Concierge, Ms. Sato	①0 %	②25 %	③50%	④75%	⑤100%
2) the satisfaction level after the talk session by Nature Concierge, Ms. Sato	①0 %	②25 %	③50%	④75%	⑤100%

◆Question2 Evaluate the following 10 sentences after the participation in Ms. Sato's talk session.

sentences	①0 % ②25 % ③50% ④75% ⑤100%
例) I found extra value of Shiretoko.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
1) I felt new aspects and value of Shiretoko.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
2) I felt the reliability & credibility of Ms. Sato's image contents.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
3) I could answer my questions and better plan my trip.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
4) I had more fun watching Ms. Sato's presentation than a usual movie-based presentation on the screen.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
5) I felt that this talk show was special and appealing.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
6) I had more impressions, empathy, and understanding about Shiretoko.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
7) The presentation gave me clear images about tourism resources of Shiretoko.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
8) I understood the beauty of the four seasons of Shiretoko.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
9) This Shiretoko trip (stay in Shiretoko) has its value.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤
10) I realized that sending regional information by a specialist such as a nature concierge was worthwhile.	① . . ② . . ③ . . ④ . . ⑤

◆Question3 What do you think is very different in explanation between the robot and the specialist?
Please write your comments.

◆Question4 Answer the following questions about yourself.

- ① Gender: male . female
- ② Age: teenager . twenties . thirties . forties . fifties . over sixties
- ③ Nationality(Country:)

(^^♪Thanks for your help. ^^♪

懇請協助我們進行這項有關傳播本地資訊方法的問卷調查

【問卷調查負責人員：札幌國際大學觀光學部觀光商業學科 川名、千葉】
2019.2.7-8

◆問題 1. 針對自然解說員佐藤小姐現場解說前的期待度和聽完後的滿意度，請分別給予 1-5 分的評價。

	完全沒有期待	不太有期待	普通	還算有些期待	非常期待
視聽前的期待度	1	2	3	4	5
	完全不滿意	不太滿意	普通	還算有點滿意	非常滿意
視聽後的滿意度	1	2	3	4	5

◆問題 2. 在聽完自然解說員佐藤小姐現場解說後，您對以下 1-10 個項目有什麼樣的感想？請分別給予評價。

評價項目	完全沒感覺	沒什麼感覺	普通	有點感覺	感覺很強
例)○○○○○○○○	1	2	3	4 ●	5
1. 感受到知床新的價值	1	2	3	4	5
2. 感受到內容的可信度和真實性	1	2	3	4	5
3. 消除了對有興趣和好奇的事物的不安感	1	2	3	4	5
4. 享受到比用一般螢幕播放影片得到資訊的方式更多的樂趣	1	2	3	4	5
5. 對這樣的資訊有了特別的感受	1	2	3	4	5
6. 對於知床有了更多的感動，共鳴和了解	1	2	3	4	5
7. 對於知床的觀光資源有了著實的印象	1	2	3	4	5
8. 了解了知床的四季	1	2	3	4	5
9. 我覺得知床之旅(在知床停留)是有價值感的	1	2	3	4	5
10. 我覺得像自然解說員這樣有專門的人員，對傳播當地資訊是有價值的。	1	2	3	4	5

◆問題 3. 您覺得機器人的解說和專門人員的解說有什麼大的差別嗎？請自由地描述您所想到的意見。

◆問題 4. 請回答以下關於您自己的問題 (請圈選)

- ①性別: 男 · 女
 ②年齡: 10~19 歲 · 20~29 幾歲 · 30~39 幾歲 · 40~49 幾歲 · 50~59 幾歲 · 60 歲以上
 ③國籍:()

(^^♪ 非常感謝您的協助!! (^^♪

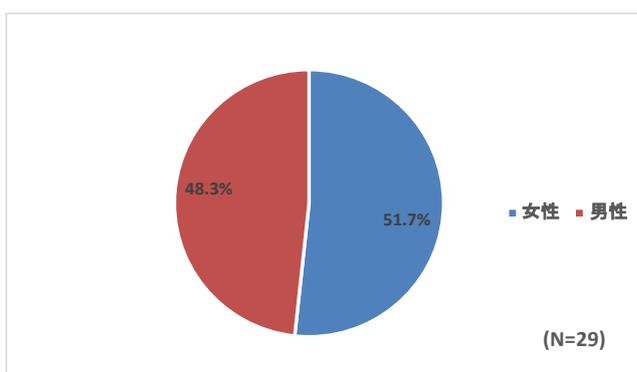
3-4 アンケート調査結果

(1) AI搭載人型ロボットの”もてなし”調査結果

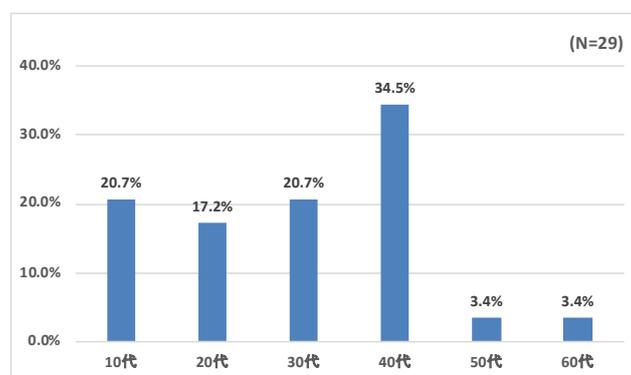
①回答者の属性

回答者 29 人の男女比は、ほぼ同数の女性 51.7%、男性 48.3%であった。(図表 3-7) 年齢層は、40代が 34.5%と全体の 1/3 を占めるものの、ICT に興味ある 10-30 代それぞれの回答が 20%前後あった。(図表 3-8) 国籍は、日本が 44.8%、中国 51.7%、香港 3.4%と、日本人と外国人の割合が半々であった。(図表 3-9)

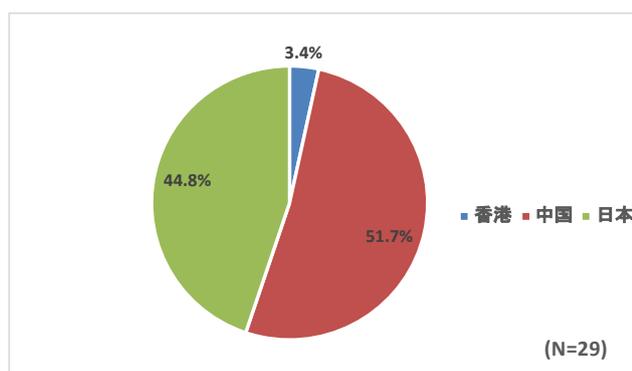
図表 3-7:性別



図表 3-8:年齢層



図表 3-9:国籍



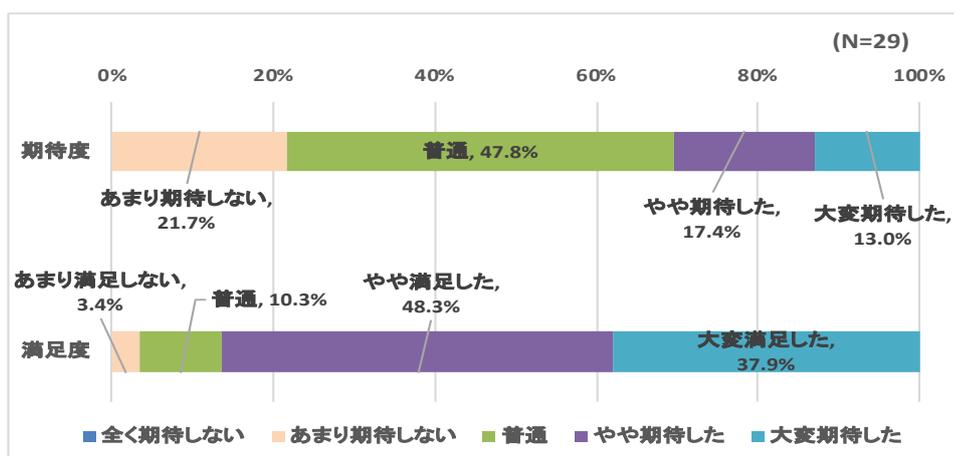
②期待度と満足度

3ヶ国語(日本語・英語・中国語)対応可能な Pepper による知床地域情報のプレゼンテーションについて、プレゼンテーション前の期待度とプレゼンテーション後の期待度を 5 段階評価で測った結果が図表 3-10 である。プレゼン前は「あまり期待しない」が 21.7%、「や

や期待した」と「大変期待した」の合計が30.4%とあまり期待がされていない状況であったが、プレゼン終了時の満足度は「あまり満足しない」が3.4%に激減し、「やや満足した」と「大変満足した」の合計が86.2%と9割の回答者が満足と評価した。また5段階で尋ねた期待度と満足度に1から5ポイントを加算し平均点を算出したところ、期待度3.8ポイントから満足度4.2ポイントと0.4ポイントの上昇が見られた。Pepper 的”もてなし”に一定程度のプラス評価があったと言える。

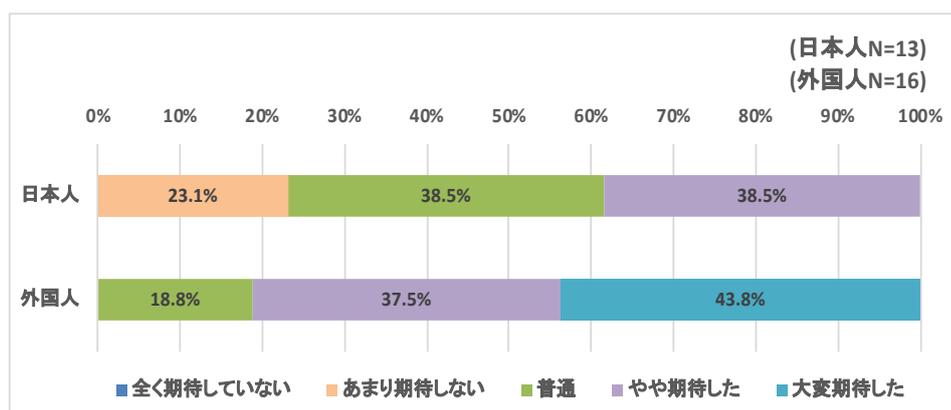
次に、日本人と外国人それぞれの期待度(図表 3-11)と満足度(図表 3-12)を確認した。外国人は否定的な期待評価を一切持っていないのに対し、日本人は「あまり期待しない」が23.1%と、AI 搭載人型ロボットの”もてなし”に冷ややかな感情を持っていることがうかがえる。しかしながらプレゼン後の日本人満足度を見ると、「やや満足した」が61.5%、「大変満足した」が30.8%と92.3%が満足と評価している。他方、外国人の満足度は、期待度と同数で変化がなかった。

図表 3-9:期待度と満足度

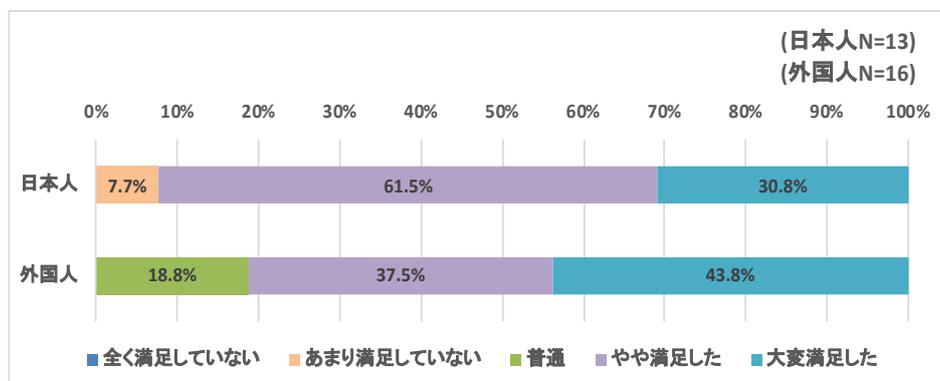


注) 期待度5段階評価:「大変期待した」「やや期待した」「普通」「あまり期待しない」「全く期待しない」
 満足度5段階評価:「大変満足した」「やや満足した」「普通」「やや満足しなかった」「全く満足しなかった」

図表 3-10:日本人と外国人別期待度



図表 3-11:日本人と外国人別満足度

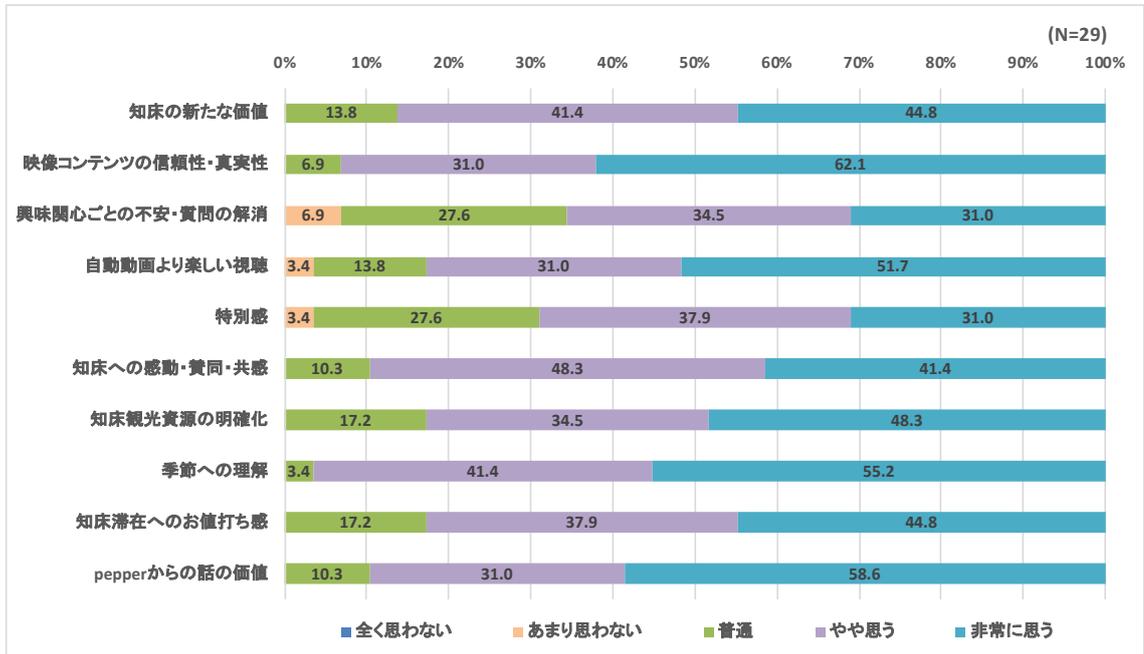


③キュレーション力

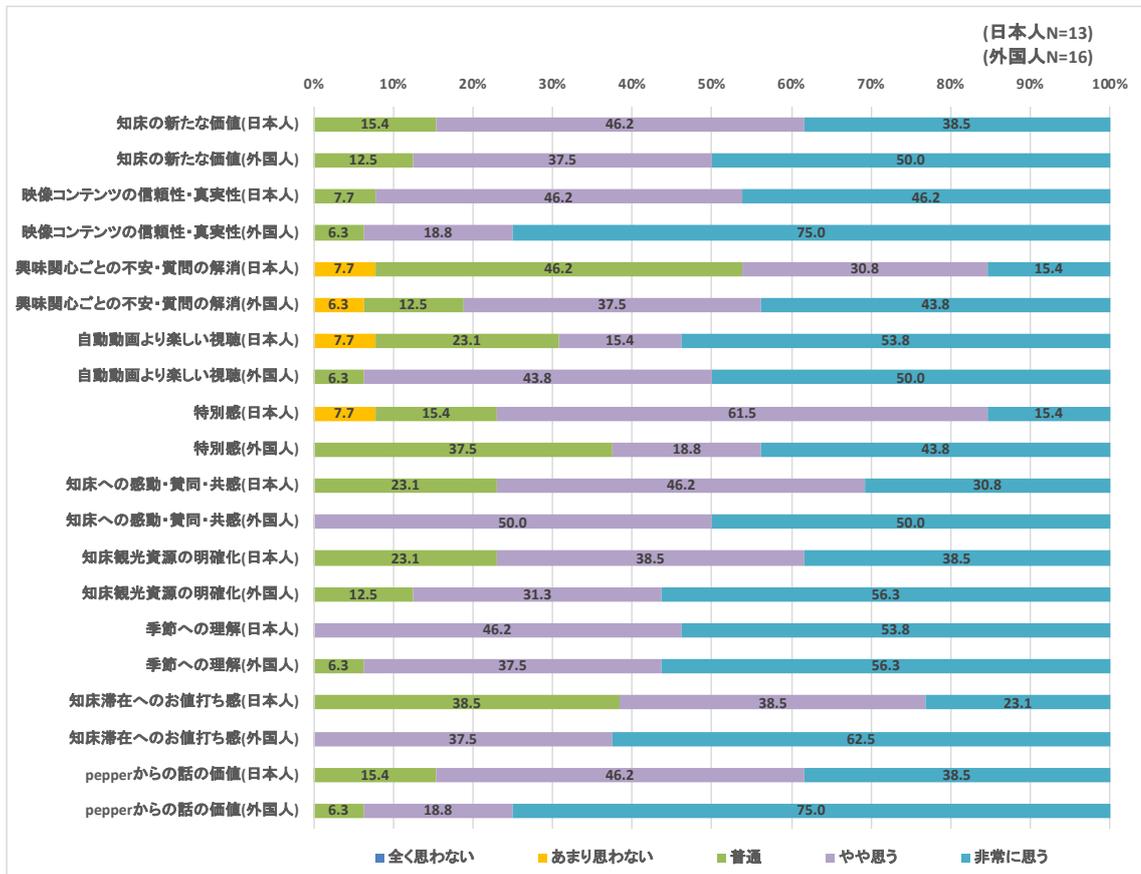
10のキュレーション力それぞれについて「非常にそう思う」「ややそう思う」「普通」「あまり思わない」「全く思わない」の5段階評価で回答してもらった結果が、図表 3-13 である。北こぶしのネーチャーコンシェルジュよりお借りした映像データであったことから、「季節への理解」「映像コンテンツの信頼性・真実性」「知床への感動・賛同・共感」「話の価値」「知床の新たな価値」の5項目は「やや思う」「非常にそう思う」のプラス評価を足した割合が9割程度ありキュレーション力が高かった。一方、「興味関心ごとの不安・質問の解消」「特別感」の2項目はプラスの評価が6割程度であり、他の項目と比較してキュレーション力に欠ける部分であった。

日本人と外国人それぞれのキュレーション力を比較したのが、図表 3-14 である。両者の間で差異が見られた項目は「興味関心ごとの不安・質問の解消」「自動動画より楽しい視聴」「特別感」「知床への感動・賛同・共感」「知床滞在へのお値打ち感」の5項目で、共通して日本人の方が外国人より低い評価であった。これは日本人にとって知床での観光は言語に対する障害がないため、観光滞在をとおして色々な情報をすでに得ることができていた可能性があると考えられよう。一方外国人にとって同地域で色々な情報を得る事は、言語の問題から限界があり日本人より高い評価になったと推測できよう。

図表 3-13:pepper キュレーション力(回答者全員)



図表 3-14:pepper キュレーション力(日本人・外国人別)



④自由記述による AI 搭載人型ロボットに求める”もてなし”

AI 搭載人型ロボットに求めることを自由記述で述べてもらい、国籍別にまとめたものが図表 3-15 である。中国人からは 9 件、日本人からは、11 件の要望が寄せられた。

中国人の多くは、人とロボットとの双方向型交流(会話を含む)を希望する声が圧倒的に多く、次に写真だけではなく動画の導入による理解度や子供対応が寄せられた。また、今回の知床地域の季節別の自然や動植物だけでなく、周辺地域を含んだ観光スポットやレストラン紹介など属性に合わせたコンシェルジュ機能プログラムを求む声も同数あった。

一方、日本人は、中国人と同様に属性に合わせたコンシェルジュ機能プログラムの追加が 5 件挙げられたが、それ以外は 1 件ずつ多様な要望が聞かれた。

図表 3-15:日本人・外国人別 AI 搭載ロボット型”もてなし”に求めること(自由記述より)

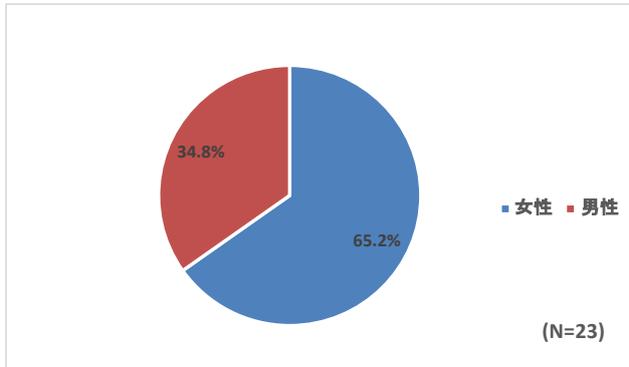
記述内容	中国	日本
ロボットとの交流(会話含む)ができれば良い。	4	0
動画をもっと活用することで、子供達にも興味が引く内容になる。写真だけではつまらない。	2	1
日本のアニメ技術を導入した動画を作成し、面白い動画の作成を希望します。	1	0
周辺を含んだ観光スポットやレストランなど属性に合わせたコンシェルジュ機能がほしい。	2	5
タッチパネル部分で見たい映像や説明を自分でチョイスできる等カスタマイズが欲しい。	0	1
Pepper の多言語へ切り替えるプログラム起動の速さがもっと早くなるといい。	0	1
オススメツアー(モデルコース含む)や服装を紹介して欲しい。	0	1
チェックイン業務。	0	1
声の強弱や、表情がほしい。	0	1

(2) 人的”もてなし”調査結果

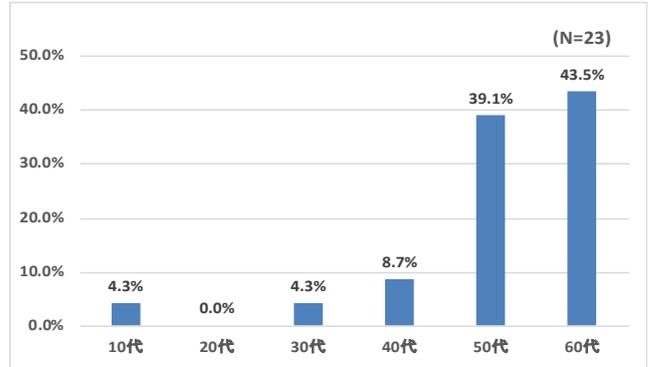
①回答者の属性

回答者 23 人の男女比は、女性 65.2%、男性 34.8%であった。(図表 3-16) 年齢層は、50 代と 60 代で 82.6%占める結果となり、中高年齢層への偏りが見られる調査となった。(図表 3-17) 国籍は、日本が 95.7%、中国が 4.3%とほぼ日本人からの回答である(図表 3-18)。これは、現時点でのネイチャーコンシェルジュの言語が日本語のみであることに起因する。

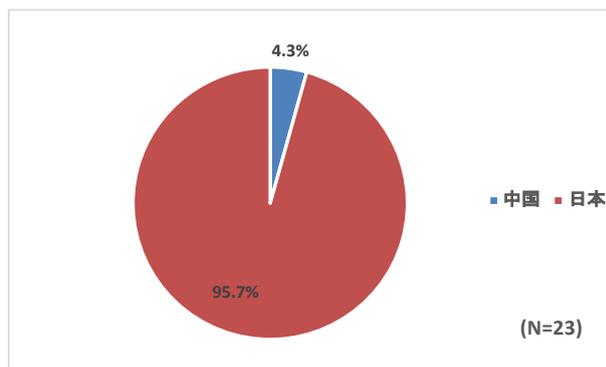
図表 3-16:性別



図表 3-17:年齢層



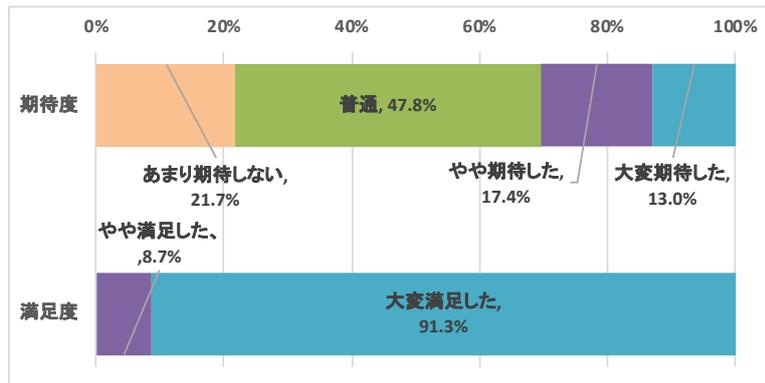
図表 3-18:国籍



②期待度と満足度

ネイチャーコンシェルジュによる知床地域情報のトークショーの期待度と満足度を5段階評価で測った結果が、図表 3-19 である。「あまり期待しない」が21.7%とあまり期待がされていない状況であったが、聴講後は91.3%が「大変満足した」と回答しており、ネイチャーコンシェルジュの講話内容や伝える力が大変高いことがうかがえる。

図表 3-19:期待度と満足度

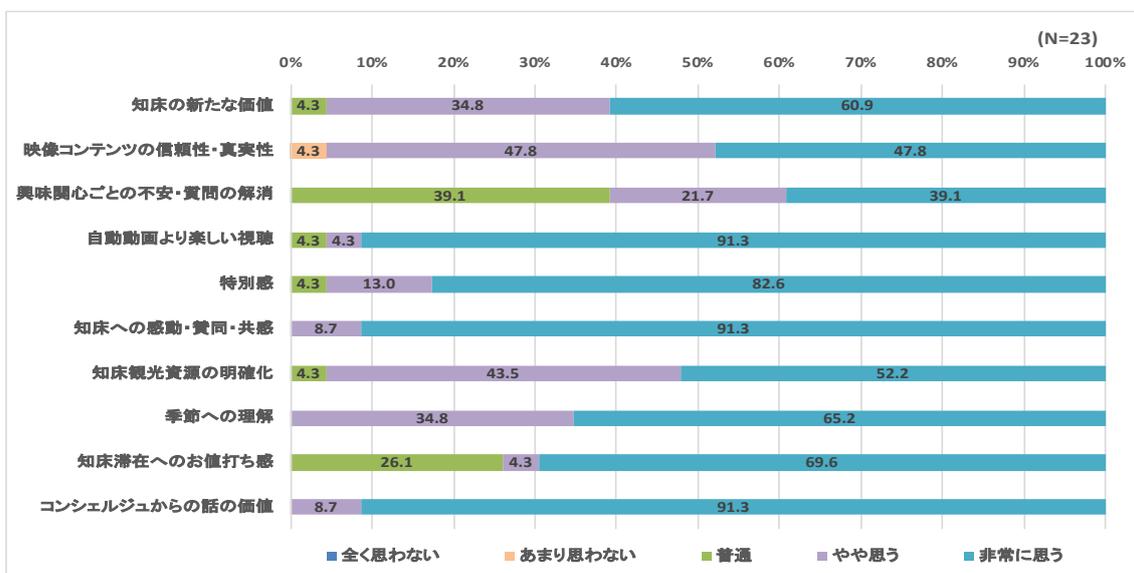


注) 期待度 5 段階評価: 「大変期待した」「やや期待した」「普通」「あまり期待しない」「全く期待しない」
 満足度 5 段階評価: 「大変満足した」「やや満足した」「普通」「やや満足しなかった」「全く満足しなかった」

③キュレーション力

10 のキュレーション力それぞれについて「非常にそう思う」「ややそう思う」「普通」「あまり思わない」「全く思わない」の 5 段階評価で回答してもらった結果が図表 3-20 である。「興味関心ごとの不安・質問の解消」「知床滞在へのお値打ち感」の 2 項目のみ「普通」と評価する率が 30-40%の間で見られたが、それ以外の項目は高い評価であった。「普通」の評価が高かった理由としては、トークショーという形態後の評価なため質疑応答等で不安を払拭するなどない点や、四季それぞれの知床の良さを概ね理解している日本人にとって全ての季節の滞在を評価していることが考えられよう。しかしながら Pepper では低い評価であった「特別感」は人的もてなしでは高い評価であり、「自動動画より楽しい視聴」と関連していると推測できよう。

図表 3-20:キュレーション力



④自由記述による人的”もてなし”がロボットに長けていること

日本人から寄せられた 16 件の自由記述をまとめたのが、図表 3-21 である。感情から湧き出る話の温かみを指摘する件数が 5 件と一番多く、次いでプレゼンテーションするネイチャーコンシェルジュの人柄が伝わることと、話の内容が生々しく伝わるのが 4 件であった。それ以外は、メッセージ性や場(相手)の雰囲気を感じ取った寄り添った話の構成をあげる人も 2 件あった。

図表 3-21:ロボットより長けている人的もてなし(自由記述より)

記述内容	件数
感情から湧き出る話の温かみ	5
ネイチャーコンシェルジュの人柄が伝わる(人の温かみ)	4
話の内容による体験の真実性が生々しく伝わる	4
色々な世代のネイチャーコンシェルジュが伝えたいメッセージが伝わる	2
会場の雰囲気を見た寄り添った話の構成ができること	2

4 おわりに

本奨励研究では、(株) 知床グランドホテルの協力・共同を得て、①昨年度奨励研究にて明らかになった AI 搭載人型ロボットの”もてなし”、特に利用者(受け手)を意識した情報発信手法の再構築と、②これまで未研究である AI 搭載人型ロボットと人それぞれの”もてなし”に対する利用者側(受け手)のキュレーション特徴を明らかにすることであった。

日本人と外国人それぞれ同数のサンプル数を獲得できた AI 搭載人型ロボットの”もてなし”調査結果より、ロボットの”もてなし”への期待度は、外国人の方が非常に高かったが、満足度評価は期待度評価と変化がなく、外国人にとって期待通りのロボットサービスかつコンテンツ内容だったと言えよう。一方、日本人にとっては依然としてロボットの可能性とワクワク感が醸成されていないためか、「非常に期待する」といった高い期待を持った層が見られなかったうえ、期待しない層も見られた。こうした結果から、AI 搭載人型ロボット”もてなし”は言語の問題が発生している外国人に対して有効だと考えられる。次に、利用者(受け手)評価から見たロボットの伝える力=キュレーション力については、映像コンテンツの信頼性や真実性、ロボットから聞ける話の価値、季節理解、楽しさの4項目について高い評価であったことから、映像と話を楽しみながら地域を理解してもらおうという本奨励研究で目指していた情報発信の再構築は一程度評価が得られる結果となった。しかしながら、映像コンテンツの信頼性・真実性、ロボットから聞く話の価値、知床観光へのお値打ち感、知床観光資源の明確化は、外国人と比較し日本人は低い結果であった。地域情報をすでに色々知っている利用者や深い情報を求める利用者を満足させるには、さらなるセグメント別の多様なコンテンツの作り込みが必要であるが、この点に関しては人とロボットの融合、すなわち人とロボットのサービスデザインが効果的であろう。他方、人的”もてなし”に関しては、ほぼ日本人だけのサンプル数となったが、「コンシェルジュから聞く話の価値」「知床への感動・賛同・共感」「楽しい聴講」「特別感」に関し圧倒的に高い評価であった。これは自由記述で寄せられた意見からも明らかのように、感情から湧き出る話の温かみや真実性、人柄、場の雰囲気に合わせた話の展開が人的”もてなし”において可能だからである。

以上のような結果から、AI 搭載人型ロボットの観光サービスが進む時代ではあるが、交流ができなく表情や感情機能がないロボットの”もてなし”は、ある程度の面白さを盛り込んで一般的な情報を伝えることはできるが、人的”もてなし”の様に受け手の心や知を揺さぶることはできない。よって、現状では両者の特徴を捉えた観光地や施設での利用やサービスデザインが求められよう。

本研究にて使用した Pepper では、Pepper for Biz という法人向けのコンテンツ作成サービスを利用した。Pepper for Biz は「仕事を通じてインタラクティブにお客様に価値を提供

する」²²と定義されているが、2019年春に Pepper for Biz 3.0 がリリースされることが決定した。これにより改善される点は、会話力の向上と運用負荷軽減である。特に会話力向上では、人の検知範囲がロボットの後方にも拡大された。さらに「ヒューマノイド用会話プラットフォーム」により業務別会話と汎用的な日常会話を標準搭載することとなった。また、より複雑な会話は「ビデオ通話」で遠隔から Pepper を介して回答できるようにも改良されている。加えて、顔認証機能で相手に応じた会話シナリオが可能になった。²³ このようなメジャーな改善により真の意味で AI 搭載人型ロボットを利用した観光サービスが可能になると確信している。特に多言語対応が必要な観光地では大きな戦力になると考える。第 5 世代の移動通信システムである 5G (fifth Generation) の導入で高速大容量、低遅延、そして多接続が可能になる。それにより大量の情報を瞬時に処理することが可能になり、ロボットによる観光サービスは特化型の人工知能 AI (Artificial Intelligence) をさらに進化させた汎用人工知能 AGI (Artificial General Intelligence) を利用した多彩な観光サービスが可能となる。この点で本研究が示した基礎情報は、今後 AGI ロボットの利用法で参考になる点が多いと筆者らは考える。

²² ソフトバンクロボティクス HP より
<https://www.softbankrobotics.com/jp/product/biz3/> (2019.3.31 最終検索)

²³ ソフトバンクロボティクス HP より
<https://www.softbankrobotics.com/jp/product/biz3/> (2019.3.31 最終検索)

【参考文献】

- 1) 角他 2 名(20125)「実世界と仮想世界を行き来する擬人化エージェントとのインタラクションによる体験協創」電子情報通信学会、pp.7-10
- 2) 観光情報学会(2015)『観光情報学入門』近代科学者
- 3) 観光庁(2014):ICT 活用における観光振興サービスガイド pp.1-32
- 4) 久保田他 2 名(2017)「ロボット会話への利用を想定した観光地推薦システムの構築」電子情報通信学会、pp.1-6
- 5) 月刊ホテル旅館(2016)「特集:宿泊・観光産業の最新 IT 活用法 国内初スマートホテルの現状レポート」、月刊ホテル旅館 No.53、pp.60-62
- 6) 佐々木俊尚(2011)『キュレーションの時代-「つながり」の情報革命が始まる』ちくま新書
- 7) じゃらんリサーチセンター(2016)「とーりまかし Vol.46 」 pp.24-29
- 8) 翠他 3 名(2007)「質問応答・情報推薦機能を備えた音声による情報案内システム」情報処理学会論文誌 Vol.48、pp.3602-3611
- 9) 鈴木他 11 名(2007)「地域の観光活性化を目指したキャラクターとしてのロボット開発-函館イカロボットの開発-」ロボティクスメカトロニクス講演会講演概要集、pp.1-3
- 10)総務省(2016)「平成 27 年度版情報通信白書」 pp151-152
- 11)千葉(2015)「地方自治体における長期滞在者の滞在と観光振興に関する研究-上士幌町の体験移住を事例として-」日本観光研究学会全国大会学術論文集 pp.141-144
- 12)富田直美(2017)「ハウステンボス発”変なホテルの”ロボット活用×観光展開(JAPAN 新需要創造と超スマート社会への挑戦:第 103 回不動産経営者講座から)」、不動産経済 No.103、pp.75-85
- 13) 日本空港ビルディングリリース 2016.12.14 「公募型のロボットの公開実験」
https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/files/whats_new/883_1214_1056.pdf(2019.3.31 最終閲覧)
- 14)中島義雄(2015)「新気分屋の開拓は重要。ロボット事業の拡大や東京五輪に向けた”音声ペン”での観光案内にも挑戦したい」、財界 No63、pp.46-49
- 15)長谷川祐子(2013)『キュレーション-知と完成を揺さぶる力』集英社新書
- 16) パナソニックリリース 2017.1.12 「パナソニックが自立搬送ロボット”HOSPI®”による空港・ホテルでのサービス実証実験を実施」
<https://news.panasonic.com/jp/topics/151281.html>(2019.3.31 最終閲覧)
- 17)藤原他 4 名(2014)「パノラマ動画を用いた観光支援システムの開発」情報処理学会グループウェアとネットワークサービス研究会

- 18)松原他7名(2010)「ロボットを対象とした新しい相互作用デザインの試み:函館観光振興用ロボット IKABO を例として-」 認知科学 No.17、pp.572-579
- 19)水上浩一(2014)『キュレーション・マーケティング』 ごま書房新社
- 20)村田くみ(2015)「澤田秀雄氏に学ぶ地方観光戦略」 週刊朝日、p.23
- 21) livedoor NEWS 2018.7.11 「仁川空港の新型案内ロボが本格運用へ日本語音声も認識可能」
<http://news.livedoor.com/article/detail/14997441/>(2019.3.31 最終閲覧)
- 22) LG Guidebot Airstar GUI Design 2017
<https://www.behance.net/gallery/60952683/LG-Guidebot-Airstar-GUI-Design>
(2019.3.31 最終閲覧)
- 23)Steven Rosembaum(著)、田中洋・野田牧人(訳)(2012)『CURATION(第2班)』 プレジデント社
- 24) TimeOut2019.1.13 「This brand-new restaurant in Dubai has a robot that greets guests」
<https://www.timeoutdubai.com/restaurants/394368-this-brand-new-restaurant-in-dubai-has-a-robot-that-greets-guests>(2019.3.31 最終閲覧)

平成 30 年度 札幌国際大学奨励研究費（共同研究）

一般社団法人北海道商工会議所連合会との
人材育成に関する産学連携プロジェクト
報告書

早期の企業訪問による、
就業・キャリア意識向上についての研究

札幌国際大学 原 一将、武井 昭也

札幌国際大学短期大学部 小林 純、石田 麻英子

連携共同研究先 一般社団法人 北海道商工会議所

本報告の個人情報掲載について
本報告は新聞への掲載(北海道新聞2018年3月31日付)にて紹介されており、札幌国際大学「研究倫理規定」第6条「個人情報の保護」にのっとり、各個人・企業団体から許諾を得た上で掲載を行っています。
なお、一部転載・引用される場合は出所の明示をお願いします。

1 はじめに

2015年（平成27）年4月2日より、一般社団法人北海道商工会議所連合会と札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部（以下、本学）は、北海道経済の成長と人材育成に寄与することを目的に人材育成について積極的な連携・協力をを行うことの連携協定を締結した。この協定には、企業の人材ニーズに関する調査研究や学生に向けたキャリア意識に関する調査研究、人材教育の現状・課題と新たな教育課程の設定に向けた意見交換の実施などが含まれている。連携協定締結から4年目となる本年度は、昨年度に引き続き、社会人講座と企業訪問を実施し、キャリア教育の構築や企業の採用活動に有益となっただけでなく、地方創生の観点からも大きな成果を得ることができた。

本研究に於いては「早期から企業訪問や社会人との接点を増やすことで、学生の就業・キャリア意識を向上させることができる」との仮説を立て、学生と企業の接点を可能な限り多く設定することに主眼を置いた。対話の中から得られる社会人の実際の生活、就業への意識や取り組み方、プライベートでの過ごし方、地方で働くことの魅力などについての情報が、学生の持つ既存の大人像とは異なることを想定しており、またその対話や実際の訪問の経験から、学生がどのような心境の変化を起こすのか、また起こさないのかを調査するために講義や訪問（フィールドワーク）を企画することとした。

研究成果は、本学のカリキュラム編成、キャリア教育、就業支援に寄与できるものであり、企業にとっても学生が就業前に抱えている不安や就業後への期待を知る機会となり、新卒社員の育成・コーチングを検討する際の一助となることを期待している。さらに大都市圏だけに固執しがちな学生の就職活動に対して、一石を投じるアンチテーゼになれば幸いである。

2 事業内容

2.1 社会人講座

社会人講座は2015（平成27）年度から継続して実施しており、今回の開催が4回目となる。キーワードは[道内企業][中小企業][地方企業][経営者または重役]である。今回は5名を講師として招聘し、事業の内容や仕事への取り組みについて学生と直接対話を行うスタイルで講義を行った。ラウンド形式で1社15分とし、参加学生全員が全社の話を聞けるようにした。また、昨年度同様、研究の趣旨から、事業の様子だけでなく、仕事以外の生活やプライベートでの活動など、学生と社会人の違いについても触れていただくよう依頼、学生がリアルな「社会人」を感じることで、自ら持つ社会人のイメージが変化したかを、受講後のリアクションシートから分析した。

日程の都合上、スポーツ人間学部2年次生125名、短期大学部総合生活キャリア学科1年次生57名のみを対象とせざるを得ず、全学を対象とできなかったことは残念であったが、

受講者は経営者の思考や社会人の就業観についてイメージをつかむことができたようであった。

日程：2018（平成30）11月21日（水）13:00～14:30

場所：1号館4階

授業名：スポーツ人間学部「キャリアデザインⅡ」内、総合生活キャリア学科「プレゼン

テーション応用」内で実施

講師：①サービス業（紋別市）

株式会社きたみらい 代表取締役 岸山絵里子 様

②ホテル業（阿寒町）

鶴雅リゾート株式会社 総務人事部 次長 久保田哲正 様

③飲食業（苫小牧市）

株式会社久恵比寿 代表取締役 畑中 稔 様

④介護福祉業（留萌市）

株式会社ファミリーケアサポート 代表取締役 田中 卓 様

⑤ホームセンター（北見氏）

株式会社坂本ホーム様 代表取締役社長 坂本 勤 様

実施方法：5つの教室に学生を分散させ、1教室あたり30名前後、1社15分のラウンド形式で開催、1回の講義終了後、講師は教室を移動、5回終わった後、学生はリアクションペーパーへの記入を行う。





社会人講座の効果と以降の展開

講師のアレンジメントは道商連と本学とで調整し、学生と積極的に関わりたい会員企業から選出した。講義内容については事前打ち合わせのみであったものの、詳細な注意事項を渡してあったため、最も危惧していた「単なる会社説明会」に終わることなく、各講師の身の上話から業務でのエピソード、また社会人の先輩としてのアドバイスなど、「リアル」な社会人としての話題提供、意見交換が行われた。参加学生の反応については詳細を別途報告とするが、大きく分けると以下の三点の理解を深めることができた。

- ① 認知していない業種・業界が数多くあること
- ② 社会人としての生活が必ずしも仕事一辺倒ではないこと
- ③ 地方に衣食住を構えることのメリットとデメリット

この三点の気づきを、気づきのままで終わらせないため、希望者を募り、企業訪問へと繋げているのが昨年度からの展開である。実際の職場を自分の目で見て、経営者だけでなく若手社員の話も聞き、地方都市に足を踏み入れることで、座学とフィールドワークが融合し、学びの相乗効果も高まっている。また、学生に書かせたリアクションペーパーを企業に渡すことで、今どきの学生の価値観、企業の捉え方など大変興味深い内容となり、自社の採用活動や若手社員の研修にも活かしていきたいという動きも出始めている。

2.2 企業訪問（概要）

社会人講座終了後から、講師所属企業への訪問を企画した。社会人講座で関心を持った企業への追加調査という形で、学生による情報収集または職場見学を実施し、ただ講義を聴くだけではなく、フィードバックとしての機能を企業訪問に持たせることを意図したものである。昨年度と違うところは、全員の学生が自主的に応募してきたということである。昨年度は手探りの説明であったが、今年度は昨年度の様子を見せながら説明できたことや、社会人講座における講師のインパクトが強かったことも要因として考えられる。

日程：2019（平成31）年2月12日～15日（北見、紋別、阿寒）

2019（平成31）年2月19日～20日（稚内、留萌）

2019（平成31）年2月26日（苫小牧）

訪問企業：株式会社ホームセンター坂本（北見市）株式会社きたみらい（紋別市）鶴雅リゾート株式会社（阿寒町）なかせき商事株式会社（稚内市）株式会社ファミリーケアサポート（留萌市）株式会社久恵比寿（苫小牧市）

※なかせき商事株式会社は社会人講座には参加せず



2.3 企業訪問（企業別詳細）

① 株式会社ホームセンター坂本（訪問日 2019 年 2 月 13 日）

会社名 株式会社ホームセンター坂本
所在地 北海道北見市中央三輪 6 丁目 443 番地 1
代表者 代表取締役社長 坂本 功
創 業 1985（昭和 60）年 7 月 25 日
資本金 2,500 万円
売上高 7 億 8,000 万円
社員数 25 名
※2019 年 4 月 30 日時点

<北見市概要>

面積は全国で 4 番目に広い 1427.56 平方キロメートル。石北峠から常呂地区のオホーツク海まで 110Km は「箱根駅伝」の距離に相当する。女満別空港は臨空拠点として、観光・物流の飛躍的發展を全国に中継し、オホーツクエリアの可能性を発信している。世界一を誇るのは、ハッカの生産量（昭和 14 年当時）、世界最大級のからくりハト時計塔「果夢林（カムリン）、堅穴式住居の数であり、日本一を誇るのは、玉ねぎの生産量、ホタテの水揚げ量、白花豆の生産量、カシワの木、カーリング（オリンピック出場）、エゾムラサキツツジ群落（おんねゆ温泉つつじ公園）、水銀含有物リサイクル施設である。なお北海道一を誇るのは、焼肉店数（人口あたり）、最初にできた地ビール（製造免許を申請・受理は日本一）である。なお、平成 31 年 3 月のハローワーク北見の有効求人倍率（原数値）は 1.08 倍（前年度同月より 0.15 減少）である。

<訪問記>

北見市に限らず道内地方都市に共通するのは若年層労働者不足であるが、これはひとえに大学新卒者の U ターン率の少なさに尽きる。今回訪問した地域はどこも同じ悩みを抱えているが、訪問学生による学生目線での企業・地域発信には限界があり、やはり企業と行政による積極的な発信がなければこの問題は解決しないだろう。

同社の場合もホームセンターに併設してアウトドアショップを展開している。社長の尽力で有名アウトドアメーカーの商品も扱えるようになり、これには学生も目を輝かせていた。北見出身の学生ではないが、札幌のスポーツショップでアルバイトをしており、偶然にもアウトドア商品の売り場担当であった。本人も将来はこのような仕事を希望しており、働く地域にもそれほどこだわりのない。むしろ道外へ出るよりは道内に残って働きたいという希望を持っている。偶然が重なった出来事であったが、これほどまでに学生を引き付

ける魅力があるのであれば、惜しむらくは現在の情報発信力である。社長自身も熱い情熱を持っているがゆえに残念でならない。

学生との質疑応答では、道路を挟んで真向かいにある国内屈指の大手ホームセンターに関する質問が出た。これはいずれ社会に出る学生諸子にとって、どの仕事に就いても遅かれ早かれ直面する問題である。しかし、少なくともここ北見市では客層の棲み分けができており、古くからこの地に根を下ろして商売をしている同社を訪れるお客様も多いらしい。むしろ相乗効果もあるらしく、決して悪いことばかりではないそうだ。





② 株式会社きたみらい（訪問日 2019 年 2 月 13 日）

会社名 株式会社きたみらい

所在地 北海道紋別市落石町 2-20-23

代表者 岸山絵里子

創業 昭和 62 年

※2019 年 4 月 30 日時点

<紋別市概要>

紋別市は、冷涼で低湿な北海道内では比較的穏やかな気候に恵まれ、道内でも早くから漁場として開け、その豊かな「海」に支えられた大自然を活かした『水産業のまち』として発展して来た。そしてオホーツク海の中央に位置する紋別港は『重要港湾』に指定され、移出入のみならず水産物を中心とした海外との重要な貿易港でもある。同時に紋別市は農林業も盛んである。農業では酪農や畜産、畑作などが営まれてきている。酪農の中心は乳牛・肉牛で、毎日 160 トン以上も生産される牛乳は市内の工場で新鮮な乳製品に加工され出荷されている。また畑作では、海に負けないぐらいの恵みをもたらし豊かな大地の中で古くからの主幹作物であるビートのほか、スイートコーン、じゃがいもの生産が取り組まれ、オホーツクの食料生産基地として歩んでいる

<訪問記>

株式会社きたみらいの創業は昭和 62 年で、最初は商店からスタートした。現在では仕出し関係の仕事をメインに行い、最近では学校給食やお年寄りの方用の宅配弁当、地域のイベント時のお弁当など手がけている。今回の研究では、BtoB 企業における仕事の流れ・可視化もテーマの一つだっただけに、自社が取り引きをしている幼稚園にまで行けたのは大きな成果であった。この体験で「取引先との付き合い方」だけではなく、「業務の複線化」や「お金の流れ」についても学んだのではないだろうか。また、社長のほかにもスーパー

バイザーや 2 名の若手社員が登場してくれた。それぞれのヒューマンヒストリー（入社動機～キャリアの遍歴）についても語ってくれたので、将来を考えるうえで参考になったであろう。

スーパーバイザーは前職を定年退職され直ぐに同社から声が掛かったようだ。これはどんな仕事でも日々きちんとなしていれば、誰かが必ず見ていてくれて声をかけてくれるということである。人生 100 年時代のマルチステージを考えるとこのような生きた事例こそこれからの人生を考えるうえで教本となる。同社は会社こそ小さいが、地方の小企業で働くことのメリット・デメリットも若手社員から聞くことができた。





③ 鶴雅リゾート株式会社（訪問日 2019 年 2 月 14 日）

会社名 鶴雅ホールディングス株式会社

所在地 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 4-6-10

代表者 代表取締役社長 大西雅之

創 業 昭和 31 年 3 月 16 日

資本金 5,000 万円

売上高 107 億円

社員数 683 名

※2019 年 4 月 30 日時点

<阿寒町概要>

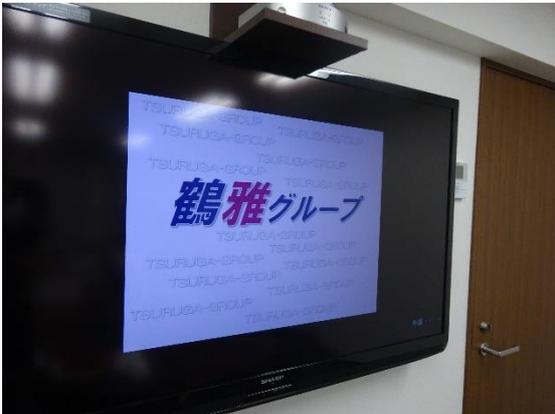
阿寒町（あかんちょう）は、北海道東部、釧路支庁管内の阿寒郡にあった町であり、マリモで有名な阿寒湖を有する。町名はアイヌ語由来であるが、その語源については諸説あり、アカム（akam 車輪）とする説やラカン（rakan ウグイの産卵）に関係するという説、地震の時雄阿寒岳が動かなかったことに由来するという説がある。釧路市から北西約 40km に位置。阿寒湖から南流する阿寒川の流域を占め、町域は南北に細長い。阿寒川に沿うように国道 240 号が縦断している。中心である阿寒地区は南部の釧路市に近い場所にあり、ここに町役場が置かれていた。北部は阿寒摩周国立公園に属し、阿寒湖、阿寒湖温泉を有する山岳地帯であり、一年を通して全国、海外特にアジアから多くの観光客が訪れる。かつては雄別炭鉱を中心とした炭鉱の町として栄えていたが 1970 年 2 月に閉山。街は大打撃を受けた。現在は酪農、畜産、阿寒湖を中心とする観光が基幹産業。釧路市との合併後、もとの阿寒町役場は阿寒町行政センターとなった。

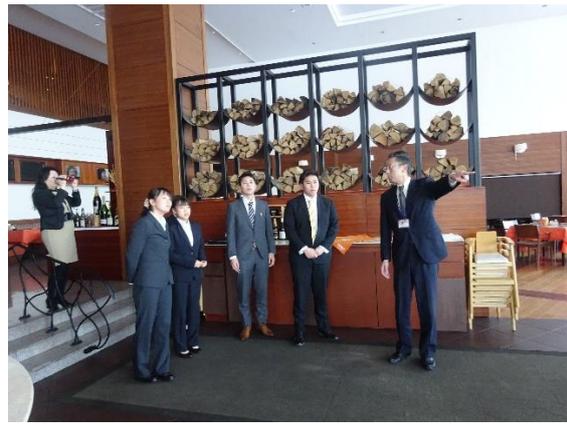
<訪問記>

全国的な観光地として有名な阿寒湖温泉であるが、札幌からの距離は決して近くない。ましてや働くとなるとそこに衣食住を構えることになり、それに対して抵抗を示す学生が少なくない。インバウンド客で賑わう同ホテルであるが、今回は「働く」と「住む」について考えさせられた訪問である。

ここ数年離職率の上位は、飲食業と宿泊業で揺るぎがない。AIが普及する近未来までは言及できないが、少なくとも現時点では二業種とも人海戦術を取らざるを得ない業態である。「人材」より「人手」という次元で停滞している企業も多い。しかし同社社員から感じられたのは、見た目には疲弊したスタッフが少ないことである。

今回は様々な部署を案内してもらい、ホテルにも宿泊し、ある種ミステリーショッパーのように同社を体感したわけであるが、ワークライフバランスをスタッフ自らが意識しているのではないだろうか。そして同社もそういう働き方を奨励しているように思えてならない。今回は本学のOBも参加してくれたが、彼自身、出身が札幌で、就職は東京を考えていたものの、大学時代のインターンシップで知った同社に就職した。人脈が減りこそすれ増えることはないと思っていたらしいが、全国各地からやってくる宿泊客と毎日新しい出会いがあるそうだ。また、休みが長期で取れるため、普通の企業では経験できない休みの過ごし方をしている。あえて言うならば、少し小さめなヨーロッパのバカンスという表現が適切だろうか。ホテルの仕事についてもいろいろと話は聞けたが、学生にとって一番ためになったのは「新しいスタイルの働き方」を目のあたりにしたことだろう。





④ なかせき商事株式会社（訪問日 2019年2月19日）

会社名 なかせき商事株式会社（平成21年8月1日社名変更）

創業 昭和24年4月

設立 昭和38年3月

資本金 4,560万円

稚内本社 稚内市中央5丁目2-31

旭川本社 旭川市末広4条3丁目3-18

拠点一覧 札幌事務所 | ベンリー環状通り豊岡店 | ベンリー札幌美園店 | ベンリー
札幌琴似店 | 留萌事務所

営業内容 石油製品の卸・小売販売 | 液化石油ガスの卸・小売販売 | アスファルトの販
売 | ガソリンスタンドの経営 | 自動車の軽整備・法定点検業務 | 自動車部
品・用品の販売 | 各種暖房機器・各種ガス器具販売 | 各種住宅設備機器の販
売 | 消火器及びその薬品の販売 | 家電製品の販売 | 贈答品・産直品の販売 |
健康食品の販売 | 服飾品・宝石・貴金属の販売 | 潤滑油の販売 |
カーリース業 | 建設業における管工事・下水道工事の請負業 | クリクラ北海
道 販売代理店 | 便利屋FCベンリー加盟店

代表者 代表取締役 岡田 清一

年商 平成 30 年度 74 億 4 千万円

平成 29 年度 65 億 6 千万円

平成 28 年度 51 億 3 千万円

※2019 年 4 月 30 日時点

< 稚内市概要 >

日本最北端に位置する稚内市は、宗谷海峡をはさんで東はオホーツク海、西は日本海に面し、宗谷岬からわずか 43km の地にサハリン（旧樺太）の島影を望む国境の街である。「水産」・「酪農」・「観光」を基幹産業とする宗谷地方の行政、経済の中心地であり、隣国ロシアとも交流が深い。サハリン州をはじめとする北方圏諸国への玄関口としても知られている。人口は平成 29 年 12 月末日現在で 34,834 人（男 17,097 人、女 17,737 人）となっており、18,114 世帯である。年齢別に見ると、60 歳代の割合が最も多く、40 歳代、50 歳代、70 歳代と続いており、約 3 人にひとりが 60 歳以上となっている。また、外国人は、362 人が稚内市民として登録されている。日本の最も北にあり、宗谷海峡を中心にオホーツク海、日本海に面している稚内市は、利尻礼文サロベツ国立公園を有する、豊かな自然環境が広がっている。平均気温は 7 度前後で、最高気温は 22～28 度、最低気温はマイナス 10 度～14 度となっており、冬になると宗谷岬の海には、流氷が接岸することもある。稚内信用金庫は別格として、他都市と比べたとき、定期的に新卒採用をしている企業が少ないのが U ターン率を下げている要因と思われる。

< 訪問記 >

稚内と旭川の二都市に本社を持つ同社であるが、事業領域は広い。石油の卸売り～ガソリンスタンド経営を柱として、様々な分野に果敢にチャレンジしている。

訪問当日は採用担当者以外にも、取締役一名、若手社員二名が参加してくれた。本社のほか、運営しているリハビリ施設の見学もさせていただいたが、貴重だったのは終礼への参加である。社会経験のない学生にとって、朝礼や終礼のようなものは極めて珍しく、そ

の瞬間に立ち会えたことは今回の収穫のひとつであった。

また、全員が稚内に来たことがなかったため、それまでのイメージも「何もないところ」というステレオタイプなものであったが、失礼ながらコンビニエンスストアがあることに驚いていた学生もいた。札幌にあるドラッグストアや全国展開しているレンタルCDショップ、飲食店などが普通に存在していることも新鮮だったようで、「便利ではないが不便でもない」というのが率直な感想であろう。また、若手社員との座談会では、当然ながら「稚内で働く」ことより「稚内に住むこと」のほうに質問が及んだ。「普段の生活で特に困ることはない」「たまに札幌へは遊びに行くのでそれで十分」「転職するとなれば札幌を飛び越えて東京へ出る」等々、現在のライフスタイルに特段悩んでいる様子も見られなかった。札幌の学生はとかく「札幌で生まれ育ったので、働くのも札幌で」と思いがちだが、その是非はともかく、凝り固まった固定観念に一石を投じたのは間違いないだろう。また、一度入社したものの、転職をしてから、また戻ってきたという貴重な経験も聞くことができた。昨今、巷を賑わせている働き方改革であるが、そのように柔軟な雇用を既に同社は実施しており、そのためには日々の仕事をきちんとこなすことが次のステップに繋がるということも実感したのではないだろうか。





⑤ 株式会社ファミリーケアサポート（訪問日 2019年2月20日）

会社名 株式会社ファミリーケアサポート

創業 平成12年4月（法人設立平成13年12月）

代表者 代表取締役 田中 卓（社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、介護福祉経営士1級）

資本金 800万円

本社所在地 〒077-0007 北海道留萌市栄町一丁目5番6号

従業員数 102名（平成29年6月現在）

※2019年4月30日時点

<留萌市概要>

留萌市は北海道の北西部に位置し、ニシン漁とともに発展し、日本一の生産性を誇る「かずの子」をはじめとした水産加工業、国の重要港湾「留萌港」と国道3路線の結束点、さらに高規格幹線道路留萌深川自動車道の整備といった交通・物流の拠点、国や北海道の官公庁が集積した市である。

市の地形を概観すると、東西に走る留萌川を中心に両翼には平原、丘陵が続き、南側の

地形は比較的高度のある山並みがあり、北部は低位な丘陵地である。豊かな自然に恵まれた同市は、西には日本海、南北には暑寒別天売焼尻国定公園が連なり、暑寒別山系をはじめ夢の浮島といわれる天売・焼尻が望まれる。特に晴れた日には、遠く利尻の島影が夕陽の輝く日本海に浮かぶ姿が見られ、風光明媚な市である。

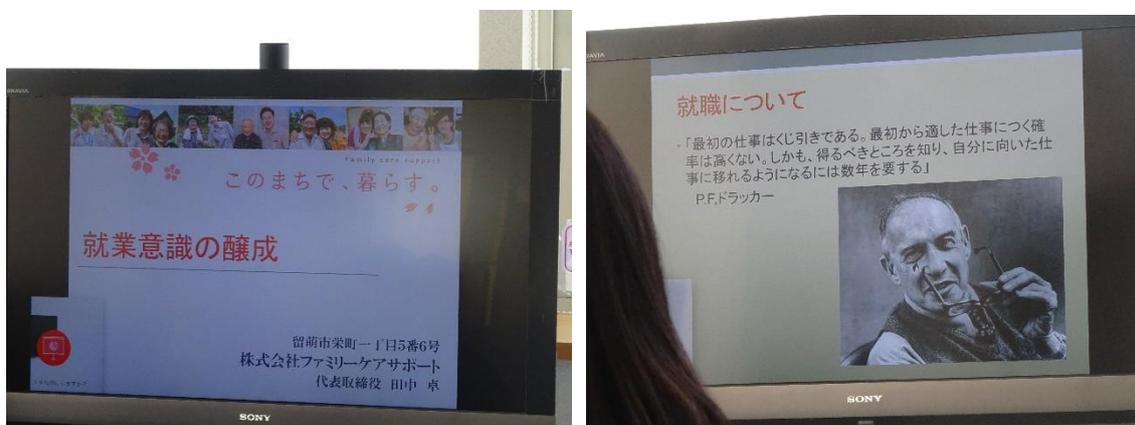
また、市を挙げてU・Iターン就職に力を入れており、留萌出身者にこだわらず留萌市で働きたい人、留萌で暮らしたい人を応援している。そのために、Uターン人材推進奨励金制度を設けている。これは企業がUターン等の就職を希望している社会人を雇用するためにその就職に係る費用（面接・就職等）を負担した場合、その企業に対して奨励金を交付する制度である（企業負担の3分の2、限度額30万円）。

<訪問記>

同社は人材育成に力を入れている。社長もまだ若く、社員に賭ける思いは熱い。同社のテーマは二つ、「人間力」と「専門性」である。どれだけ経験が長くても、資格を沢山保有していても、礼儀がなく挨拶ができない人は認められない。しかし、笑顔がどれだけ素敵でも、プロとしての専門性がなくてはいけない。それを踏まえ、人間力と専門性の人材育成をバランス良く計画的に研修で取り入れており、同社の人材育成部が年間計画を立案し全社で年間3,000時間の研修に取り組んでいる（平成27年実績2500時間）。

「福祉」と「介護」、業界としてこれから伸びることはわかっているものの、専門的な学びを大学で経験していないと二の足を踏んでしまう業界でもある。働く側が疲弊しているという負のイメージが付きまとい、積極的に就職しようとは思わない業界であるが、同社の社風を感じ入った学生も多かったのではないだろうか。それはひとえに「明るさ」と「おもてなし」である。

さらに社長自身が大変な勉強家であり、今回の訪問に関してもその意図を把握してくれて、冒頭は就職活動に関する講話をしてくれた。ドラッカーについての話などもしてくれたため、大学で教わった座学が腑に落ちる瞬間を感じたはずである。「地方都市」「不人気業界」という二つの括りだけで遠ざけるのはもったいない会社だ。





⑥ 株式会社久恵比寿（訪問日 2019年2月26日）

商 号 株式会社 久恵比寿

本 店 北海道苫小牧市新富町2丁目3番4号

創 業 昭和35年7月

資本金 900万円

代表取締役社長 畑中 稔

従業員数 250名

- 事業内容
- ・飲食店業
 - ・フランチャイズチェーン店の加盟店募集及び加盟店の指導業務
 - ・フランチャイズチェーンシステムの研究開発、新店舗展開に関する立案と市場調査
 - ・食料品の販売
 - ・飲食業、流通業に関する経営コンサルティング業務
 - ・インターネットを利用した商品広告及び商品販売並びに斡旋業務
 - ・ホテルや福祉施設へ寿司のデリバリー供給
 - ・デザイン制作
 - ・スポーツ団体への支援

※2019年4月30日時点

< 苫小牧市概要 >

苫小牧市は、室蘭市と共に道内屈指の工業都市として知られており、製紙業などが盛んである。日本一食べにくいお菓子として一部で有名だった「よいとまけ」を製造・販売する株式会社三星の所在地でもあり、北寄貝の漁獲量が日本一の街でもある。

またスポーツ都市宣言を行っており、高校野球で有名な駒澤大学附属苫小牧高等学校が市内にあったり、スケートやアイスホッケーが盛んであったりとスポーツに力を入れている都市である。

観光名所としては、山頂から支笏湖を一望できる樽前山や、植物の宝庫・野鳥の楽園として知られるウトナイ湖などがある。交通面は道内でもかなり発達しているほうであり、鉄道は JR 室蘭本線・千歳線・日高本線が走っている。市の中心駅である苫小牧駅には函館・室蘭方面へ向かう特急列車が停車するほか、札幌まで普通列車一本で行ける。高速道路は道央自動車道および日高自動車道が走っており、市内にある苫小牧東 IC で接続している。また、苫小牧駅から東に 3km 程の地点にある苫小牧港（西港）には八戸・仙台・大洗・名古屋からのフェリーが、隣の厚真町まで跨る苫小牧港（東港）には秋田・新潟・敦賀からのフェリーが到着する。さらに、新千歳空港の敷地の一部は苫小牧市にまで跨っている。このように、同市は陸・海・空すべてにおいて交通の要所となっている。

< 訪問記 >

外食産業でアルバイトをしている学生は多いが、就職先として積極的に選択する学生は少ない。それは何故だろうかー仕事の中身が容易に想像しやすい、仕事内容がアルバイトと変わらない、人手不足で休みがない、薄給である等々、挙げていけばキリがない。しかし、店長ではなく社長の話を聴く機会というのはアルバイト先でもそうある経験ではない。社長自身が大変な苦勞人であり、勉強家でもあることから、常に革新的な考え方を持って自社を運営しているが、大事な点はサラリーマン社長ということである。

地方都市の場合、その是非はともかく、代々続いているオーナー企業が多い。しかし同社は同族経営をやめ、人事の刷新を行ったのである。これが同社にとってひとつのターニングポイントになったのではないだろうか。

学生との座談会でも、社長自ら全て答え、どの回答においてもユニークな発想から繰り出される内容であった。「どの会社で働くか」「どの都市で働くか」も大事であるが、「どの人と働くか」「どの社長の下で働くか」という視点も必要と思わされた訪問であった。老人福祉施設からの要望で始まった一件の出張握りが、今や数倍にも売り上げが伸び、お年寄りからも大好評ということを考えて、ビジネスチャンスはどこにあるかわからず、それがCSRにも繋がっているのは特筆に値する。





2.4 成果報告会～今後の課題

社会人講座～道東・道北・道央における企業訪問を経て、自分たちの「学び」や「気づき」「発見」についての成果報告会を開催した。

日程：2019（平成31）年3月18日（月）

場所：札幌国際大学2号館4階

参加企業：株式会社きたみらい（紋別市）／なかせき商事株式会社（稚内市）／株式会社久恵比寿（苫小牧市）／株式会社ファミリーケアサポート（留萌市）

参加団体：一般社団法人北海道商工会議所連合会

「これまで大企業で働くのが格好いいと思っていたが、自分も一緒に会社を作っている地方の中小企業もいいと思った」「初めて訪問した地方都市だったが、社会人の話を聴いて地方都市の生活スタイルがよくわかった」など、学生ならではの意見が多かった前半のプレゼンテーションであった。後半はフリートークであったが、どうやったら地方が活性化するか？についてのディスカッションも行われた。情報や物流の格差も昔より少なくなり、自然豊かな地方都市で暮らす利点は増している。悪い面だけでなく、このような良い面をいかにして学生が理解し、企業側も発信していくかが今後の課題であろう。









3. 学生の学び（訪問直後のインタビューコメントから）

参加学生は、前述したように、訪問後に各チームで意見を共有し、成果報告会に向けた資料やプレゼンテーションの作成を行い、フリートークにも参加し意見を述べたが、それだけでなく、訪問直後に感じた各自の率直な感想・意見を、訪問ツアーの最終日に、ビデオカメラに向かって語る形で残している。各学生のコメントを以下にまとめる。

① スポーツ指導学科1年 藤 美風（道東、苫小牧参加）

現在一人暮らしをしており、自炊に苦労しているので、働きながら自分で生活ができるかという不安があったが、寮のある会社で生活している方のお話を伺って、寮があるところ、というのを条件に考えるのも一案だと思った。

全体を通して、仕事を辞める理由が、仕事そのものが嫌になったというケースよりも、人間関係が原因になることが多いと知り、今後の目標として、うまく人間関係を築けるようになることが大事だと思った。

また、一つの仕事を長く続けている人は、最初からやりたいこととプランが明確に決まっていることが多いと感じた。やりたいことは決まっているので、私はそれを続けられるように、今からしっかりプランを立てて進んでいきたいと強く思った。

② スポーツ指導学科1年 平井 ひかる

今まで全く知らなかった、企業の、人々の働く現場を実際に訪問してみて、世界が大きく広がった。今までは、「客側」の立場でしかものを見られていなかったのだということを実感した。実際に働く方たちのお話を聞き、裏側の現場を見てから、表の世界を見たとき、従業員の動き方や対応、お店のディスプレイなどを、働く側の視点からみられるようになった。特に、鶴賀では、以前客として家族で利用したことがあったため、従業員の方のお話を聞いた後自分の見方が変わったことをより強く実感できた。今

後、様々なところを客として利用する際に、客側の視点からだけでなく、働く人の視点でもものがみられるようになったと思う。この自分の変化が、今回一番の成長だと考える。

どの企業でも、最初は挫折することがあるが、それを乗り越えられるように日々学びながら成長するのだとおっしゃっていた。就職してすぐは、不慣れで未熟な自分たちならば、注意され怒られることも当然だと考え、すぐに逃げ、やめるのではなく、続けていける力を今からつけていきたい。

皆さんが口々に、毎日が勉強だとおっしゃっていた。今でも、学内だけでなく、ボランティアやアルバイトなど、大学の外で活動することで学ぶことが大きいと実感しているので、今後も、活動の場を広げ、チャンスを利用し、成長を続けたいと、より強く思うようになった。今回は特に、企業の方とお話ししたため言葉遣いは相当勉強になったと感じている。

③ スポーツ指導学科1年 星屋 沙弥佳

参加する前は、上司は部下に指示する人、というイメージがあったが、今回見学したどの企業でも、上司と部下が一つのチームとなって、ともに会社を成長させていこうとしている感じが伝わり、そのチームワークがうまくいっているところが成長する企業になるのではないかと考えた。

そのうえで、今回ともに訪問した2年生の先輩方が、1年しか変わらないのに、先生に対して、訪問先の方々に対して、後輩である自分たちに対してもさりげなく細やかな気遣いができていて、こういうことがよい人間関係、チームを作るのに大事なのもかもしれないと感じた。自分も今後そうできるようになりたいし、特にこうなさいと言うわけではなく、自分たちの行動で私たちに学ばせてくれたので、自分も先輩という立場になったら、そのような存在になりたいと強く思った。

参加する前は、社会で働いたら、女性のほうが下に見られるのかな、と漠然と思っていたのだが、現場で女性の方が対等に働いている姿を見ることができたし、きたみらいへの訪問で特に、女性が働きやすい環境が今はかなりできてきているのだと実感することができた。出産後も、女性の働く場所が用意されているのだと実感することができて、結婚出産したら働く場所がなくなるのだろうかと感じていた不安が解消され、将来働くことに対してより前向きになれた。

仕事が好きでと強く関わっている人は、やはり多少つらいことがあっても乗り越えられるのだと思った。まだ、これができるなら…と思えるほど好きなことが見つからないので、探してそれを仕事につなげたい。

若手社員の方々のお話で、新人のうちにはつらいこと、挫折することも多いが、努力して乗り越えられないことはないし、その先にこそ楽しさがあるのだと実感することができた。仕事をする未来に対して、前向きになれた訪問だった。

④ スポーツビジネス学科2年 佐藤 郁弥

鶴賀では、従業員の方々の動きなどに注目して過ごしてみて、ただ宿泊するよりもずっと楽しかったので、ものの見方を変えるだけで倍楽しむことができるのだと実感した。

地方の企業を間近で見る機会が初めてで、思っていたより、社員の方同士の距離が近くていいと感じた。小さいところは特に、訪問しているその間だけでも、お互いが理解しあって楽しそうに働いている雰囲気が伝わった。鶴賀のような大きな企業でも、寮で生活を共にし、休憩時間などもみんなで楽しく過ごしている様子を伺って、社会人は生活の中でも、仕事の中でも、思っていたより楽しんでいるということを実感させていただいた。特に鶴賀では、ホテル業といえば朝早くから夜遅くまで働くというイメージしかもっていなかったのだが、実は間に長い休憩をとって、その時間を有効に使っていたり、同僚と休みを合わせて遊びに行ったりしているのを伺い、社会人＝遊べないというイメージが覆された。

実際に訪問してみると、事前に考えていた質問以外にも、どんどん聞きたいことが出てきて、自分でも思ってもみなかったようなことも質問でき、さらにそれに親身になって答えていただけたので、本当にいい勉強になった。

まだ具体的な将来の夢はないが、皆さんが口をそろえて、「やりたいことをやったらいいよ」とおっしゃったので、とりあえずやりたいことをやってみようと思えた。みなさんの姿から、「やりたいことができて大人は本当にカッコいい」「何よりも、やりたいことがあるということがカッコいい」と強く思った。さらに、それを極めていけるということは本当にすごいことで、とても尊敬できると強く感じたので、自分が本当にやりたいことを早く見つけ、それに向かってどんどん勉強していきたいと思っている。

まず手始めに、今もアルバイトで、自分の興味関心のある分野で働く経験はできているので、卒業するまでずっと続けていきたいと思うようになったし、今後就職に向けては、そういった「経験」を大事にしたいと考えている。

⑤ スポーツビジネス学科2年 塚越 賢悟

一番良かったと感じるのは、このような機会でもないと訪れることがないような地域を訪問でき、そこで見聞きする様々なことを通して考え、自分の視野を大きく広げられたことである。

北海道、特に地方は、若い人たちが少なく、活気がないイメージがあったが、実際に回ってみて、地元出身でもない若い世代の人たちが、その地方を盛り上げるために頑張っている様子を目の当たりにして、都会にこだわらず、自分の力で楽しめる場所を作るために地方で働くこともおもしろそうだと感じた。

その地方を盛り上げていくために自分の会社を盛り上げていこうという考えの元、地元の人たちを巻き込んで、それを牽引するような働き方をするのもおもしろそうだと強

く思った。観光資源のある地方で、よそから来た人たちに、その土地の良さを伝える仕事は楽しそうだと思う。また、外の人が楽しみに訪れてくれるような場所を作るために動き、たくさんの人を楽しませることができる仕事は、面白いだろうと感じた。自分は人とコミュニケーションをとることが好きなので、人と接して、その地域を盛り上げていく仕事はやりがいがあるだろうと思う。

苫小牧訪問時に伺った『無敵の社員の方方程式(タフ、アクション、インテリジェンス、野望、謙虚)』の中で、自分は野望以外の条件はクリアできそうだったと思ったが、野望といえるほど強い望みがまだないので、それを見つけていきたい。訪問先と同じ業種でアルバイトをしている友人もいるが、意識が低いというか、仕事はしているだけで、大事にしておらず、目標もなく向上心もそれほど感じられないのに対し、お話を伺った社員の方々はやはり、よりよくしていこうとする意識、目標の持ち方が全く違った。

まだ就職活動まで時間があるので、たくさん企業を実際に見て、いろいろな分野の仕事を知って、自分は何がやりたいか絞っていきたくとさらに強く思った。説明会などでは話してもらえないことも多いと思う。現場の生の声を聞き、自分で見て、自分で質問することは、本当に貴重で素晴らしい機会だし、とても大事だと実感している。ホームページやパンフレットからだけではわからない、現場の人と現場で直接接してわかることは多いはずだ。今後も機会があれば積極的に参加していきたい。

⑥ 総合生活キャリア学科(短大) 1年 島津 舞華

初めて道北を訪れ、名前しか聞いたことのない都市を歩いて、自分が知らない土地でも人々は普通に生活をしているのだと実感し、視野が大きく広がった気がする。

同じ年でもう働いている友人はいるが、友人としてではなく「社会人」として話を聞く機会はなかなかない。今回、留萌で若手社員の方とグループワークをさせていただき、同じ年でもすでに仕事をしている人は、こんなにもしっかりしているものなのか、と大きな衝撃を受けた。学生である自分が見ることのできない視点でものを見ていると思う。「自分のミス」のとらえ方が、私と違ってとても繊細で、ミスしたことそのものにこだわってしまうのではなく、全体や先を見る目線でとらえられているのがいいと思った。お話を通してこうした気づきが色々あり、自分もそちらの方向に視野を広げることを教わって、こういう経験のない人、なかった時の自分より成長できたと思う。同時に、社会人として働くようになったら、その生活の中で、自分も学び、こういう考えができるようになるのだろうかという期待も感じることもできた。

⑦ 総合生活キャリア学科(短大) 1年 渡部 ななみ

社会人が、仕事に対して思っている「楽しいこと」を直接聞くことができ、社会人は思っていたよりも自由だと感じ、社会人になることに対してより前向きな気持ちになった。

稚内で、「車をもって、学生時代よりも多くのお金を自由に使えるようになり、行動範囲も広がった」というお話を若手の女性社員の方から伺ったときに、使えるお金にも限界があり、その使い道も日々の作業スケジュールも、自分ですべて決めることがなかなか難しい学生と違って、お金を使うにしても、仕事の進め方にしても、自分で決めて行動できるところに、社会人の自由さを強く感じた。訪問前は、社会人は仕事をして家に帰ったら疲れて寝るだけ、というイメージだったのが、余暇の過ごし方や日々の過ごし方のリアルな話を直接聞いて、考え方が変わった。

大都市の企業よりも、地方の大きくない企業のほうが、達成感ややりがいを直接感じられる機会が多く、人間関係も円滑で、そこで過ごすことを楽しんでいるような印象を受けた。

留萌では、働く前と今で、抱いていたイメージに大きなギャップはなかったかとうがった際、プラス面のギャップは多かったが、マイナス面はあまりなかったとお答えいただいたのが、大変印象的だった。今後の就職活動では、自分も、そういうようなところで働きたいと思い、説明会などでは、仕事のことだけでなく、積極的に、働いている人たちの日常の様子や考え方などを聞いてみたいと思っている。

⑧ スポーツビジネス学科2年 都築 龍

参加する前は、仕事というものは堅いイメージしかなかったが、参加してみて、やりがいや目標を自分で見つけて、アットホームな環境でのびのび働いている様子を実際に目の当たりにし、働くことに対してもっていた怖さがなくなり、安心することができた。

最も印象に残っているのが、留萌で、若手社員の方とのグループワークの際、最後にお話ししてくださった19歳の方である。自分より1歳年下であるにも関わらず、とてもしっかりされていて、自分の目的を明確にして仕事をされていることに、大きな衝撃を受け、自分ももっと頑張らなければ、と強く思った。

地方都市を回ってみて、率直な感想としては、「札幌は何でもあるんだな」ということだが、それは動こうとすればすぐにも動き出せる環境にあるのということだと思う。それを生かさない手はないと思った。交通機関一つ、コンビニエンスストアの数一つとっても、やはり地方よりも恵まれた環境であるといえると思うが、自分が本当にしたい仕事ができるのであれば、多少の不自由は気にならないだろうとも思う。

⑨ スポーツビジネス学科2年 深澤 亮輔

もともとやる前から考えすぎて、失敗を恐れて動けない自分だが、今回の訪問を通じて、「自信をもって行動していいのだ」と感じるすることができた。失敗を多く経験して乗り越えたからこそ自信を持っている方も多かったし、やってみなければできるようにはならない。一人で仕事をしているわけではないので、周りに助けをもらいながら、だんだんできるようになっていけばいいのだと思えるようになった。

稚内で伺った、1年後、5年後、10年後と、目標を先に決めてそれに向けて行動するというお話がとても印象に残っている。先に不安を抱くのではなく、目標を決めておくことで、今すべきこと、できることも明確になり、達成できることで自信にもスキルアップにもつながるといのはとてもいいと思った。自分の就職する会社にそういう制度がなくても、自分で取り組んでみたいと思ったし、今これからの学生生活の中でも、目標を決めて達成していきながら先を目指したいと思う。

今の時点では、自分が熱意をもって取り組んでいる「マラソン」という分野に関わって働くことができるというのが理想だが、そうでなかったとしても達成感や満足を得られることは何かと探し、それに向けて努力していきたいと感じている。

地方都市は、札幌よりも不便ではあるかもしれないが、仕事して生活するという観点で見れば、あまり問題になるとは思わなかった。やりたいことができることが最優先で、場所はどこでもなんとかなるだろうと思うことができるようになったのはよかったと思う。





First Impression



女性と仕事について…



仕事をする事、働くこと



訪問前後で変わったこと



勉強になったことは…？

平成 30（2018）年度 奨励研究

住民との協働による能動的学修の展開

～今金町美利河地区をフィールドとしたプロジェクト学習の推進～

事業報告書

札幌国際大学

目 次

I	研究概要	1
	1 研究の目的	
	2 研究組織	
	3 推進体制	
	4 調査研究スケジュール	
II	活動概況	3
	1 第1回 合同フィールドワーク（7月21日～22日）	
	2 第2回 テーマ別フィールドワーク（9月～11月）	
	3 第3回 合同フィールドワーク（11月17日～18日）	
	4 第4回 報告・意見交換会（2月12日）	
III	プロジェクトの成果と課題 ～調査研究を振り返って～	11
IV	資 料	17
	1 美利河地区の地域振興に関する期待度調査	
	2 学生ふりかえりレポート	

I 研究概要

1 研究の目的

本学と地域連携事業の協定を結ぶ檜山管内今金町は、肥沃な土壌や気候の恩恵を受け農業が盛んで日本一の「今金男爵」をはじめ多くの農産物を生産している。また、「日本一のきれいな川」として、その清らかさを誇っている後志利別川などの美しい自然環境や、ピリカ遺跡などの歴史的に価値ある場所も数多く残されている。しかし、同町の美利河地区は、奥ピリカ温泉やスキー場の閉鎖など、地域資源を十分に活用することができず、地域の再生が重要な課題となっている。

そこで、昨年度、同町美利河地区をフィールドとして「健康」「歴史」「観光」をキーワードに、地域課題の解決方策を同町の中学生や町民と協議し、提案を行った。今年度は、提案内容（プロジェクト）を現実のものとするための情報収集、試行検証を重ねる。こうした課題設定、計画立案、実施、反省・評価の一連の過程を通して、プロジェクト学習の教育効果や推進のための資料を得ることを目的とする。

2 研究組織

本研究は、以下の者が担当する。

(代表) スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 教授 佐久間 章
観光学部観光ビジネス学科 教授 横田 久貴
観光学部観光ビジネス学科 准教授 千葉 里美
スポーツ人間学部スポーツ指導学科 准教授 新井 貢
スポーツ人間学部スポーツ指導学科 講師 本多 理紗
人文学部現代文化学科 准教授 坂梨 夏代
縄文世界遺産研究室 室長 越田 賢一郎

3 推進体制

本研究は、札幌国際大学と今金町の共同研究であることから、それぞれ以下の推進体制により、研究を進める。

《 札幌国際大学 》

■スポーツビジネス学科 学生 6名 担当教員 佐久間章

■スポーツ指導学科 学生 3名 担当教員 新井貢、本多理紗

■現代文化学科 学生 2名 担当教員 坂梨夏代、越田賢一郎

■観光ビジネス学科 学生 2名、国際観光学科 学生 2名、担当教員 横田久貴、千葉里美

《 今金町 》 まちづくり推進課 課長 寺崎康史

課長補佐 早坂 靖

企画政策グループ 主事 植村亜耶

地域おこし協力隊 木元 希

4 調査研究スケジュール

3月下旬 次年度プロジェクトについての協議（今金町）

6月（清麗祭） 合同会議 ※実施計画について（大学）

第1回 合同フィールドワーク 7月21日～22日

美利河地区の現地見学及び協議（今金町）

- ・今金町美利河地区のプロジェクト実施地域の現状視察
- ・「ピリカ祭」来訪者へのプロジェクト期待度調査

第2回 フィールドワーク 9月～11月

プロジェクトに関わる情報収集（道内各地）

- ・テーマ別にグループワーク

※担当プロジェクト毎に、情報収集のためのフィールドワークを実施するとともに大学において適宜チーム会議を開催し、発表データ等の作成を行う。

第3回 合同フィールドワーク 11月17日～18日

情報提供及び協議（今金町）

- ・今金町美利河地区のプロジェクト実施に向けての情報提供として、各学科ごとに道内各地で行ったフィールドワークの結果について発表・報告する。
- ・今金町の実行委員会メンバーとの意見交換及び協議

第4回 報告・意見交換会 2月12日

今金町美利河プロジェクト実行委員会からの報告及び意見交換（札幌国際大学）

- ・今年度の同町の実行委員会における検討状況についての報告を受け次年度以降へのアクションプランの策定に向けて、学生・教員との意見交換を行う。

3月18日 担当者打ち合わせ

今年度の成果報告と次年度の取組についての協議（於：今金町）

II 活動概況

1 第1回 合同フィールドワーク 7月21日～22日

(1) 目的 今金町美利河地区におけるプロジェクト実施地域の現状を把握する。また、「ピリカ祭」来訪者へのプロジェクトに関する期待度を調査し、今後のプロジェクト推進アクションプラン作成の参考資料を得る。

(2) 日程

時間	1日目 (7/21日)	2日目 (7/22日)
7:00	8時30分大学出発	
8:00		<ul style="list-style-type: none"> ・今金町美利河地区において「ピリカ祭」参加者への期待度調査
9:00	大学～今金町に移動	
10:00		
11:00		
12:00	昼食 (クアプラザピリカ)	次回の打合せ
13:00	調査日程等・説明	今金町～大学へ移動
14:00		※大学到着 16時30分予定
15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・今金町美利河地区においてプロジェクト実施予定地域の現地調査 	
16:00		
17:00		
18:00	夕食 (ホテルいまかね)	
19:00	本日の調査報告	
20:00	翌日の調査確認	
21:00		
宿泊先	ホテルいまかね	

(3) 活動概況

第1日 (7月21日)

■現地調査



・ピリカ旧石器文化館



・美利河ダム

・ピリカスキー場

第2日 (7月17日)

■期待度調査



ピリカダム会場①



ピリカダム会場②



クアプラザ会場①



クアプラザ会場②



旧石器文化館会場



メイン会場ステージで説明する学生

2 第2回 フィールドワーク 9月～11月

(1) 目的 担当プロジェクト毎に、情報収集のためのフィールドワークを実施する。
大学において適宜チーム会議を開催し、発表データ等を作成する。

(2) プロジェクトと担当学科

①ピリカスキー場「菜の花一面プロジェクト」 スポーツビジネス学科

■「JA たきかわ直売所 菜の花館」において、菜の花関連商品についての調査。



■「空知農業改良普及センター」において、菜の花栽培の留意点等を情報収集。



②水上ライブ／ピリカマルシェ 観光ビジネス学科・国際観光学科

■「剣淵町 Viva マルシェ」担当者へのヒアリング調査。



■えこまち推進協議会主催「観光塾」に参加し、まちづくりについてのヒアリング調査。

③ピリカ旧石器をテーマとした「スタンプラリー」 現代文化学科

■「千歳科学技術大学曽我研究室」へのヒアリング調査。

■アプリ開発の「RALLY」へのヒアリング調査。

④ウォールアート／ピリカスロン スポーツ指導学科

■ウォールアート制作会社へのヒアリング調査。

■ノルベサのウォールアートを実施調査。

3 第3回 合同フィールドワーク 11月17日～18日

(1) 目的 今金町美利河地区のプロジェクト実施に向けての情報提供として、学科ごとに道内各地で行ったフィールドワークの結果について発表・報告する。また、今金町の実行委員会メンバーとの意見交換及び協議を行う。

(2) 日程

11月17日(土)

12:00	今金町民センター着 午後のFWについての打ち合わせ
13:00	実行委員会の発表に向けてのリハーサル等の準備
17:00	夕食
18:00～21:00	実行委員会

7月18日(日)

9:00	旧石器文化館着
9:30	創作プログラムの体験
11:30	クアプラザピリカ移動・昼食・ふりかえり
13:00	クアプラザピリカ発
16:30	大学着・解散

(3) 活動概況

第1日 (11月17日) _____



プレゼンテーションの準備

18:00～21:00 実行委員会

■学生による情報提供（フィールドワーク結果の発表・報告）



■実行委員会メンバーとの意見交換及び協議



■創作プログラムの体験



4 第4回 報告・意見交換会 2月12日(火) 14時～16時

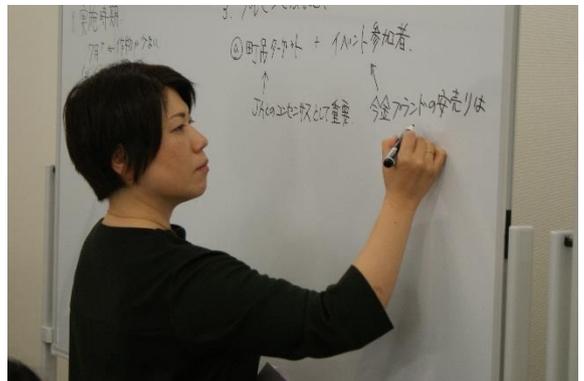
(1) 目的 今年度の同町の実行委員会における検討状況についての報告を受け、次年度以降へのアクションプランの策定に向けて、学生・教員との意見交換を行う。

(2) 日程 14時00分～16時00分

- ・学長挨拶
- ・実行委員長あいさつ
- ・実行委員会活動報告
- ・アクションプランに向けての協議及び意見交換
- ・まとめとふりかえり



(3) 活動概況



Ⅲ プロジェクトの成果と課題 ～調査研究を振り返って～

1 研究の経緯と成果

檜山管内今金町は、肥沃な土壌や気候の恩恵を受け農業が盛んで日本一の「今金男爵」をはじめ多くの農産物を生産している。また、「日本一きれいな川」として、その清らかさを誇っている後志利別川などの美しい自然環境や、ピリカ遺跡などの歴史的に価値ある場所も数多く残されている。しかし、同町美利河地区は、奥ピリカ温泉やスキー場の閉鎖など、地域資源を十分に活用することができず、地域の再生が重要な課題となっている。そこで、去年は、美利河地区をフィールドとして「健康」「歴史」「観光」をキーワードに、地域課題の解決策を、次代を担う今金町の子供たちと協議・提案するというプロジェクトを行った。本学の有する学科の学びを生かすことができるように、キーワードに関連する学科から学生を選出し、ファシリテーターとして子供たちの学びの支援にあたった。こうした活動により、学内での学びを生かし、学生が学外での能動的学修（アクティブ・ラーニング）を展開する上での、効果や課題等の資料を得ることを目的として取組を進めた。

最終的に、中学生が提案したのは以下の7つのプロジェクトであった。

【健康】 スポーツ指導学科、スポーツビジネス学科

高齢化の進展する今金町において、美利河地区を活用した町民の健康増進方策を検討する

【プロジェクト No. 1】ピリカスロン

【プロジェクト No. 2】ピリカマルシェ

【プロジェクト No. 3】水上ライブ

【プロジェクト No. 4】ウォールアート

【歴史】 現代文化学科

美利河地区が有する歴史・文化的な資源を、保護・活用および伝承するとともに、今金町における歴史文化の発信を考える。

【プロジェクト No. 5】ピリカスタンプラリー

【観光】 観光ビジネス学科

北海道新幹線の延伸は、道南エリアの観光振興に大きな期待が寄せられている。観光客誘致および交流人口を増やすための今金町の玄関口となる美利河地区における総合的な観光振興ツールを考える。

【プロジェクト No. 6】スキー場菜の花一面プロジェクト

【プロジェクト No. 7】外国人観光客と地元多世代が集うコミュニティセンター

この提案を広く町民に紹介するため、町内で2月に開催された「人づくりフォーラム」において発表を行った。中学生の提案を可能な限り、実現させてあげようという機運によって、町内の関係団体等が参画する「ピリカプロジェクト実行委員会（事務局：まちづくり推進課）」が組織され、実現に向けて継続的に協議していくこととなった。

一方、この取り組みは、学生にとっての効果も確認することができた。一定程度の大学での学びが活用されていることを調査結果からも、確認することができた。また、社会人基礎力の能力要素についても、事前に比して事後は、12のすべての要素で増加していることを確認した。このような結果から、能動的学修（アクティブ・ラーニング）を展開する上で効果を上げるための二つの視点を確認した。

一つは、本プロジェクトが、学生がファシリテーターとなり、中学生と共に協議し、提案する活動であったことである。アメリカ国立訓練研究所 (National Training Laboratories) が発表した研究結果に、異なる学習方法による学習定着率を表す「ラーニングピラミッド (Learning Pyramid)」がある。「講義・聞く (Lecture)」は 5%、「資料や書籍を読むこと (Reading)」は 10%、「視聴覚・見る (Audiovisual)」が 20%、「実演によるデモンストレーションを見る (Demonstration)」が 30%、「グループディスカッション (Discussion Group)」が 50%、「実践による経験・体験・練習 (Practice Doing)」が 75%、「他者に教えること (Teaching Others)」が 90%である。

プロジェクトの活動の中心となる学習方法は、まさにラーニングピラミッドの「グループディスカッション (50%)」、「実践による経験・体験・練習 (75%)」、「他者に教えること (90%)」の 3 つが中心となっている。とりわけ、中学生との共同活動であったことは、中学生の考えやアイデアをカタチにするファシリテーターとしての役割が求められ、日ごろの大学の授業とは違い、他者 (中学生) に教えるという場面が随所に見ることができた。このように、「グループディスカッション」、「実践による経験・体験・練習」、「他者に教えること」といった学習方法を取り入れることが重要であることを確認した。とりわけ、中学生との活動は、他者に教える学習方法が中心であり、大学で学んだこと (インプット) を、アウトプットする場面を随所に確認することができた。こうしたアウトプットの機会を学習過程の中に、位置づけることは、学内での学びへの意欲喚起にもつながることになる。

二つは、「現場でのリアルな学び」によるコミュニケーション能力の育成につながることである。美利河地区という特定地域をフィールドとして、そこに住む町民の方々から現状や課題を把握し、中学生のアイデアを形にする活動は、多様な世代や多様な価値観を持つ人との関係性を築き、合意形成していく過程に他ならない。学生に必要なこうした能力は、学内の授業で行われる同世代のグループワーク等の協議において、身につけることは至難であると言わざるを得ない。多様な世代や多様な価値観に触れることのできる現場でのリアルな学習機会を提供できることは、地域連携によるプロジェクトの大きな利点であることを確認した。

2 今年度の取組

昨年度、中学生の 7 つの提案を実現するために、町内の関係団体等が参画する「ピリカプロジェクト実行委員会 (事務局: まちづくり推進課)」が組織された。今年度は、提案内容 (プロジェクト) を実現するための課題や障壁として懸念される点などについて、各方面からの情報収集やヒアリング調査を行い、実行委員会のアクションプラン作成のための情報・資料の提供に寄与しようというものである。

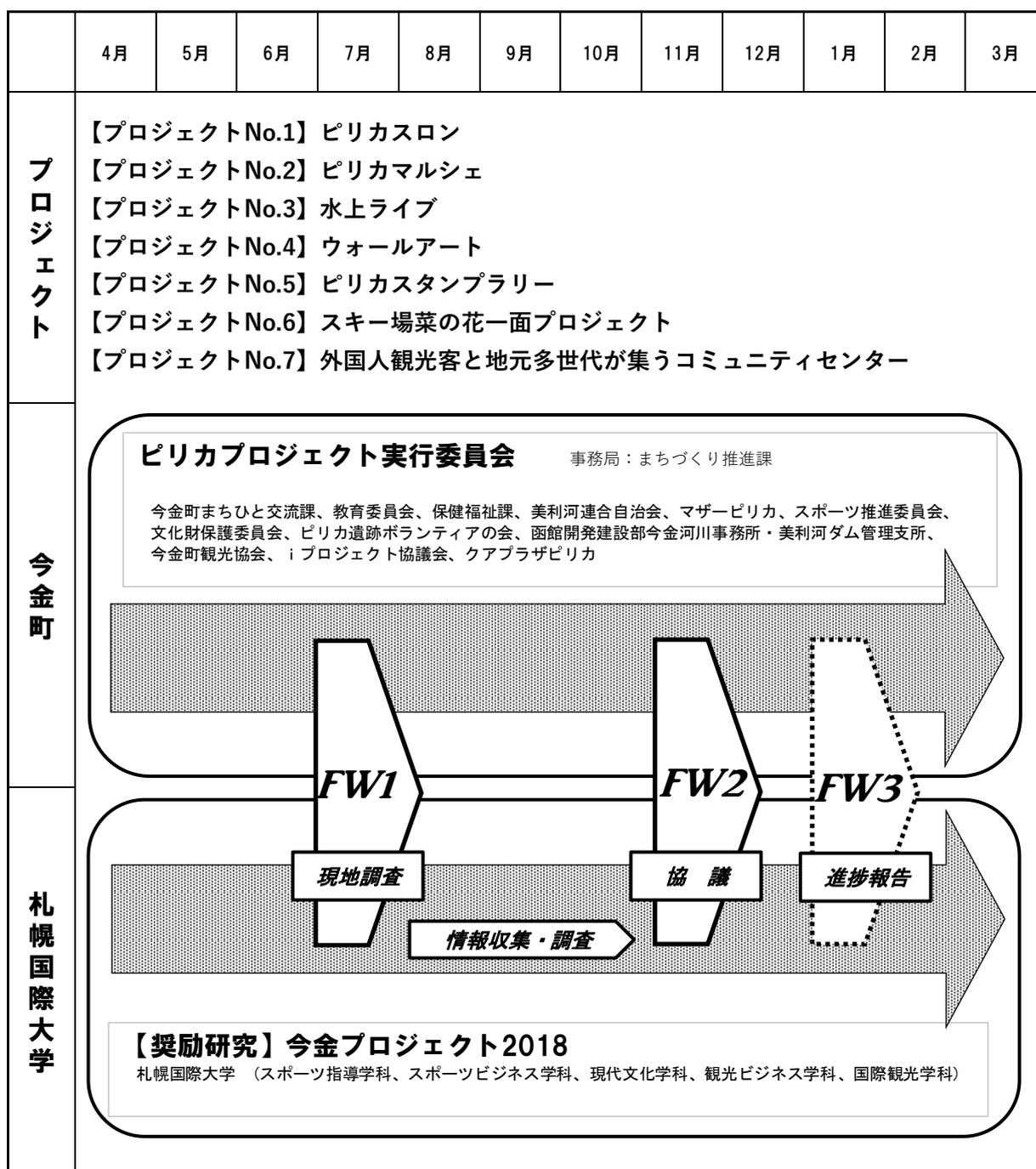
こうした一連の活動を通して、プロジェクト学習による学生の教育効果や効果的な推進のための資料を得ることを目的として、実施した。

年間の活動イメージフローは、(図-1) の通りである。【FW1】(7月21日～22日)では、今金町を訪問するのが初めてである学生も多いことから、美利河地区におけるプロジェクト実施地域の現状を視察し把握することを目的に行った。また、「スキー場菜の花一面プロジェクト」の実施場所となるスキー場を会場に開催される「ピリカ祭」の様子を見学すると共に、来訪者へのプロジェクトに関する期待度を調査し、今後のプロジェクト推進アクションプラン作成の参考情報の収集を行った。

【FW1】と【FW2】の間に実施する【情報収集・調査】は、学科ごとに担当プロジェクトを分担し、道内各地の参考事例を収集するとともにヒアリング調査等によりまとめ、プレゼンの資料作りに取り組んだ。【FW2】(11月17日～18日)では、道内各地で行った情報収集及び調査等の結果について、「ピリカプロジェクト実行委員会」において、発表・報告を行うと共に、実行委員会メンバーとの意見交換及び協議を行った。

【FW3】(2月12日)では、今年度の実行委員会における検討状況についての報告を受け、次年度以降へのアクションプランの策定に向けて、実行委員メンバーとの意見交換を行った。

今金プロジェクト2018 活動イメージフロー



3 今年度の成果と課題

これまでの地域課題解決をテーマとしたプロジェクト学習の場合、主に「①地域の選定→②現地調査→③地域課題の抽出→④解決方策の検討→⑤発表・報告」という一連の学習プロセスにより展開されるのが一般的である。最終的に提案（発表・報告）されたものが、実現に向けて次のステップへ発展するという事は、あまり見られない。そこには、学生の教育として行われることから、長期的スパンでプロジェクトを進めることが難しく、解決方策を「提案すること」が目的化してしまっているという現状がある。しかし、今金町をフィールドとする本取組は、本学と今金町の地域連携事業に関する協定によって行われていることから、継続した取り組みが可能となっている。そこで、前年度に今金町の中学生とともに地域課題の解決方策を提案した7つのプロジェクトについて、実現するための次のステップへと進める取組を、今年度のプロジェクト学習として推進することとした。

今年度の取り組みが昨年と大きく異なるのは、【FW1】と【FW2】の間に実施する道内各地の参考事例を収集しヒアリング調査を行い、まとめ、プレゼン資料を作成するという事である。これまでは、与えられたフィールドにおける地域課題を抽出し、解決するために地域に関わる関係データの収集や現地関係者からヒアリング等を行うという一連のフローで取り組みを進めてきた。言わば、すべてが当該フィールドにおける活動に終始してきたことになる。

今回の取り組みは、フィールドの課題を解決するために、全国（道内）各地で取り組まれている実践の中から、事例として参考となるものを広く収集し、直接ヒアリングを行うなど、より広範なエリアへ学生の視野を広げ、活動を発展させたことにある。このことによって学生は、「情報収集→実践事例の選定→フィールドワーク（ヒアリング調査）実施計画→アポイントメント→フィールドワークの実施→調査内容の整理・分析→調査内容のまとめ→発表・報告」という一連のプロセスを自らの力でデザインしていくことが必要となる。とかく、地域課題解決をテーマとしたプロジェクト学習の場合、該当地域における活動が中心となるが、視点を外に移し他の優れた実践事例から地域課題の解決を考えるという、発展的な学習展開における成果と課題を、「【プロジェクト No.6】スキー場菜の花一面プロジェクト」の学生の活動から考えたい。

スポーツビジネス学科の学生が担当したのは、ピリカスキー場を一面菜の花にするというプロジェクトである。学生は、インターネットにより、道内の菜の花畑で有名な自治体の情報を収集することから始めた。さらに、詳細の情報を得るために、電話による情報収集及びヒアリング調査の可否とアポイントメントを行った。こうした電話による交渉は、大部分の学生がはじめてであり、学生同士でリハーサルしているのが印象的であった。最終的に、ヒアリング候補地として学生が選定したのが、次の2か所である。

一つは、「JA たきかわ直売所 菜の花館」において、菜の花関連商品についての調査を行った。なたね油の製造過程や生産に必要な機材やコストなど、詳細な聞き取りを行うと共に、関連商品を購入した。この購入した商品については、後日大学において、試食の様子を動画にまとめ発表資料として活用した。

二つは、「空知農業改良普及センター」において、菜の花栽培の留意点等についてヒアリング調査を行った。なお、アポイントメントの際に、当日聞きたい内容について求められたため、急遽学生が作成しメールで送った主な質問事項が次のとおりである。

【空知農業改良普及センターへの主な質問内容】

- ①連作障害を避けるために毎年畑を変えなければならないのか。
毎年変えずに栽培することは可能か。
- ②地面に直播することとポットなどに播種して発芽してから定植するのでは、どちらがよいのか。
- ③無農薬栽培というのは可能なのか。また、農薬を使用する場合の費用、散布するタイミングはいつか。
- ④滝川で菜の花の蜂蜜を作っているが、菜の花を活用した商品としてどのようなものが作れるのか。
- ⑤スキー場のような斜面でも栽培は可能なのか。また、斜面で栽培する際に問題となるのはどのようなことか。
- ⑥観光振興のために、菜の花畑を活用する場合の留意点は何か。
- ⑦植えた後の管理として、どれくらいの人数でどの程度の期間・時期で作業が必要なのか。
- ⑧菜の花以外に、スキー場のような傾斜地に適した花等の作物はないか。
- ⑨菜の花栽培には、どの程度の費用がかかるのか。

こうしたフィールドワークによって得た情報を、整理・分析し、11月に今金町で開催された「ピリカプロジェクト実行委員会」において、発表・報告を行うと共に、実行委員会メンバーとの意見交換及び協議を行った。とりわけ、学生とはレベルの違う知識・経験を有する実行委員会メンバーと対等もしくはそれ以上に発言していたことが印象的であった。これは、学生自らが先進事例等を分析し、フィールドワークによって得た情報であることから、発言の自信と説得力を生んだのではないかと考える。

他のプロジェクトを担当した学科学生についても、同様に活発な意見交換となり、学生の発表・報告は、実行委員のアクションプランの作成について有益な情報提供に繋がったと考える。

地域の有する課題を解決するために、当該地域から視点を移し、他の優れた実践事例から有用な情報を収集・分析・提供する活動は、学生が主体的に、「情報収集→実践事例の選定→フィールドワーク（ヒアリング調査）実施計画→アポイントメント→フィールドワークの実施→調査内容の整理・分析→調査内容のまとめ→発表・報告」という一連のプロセスを自らの力でデザインしていくことが必要で、まさに能動的な学習の展開である。

一方で、学生が主体となって取り組む上で課題となるのが、「準備学習」の位置づけである。今回の学生の活動を見ると、電話のかけ方、アポイントの取り方、訪問時のマナー、インタビューの準備と方法等について、事前指導することの必要性を感じる。本事業は、授業に位置づくものではないため、事前の準備学習に十分に時間をかけることはできなかった。学生は、戸惑うことも多々あったが、実践から学ぶという点においては、学生にとって貴重な経験となったことは間違いない。しかし、講義と実技によって事前に準備学習することで、より円滑に活動することができる。今後、地域における課題解決型プロジェクト学習を推進していくためには、その前提としてカリキュラムの中で、「準備学習」を位置づけることが必要ではないかと考える。

最後に、フィールドワークを伴うプロジェクト型学習を実施する場合、課題となるのが連携先となり得る地域資源の開拓と言われている。その点においては、平成24年に本学と今金町の地域連携

事業に関する協定締結以後、継続して取り組みを行っていることから、担当者間の意思疎通も十分に図られ円滑な取り組みを進めることができている。こうした長期間にわたり継続した関係があることで今年度のような取り組みも可能となった。この場を借りて、今金町まちづくり推進課をはじめ関係各位に心より感謝するものである。

IV 資料

1 美利河地区の地域振興に関する期待度調査結果

2 学生ふりかえりレポート

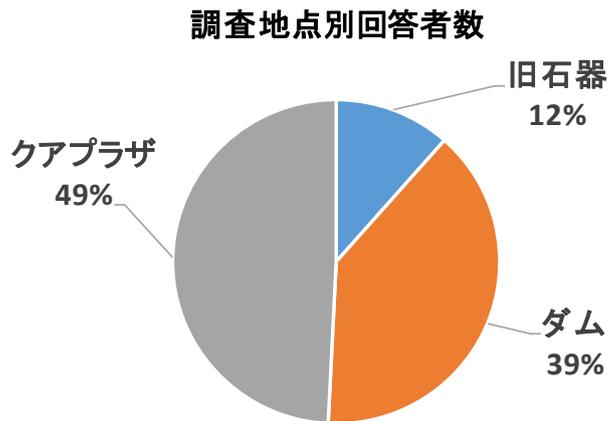
1 美利河地区の地域振興に関する期待度調査結果

【調査期日】 2018年7月21日(日)

【調査方法】 ピリカまつり会場(3地点)において、来場者にヒアリングボードを提示し、最も期待する取組について1位から3位までをヒアリングする。

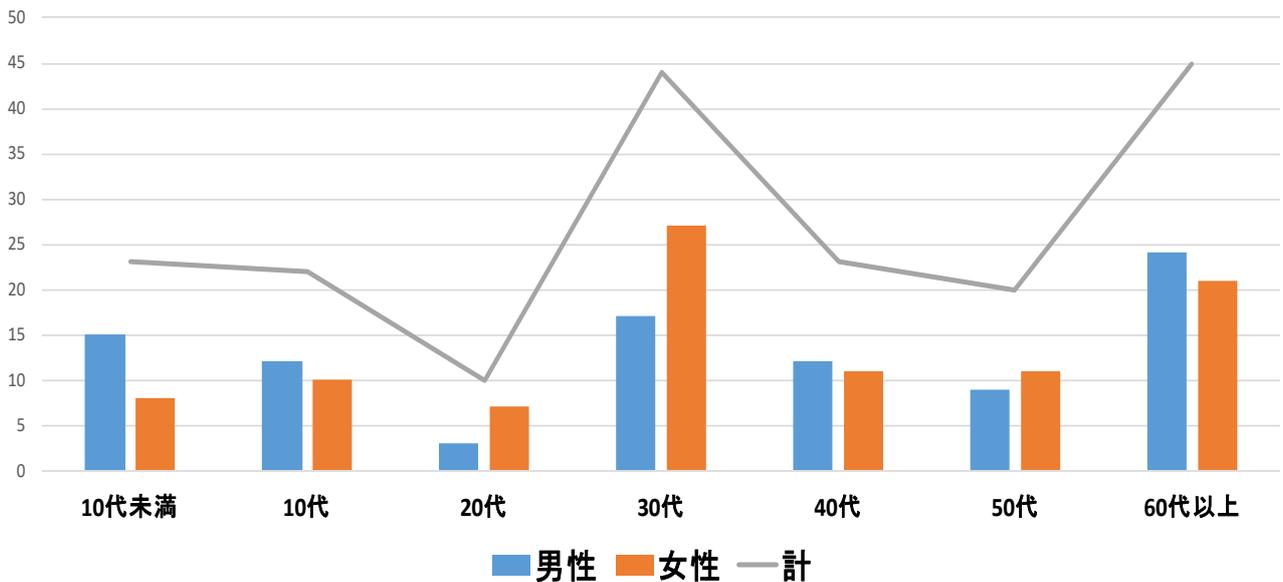
1 調査地点ごとの有効調査数 (n)

旧石器	22
ダム	75
クアプラザ	94
総数	191



2 性別・年齢別

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	15	12	3	17	12	9	24	92
女性	8	10	7	27	11	11	21	95
計	23	22	10	44	23	20	45	187



3 調査地点ごとの年齢階層

<旧石器>

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	0	1	0	2	0	2	6	11
女性	0	2	1	4	1	0	3	11
計	0	3	1	6	1	2	9	22

<ダム>

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	15	6	1	4	10	2	0	38
女性	8	3	0	13	6	2	1	33
計	23	9	1	17	16	4	1	71

<クアプラザ>

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	0	5	2	11	2	5	18	43
女性	0	5	6	10	4	9	17	51
計	0	10	8	21	6	14	35	94

4 居住地属性

居住地属性

町内	116	189
町外	73	

<町外>

桧山	今金	せたな	乙部	江差	厚沢部	上ノ国	
		20	0	2	0	0	
REASAS		297		26	113	50	
渡島	八雲	長万部	森	七飯	北斗	函館	
	7	11	2	0	0	4	
REASAS	60	46	41	14	29	190	
後志	小樽						
	0						
REASAS	20						
胆振	室蘭	苫小牧	登別	伊達			
	1	0	0	0			
REASAS	60	14	43	14			
その他	札幌市	石狩市	北広島市	深川市	帯広市	遠軽町	美深
	0	0	0	0	0	0	0
REASAS	651	26	29	31	48	41	10

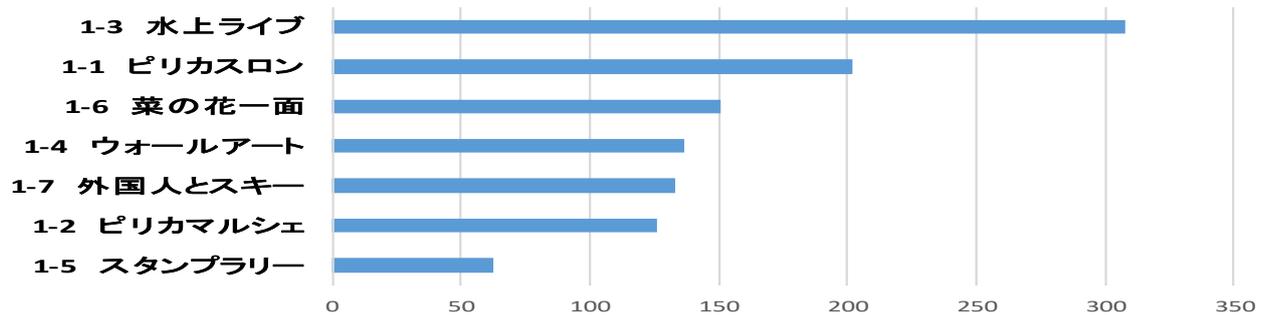
※項目「RESAS」の数値は、昨年の8月に今金町を訪れた人数値。

RESAS（地域経済分析システム：Regional Economy Society Analyzing System）

5 期待度ランキング

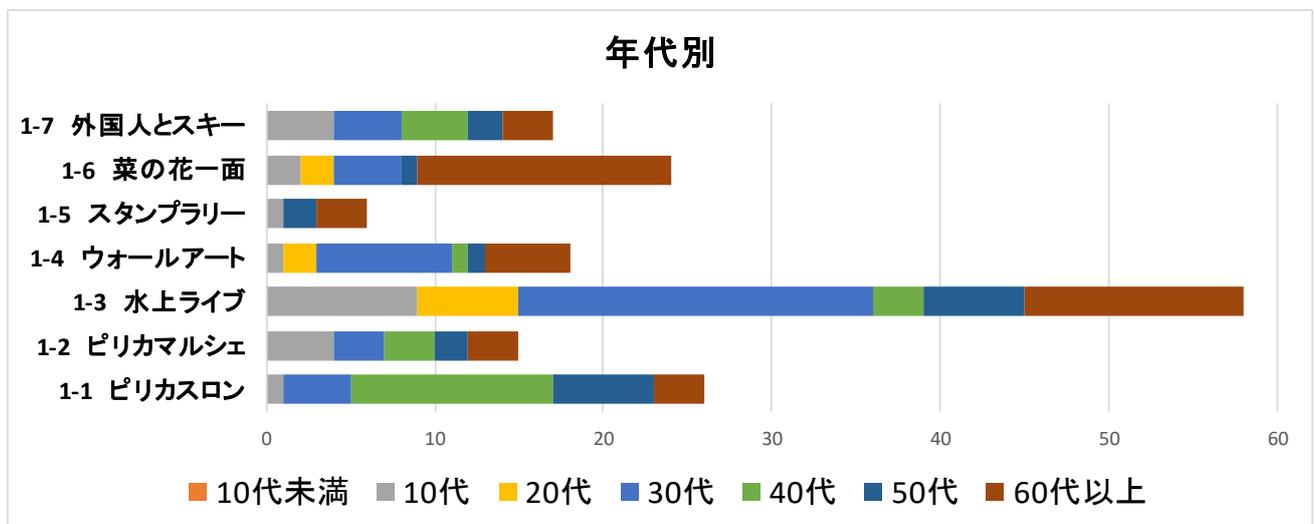
<総数>	第1位の数	第2位の数	第3位の数	<総数>	累積数	換算点
1-1 ピリカスロン	30	39	34	1-1 ピリカスロン	103	202
1-2 ピリカマルシェ	18	26	20	1-2 ピリカマルシェ	64	126
1-3 水上ライブ	70	35	28	1-3 水上ライブ	133	308
1-4 ウォールアート	20	22	33	1-4 ウォールアート	75	137
1-5 スタンプラリー	9	8	20	1-5 スタンプラリー	37	63
1-6 菜の花一面	24	25	29	1-6 菜の花一面	78	151
1-7 外国人とスキー	20	27	19	1-7 外国人とスキー	66	133

順位を点数によって換算・集計



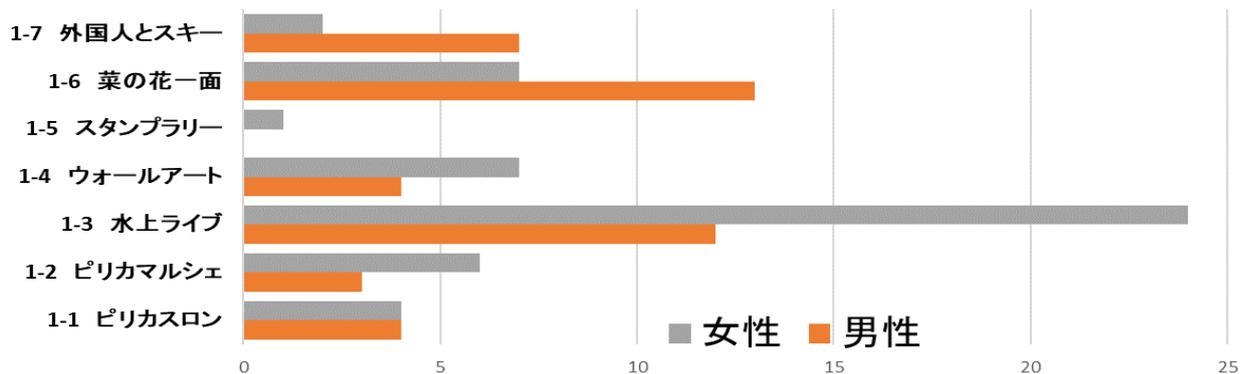
<年代別累積数>	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
1-1 ピリカスロン	0	1	0	4	12	6	3	26
1-2 ピリカマルシェ	0	4	0	3	3	2	3	15
1-3 水上ライブ	0	9	6	21	3	6	13	58
1-4 ウォールアート	0	1	2	8	1	1	5	18
1-5 スタンプラリー	0	1	0	0	0	2	3	6
1-6 菜の花一面	0	2	2	4	0	1	15	24
1-7 外国人とスキー	0	4	0	4	4	2	3	17

年代別



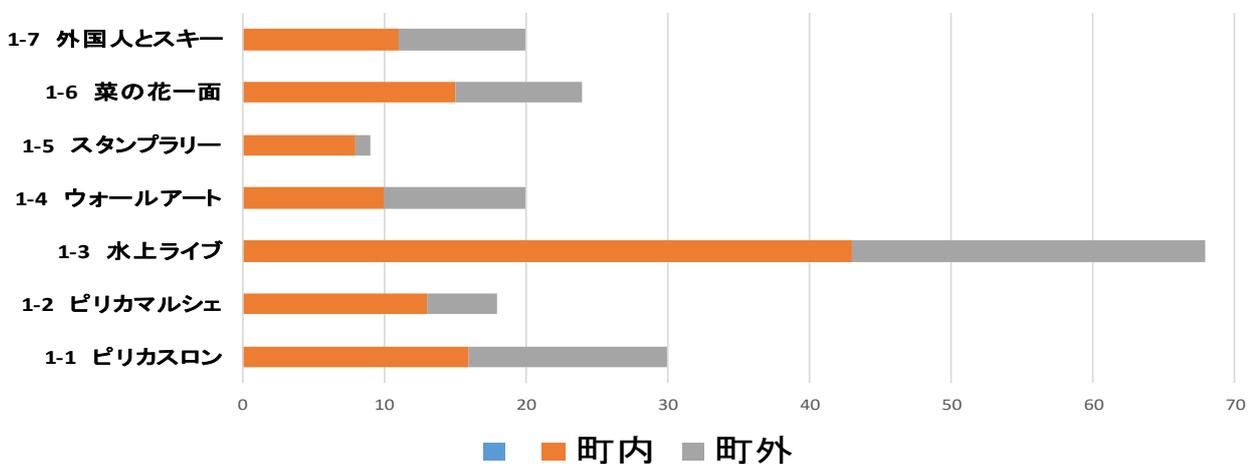
<性別累積数>	男性	女性
1-1 ピリカスロン	4	4
1-2 ピリカマルシェ	3	6
1-3 水上ライブ	12	24
1-4 ウォールアート	4	7
1-5 スタンプラリー	0	1
1-6 菜の花一面	13	7
1-7 外国人とスキー	7	2

男女別



<居住地別累積数>	町内	町外
1-1 ピリカスロン	16	14
1-2 ピリカマルシェ	13	5
1-3 水上ライブ	43	25
1-4 ウォールアート	10	10
1-5 スタンプラリー	8	1
1-6 菜の花一面	15	9
1-7 外国人とスキー	11	9

居住地別



札幌国際大学 今金プロジェクト2018
美利河地区の地域振興に関する期待度調査

ぜひ皆さんの
ご意見を！

1-1:ピリカダムを活用した「ピリカスロン」
マラソン・カヌー・水泳のトライアスロン



1-5:ピリカの歴史を学ぶ「スタンプラリー」



1-2:ピリカダムを活用した「ピリカマルシェ」



1-6:ピリカスキー場
「菜の花一面プロジェクト」



1-3:ピリカダムを活用した「水上ライブ」



1-7:クアプラザピリカを「外国人観光客向け和風ス
キー場と地元多世代が集うコミュニティセンター」に



1-4:ピリカダム壁面を利用した
「ウォールアート」



ピーリちゃんとピーカくん



いまルン

★最も期待する取り組みにシールを貼ってください

1位・・・金のシール

2位・・・銀のシール

3位・・・緑のシール

札幌国際大学今金プロジェクト 2018 「美利河地区の地域振興に関する期待度調査」 2018.7.70-21 実施

この欄は調査員が自分で判断して記入する。	調査員属性	学科	氏名	通し番号
	調査対象者	年齢： <input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上		
		性別： <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		

調査員が質問して得られた回答を記入する。	どこから来ましたか？ <input type="checkbox"/> 町内 <input type="checkbox"/> 町外 → (市町村名)															
	<table border="1"> <tr> <td>7つの地域振興プランについて、</td> <td>ベスト3の順位を記入</td> </tr> <tr> <td>1-1 ピリカダムを活用した「ピリカスロン」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-2 ピリカダムを活用した「ピリカマルシェ」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-3 ピリカダムを活用した「水上ライブ」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-4 ピリカダム壁面を利用した「ウォールアート」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-5 ピリカの歴史を学ぶ「スタンプラリー」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-6 ピリカスキー場「菜の花一面プロジェクト」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-7 クアプラザピリカを「外国人観光客向け和風スキー場と地元多世代が集うコミュニティーセンター」に</td> <td></td> </tr> </table>	7つの地域振興プランについて、	ベスト3の順位を記入	1-1 ピリカダムを活用した「ピリカスロン」		1-2 ピリカダムを活用した「ピリカマルシェ」		1-3 ピリカダムを活用した「水上ライブ」		1-4 ピリカダム壁面を利用した「ウォールアート」		1-5 ピリカの歴史を学ぶ「スタンプラリー」		1-6 ピリカスキー場「菜の花一面プロジェクト」		1-7 クアプラザピリカを「外国人観光客向け和風スキー場と地元多世代が集うコミュニティーセンター」に
7つの地域振興プランについて、	ベスト3の順位を記入															
1-1 ピリカダムを活用した「ピリカスロン」																
1-2 ピリカダムを活用した「ピリカマルシェ」																
1-3 ピリカダムを活用した「水上ライブ」																
1-4 ピリカダム壁面を利用した「ウォールアート」																
1-5 ピリカの歴史を学ぶ「スタンプラリー」																
1-6 ピリカスキー場「菜の花一面プロジェクト」																
1-7 クアプラザピリカを「外国人観光客向け和風スキー場と地元多世代が集うコミュニティーセンター」に																
質問の答えを記入する。	1位を選んだ理由はなんですか？															



クアプラザ会場



ピリカダム会場

2 学生ふりかえりレポート

(1) 第1回FW(7月21-22日)

【スポーツビジネス学科 3年 男】

今金町と携わることは3年目となり、参加学生も後輩が多くなった。過去の活動を振り返り、先輩方の行動に助けられた側面や学んだことを整理し、活動に臨んだ。具体的には、“オンとオフの切り替え”と“場を盛り立てる振る舞い”の2つである。“オンとオフの切り替え”では、昨年、一昨年の先輩方は、活動中、熱心にメモを取ることや、質問をするなど、意欲的に行動している姿が見受けられた。その一方で、食事時や初日のプログラム終了後の交流時間などでは、明るく社交的に振舞う姿が印象的であり、その姿に助けられることが多々あった。今年の活動では、我々がその立場となったが、後輩に気を遣わせてしまう場面が多くなってしまったと感じている。後輩が先輩に気を遣うのは当たり前、という考え方が一般的だともいえるが、私はそれが正しいとは思っておらず、先輩が後輩に気を遣うことも必要不可欠だと考えている。“場を盛り立てる振る舞い”は、“オンとオフの切り替え”とやや似ているが、組織で活動する際には、場を盛り上げるムードメーカーの有無が活動に大きな影響を与える。昨年の活動では、先輩の一人がムードメーカーとして終始盛り上げてくださっていたが、今回我々がその役割を務めることが出来ていなかった。私は普段の生活から、ムードメーカーとして過ごしておらず、今金プロジェクトでは慣れないことをする勇気が必要だと考えていたが、結果的に中途半端な振る舞いで終わってしまった。今回の活動では、スポーツビジネス学科から1年生が2名参加していた。聞いたところ、その2名は普段からコミュニケーションを取っておらず、相当な緊張を背負って参加していただろう。私が逆の立場となった際、どのようなアプローチが効果的かを考え、コミュニケーションを取ったと自負している。特に、2日目の活動では、宮澤君と指導学科の学生とともに活動したが、宮澤君の動きが良く、活動がスムーズに進んだ。全体を通して感じたのは、学生同士のコミュニケーションについてである。コミュニケーションについて苦手意識を抱えている学生がいると感じた。初参加による緊張も少なからずあると察するが、今金町の方や先生方への挨拶や返事などは、必ず行うようにして欲しい、というのが素直な感想である。昨年の活動を踏まえ、考案したことを具現化・具体化していく作業が続いていくが、成功を収めるためには私も含め参加学生がより責任感を持ち、活動に参加をする必要がある。他人任せではなく、また、指示されたことに加え自発的な行動も必要になる。私もプロジェクトの一員、また札幌国際大学の代表として、自覚をもって活動していきたい。

【スポーツビジネス学科 3年 男】

今年で3回目となる今金プロジェクトは、新たに一年生を加えて自分たちも上級生として引っ張る立場での参加となった。第一回のフィールドワークでは、昨年のプロジェクトで7つの提案が出たが、町民の方々ほどの提案に興味があるのかを調査するためにフィールドワークを行った。一日目は、新たに入ったメンバーも多かったのを改めて美利河地区のフィールドワークを行った。自分自身は二回目であったため昨年と違いがないかなどの確認をしながら話を聞くことができた。二日目は、今回の目的である今金町民の方・町外の方に意識調査を行った。ちょうどその日に美利河地区で「ピリカ祭り」が行われていたこともあり、クアプラザピリカ・美利河ダム・旧石器文化館の三か所に分かれて意識調査を行った。自分は、観光チームの二年生とともにクアプラザピリカで調査をした。イベントの本会場でもあ

り、多くのお客さんがいらっしやっていた。祭りは10時からだったが、9時から調査を行い会場の準備をしている方、早めに来ていたお客さんなどイベントが始まる前に多くの方に調査をすることができた。調査をしている中で感じたのは、自分の中では菜の花畑の提案が多く出るのではないかと思っていたが、調査をしていると美利河ダムでの水上ライブの提案が多く、非常に驚いた。あと調査をしている中で町民の方々が今金プロジェクトのことをあまり知らないのかなと感じた。自分たちがアンケートを聞きに行っても知っているよなどという言葉は聞こえてこなかった。町外の方はまだしも、町民の方が今金プロジェクトのことを知らないというのはまだまだ活動が知られていないのかなと感じた。学校内でも知っている人がいないので、もっとみんなに知ってもらえるような活動をしていかなければならないのかなと思った。今回第1回のフィールドワークを行って、一年生が新たに加わったことで教えることも多くなったと感じる。今までは僕たちがとっていた動画や写真なども一年生にやってもらうために教えたりする機会が多くなった。また今回は今までと違って下級生が多い。今までの2回は上級生しかいなかったのを気を使ってしまう機会が多かったが、今回は逆の立場なので自分から声をかけて行くように心がけている。自分たちが下級生だったときは先輩方が声をかけてきてくれてやりやすい環境を作ってくださっていたので、そのまねをしようと心掛けた。これから11月に向けて空知管内でのフィールドワークも予定されている。一年生の指導もしっかりと行い、ほかのチームの二年生、三年生ともコミュニケーションを取りながらみんなで力を合わせて頑張っていきたいと思う。また、自分自身もリーダーとしてどんどん率先して行動できるように頑張っていきたい。先生から言われる前に行動することを心がけていきたい。

【スポーツビジネス学科 3年 男】

2018年度の第1回目の今金プロジェクトが終了した。昨年度もこのプロジェクトに参加させていただいているので昨年度のプロジェクトと合わせると5回目の参加となる。5回を通して地域の範囲は限られるが今金町という町がどういう町でどういう良さがあってどんな課題があるのかなど徐々に知ることが出来てきた。昨年度の初めの頃は、「人が全然なくて何もない町」などと偏見を持っていた自分がいたが今は全くそう思わなくなった。決して、人口が多い町とは言えないが非常に魅力があり、とても住みやすい町だと思うようになった。というのも、こう思うようになったきっかけは、5回のプロジェクトを行い、今金町美利河地区の魅力を知ることができたからだ。今金町に来たことがない人はプロジェクト参加前の自分と同様、今金町美利河地区の魅力を知らない方がほとんど。今金町という町自体を知らないという人も多いのではないだろうか。そのような人に、どう今金町・今金町美利河地区をうまくアピールしていくかが今後の課題だとは私は思った。私は旧石器文化館で意識調査を行っていたがほとんどの方が今金町民だった。聞いた数の母数が少なかったからというのもあるかもしれないがもう少し市外からの来館者を期待していた。ボランティアで来ていた60代くらいの男性の方とお話する機会があったのでお話をしていたのだが、その方曰く、「今金町民に今金町の美利河地区をアピールするのはいいけど、どうせなら市外の方、いや、北海道、欲を言えば日本人たちに今金町美利河地区をアピールできれば最高なんだよね。」と言っていた。町を活性化させるには当然のことながら市外からの来訪者が必要不可欠であり、ただ来るだけではなく、その町を知ってもらえることも重要である。今回のプロジェクトはこのようなことも含め非常に重要な活動だったのではないかと私は思う。個人的な願望になってしまうが、北海道＝〇〇の夜景が有名、北海道＝〇〇の食べ物が有名、のように北海道＝今金町美利河地区のダムでの水上ライブが有名、スキー場一面に咲いた菜の花畑、ピリカスロンが有名などといった北

海道＝今金町の〇〇を成し遂げたい気持ちがある。なので今回以降も全力でプロジェクトに参加し、可能不可能に関わらず今金町美利河地区の地域発展のサポートに尽力したいと思う。

今回は既存メンバー6人に加え新たに9人が加わり、15名での活動となるが、みんな仲が良く、楽しくプロジェクトをおこなっていけると思う。正直、佐久間先生からビジネス1年の山中と宮澤はそこまで前に出る子じゃないからと言われたときは大丈夫かなと思っていたが、いざプロジェクトを開始すると二人とも積極的に動画撮影などを行ってくれていたのととても安心した。今後の活動含め、うまく私達3年の活動を引き継いでこれからも頑張っていってもらいたい。次の活動は、こちらでのFWなので美利河地区でのプロジェクトを円滑に進めることができるようにこちらでうまく情報収集を行って役立てたいと思う。

【スポーツビジネス学科 1年 男】

私は今回の今金プロジェクトの話聞き、最初に感じたのは「今金町ってどこ？」だった。佐久間先生の勧めでこのプロジェクトに参加させてもらえることになったが、このような活動が初めてであり、しかも自分が全く知らない町での1泊2日の活動でもあったので、しっかり仕事をこなせるか不安な気持ちで当日を迎えることになった。1日目の現地調査では色々なことで驚かされた。旧石器文化館やダム、ピリカカイギウなどの、歴史的価値があるもの、有名になりそうなものが沢山あったからだ。こんなにも有名になりそうなものがあるのにも関わらず、今金町の知名度はお世辞にも高いとは言えない。私は「もっと宣伝を工夫したりすれば今金町をもっと有名にできそうだな」と感じた。例えば今金町でしかできないような事、或いは幅広い世代で参加してもらえるような事をして人を集める。去年先輩方が提案していたピリカの歴史を学ぶスタンプラリー、ピリカのダムを利用したピリカスロンなどはとても良い案だと感じた。他にもダム周辺で行っていたピリカふれあいマラソン大会と、クアプラザピリカで作っていたイチゴお使い、最近女性に人気の高いスイーツマラソンなどのイベントを開催することで北海道全体に今金町をアピール出来ると思った。これらの案は例えであり、他にも今金町をアピールする方法はたくさんあると思う。11月のフィールドワークやこれからのプロジェクトで、それらの案を具体的に提案し企画を成功出来るようにしていきたいと思った。2日目のヒアリング調査では、予想よりも多くの人に話をきくことができた。私はダムで調査を行ったが、前日は「ダムにはあまり人が集まりそうに無いな」と思っていた。しかし、当日はピリカふれあいマラソンに参加する人たちが集まっており、約2時間の間で78人にアンケートをとることができた。」その結果水上ライブが1位、ピリカスロンが2位という結果だった。この2つが多く選ばれた理由としては、人を集めることができそう、面白そう、流行りのインスタ映えしそう、などの理由が多かった。現地調査により、これらを実現することができれば、今金町を更に発展させることが出来ると強く感じる事ができた。2日間のフィールドワークで色々なことを知ることが出来た。今金町の事、地域復興をするにはどんなことをすればよいか、地域住民の方からの生の声など沢山のことを学ぶことが出来た。これらの学んだことを活かして、地域復興の為の案をこれから考えていきたいと思った。また今回、私は先輩方ほど仕事をこなすことが出来なかった。しかし次回以降のフィールドワークでは、より仕事を積極的に行い、今金町の地域復興、発展に少しでも尽力していくつもりだ。札幌国際大学で4年間の大学生活を終えた時に、今金町が現状より発展したと思えるようこれから頑張っていきたい。

【スポーツビジネス学科 1年 女】

今回の今金プロジェクトで、初めて今金町へと足を運んだ。1年生の参加は自分を含め2名しか居らず、

先輩方も話したことの無い人ばかりでどうすれば良いか不安であった。現地に行った時のインパクトを大事にしたい、敢えて前調べはせずに行った。実際に行ってみて一番初めに静かな場所だと感じた。自然に囲まれていて静かな町である。そう感じた。実際に各スポットを回っていても自然豊かでダムがあり古くからの歴史を辿ることも出来る。見どころもあり面白い所だと思った。だが面白いと思った反面、多く課題があるとも思った。「ダムの活かし方」見どころは多くあるにも関わらずそれを活かしきれていないのではないかと感じた。昨年プロジェクトから試験的に植えている菜の花も、ダムもピリカカイギユウも多く見どころがある。しかしどれも霞んでいる様に見えた。ダムを使ったウォールアートの案も出ていたが、やるべきだと思う。インスタ映えるような絵を描くのも面白いが、まずダムのスケールを活かし車で通り過ぎた時に目を引くようなものが必要であると思う。思わず立ち止まってみてしまうようなインパクトが重要ではないか。「ピリカの歴史」ピリカ旧石器文化会館、ピリカカイギユウ発見の地を訪れて思ったが、距離が離れすぎているのではと感じた。発見の地を移すことは出来ない。ピリカ旧石器文化会館からツアーとして発見の地まで行くように出来れば良いのではないだろうか。ピリカカイギユウ発見の地だけを見に行く人は中々居ないと思う。ピリカ地区の歴史を踏まえた上でスポットを回るようにすれば楽しめるのではないだろうか。文字盤の整理もだが実寸スケールでなくても色・形・大きさが分かる模型やイラストを置いておけば分かりやすいのではないだろうか。2日間を通して強く感じたのが、今金町の方の熱意である。今金町の良い所を十分に理解している方々であるからこそ、「今金町の良い所を他の人にも知ってもらいたい」という熱意が強いのだと思った。その熱意に触れ、初めはなぜ自分がと思っていたが、徐々に「こうすれば良いのではないか」と考えられるようになった。今金町の魅力をいかにして知らない人達にも伝えるか、知っている人にもっと好きになってもらうにはどうするか。解決するのは容易ではないことだと思う。だがプロジェクトの一員として自分なりに考えていきたい。

【スポーツ指導学科 3年 男】

今金町にいったこともない、初めて聞いたくらいの認知度で今回プロジェクトに参加させていただくことになりました。今回の自分自身のテーマとしてはチームのために今自分に何が出来るのかをその場に応じてその都度考えて行動、発言することを目標として行ってきました。学年も3年生と遅めのスタートですが上の学年だという自覚を持って率先して行動出来ればと思っていました。私は今回初めて今金プロジェクトに参加させていただきました。そこで多くのことを感じ、そして学ばせていただきました。ここまで先輩や同期が今金町をよりよい町にするために練り上げたプロジェクトを町民はどう感じているのかの調査がメインとなっていた。実際に行ってみての率直な感想は、自然が豊かでそれに伴い虫や野生の動物がたくさんいて非常に素晴らしい環境にあるなど感じました。地元の方々とふれあってみて地元愛が強いということも把握出来たので自分たちの今の力でどれだけ貢献できるかはわかりませんがベストを尽くして地域振興していきたいという考えに至りました。今回のフィールドワークでの気づきは、もっとコミュニケーションをとって切磋琢磨して取り組める環境が必要だと感じました。

【観光ビジネス学科 2年 男】

私は今金町の隣に位置しているせたな町出身ということもあり今金町とはとても馴染み深いものがある。そのため昨年からは観光学部の先生方にプロジェクトに参加してみないかと声はかけられていたものの、都合が合わず参加を断念するしかありませんでした。今年になり、再び先生方に声をかけていただいて、今度こそ参加をすることができ、今金町の力になれる日がやってきました。とてもうれしく思った。7月21、22日と1回目のフィールドワークが行われ、1日目はピリカ地区の地域研修を行い、

ピリカの歴史や各スポットのことについての知識を深めた。2日目はピリカで行われていた温泉まつりで、昨年プロジェクトチームが提案してくれた施策を用いて、ヒアリング調査を行った。ヒアリング調査を行ってみて、多くの方々の意見を聞くことができ、私たちのチームが担当したクアプラザピリカでは、圧倒的に水上ライブをやってほしいという意見が多くでた。やはりピリカのシンボルでもあるダムやスキー場を活用したいという声が多くでた結果となった。実行に向けてこれから他地域に訪れてさまざまなことを吸収して今金町のプラスにしていくので、地域の力になれるよう全力を尽くしたい。

【観光ビジネス学科 2年 女】

今回、私は初めて今金町のプロジェクトに参加しました。昨年、千葉先生の学びの技法で今金プロジェクトの交流チームのことは、お話を伺っていましたが、私自身、今金町には行ったことがなく、以前は名前もどこにあるのかも知らない町でした。しかし、今回を機会に今金町へ実際に足を運び、地元の方やプロジェクトに関わる方たちと接する中で、具体的な提案や意見を持って、より深く知ることができました。プロジェクトの中心であるクアプラザピリカ、ピリカ遺跡、ピリカダムを実際に見てまわり、プロジェクト内容に沿って今金町・ピリカ地区の歴史や現状、施設ごとの課題などの詳細を伺いました。個人的に驚いたのは、宿泊施設であるクアプラザピリカの目の前にスキー場があったことです。宿泊施設とスキー場との移動による時間やコストの弊害がほぼなく、施設利用を生かすという面ではとてもいい立地条件だと思いました。このスキー場の斜面に一面の菜の花が植えられたら、より良い集客力になるだろうと思いました。またこの菜の花一面プロジェクトによって、試験的に植えられた菜の花も見学しました。菜の花のシーズンである5~6月を過ぎていましたが、7月中旬でも花は咲いていることがわかりました。また蜂は多く見られたので、油以外にも、養蜂によるはちみつを商品化にするのはどうかという提案が交流チーム内で挙げられました。しかし、実際にスキー場に植えることになると人手不足、菜の花の活用方法としても菜の花を刈る動力や商品化までのコストなどが懸念されています。そこで菜の花で成功している先例として道内では滝川の菜の花祭り、道外では菜の花の養蜂で青森県横浜町、夏のスキー場利用で長野県の黒姫高原などがあり、今金町にあう形で参考にしたいと考えています。ピリカ祭りでのプロジェクトの期待度調査では、直に町民の方や周辺地域から訪れている方に接したので、今金町の雰囲気やイベント時の様子などがうかがえてとても良い刺激になりました。やはり高齢者が多数でしたが、家族連れや子供の姿も見られ、イベントでこのくらい人が集まるという目安にもなり、発見にもなりました。プロジェクトによるイベントでもっと今金町について知ってもらいたい、そのためには地元の方々と一体となって取り組むことが大切になってくるだろうと思いました。現地調査のまとめとして、圧倒的宣伝不足なのを感じました。旧石器や砂金採掘跡、ピリカカイギウの骨格標本のあるピリカ遺跡や日本一を持つピリカダムなど、観光資源はしっかりしているのに、発信力が欠けていると思います。また今回、菜の花の試験的な植栽やいちごの全自動栽培、クアプラザピリカの合宿・団体の新設など、今までの活動が生かされていました。ピリカ地区を見てまわりましたが、要所要所が少し遠く、わかりづらいため、歩いてまわるのは少し厳しいと感じています。発信する前にまず町民の方々を対象に、見せる形を整えていく必要があると思います。

【国際観光学科 2年 女】

今回、今金プロジェクトに初めて参加して、今まで全く知らなかった「今金町」という町のことについて、観光の分野から考えることとなりました。大学に入って観光を学び始めてから、ほぼ初めてとなる実地での活動で、しかも自治体の方たちとも深く関わっていく活動になるとのことだったので、自分

の中ではとても緊張していたのですが、一緒に参加した人たちの人柄にも恵まれて、一回目のプロジェクトを終えることができました。今金町のプロジェクトとして感じたことは、急な観光誘致は難しいのではないかということでした。これは今金町に限った話ではありませんが、北海道の観光はどうしても点々と観光地がある形となっていて、移動が困難です。メープル街道やロマンチック街道のように線となればまた別ですが、今金町の周辺で線として結べる施設は、あるかもしれませんが知名度的にも難しいと感じました。私たちは観光グループとして、スキー場の夏場の利用について検討していますが、採用になって着手して、観光地として誘致できる花畑になるまで短く見積もっても数年の月日を有すると思います。また、旧石器文化館に行ったときに感じたことなのですが、話を聞く限り歴史的にも価値があり、もっと厳重な管理がされてもいいような化石や標本があまりにも無造作に置かれているように感じました。もちろん、金銭的に許されるなら処置されていたのだと思います。かつて、砂金をとっていた場所として連れられた森も、遺跡を残すために手を加えられていないというよりは、余裕がなくて着手が間に合っていないように思えました。さすがにあの森の中に観光客を呼ぶことは困難だと思います。

なので、個人的な見解としては、遺跡について関心がある層にターゲットを絞り、誘致に力を入れるべきなのではないかと考えました。プロジェクトである以上避けては通れない話題ですが、何事にもお金がかかります。そして今金町にはお金が足りていません。たくさんのプロジェクト案が出せるほど、立地や環境に恵まれています。あれもこれもと手を出しては、お金がいくらあっても足りませんし、何もかも中途半端になる危険性があると思います。また、菜の花畑のように着手しても直ぐには実にならないプロジェクトや、成功しても試行錯誤が必ず必要になります。なぜ、遺跡について関心がある人たちにターゲットを絞るのかといいますと、人は興味や関心がある分野には今後の発展に期待をして投資を行う可能性があるからです。特に、遺跡や石器は保存管理が大切です。関心があれば保存管理にかかわる費用が膨大であることも、他の人より理解されやすいと思います。もちろん、どこから誘致するのか、そのようなコミュニティが存在するのか、その中で今金町はどういった立ち位置にいるのかなど、知りえない状態で考えたことを述べているので、実際にはもっと困難や壁が存在すると思いますが、そのことについても、これからプロジェクトを通して交流を重ねていけたらいいと思っています。

【国際観光学科 2年 男】

今回、今金プロジェクトに参加し、実際に今金町を訪れての感想などについて述べていきたい。まず、今金町を訪れての感想である。今回のプロジェクトで実際に今金町へ訪れる前までは、特になにもない町であるというイメージがあった。しかし、実際に訪れてみると、様々な観光対象があり、人を呼び込んで町を盛り上げることができる可能性もあり、魅力もある町であると印象が変わった。今回のプロジェクトで町や地域が盛り上がることに少しでも貢献できればと考える。次に、今金町を訪れての気づきについてである。今回、「ピリカまつり」でアンケート調査を行い、様々な地域の方の声を聞くことができた。そのなかで、スキー場の利用が隣町の長万部町やせたな町からもあり、望まれていた。そこから、スキー場の有効活用が重要になってくると考える。最後に、観光チームについてである。今回の現地調査によって、様々な課題や疑問が挙がった。また、養蜂も良いのではないかという案も出てきた。だが、菜の花畑などについての知識などが足りない。そのため、実際に菜の花の栽培や養蜂を行っている所へ行き、実際に話を聞いてくるなどのフィールドワークを行っていかうと考える。以上のことから、「今金プロジェクト」で今金町での地域振興に少しでも貢献できるように、菜の花畑の知識などを得るためにフィールドワークを行うなどしていききたいと考える。

【現代文化学科 2年 女】

今回、前回に続き二回目の今金プロジェクトに参加させて頂いて、前回の今金プロジェクトを再確認した。また、今金のPR（町民に向けて、観光客に向けて）をしようと思改めて感じた。今回調査した学生が企画したプロジェクトの期待度調査では、旧石器文化館の調査では水上ライブが1位だった。騒音などを気にするのではないかと感じていたが、調査させていただいた方々は「盛り上がったらいい。」「好きな歌手が来てくれたら観光客も…」という意見を頂けた。これから、追記調査を行ってもっと今金のPRに役立っていったらと思う。次回の調査も今金プロジェクトに参加しているメンバーや、協力してくださる方々と協力し、積極的にやっていきたい。

【現代文化学科 2年 女】

今回、私は初めて今金プロジェクトに参加した。今金町は、初めは自然が溢れる町と思っていたが、そう思っていたより自然豊かで施設が充実していると感じた。今金町の人々は温かく、居心地のよい空間であると思った。お祭りで多くの人々が足を運んでいたが、普段は、お祭りの時ほど活気に溢れてはいると感じられた。また、今金町はとても魅力がある町であるのに、PR不足を感じる点があり、非常に勿体無いと考えた。

(2) 第2回 FW(11月17-18日)

【スポーツビジネス学科 3年 男】

2018年度の今金プロジェクトでは、2回目の今金町訪問となった。今回のFWでは、実行委員会の皆さんとの意見交換会もあるということで、事前に滝川市にある「菜の花館」と岩見沢市にある「農業改良普及センター」の2か所にFWを行った。1年生は授業の関係で行くことができなかつたため、3年生4名でのFWとなった。まず、「菜の花館」では菜種油の搾取方法や、年間どれだけの油が作られているのかといったお話をお聞きした。そもそもどのようにナタネから油が作れているのかも知らなかつたので、とても貴重なお話を聞くことができ勉強になった。続いて、「農業改良普及センター」に行き、指導員である植村さんと千石さんにお話を聞いた。お二人からは、事前にお聞きした質問内容をもとに情報をいただいた。スキー場での栽培は可能なのか、費用の問題、ナタネ以外で適した植物・作物はあるのか、ナタネは連作が可能なのかなどといった質問をさせていただいた。ここでも専門知識が多く、理解するのに大変苦労したが、植村さん・千石さんのわかりやすい説明もあり、理解することができた。

2か所のFWで得た情報をもとに当日の発表に向け準備を進めた。スライドを作るのがかなり遅れてしまい、先生から何度も指導していただく場面が多かつた。今回も一番の反省は、準備が遅れてしまったことにあると考えている。今回は初めて1年生にも発表を手伝ってもらったが、FWに行っていないのでとにかくわかりやすく簡潔に話すことができるようにスライドを作った。当日はリハーサルを2回行ったが、どちらもうまくいかず事前の準備不足が露呈されてしまった。動画の確認を何度も行い完璧な状態で本番を迎えた。山中さんもリハーサルを行ったことで緊張することなく発表していたので良かつた。発表自体も動画を流したことで伝えたいことが伝わったのではないかなと感じた。改めて準備をすることの大切さを感じる事ができた。意見交換会では、発表では伝えきれなかつた情報も委員会の皆さんに伝え、僕たちの思いや、こういう景色・場所だったら行きたいという本音もたくさん出ていた。まず、

できつかできないか、実行できるかできないかではなく、実行していくためにはどういう進め方をしていくべきなのかを考え、ネガティブな意見を出すのではなくポジティブな意見を出すように自分の中で心掛けた。やっている中でできないことを考えるよりも実行するためにどうしたらいいか考えたほうが、いい意見もたくさん出ていたし活発な意見交換会になっていたなと感じた。大学生活のグループワークなどでも生かせる知識だと思うので、事項していきたいなと思いました。あまりこういう形式での意見交換会には参加したことがなかったので難しさも感じたが、学生同士ではなかなかでない意見もあったのでとても勉強になった。3年間でおよそ6回今金町に行ったが今回気づいたことがある。それは、意見交換会の中でも感じたが、実行委員会の方々が今金町の問題・課題を解決するために考えているという気持ちをすごく感じた。僕らが発表しているときも鋭いまなざしで聞いてくれていたし、意見交換会でも質問やFWの内容を細かく聞いてくれた。地域の課題解決に僕たち学生が関われるということは滅多にない経験だし、貴重な場を提供していただけているのだなと感じた。これは大学を卒業してからも生かせることだと思う。国際大の学生でも一握りの学生しか参加できないこのプロジェクトを3年間も続けられたことを改めて振り返ったときに参加できたことは自分の財産だなと感じた。1月、2月にFWがなければ僕たち3年生はほぼ参加することはないかもしれない。自分の中でも今回のプロジェクトが最後になるかもしれないと思いながら参加していた。一年生の時から先輩方にお世話になり、たくさんの先輩方と知り合うことができたし、ほかの学科の同級生、後輩とも仲良くなることができた。何より、1年生からずっと一緒にやってきた仲間ができたことが一番の宝だと思う。2年生からはリーダーを務めさせていただいたが、先生に迷惑をかけることも多かったが自分を成長させるいい機会だった。3年間今金プロジェクトに参加することができて本当によかったです。ありがとうございました。

【スポーツビジネス学科 3年 男】

2018年度の2回目の今金プロジェクトが終了した。昨年度のプロジェクトと合わせると今回で6回目の参加となり、今回は滝川・岩見沢での事前FWを参考にしたプロジェクト活動であった。地元岩見沢の菜の花や滝川の菜の花は有名だということは知っていたが、菜の花に関する知識はほとんど無かったので今回の活動を通して菜の花に関する多くの知識を習得でき、非常に満足した。ナタネ油を使用した商品の試食会も行うことができて嬉しかった。事前FWで分かったこととしては、事細かい話の内容を書くことはできないが結論として「斜面で菜の花栽培を行うのは少し問題があるのではないだろうか」ということだった。連作障害や、輪作障害、病害虫などの問題点が多く指摘された。今金プロジェクトの実行委員会の皆さんとの意見交換会の話し合いで出た結論も、やはりスキー場の斜面での菜の花栽培は厳しいのではないかということだった。事前FWでわかった問題に加え、作業する人員の確保、播種方法、経費など、様々な面において、問題があるということがわかった。例えば、播種する際はコンバインを使用するがコンバインが使用できる最大傾斜度は15度、それに対し、今金スキー場の平均傾斜度は20度、最傾斜度のところでは32度もあるので機械が入って作業するには厳しい、など、どちらかというとな否定的な意見の方が多かった。そこで、私達のグループでは斜面での菜の花栽培プロジェクトから少し離れ、「こんなこと、あんなことが出来れば四季を通じてピリカスキー場を利用してくれる観光客が来るか」という別視点で考えたテーマのもと話し合いを進めていった。話し合いで出た案としては、「山の麓や頂上に花畑を作って花見やジンギスカンを楽しんでもらう」、「麓や頂上で何かイベントを行う」、「頂上早上り大会を行う」など、菜の花栽培のプロジェクトよりかは実行できる可能性がある意見が多く出

た。率直な感想で、無理に菜の花栽培を行うよりかは、話し合いで出た案の方がプロジェクト的にもやりやすく、観光客増加に効果的であると感じた。スキー場の菜の花栽培にこだわるのではなく、別の様々な視点からスキー場を使ってくれるようなプロジェクトを進めていけば観光客増加につながるのではないかと思った。1つのプロジェクトを行おうとするとそれに伴って様々な問題点や課題点が出てくる。そこを上手く工夫して乗り越えながら成功させることが非常に重要なポイントなのではないかなと今回のプロジェクトで学ぶことができた。

【スポーツビジネス学科 3年 女】

事前FWについては、記録係として菜の花館と岩見沢農業改業普及センターへ行った。その中で、今回の活動の目的を念頭に置きながら、必要な情報を収集することができた。その情報等をもとに、その後の発表PP作成に活用できるようなものを記録係として1つにまとめ直した。これについては、周りの学生も見やすいと言って活用してくれていたため、嬉しさを感じると共に、達成感のようなものも感じる事ができた。発表PPについては土屋が作成したが、一緒に見て、より良くなる部分を伝える等、サポート役に徹した。プレゼンについても同様に、発表役では無かったため、サポート役として特に1年生の不安を取り除くことができるように、リハーサル段階からサポートした。プレゼンは撮影係の予定であったが、急遽、進行役に決定したため、臨機応変に対応することができたと考える。実行委員会メンバーとの意見交換については、大変有意義な時間となったと感じている。私たちとしての思いや考えを伝えつつ、町民の方々の思いや考えを聴くことで、視野を大きく広め、新たな考えを多く生み出すことができた。このように、社会人の方とグループワークを行う機会は少ないため、非常に貴重な経験となった。今回は、進行役や記録係では無かったが、そういった役もできるようになりたいと感じた。また、付箋を利用して考えを出していくという作業があったが、多くは案を出せなかったと感じたため、このような場面だけでなく、普段から素早く案や考えを出せることができるように、自分自身で考えるという訓練を行っていく。今金町についての新たな発見・気づきについては、これまで何度か今金町に訪問してきたが、今回、初めてのことが多くあった。最初に行った町民センターをはじめ、宿泊先のホテルや2日目の体験、昼食のダムカレーも初めてであった。これらのどれもがとても新鮮だった。正直なところ、今金町について初めてのことが多くは無いと考えていたが、今回新たな発見があったことで、今金町にはまだまだ知らないことが隠れていそうであると改めて興味を持つことができた。

私たちスポーツビジネス学科は、去年は調整チームとして活動しており、FWへ行き、話し合っ具体的案を考えるといったことは無かったため、今年のような活動ができたことに大変感謝している。これらの活動を今後にも必ず活かしていく。

【スポーツビジネス学科 3年 女】

前回のフィールドワークでは、主に今金町の観光地を巡る等、今金町を知るものであったのに対し、今回のフィールドワークでは知ったことと調査の結果を得て、それぞれの項目への調査を行い提案するフィールドワークとなった。私個人は事前フィールドワークに参加することは出来なかったが、パワーポイントの内容や先輩方から見せて頂いた調査結果を見て、事前に色々と考え現地に行くことが出来た。今回パワーポイントを用い発表した後に、発表を見てどの様に感じたか、又実現する為には何をすべきかを今金の方々と話すことが出来た。中でも印象に残ったのが、スキー場にどのようにして花を植えるか、冬だけでなく年中来てもらう為にはどのような工夫をするべきなのかという話である。グループの中にはスキー場にて活動されている方もいらっしゃり、貴重なお話を沢山聞かせて頂くことが出来た。スキー場

の傾斜度を考えた上でどこに植えられるのか植えられないのか、観光客の方が観に来たいと思える場所はどこなのかを、お話を聞いた上で改めて考える事となった。今金のスキー場の傾斜度が最大 32 度あり、コンバインで登れる傾斜度では無い。しかし頂上へ行くとなだらかだというお話をお伺いした上で、コース毎に作物を変え連作障害を避けること、連作が可能な植物がどれだけあるかを改めて考えることが出来た。またスキー場だけでなく、現在実際に今金町では町内会毎に様々な花を植えているという事が、話を聞いていく中で分かった。実際にスキー場に植えるとなった際に、職員の方だけでは厳しい。その為、小学生に授業の一環として手伝って貰うことや、スキー場に限定せずダムを一周するように花を植える、キャンプサイトに植える等様々な案が出た。話を聞いていく中で、非常に多くの課題が実現の為にはある事を改めて実感させられた。実現に向けてやるとなると多くの人・費用が掛かるため容易ではない。今金町をより多くの人に知ってもらう為には何をやるのが良いのか。今回ピリカ旧石器文化館での体験、ピリカダムカレーを実際に食べて、今金町には良い部分が沢山あるのにも思った。ピリカ旧石器文化館での体験もピリカダムカレーの美味しさも、知らないなんて勿体無いとも思い、改めて今金町の良さを沢山のの人に知ってもらいたいと強く思った。今金プロジェクト内での活動は勿論だが、自分から今金の良さを発信するには何をするか考えていきたいと思う。

【スポーツ指導学科 4年 男】

今回の今金プロジェクトでは去年の提案を実現に向けた FW・違憲交流会であった。それを終えて、私を感じたことは今金町にはまだまだ可能性がたくさんある町だということだ。今回、私たち健康チームはピリカスロン・ウォールアートについての情報を FW・調査を通して収集した。ピリカスロンではトライアスロン協会・連盟に聞き取り調査を行う予定だったができず、トライアスロンのことを自身たちが調べ、ピリカスロンを行う上でどんなことが考えられるかをまとめた。ウォールアートについてはディーブクリープという会社に聞き取り調査と札幌ノルベサでのウォールアート探索の二つを行った。聞き取り調査では費用や期間の話を中心に行ったが、夢が大きい分、それにかかる費用や期間が大きいことがわかった。ノルベサでのウォールアートでも様々な形式で展示されていることがわかり、これなら実現が可能なのではないかと感じた。プレゼンではウォールアートの成果を大きくし、最終的にはピリカまつりと今回のピリカスロン・ウォールアートを絡み合わせ、町外参加者を増やすという見込みが考えられることにした。その後は実行委員の方と意見交流を行った。意見交流では実行委員の方からの情報をもらい、ウォールアートではダムについての情報が大きく関わってきた。ダム内部の壁には描けないが、貼り付けて取ることなら可能ということで、ノルベサのような形式のウォールアートとても実現に近いものであった。他にも紙に書いた物を貼り付けたり、大きな紙に塗り絵をして一枚の絵にしたりなど意見が膨らんでいた。実行委員ではピリカスロンに強い思いがあるのを話を聞いていて感じた。マラソン大会の計画の下地があることや、私たちが提案したカヌー→水泳→マラソンの水泳をバイク(自転車)にすることで参加できる人が増えることやそのピリカスロンが開催できそうな話があった。この話を詰めていけば本当に実現でき、新しいスポーツ「ピリカスロン」としてできるのが見えてきた。さらに執行委員の方からは今金町の想いも話してくれた。実行に向けては、まず今金町民が今金町の事を知ることが大事。そのためには子供のころから郷土愛を育てていくことが必要だと話してくれました。私はその話を聞いて共感した。私は清里町という今金町によく似た町に育った。そこでは中学の総合では「地域提言」というものがあり、町について調べ、中学生が町に対する想いを町長や教育長にプレゼン・提案するものである。さらに修学旅行では町の PR をし、町を知ってもらう授業がある。今考えてみるとそ

れがあつてからこそ、私や清里町出身の人たちは町に対する想いが強い人が多いと考える。さらに私自身、将来はスポーツを通して恩返しをしたいとなった。今金プロジェクトでは実現が難しい所があるが、もし私たちが行った「地域提言」が今金町でできたなら、今金プロジェクトの大学生がその手伝いを行い、生徒の成長はもちろん郷土愛を育て、さらに学生の成長も見込めると考えている。これらのことから実行委員の方の意見からは、様々な視点からの意見が多く、私自身のもの見方が広がった。今後は、いつかはこの今金プロジェクトが何か一つでも実現できるように応援したり、何かしらの手伝いをしたいと考えている。

【スポーツ指導学科 3年 男】

まず始めに事前 FW と発表 PP の作成及びプレゼンについてですが、私は今回健康チームの一員としてウォールアートとピリカスロンについて調査を行いました。調査については同じチームのメンバーと協力、分担しあいながら取り組めて私としては非常に良い取り組みだったと感じます。しかし、PP 発表、スライドの発表準備の段階では 4 年生に頼ろうとしすぎていた部分があり反省点となりました。発表も 4 年生に任せてしまいもっと当事者意識をもって積極的に発表に携わることが課題としてあげられるので今後の活動では修正していきたいと個人的に反省が残る発表でした。

次に実行委員会メンバーとの意見交換についてですが、実行委員会の方々と意見交流会を行い、今金の現状をいかにして改善、振興するかを自分なりに重要なことはメモをして少しでも役に立てるように参加出来ました。実行委員会の方々の今までの取り組みや、今金町に対する思いを無駄にしないように話し合いに参加したが、どうしても実行委員会の方が主体的に話して自分からは積極的に話をすることが出来ずに力のなさを実感しました。今後もう一度今金のプロジェクトが行われる場合は今金の方々と交流や意見を積極的に発信していくことはもちろん様々な場面に柔軟に対応することを頑張りたいと考えます。

最後に最初の FW の時から今回の FW で感じたことは、当初は右も左もわからずにプロジェクトに参加させていただいて学生だけが今金町をよくしようとしていると思っていたのですが、今回初めて実行委員会を介して打ち合わせや意見交流を行ったことによって私たち大学生はもちろん実行委員会の方たちも今金町民の一員として必死に試行錯誤を繰り返して良くしたいと強く思いこの活動をしていると気づきました。また、若い人から年配の方まで多くの力を合わせて地域振興を目指している姿が非常に素敵だと感じました。これからも私たち学生や、地域の方々と連携をとりながら最終的にはこのプロジェクトを成功という形で終わられるといいと思いました。

【スポーツ指導学科 3年 女】

健康スポーツグループでは事前にウォールアートの会社に電話で聞き取り調査をしたのと、トライアスロンについて自分たちで事前調査をしました。ウォールアートをダム内や壁面に施すのは費用がかかり、前例が少ないなどマイナス面が多くあったがマイナス面だけではなかったのでそこをどうにかできないかと 3 人で聞き取り調査をした後、どのようにしたら可能になるか、町民の皆さんの興味を引き立てる案を出せるかと試行錯誤しました。トライアスロンについては、北海道で開催しているトライアスロンのサイトを見て参加、主催に関して必要なことはなにかを調べました。トライアスロンはスイム・バイク・ランですが、ピリカ地区のピリカダムを活用してピリカスロンと称し、スイム・カヌー・ランと、提示しました。トライアスロンは個人種目ですがピリカスロンは 3 人一緒にカヌーを漕ぐことで団体競技として設定して、トライアスロンとの差別化を図りました。プレゼンでは、ただ私たちの調べたことを町民の方に押し付けるような発表をするのではなく、提案をするということを心がけてパワーポ

イントを作りました。たくさん文字を並べるのではなく、簡潔に伝えたいことだけを記し口頭で細かいことは説明しました。発表の後、実行委員会の方々と交えて意見の交換の場では作成したパワーポイントの補足や、実行委員の方々からの質問に答えたり、私たちからも町民のみなさんがこのプロジェクトに対してどれほど取り組んでいるのかというのとも聞きました。わたしは意見を交換するまでは口だけなのではないかと思っていました。しかし直にみなさんの思っていることを聞いてみると、本気で起こしたいという気持ちが伝わってきて、「全部の発表を聞いたけど、一番現実的だし人がたくさん集まってきそうなので本当に実現したい。」と聞いた時本気でやればできるのではないかと思いました。わたしは、今期からしか携わっていないが研究する楽しさ、人と関わることの大切さを実感しました。誰かと何かを成し遂げる、他学科の方と関わる機会が今まで少なかったのでとてもいい刺激になったし、吸収する部分もたくさんありました。これを機に卒論などに向けて研究、発表の仕方など生かしていきたいと思いました。

【観光ビジネス学科 2年 男】

第一回目のフィールドワークでは、今金町についての知識を深め、昨年プロジェクトチームが提案した施策についてのヒアリング調査を行った。今回は第1回目のヒアリング調査の結果に基づいて、実際に今金町の実行委員会の方々の前でイベント概要についての発表を行ってきた。発表するにあたり今金町を訪れる前に事前にフィールドワークも行った。私たち観光チームは剣淵町の若手農家さんが行っている VIVA マルシェさんにお話を聞きに行き、ここでは軽トラを使い様々な地域に出向き、市場などでは売られていない質にこだわった野菜や剣淵町の特産物を販売している。そしてメンバー1人1人がそれぞれの野菜、特産物について細かく説明もしてくれ、とても感銘を受けた。このように様々な地域に出向くことで、地域アピールもでき知名度アップにも繋がってくるのでとても参考にできると思った。VIVA マルシェの代表者からお話の中で、他と同じことをやってもだめで他と何が違うのかが肝心とおっしゃっており、面白ければ自然とメディアは寄ってくると言っていた。まずアピールできるものを作り出すことが大事であり今金町には全国に知られているブランド芋でもある今金男爵があるのでアピール材料にはもってこいだと思った。水上ライブについては水上でライブを行っている例がなく、湖周辺でしかライブを行ってなく難航した。これらのことを踏まえ発表に備えた。発表当日はメンバー1人1人の頑張りもあり、よい発表で終わることが出来た。実行委員会メンバーとの意見交換では、主にマルシェのことについて話し合い、そのなかで、搾りたての牛乳を来てくれたお客さんに飲んでもらうことや、クアプラザを道の駅化して、ここでしか買うことのできない今金の特産物を売ったり、今金男爵をメイン使い料理教室のようなものを開いたりなど様々な意見が出た。何年か後には長万部まで新幹線が開通するので、長万部で降りたお客さんを何とか今金町に誘客し、これを狙い目にするのがこれからのポイントになるのではないかと思った。

【観光ビジネス学科 2年 女】

今回、私は交流チームとして、水上ライブとピリカマルシェについて研究してきました。この2つのイベントについてまず道内で参考になるイベントや地域がないか調査したところ、士別町の湖水まつり、剣淵町の VIVA マルシェを見つけ、それぞれの町に電話で問い合わせました。士別町の湖水まつりは湖の側で地域のまつりを開催しているようで、ピリカダム利用の目的とは、やや異なるようでした。一方、VIVA マルシェは販売している場所へ直接お話を伺えることができました。VIVA マルシェでは、生産者自らが販売することに価値を見出し、生産者が商品の魅力を、直接買い手に話すことで、リピーターを増

やし、他との差別化を図っていました。いかに地域の人やメディアを巻き込み、宣伝できるかが大切だと教えていただきました。また、てしかが観光塾に参加し、まちづくりについて多方面で活躍されている方にお話を伺うことができました。これらのフィールドワークや調査を踏まえ、私たちはイベントを企画するにあたってコンセプトとターゲットを定めるのが必要だと考え、その2つに沿った形で研究報告とすることを決めました。コンセプトは「ピリカ地区に来てもらうこと」、ターゲットは「今金のひとたち」。水上ライブは水上を観客席にし、ライブではなく、音楽を流しリラックスする場やプールとしてのダム利用を提案しました。ただダムの上に何か浮かべるのは、色々な許可がいることが懸念されました。また、マルシェでは単独で開催するのではなく、私たちが夏、実際にアンケート調査をしたピリカまつりやスキー場解禁に乗じて開く提案をしました。メインは今金男爵にして、生産者の負担や特別性を考え頻度は半年に1回にすることなど具体的なプランも紹介しました。実行委員会メンバーの方との意見交換の場では改めて今金プロジェクトの主旨を認識することができました。新幹線の延伸した際、通過点になってしまわないよう今金に寄ってもらえるような滞在型の観光を目指しているということでした。観光協会では、すでににぎわい商店街といった町に人が集まってもらえるようなイベントがありました。またクアプラザピリカではとれたて野菜市をやっていて、これをマルシェに拡大するのはどうかという案が出ました。またマルシェで物を売るだけじゃなく、それを入り口にして今金の情報発信につなげ、複合的な役割を持たせる案も出ました。販売する際、産地と販売する場所を表した「フードマイル」といったものを商品と一緒に表示することで、鮮度や地元の食材のアピールの場となる、という意見を頂き、実践しやすさ・わかりやすさではこの案が1番興味深かったです。実際に実行委員会メンバーの方とお話した中で、今金にある魅力的な観光資源を活かしていないと実感し、今回また今金について話し合うまで知らなかった情報が多かったことを反省しています。今回の研究が今金の地域解決の助力となれば幸いです。

【観光観光学科 2年 女】

事前のフィールドワークでは、剣淵町の viva マルシェの方にお話を聞かせていただいたり、「てしかが観光塾」に参加したことで、そもそもまちづくりとは何かということを根本的に学びなおすことができ、今かねプロジェクトに活用できることのほかにも、自分自身の学びを深めるきっかけとすることができました。これらの事を活かし、発表のパワーポイントを製作しましたが、情報や時間の不足から発表のぎりぎりに完成する形となってしまう、その部分に関しては反省が必要だと感じています。実行委員会の皆さんとの意見交流会では、学生側の今金町に対する認識の不足を感じました。例えば、今金町が全国から小学生を募り、里親制度と称してホームステイをしてもらいながら、今金町の小学校に通ってもらっていたということを聞きました。実行委員の中には「今金町にゆかりのなる人たちが全国にたくさんいるから、その人たちに今金町が元気であることを伝えたい」という人もいました。その他にも、いまかね男爵以外の特産として軟白ねぎがあることや、オールドウェディングのコンクールを開催したことがあることなど、今まで知り得なかった今金町のことを知ることができました。また、交流で出た意見として、キャンプ場でマルシェをする案や、その場で絞った牛乳を提供するという案、フードマイルを活用することで食材の新鮮さをアピールする案などがありました。もちろん、比例するように問題点や、現実的に難しいポイントなどがありましたが、工夫によっては実現可能な案もありました。この先のプロジェクトがどのように進んでいくのかは未知数ですが、参加させていただいている以上、自覚と責任をもって活動していきたいです。

【観光観光学科 2年 男】

今回、今金プロジェクトでのフィールドワークについて述べていきたい。事前フィールドワークは、株式会社けんぶち VIVA マルシェ様にお話を伺った。お話を伺ったなかで、マルシェの発展に関わるヒントを得ることができた。それを踏まえて、パワーポイント、プレゼンをいかに伝えやすくするかを考え、実際のプレゼンを行った。実行委員会メンバーとの意見交換では、元々ピリカに住んでいた方の意見を聞いたこと、今金町の入口としてピリカ地区を盛り上げたいということ、ピリカ地区の発展を望んでない方もいるなかで、住民のことも気かけつつ発展していきたいという意見を聞くことができた。そして、地産地消を目指すなかで、フードマイレージを取り入れるのはどうかという話し合いもなされた。今回、今金町を訪れ、意見交換をしたなかで様々な意見などが挙がっており、実行委員会の方々も真剣に考えてくれていたことから、今金町を盛り上げたいという気持ちを再認識することができた。また、石田屋での昼食、ダムカレーを食べて今金男爵のおいしさを感じられたとともに、地元の方に食べてもらい、地産地消のサイクルを発生させることができれば良いと考えた。魅力的なものがあるため、地域内での連携、宣伝やターゲットなどしっかり定めていくことができれば発展するのではないかと考える。今年度、今金プロジェクトに参加していくなかで、前年度までの活動内容や提案までの流れなどを前年度のメンバーからお話を聞く機会がなく、今回のパワーポイント、プレゼンを作っていくなかで詰まる場所などがあったので、前年度のメンバーと合同のミーティング、もしくは、各チームでのミーティングをし、次年度のメンバーとの共有、引き継ぎをしっかりとすることを提案したい。引き継ぎをしっかりと行うことで、今金プロジェクトをより良い活動にしていけると考える。

【現代文化学科 3年 女】

今回のフィールドワークでは、去年に引き続き企画したプロジェクト「スタンプラリー」について調査し、実現するためにこういうことが考えられるという発表を行いました。調査は歴史班として、まず、アプリ開発会社への聞き取り調査、全国各地でどのような事例があるのかという事例調査。そして、札幌国際大学で教鞭をとってくださっている曾我先生の大学（千歳科学技術大学）への技術的の調査へ行きました。私たちはアプリ開発会社への調査を踏まえ、技術的な面でまだ調査したりないと思い、科学技術大学へ調査を行いました。その調査結果を踏まえて今金の実行委員の方々への発表を行いました。専門的なことも多く、今金の実行委員の方々に私たちのPPで伝えることが出来るのかということなど多くの不満もありましたが、意見交換会では実行委員の方々と交え色々は側面からの意見交換をすることが出来て、これからにつなげることの出来る意見交換が出来たのではないかと思います。そこで出た意見では、私たち大学生の知らない、今金の町民の皆様だからこそ知る事の出来る今金の魅力を感じることが出来ました。それと同時に当たり前のことですが、今金町の魅力を私はまだまだ十分には分かっていないと自覚しました。今金にはまだまだたくさんの魅力があり、魅力になりうる素材が眠っていると感じました。私は、二年生からこのプロジェクトに参加しスタンプラリーを提案し、今回の調査に加わることができたことは本当にうれしいことで、さらに貴重な体験をさせていただけたと思います。これから先、スタンプラリーのプロジェクトがどうなっていくのかはわかりませんが、今金の更なる観光向上に生かしていただき、今金の自然の良さ、歴史的文化遺産の良さを町民の方々、町外の方々にも広まっていくと願っています。二年通してこのプロジェクトに関わることが出来て、私は成長できたのではないかと考えています。

【現代文化学科 3年 女】

歴史班の今までの取り組みでは、歴史を絡めたスタンプラリーを町民の方々と共に作成したり、観光や郷土教育に活用したりするといった解決策があげられました。その結果、町内の方が美利河地区の歴史をより深く知り今金や美利河地区の歴史を町外に発信するきっかけになることが考えられました。スタンプラリーを実施する方法として、デジタル機器などを用い、インターネット上でスタンプを取得することができるデジタル型が、用紙の管理やスタンプの保管などの面を見れば現実的であると考えられました。デジタル型のスタンプラリーの事例として「RALLY」という、アプリでスタンプラリーを作成する会社と千歳科学技術大学の活動に着目しました。「RALLY」では電話での聞き取り調査を行い、具体的な製作方法や費用について調査しました。スタンプラリーは3種類ありどれも手軽に作成することが出来るものでした。費用は無料版と有料版に分かれ、それぞれ使用可能期間が違うことが分かりました。そして、千歳科学技術大学にはフィールドワークに行きました。千歳科学技術大学では、「RALLY」のようなスタンプラリーの取り組みだけでなく、デジタルブックやVRの活用も行っていました。私達にはない、別の視点からの様々なアプローチ、アイデアをもらい、多くの可能性を見出すことができました。

以上の事前調査をもとにプレゼンテーションを作成しました。発表は当日のリハーサルなど練習を重ねましたが、少しばかり聞き手を意識できていないなと思う点があった為、次に活かしていきたいと考えました。今金町実行委員会の方々と意見交換会では、スタンプラリーを用いて旧石器文化館を軸に、ピリカカイギュウやマンガン鉱跡へと広がっていくことで様々な場所や歴史を知ってもらえるのではないかと意見がまとまりました。その他にも、地元の人知っているおすすめスポットや初めて美利河地区に訪れた人向けに簡単な地図が見られるような機能があったら良いなどの意見も出ました。今までは遺跡だけに着目していましたが、今回の意見交換会で、遺跡だけでなく、ダムや美利河地区の風景も歴史に含まれると気が付きました。また、美利河地区の歴史をストーリー化することでより分りやすく学ぶことができると考えられました。

平成 30（2018）年度 奨励研究

住民との協働による能動的学修の展開
～今金町美利河地区をフィールドとしたプロジェクト学習の推進～

事業報告書

平成 31 年 3 月

札幌国際大学

〒004-8602 札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1

TEL 011-881-8844

平成 30 年度奨励共同研究（特別教育プロジェクト推進経費）助成課題

高齢者の運動を通じた健康の維持・増進—清田区と美唄市を対象に—

(代表研究者)	スポーツ指導学科	国田賢治
(共同研究者)	スポーツ指導学科	阿南浩司
	スポーツ指導学科	佐藤文亮
(協力研究者)	金沢学院大学	藤原勝夫
	日本医療大学	矢口智恵

目次

(1) 清田区における健康づくり活動：高齢者の健康維持・増進を目的とした地区ウォーキング

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 平成 28 年度清田区における健康づくり活動・・・・・・・・・・ 4
3. 平成 29 年度清田区における健康づくり活動・・・・・・・・・・ 25
4. 平成 30 年度清田区における健康づくり活動・・・・・・・・・・ 47
5. ウォーキングにおける測定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
6. 平成 28 年度の地区ウォーキングにおける経路、風景と、アンケート、時速、および運動強度における結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
7. 平成 29 年度の地区ウォーキングにおける経路、風景と、アンケート、時速、および運動強度における結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
8. 平成 30 年度の地区ウォーキングにおける経路、風景と、アンケート、時速、および運動強度における結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
9. 結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

(2) 美唄市における健康づくり活動：美唄サテライト・キャンパスにおける札幌国際大学の活動と美唄市で実施のウォーキング活動の実態調査

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
2. 美唄サテライト・キャンパス平成 24 年度・・・・・・・・・・ 95
3. 美唄サテライト・キャンパス平成 25 年度・・・・・・・・・・ 97
4. 美唄サテライト・キャンパス平成 26 年度・・・・・・・・・・ 101
5. 美唄サテライト・キャンパス平成 27 年度・・・・・・・・・・ 106
6. 美唄サテライト・キャンパス平成 28 年度・・・・・・・・・・ 110
7. 美唄サテライト・キャンパス平成 29 年度・・・・・・・・・・ 122
8. 美唄サテライト・キャンパス平成 30 年度・・・・・・・・・・ 128

(1)清田区における健康づくり活動：高齢者の健康の維持・増進を目的とした地区ウォーキング

1.はじめに

平成10年、清田区は、札幌市が提言した健康札幌21の「自分の健康は自分で守ろう」のスローガンのもと、生活習慣病予防対策の一環として、区民に対し、健康づくり活動を現在に至るまで行っている。

清田区独自の健康づくり活動として、「健康&介護予防フェア」、「地域健康教室」、「健康アップ支援事業」という3つの取り組みがなされている。「健康&介護予防フェア」とは区民に対する健康づくり及び介護予防の意識啓発などが主な内容の事業である。「地域健康教室」は医師や薬剤師などを招いて、保健・医療の最新で新しい情報を提供することで、区民一人ひとりが健康づくりを実施できることを目指すという活動である。「健康アップ支援事業」では、地域で健康づくりを推進する人材を育成するために、地域住民が自主的に健康づくりの企画・実施をしていくための健康づくりの場を提供する取り組みを行っている。

高齢者の健康づくり自主団体の清田Hi遊会と連携してさまざまな健康づくり活動にも力を入れてきている。それらの事業は「健康づくりリーダー養成研修」、「清田区歩こう会」、「地区ウォーキング」の3つである。1つ目の、「健康づくりリーダー養成研修」とは、清田区で健康づくりの中心となる人材を養成するための取り組みを行っている。この研修を受講した人のほとんどが清田Hi遊会に入会している。2つ目の、「清田区歩こう会」は、区民の健康増進を図り、ウォーキング活動を通し清田区のウォーキング人口を増やし、ウォーキングにおける健康づくりを推進していく取り組みである。3つ目は、「地区ウォーキング」という取り組みで、2つの目的を持って行っている。目的の1つ目は、生活習慣病や寝たきりを防止し、活気あるまちづくりを進めるため、目的の2つ目は、地域の健康づくりに興味を持ってもらうことである。

2. 平成 28 年度清田区における健康づくり活動

清田区における健康づくり活動には、清田区独自で行っている事業および、清田 Hi 遊会と連携して行っている事業がある。

清田区独自で行っている事業

清田区独自で行っている事業は、(1) 平成 28 年度健康&介護予防フェア、(2) 平成 28 年度市民健康教育（地域健康教室）、(3) 平成 28 年度元気な街づくり支援事業「健康アップ支援事業」である。

(1) 平成 28 年度健康&介護予防フェア

①事業概要

健康増進普及月間にあわせて保健福祉部で実施する健康や介護予防に関する普及啓発のイベントである。

②目的

- ・ 区民に対する健康づくり及び介護予防を知識の普及・意識啓発、保健福祉部における事業及び、特定保健診査等の紹介・PR を行う。
- ・ 関係団体・ボランティアとの協働実施により地域における連携を促進している。

③実施内容

国の「健康増進普及月間」にあわせて、健康と介護予防を目的とした様々な事業を毎年 9 月に開催し、子どもから高齢者まで幅広い参加者を目指して実施している。

実施日：9 月 10 日（土）

保健福祉課・保険年金課・健康・子ども課の 3 課合同で実施した。

清田区食生活改善推進員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、健康づくりリーダー、清田 Hi 遊会など関係団体・ボランティア等 19 団体と協力して実施した。

清田区健康&介護予防フェア 2016

役立つ情報、
楽しいイベントがいっぱい!

きよたマルシェと
同日開催

平成28年9月10日(土)
10:00~14:30 開場:9:30

会場:清田区役所2・3階

(受付1階ロビー) (清田区平岡1条1丁目)



健康づくり講演会

市民健康教室
「ネット時代の
医療介護施設の探し方」
講師:鈴木内科医院 院長
鈴木 岳氏
場所:3階 大会議室
時間:13:30~14:30

食生活改善展 (試食もあります)

※肺年齢測定 (先着午前60名、午後60名)
※血管年齢チェック (先着午前60名、午後60名)
★はり、温灸、あんま、指圧マッサージ体験
(先着午後40名)
生活衛生展 (食の安全・安心クイズラリー)
体力測定
※9:40からと12:00から2回整理券を配布します。
★13:00から整理券を配布します。

介護予防

転倒予防のための身体
チェック(ロコモティブ
シンドロームの予防)
認知症予防の情報提供

アンケート記入者に
プレゼントを
差し上げます

9月16日(金)

区民交流ウォーキング
「第2回清田区歩こう会」

時間:9:30から
コース:清田区の史跡探訪コース(約6.5km)
申込不要

福祉作業所の製作品販売コーナーがあります
手作りクッキー、スモークチーズ、自家製ハチミツ、手芸品などの販売

※各イベントの時間については
裏面でご確認ください。

親子対象コーナー
手形・写真をプレゼント

主催:清田区保健福祉部

後援:札幌市医師会清田支部 札幌歯科医師会清田支部 札幌薬剤師会清田支部 北海道理学療法士会

清田区食生活改善推進員協議会 札幌市清田食品衛生協会 清田区社会福祉協議会 清田区第1地域包括支援センター

清田区第2地域包括支援センター 清田区介護予防センター清田・里塚・美しが丘 清田区介護予防センター清田中央

清田区介護予防センター北野・平岡 清田区健康づくりリーダー清田Hi遊会 北海道対がん協会 清田老人福祉センター

札幌臨床検査技師会 北海道鍼灸柔整マッサージ師会 清田区老人クラブ連合会 子育てボランティア

協賛:チェスト(株)

SAPP
RO



お問い合わせ先 清田区保健福祉部健康・子ども課 電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

さっぽろ市
02-045-161189
28-2-700

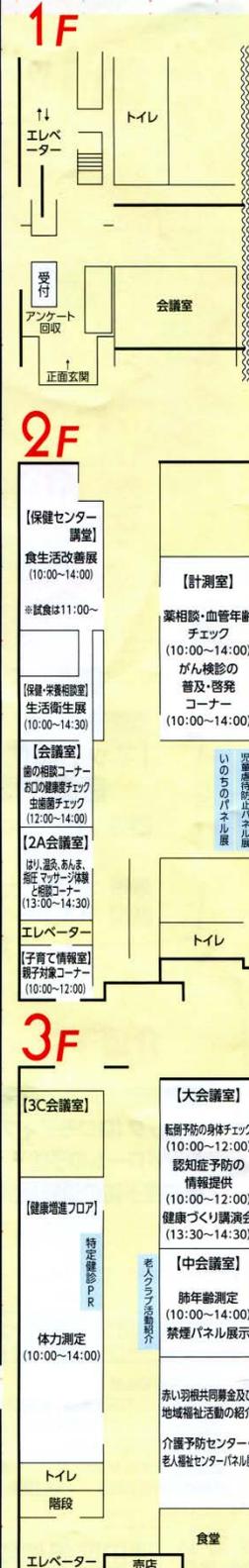
会場・プログラム

※各コーナーの混み具合によって、
人数制限を行う場合もございます。
(券)は整理券を配布します。

コーナー名	時間	内容	場所
親子対象 コーナー [てがたベタッ!大きくなったね!!]	10:00~12:00	乳幼児の身長・体重測定、手形、写真プレゼントなど、子育てサロンパネル展示	子育て情報室
パネル展示	10:00~14:30	児童虐待予防に関するパネル展 きづく・きく・つなぐ・みまもる ~いのちのパネル展~	2階待合室
薬の相談&血管 年齢チェック	10:00~14:00	薬剤師による薬の相談 血管年齢チェック	2階計測室
がん検診の 普及・啓発コーナー		がん検診PR、がん触診モデル の展示	
歯科相談・ 歯科ドック	12:00~14:00	歯の相談コーナー お口の健康度チェック (唾液検査、咬合力測定、口臭測定、虫歯菌チェック)	2階会議室
食生活改善展 [もっと野菜! ~清田の野菜を食べよう~]	10:00~14:00 ※試食は11:00~ なくなり次第終了	試食、食育パネル展示、 食生活改善推進員地区活動紹介 パネル展示	2階 保健センター講堂
生活衛生展 [学ぼう!食の安全・安心]	10:00~14:30	食の安全・安心クイズラリー、 パネル展	2階 保健・栄養相談室
はり、温灸、 あんま、指圧 マッサージ体験	13:00~14:30	鍼灸柔整マッサージ師会による 「はり、温灸、あんま、指圧 マッサージ体験とご相談」	2A会議室
今日から始める 介護予防 ~認知症予防はカラダづくりから~	10:00~12:00	理学療法士による身体機能 チェック、パネル展 認知症予防の情報提供	3階 大会議室
健康づくり講演会	13:30~14:30	「ネット時代の 医療介護施設の探し方」 講師：鈴木内科医院 院長 鈴木 岳 氏	3階 大会議室
体力測定 特定健診・ 特定保健指導PR	10:00~14:00	握力、肺活量、立位体前屈、 垂直とび 特定健康診査(とくとく健診) 紹介	3階 健康増進フロア
肺年齢測定		臨床検査技師による肺年齢の 測定、禁煙パネル展	3階中会議室
活動紹介		赤い羽根共同募金及び 地域福祉活動の紹介	3階 社会福祉協議会前
		老人クラブの活動について紹介	3階 廊下

9月16日開催

コーナー名	時間	内容	場所
区民交流 ウォーキング [第2回清田区歩こう会]	9:30~12:00	清田区の史跡探訪コース (約6.5km) 申込不要、受付9:00から、 雨天中止	集合・解散場所: 清田区役所前



(2) 平成 28 年度市民健康教育（地域健康教室）

① 事業概要

医師会、歯科医師会、薬剤師会からの講師による保健・医療の正しい情報を提供する講座である。

② 目的

保健・医療の最新で正しい情報を提供することで、区民一人ひとりが健康づくりを実施できることを目指す。

③ 実施内容

札幌市医師会、札幌歯科医師会、札幌薬剤師会の各幹事と連作調整を行い、日程・内容について検討し実施した。

周知に関しては、庁舎内にチラシ・ポスターの設置、公報さっぽろへの掲載の他、清田 Hi 遊会の会報送付時にチラシを同封し、参加者を募った。

<地域健康教室>

- ・ 10 月 26 日「知っておきたいノドの病気 声がれを中心に」
- ・ 11 月 16 日「冬に流行る感染症～ノロウイルス胃腸炎を中心に～」
- ・ 1 月 26 日「血液の病気と最近の治療について」

知っておきたいノドの病気 声がかれを中心に

平成28年度 地域健康教室 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新
情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を
講師に招いて講演会を開催します。



- 日 時 : 平成28年10月26日(水曜日)
午後2時～午後3時
- 会 場 : 清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)
- 講 師 : アリス耳鼻咽喉科
院長 唐崎 玲子 氏
- 参加料 : 無 料
- 申込み : 不 要
当日直接会場へいらしてください
- 主 催 : 札幌市医師会清田区支部
- 問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

冬に流行る感染症 ～ノロウイルス胃腸炎を中心に～

平成28年度 地域健康教室 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、
清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日時：平成28年11月16日（水曜日）
午後2時～午後3時
- 会場：清田区役所 2階 保健センター講堂
（清田区平岡1条1丁目）
- 講師：ひらおか公園小児科
院長 長田 伸夫 氏
- 参加料：無 料
- 申込み：不 要
当日直接会場へいらしてください
- 主催：清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ：清田区保健福祉部健康・こども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-756
28-2-520



血液の病気と最近の治療について

平成28年度 地域健康教室 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日時：平成29年1月26日(木曜日)
午後2時～午後3時
- 会場：清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)
- 講師：美しが丘病院
澤田 賢一 医師
- 参加料：無料
- 申込み：不要
当日直接会場へいらしてください
- 主催：札幌市医師会清田区支部
- 問合せ：清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-1869
28-2-1096



<市民健康教室>

- ・6月22日「耳鼻咽喉科領域の病気～特に高齢者に多い難聴・耳鳴・がんなど～」
- ・7月19日「大腸ポリープと大腸がん」

耳鼻咽喉科領域の病気 ～特に高齢者に多い難聴・耳鳴・がんなど～

平成28年度 札幌市医師会・市民健康教育 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、
清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日時：平成28年6月22日（水曜日）
午後2時～午後3時
- 会場：清田区役所 2階 保健センター講堂
（清田区平岡1条1丁目）
- 講師：すずきENTクリニック（耳鼻咽喉科）
院長 鈴木 清護 氏
- 参加料：無 料
- 申込み：不 要
当日直接会場へいらしてください
- 主催：清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ：清田区保健福祉部健康・こども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-756
28-2-520



大腸ポリープと大腸がん

平成28年度 市民健康教育 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、
清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日 時 : 平成28年7月19日 (火曜日)
午後2時～午後3時
- 会 場 : 清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)
- 講 師 : 札幌清田病院
消化器科部長 岡本 哲郎氏
- 参加料 : 無 料
- 申込み : 不 要
当日直接会場へいらしてください
- 問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-756
28-2-520



(3) 平成 28 年度元気なまちづくり支援事業「健康アップ支援事業」

① 事業概要

3 階健康増進フロアを一般開放し、地域住民が自主的に健康づくりを企画、実施していくための組織づくりの場として提供している。隔週の火曜日ではスポーツ健康指導研究科の大学院生の新潟 直樹氏が担当していた。

② 目的

地域住民の健康づくり活動を推進する。

- ・健康づくりを企画・実施するグループに対して育成や支援を図っていく。
- ・地域で健康づくり活動を推進する人材を育成する。

③ 実施内容

健康増進フロアの一般開放（施設管理は外部委託）

1 日時

毎週土曜日（祝日、年末年始を除く） 午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分

隔週火曜日 午前 10 時～11 時

2 対象者

18 歳以上の区民（市民も可）

3 運動教室

ダンベルとストレッチ（初心者向き） 午前 10 時 30 分～午前 11 時 20 分

リズムウォーキング（運動経験者向き） 午後 2 時 00 分～午後 2 時 50 分

平成28年度

健康増進フロア 土曜日の運動教室

教室日時 毎週土曜日（ただし、4月2日、9月10日、12月31日、
2月11日はお休みです）
午前9時30分～午後4時（正午～午後1時は休館いたします）
※業務の都合によりやむを得ず休館する場合がありますので、予めご了承願います。

場 所 清田区役所 3階 健康増進フロア

内 容 ■ 運動教室

☆ ダンベルとストレッチ（筋肉づくり）【運動初心者向き】

午前 10時30分～11時20分

☆ リズムウォーキング【運動経験者向き】

午後 2時～2時50分



■ 運動機器の使用

- ・開館中の運動機器の使用は運動指導員の指示に従ってください。
- ・上記運動教室時間帯では運動機器の使用はできません。

対 象 者 札幌市内にお住まいの18歳以上の方

利 用 料 無 料 申し込み 不 要
(直接会場にお越しください。)

持 ち 物 運動靴（土足禁止）、運動しやすい服装（男女別更衣室、ロッカーあり）汗拭きタオル、水分補給用飲料水

問 合 せ 清田区保健福祉部健康・子ども課（保健センター）

TEL 889-2049 FAX 889-2405

Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

イキイキ健康増進教室

7月5日(火)から札幌国際大学スポーツ人間学部
と連携して、運動教室を行います。

毎月第1、第3火曜日

教室日時

7月5日(火)～平成29年3月21日(火)

※1月3日の振替日は1月6日(金)です。

午前10時～11時(9時30分受付)

※業務の都合によりやむを得ず休館する場合がありますので、予めご了承願います。

場 所

清田区役所 3階 健康増進フロア

内 容

☆ ダンベルとストレッチ(学生による指導)

利用料

無 料



定 員

40人

当日直接会場にお越しください。(先着)

持 ち 物

運動靴(土足禁止)、運動しやすい服装(男女別更衣室、ロッカ
ーあり)汗拭きタオル、水分補給用飲料水

問 合 せ

清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター)

TEL 889-2049 FAX 889-2405

Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

SAPP
RO



さっぽろ市
02-Q03-16-755
28-2-519

平成 28 年度清田 Hi 遊会との連携事業

清田 Hi 遊会との連携事業には、(1) 平成 28 年度健康づくりリーダー養成研修 (2) 平成 28 年度清田区歩こう会 (3) 平成 28 年度元気なまちづくり支援事業「ウォーキング健康づくり事業」がある。

(1) 平成 28 年度健康づくりリーダー養成研修

① 事業概要

区民の健康づくりのために地域で活躍できる人材を養成するための研修。札幌市としてのリーダー養成研修は平成 22 年度をもって終了となった。平成 23 年度からは、区独自のプログラムにより実施し、清田 Hi 遊会の人材育成にも力を入れている。

② 目的

地域の中で健康づくり運動推進の中心的役割を担い、健康づくり活動を展開、推進できる人材を養成する。

③ 実施内容

● 研修受講者

一般公募と推薦で募集を行った。連合町内会長宅には、推薦依頼文を送付し、まちづくりセンター所長には、公募ポスターの掲示を依頼した。

● 研修内容

平成 22 年度で予算措置がなくなり、平成 23 年度以降は、清田区独自のプログラム（以下のとおり）で実施。受講者は終了賞を授与されている。

平成 28 年度

健康づくりリーダー養成研修

一般受講者募集のお知らせ

～地域の方々の健康づくりを応援するボランティアを養成するために研修を実施します～
～健康づくりについて学び、自分の健康と地域の健康づくりを推進しませんか～

対象 地域の健康づくりに関心があり、研修修了後地域、町内会及び保健センターの健康づくり事業にボランティアとして活動できる区民の方
(全プログラム参加可能な方)

※ 研修にはウォーキングの実技もありますので、運動制限のある方はご相談ください。

定員 30名

日程	日	時間
(1)	9月30日(金)	9:30～11:30
(2)	10月 3日(月)	9:30～11:30
(3)	10月 7日(金)	9:30～11:45
(4)	10月12日(水)	9:15～12:00
(5)	10月20日(木)	9:30～11:30

内容 裏面に記載

会場 清田区役所 2階 保健センター講堂など

受講料 無料

申込方法 9月21日(水)までに電話または窓口(土・日曜、祝・休日を除く)、FAXまたはEメール(住所、氏名、年齢、電話番号、FAXの場合はFAX番号も明記)でお申込みください。

申込み・問合せ先

清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター)健やか推進係

電話 889-2049 FAX 889-2405

Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

詳細は裏面を御覧ください



平成 28 年度 健康づくりリーダー養成研修プログラム

回	日程・会場	時 間	内 容
1	9月30日(金) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:45	開講式(オリエンテーション)
		9:50～10:20	「地域における健康づくりリーダーの役割と健康さっぽろ21(第二次)について」
		10:30～11:30	「健康づくりのための食生活」
2	10月3日(月) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:35	オリエンテーション
		9:35～10:35	「健康づくりから地域づくり」
		10:45～11:30	「清田Hi遊会の健康づくり活動の歩み」
3	10月7日(金) 区役所2階 保健センター講堂 区役所3階 健康増進フロア	9:30～9:35	オリエンテーション
		9:35～10:35	「認知症予防はカラダづくりから!」
		10:45～11:45	ウォーキング実技
4	10月12日(水) 区役所2階 栄養実習室 平岡樹芸センター	9:15～12:00	行楽弁当の調理実習 区内ウォーキング(約4キロ)
5	10月20日(木) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:35	オリエンテーション
		9:35～10:30	「清田区のまちづくり」
		10:40～11:20	先輩リーダーとの交流会
		11:20～11:30	閉講式

(2) 平成 28 年度清田区歩こう会

① 事業概要

清田区ふれあいプランの中で掲げる「市民参加によるまちづくり」の健康づくりを推進するため年間を通して可能なウォーキングを実施する。

② 目的

区民の健康増進を図り、「歩きやすい街」、「歩いていて楽しい街」、「歩きたくなる街」を目指してウォーキングを実施するとともに、区内のウォーキング人口を増やし、ウォーキングによる健康づくりを推進する。

③ 実施内容

清田 Hi 遊会と共催で実施した。

健康づくりリーダー(清田 Hi 遊会)を中心に歩き方の指導を行い、ウォーキング開始前と終了後には、体操を実施した。

実施内容（日程・コース・参加者）

年 3 回実施

平成 28 年 5 月 20 日 平岡公園よくばりコース（約 8 km）

平成 28 年 9 月 16 日 清田区の史跡探訪コース（約 6.5 km）

平成 29 年 1 月 31 日 白旗山かんじきウォーキング（約 2 km）

平成28年度

第1回 清田区歩こう会

誰でも、どこでも、いつからでも、気軽に始められるウォーキング。
手軽に運動習慣が身につくだけでなく、肥満やストレスの解消、
生活習慣病の予防にも効果があります。

*日 時：平成28年5月20日(金曜日)

午前 9時30分～12時

*集合・解散場所：清田区役所前

*コース：平岡公園よくばりコース(約8km)
(普通コース、ゆっくりコースがあります。)

*持ち物：水分補給用飲料水、汗拭き用タオル

*申込み：不要。9時から受付を行います。

※雨天の場合は中止です。帽子、歩きやすい靴でご参加ください。

第2回 清田区歩こう会
平成28年9月

第3回 清田区歩こう会
平成29年1月
冬の白旗山かんじきウォーキング

※第2、3回についての詳細は後日お知らせします。

主催：清田区健康・子ども課
清田区健康づくりリーダーの皆さん
詳細：清田区健康・子ども課 TEL 889-2049
FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-707
28-2-480



平成28年度

第2回 清田区歩こう会

誰でも、どこでも、いつからでも、気軽に始められるウォーキング。
手軽に運動習慣が身につくだけでなく、肥満やストレスの解消、
生活習慣病の予防にも効果があります。

*日 時：平成28年9月16日(金曜日)

午前 9時30分～12時

*集合・解散場所：清田区役所前

*コース：清田区の史跡探訪コース(約6.5 km)

*持ち物：水分補給用飲料水、汗拭き用タオル

*申込み：不要。9時から受付を行います。

※雨天の場合は中止です。

※帽子、歩きやすい靴でご参加ください。

第3回 清田区歩こう会

平成29年1月 冬の白旗山かんじきウォーキング

※詳細については後日お知らせします。



主催：清田区健康・子ども課
協力：清田Hi遊会
詳細：清田区健康・子ども課 TEL 889-2049
FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp





平成28年度



第3回 清田区歩こう会

今年度最後の「清田区歩こう会」は、雪の白旗山自然観察の森を散策します。
真っ白な雪の森をかんじきをはいて歩けば、小鳥の群れや動物の足跡が見つかるかも・・・♪

*日 時 : 平成**29**年**1**月**31**日(火曜日)

*受付時間 : 午前9時00分～9時20分

*受付場所 : 清田区役所 2階 保健センター講堂

*開始時間 : 午前9時30分～12時00分

*集合・解散場所 : 清田区役所前(現地までは貸切バス利用)

*コース : **冬の白旗山かんじきウォーキング**

※かんじき約1時間(約2km)

*持ち物 : 水分補給用飲料水・汗拭き用タオル等



*費用・申込み : 無料。平成**29**年**1**月**10**日(火)～

1月**25**日(水)までに電話、窓口、FAX、Eメール
でお申し込み下さい。



※(土・日曜、祝日を除く。予約制:先着80名まで)

- ① かんじきは、白旗山森林活用センターで貸し出します。
- ② ストックの必要な方は、各自用意してください。
- ③ 長靴等、雪の入らない靴を履いてご参加ください。
- ④ 屋外ですので暖かい服装(帽子、手袋、重ね着)でおいでください。
- ⑤ 体力に自信のない方はご遠慮ください。
- ⑥ 運動制限のある方等は主治医にご相談ください。
- ⑦ 吹雪の場合は中止です。



主 催 : 清田区健康・子ども課 協 力 : 清田Hi遊会

詳細・申込み : 清田区健康・子ども課 (電話 : 889-2049 内線525)

FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

さっぽろ市
02-003-16-1858
28-2-1092

(3) 平成 28 年度元気なまちづくり支援事業「ウォーキング健康づくり事業」

地区ウォーキング

① 事業概要

平成 17 年より、健康づくりリーダー養成研修修了者（主に清田区 Hi 遊会）の主催で行われている全 4 地区で実施するウォーキング事業。

② 目的

- ・生活習慣病及び寝たきり等を予防し、活力あふれるまちづくりをすすめるために気軽にできるウォーキングを普及させる。
- ・地区別に歩くことで、地域の健康づくりに関心を持つとともに、共に歩く仲間がいることを知る。

③ 実施内容

実施結果を参照。保健センターでは、チラシの作成・配布や年度終了時における反省会の実施等の協力、支援を行っている

平成28年度



「清田区を歩こう」

全地区版

地区ウォーキング のご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。

健康づくりリーダーと一緒に、皆さんもウォーキングを楽しみませんか。

一時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。お住まいの地区以外の方も参加可能です。

※地区ウォーキング終了後（11月）、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。

全地区共通：出発時間 10時。雨天時は中止です
(集合時間 9時50分)

清田・真栄地区

日 程 毎月**4**のつく日
(4日、14日、24日)

期 間 4月14日～11月14日

集合場所 清田高空公園 (清田中学校付近)
[清田4条3丁目]

※集合場所と解散場所が異なります

北野地区

日 程 毎月**5**のつく日
(5日、15日、25日)

期 間 4月15日～11月15日

集合場所 北野中央公園
(高木橋寄りの東屋)
[北野5条4丁目]

里塚・美しが丘地区

日 程 毎月**7**のつく日
(7日、17日、27日)

期 間 4月7日～11月17日

集合場所 里塚・美しが丘地区
センター正面広場
[里塚2条5丁目]

平岡地区

日 程 毎月**8**のつく日
(8日、18日、28日)

期 間 4月8日～11月18日

集合場所 平岡東光ストア
西側駐車場(旧ひな野前)
[平岡7条2丁目]



なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしておりませんので、ご了承ください。

主 催 清田H i 遊会 (清田区健康づくりリーダー)
後 援 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ 清田区保健福祉部健康・子ども課 (保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-15-2162
27-2-1248

3. 平成 29 年度清田区における健康づくり活動

(1) 平成 29 年度健康&介護予防フェア

保健福祉課・保険年金課・健康・子ども課の3課合同で実施した。

清田区食生活改善推進員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、健康づくりリーダー、清田 Hi 遊会など関係団体・ボランティア等 19 団体と協力して実施した。

きよたん 20th **清田区健康&介護予防フェア 2017**

平成29年9月9日(土)
10:00~14:30 開場9:30
会場: 清田区役所 2,3階 (受付1階ロビー)

アンケート記入者に
記念品プレゼント

きよフェス、
きよだマルシェ
と同日開催!!

☆体力測定
☆肺年齢測定 (先着120名)
☆血管年齢測定 (先着120名)
☆マッサージ体験 (先着40名)
☆お口の健康度測定
☆生活衛生展
終了時間が各コーナーで
異なります

今日から始める介護予防
物忘れ相談プログラム
先着30名 整理券あり

清田の野菜を使った試食提供
11時~なくなり次第終了

乳幼児向けコーナー
(手形、写真プレゼント)

主催: 清田区保健福祉部
後援: 札幌市医師会清田区支部 札幌商科医師会清田支部 札幌薬剤師会清田支部 北海道理学療法士会札幌支部
札幌臨床検査技師会 北海道鍼灸柔整マッサージ師会 北海道対がん協会 清田区食生活改善推進員協議会
札幌市清田食品衛生協会 清田区社会福祉協議会 清田区老人クラブ連合会 清田区第1地域包括支援センター
清田区第2地域包括支援センター 清田区介護予防センター清田・翠塚・美しが丘 清田区介護予防センター清田中央
清田区介護予防センター北野・平岡 清田区健康づくりリーダー清田 田道会 清田老人福祉センター 子育てボランティア
協賛: サムスタ株式会社

お問い合わせ先 清田区健康・子ども課 電話889-2049 FAX 889-2405
Eメールkiyota.kenko@city.sapporo.jp

会場・プログラム

※各コーナーの混み具合によって、人数制限を行う場合もございます。(券)は整理券を配布します。

2F

コーナー名	時間	内容	場所
乳幼児向けコーナー	10:00～12:00	乳幼児の身長・体重測定、手形、写真プレゼントなど、子育てサロンパネル展示	子育て情報室
パネル展示	10:00～14:00	児童虐待予防に関するパネル展 ぎぶく・きく・つなぐ・みまもる～いのちのパネル展～	待合室
薬の相談&血管年齢チェック	10:00～14:00	薬剤師による薬の相談 血管年齢チェック ★先着120名	計測室
がん検診の普及・啓発コーナー	10:00～14:00	がん検診PR、がん検診モデルの展示	
歯科相談・歯科ドック	12:00～14:00	歯の相談コーナー お口の健康度チェック(唾液検査、咬合力測定、口臭測定、虫歯菌チェック)	会議室
食生活改善展「もっと野菜!～「食」で笑顔をつなげよう～」	10:00～14:00 ※試食は11時～なくなり次第終了	試食、食育パネル展示、食生活改善推進員地区活動紹介パネル展示	講堂
生活衛生展「学ぼう!食の安全・安心」	10:00～14:00	食の安全・安心クイズラリー、パネル展、手洗いチェック	保健・栄養相談室
はり・きゅう・あん摩 マッサージ 指圧の施術体験と相談コーナー	13:00～14:30	鍼灸柔整マッサージ師会による「はり・きゅう・あん摩 マッサージ 指圧の施術体験と相談コーナー」 ★先着40名	2A会議室

3F

コーナー名	時間	内容	場所
今日から始める介護予防	10:00～12:00	理学療法士による運動機能の評価(転倒評価) 物忘れ相談プログラム ★先着30名(整理券あり) 脳トシの実施 介護予防事業についてのパネル展	大会議室
体力測定	10:00～14:00	握力、長座体前屈、垂直とび、足指力測定	健康増進フロア
特定健診・特定保健指導PR	10:00～14:00	特定健康診査・特定保健指導について紹介	大会議室
肺年齢測定	10:00～14:00	臨床検査技師による肺年齢測定 禁煙パネル展 ★先着120名	中会議室
活動紹介	10:00～14:00	赤い羽根共同募金及び地域福祉活動について紹介 老人クラブの活動について紹介	社会福祉協議会前廊下

フェアティアップ企画

イベント名	日時	内容	場所
健康づくり講演会 市民健康教育	9月13日(水) 14:00～15:00	講師：医療社団法人 産科・婦人科 清田ウイメンクリニック 院長 萬 豊氏 テーマ：少子化を考える～産婦人科医からの提言～	清田区役所 2階講堂
区民交流ウォーキング 「第2回清田区歩こう会」	9月22日(金) 9:30～12:00	のんびりテクテク高台コース(約7.5km) 受付：9:00～(申し込み不要 雨天中止)	集合解散場所： 清田区役所前

(2) 平成 29 年度地域健康教室、市民健康教育

<地域健康教室>

- ・ 10 月 26 日 「健康寿命を延ばすために必要なこと～食と生活習慣～」
- ・ 11 月 22 日 「肩の病気について～五十肩だけじゃないんです～」
- ・ 1 月 24 日 「皮膚の病気について～そもそもアトピーってなに？～」

<市民健康教室>

- ・ 6 月 30 日 「効果の高い健診の受け方」
- ・ 7 月 31 日 「様々な体調不良に対するプラセンタ組織療法」
- ・ 9 月 13 日 「少子化を考える～産婦人科医からの提言～」
- ・ 1 月 19 日 「健康と薬について
～薬と上手につきあい健康な毎日を送るために～」
- ・ 2 月 21 日 「お口の健康について」

健康寿命を延ばすために必要なこと ～食と生活習慣～

平成29年度 札幌市医師会・地域健康教室 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



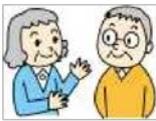
- 日 時 : 平成29年10月26日 (木曜日)
午後2時～午後3時
- 会 場 : 清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)
- 講 師 : 医療法人社団滯和会 ながの小児科
理事長 長野 省五(ながの しょうご) 氏
- 参加料 : 無 料
- 申込み : 不 要
当日直接会場へいらしてください。
- 主催 : 清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-1569
29-2-1034

肩の病気について ～五十肩だけじゃないんです～

平成29年度 札幌市医師会・地域健康教室 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日時：平成29年11月22日（水曜日）
午後2時～午後3時
- 会場：清田区役所 2階 保健センター講堂
（清田区平岡1条1丁目）
- 講師：社会医療法人 蘭友会 札幌里塚病院
整形外科科長 合六 孝広（ごうろく たかひろ）氏
- 参加料：無料
- 申込み：不要

- 主催：清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ：清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-Q03-17-1747
29-2-1129

皮膚の病気について ～そもそもアトピーってなに?～

平成29年度 札幌市医師会・地域健康教室 ご案内

- 日時：平成30年1月24日（水曜日）
午後2時～午後3時
- 会場：清田区役所 2階 保健センター講堂
（清田区平岡 1条 1丁目）
- 講師：医療法人社団 宏仁会
平岡皮膚科スキンケアクリニック
院長 高橋 宏征（たかはし ひろゆき）氏
- 参加料：無 料
- 申込み：不 要
当日直接会場へいらしてください。
- 主催：清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ：清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

効果の高い健診の受け方

平成29年度 札幌市医師会・市民健康教育 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日 時 : 平成29年6月30日 (金曜日)
午後2時～午後3時
- 会 場 : 清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)
- 講 師 : みき内科消化器きたのクリニック
院長 三木 巖 氏
- 参加料 : 無 料
- 申込み : 不 要
当日直接会場へいらしてください
- 主催 : 清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ : 清田区保健福祉部健康・こども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-884
29-2-644



様々な体調不良に対する プラセンタ組織療法

平成29年度 札幌市医師会・市民健康教育 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日時：平成29年7月31日（月曜日）
午後2時～午後3時
- 会場：清田区役所 2階 保健センター講堂
（清田区平岡1条1丁目）
- 講師：北海道医療生活協同組合 札幌緑愛病院
理事長 羽二生 輝樹 氏
- 参加料：無料
- 申込み：不要

- 主催：清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ：清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-1008
29-2-719

SAPP
RO

少子化を考える ～産婦人科医からの提言～

平成29年度 札幌市医師会・市民健康教育 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日 時 : 平成29年9月13日 (水曜日)
午後2時～午後3時
- 会 場 : 清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)
- 講 師 : 医療社団法人 産科・婦人科
清田ウイメンズクリニック
院長 萬 豊(よろず ゆたか) 氏
- 参加料 : 無 料
- 申込み : 不 要

- 主催 : 清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
04-003-17-1396
29-2-936



健康と薬について ～くすりと上手につきあい 健康な毎日を送るために～ 平成29年度 札幌薬剤師会・市民健康教育 ご案内

薬の色々な情報について、薬剤師がお伝えします！

- 日 時 : 平成**30**年**1**月**19**日(金)
午後**2**時～午後**3**時
- 会 場 : 清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)
- 講 師 : すずらん調剤薬局 菅原 広樹 氏
- 参 加 料 : 無 料
- 申 込 み : 不 要
当日直接会場へいらしてください。
- 問 合 せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課
TEL**889-2049** (内線 **525**) FAX**889-2405**
Eメール Kiyota.KenKo@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-2042
29-2-1278

お口の健康について

平成29年度札幌歯科医師会・市民健康教育 ご案内

医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに
清田区内の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日時：平成**30**年**2**月**21**日(水曜日)

午後2時～3時

- 会場：清田区役所2階 保健センター講堂

(清田区平岡1条1丁目)

- 講師：ひだまりスマイル歯科

院長 水上 直弘 氏

- 参加料：無料

- 申込み：不要(当日直接会場へお越しください。)

- 問合せ：清田区保健福祉部健康・子ども課

電話 889-2049 FAX 889-2405

Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-2193
29-2-1350



平成29年度

健康増進フロア 土曜日の運動教室

教室日時 毎週土曜日（ただし、4月1日、4月29日、7月29日、9月9日、9月23日、12月23日、12月30日、はお休みです）
午前9時30分～午後4時（正午～午後1時は休館いたします）
※業務の都合によりやむを得ず休館する場合がありますので、予めご了承ください。

場 所 清田区役所 3階 健康増進フロア

内 容 ■ **運動教室**

☆ **ダンベルとストレッチ（筋肉づくり）【運動初心者向き】**
午前 10時30分～11時20分

☆ **リズムウォーキング【運動経験者向き】**
午後 2時～2時50分

■ **運動機器の使用**
・開館中の運動機器の使用は運動指導員の指示に従ってください。
・上記運動教室時間帯では運動機器の使用はできません。

対象者 札幌市内にお住まいの18歳以上の方

利用料 無 料 申し込み 不 要
(直接会場にお越しください。)

持ち物 運動靴（土足禁止）、運動しやすい服装（男女別更衣室、ロッカーあり）汗拭きタオル、水分補給用飲料水

問 合 せ 清田区保健福祉部健康・子ども課（保健センター）
TEL 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



イキイキ健康増進教室

札幌国際大学スポーツ人間学部と連携して、運動教室を行います。

毎月第1、第3火曜日

教室日時

4月4日(火)～平成30年3月20日(火)

※1月2日の振替日は1月5日(金)です。

午前10時～11時(9時30分受付)

※業務の都合によりやむを得ず休館する場合がありますので、予めご了承ください。

場 所

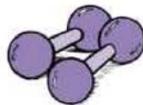
清田区役所 3階 健康増進フロア

内 容

☆ ダンベルとストレッチ (学生による指導)

利用料

無 料



定 員

40人

当日直接会場にお越しください。(先着)

持ち物

運動靴(土足禁止)、運動しやすい服装(男女別更衣室、ロッカーあり) 汗拭きタオル、水分補給用飲料水

問 合 せ

清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター)

TEL 889-2049 FAX 889-2405

Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



平成 29 年度清田 Hi 遊会との連携事業

(1) 平成 29 年度健康づくりリーダー養成研修

平成 29 年度

健康づくりリーダー養成研修

一般受講者募集のお知らせ

～地域の方々の健康づくりを応援するボランティアになってみませんか？～
～健康づくりを学び、自分と地域方々の健康づくりに取り組みましょう！～

対象 地域の健康づくりに関心があり、研修終了後地域、町内会及び保健センターの健康づくり事業にボランティアとして活動できる区民の方
(全プログラム参加可能な方)

※ 研修にはウォーキングの実技もありますので、運動制限のある方はご相談ください。

定員 30名

日程

(1) 9月29日(金)	9:30～11:30
(2) 10月4日(水)	9:30～11:30
(3) 10月6日(金)	9:30～11:45
(4) 10月11日(水)	9:15～12:00
(5) 10月12日(木)	13:30～15:30

内容 裏面に記載

会場 清田区役所 2階 保健センター講堂など

受講料 無料

申込方法 9月20日(水)までに電話または窓口(土・日曜、祝・休日を除く)、FAXまたはEメール(住所、氏名、年齢、電話番号、FAXの場合はFAX番号も明記)でお申込みください。

申込み・問合せ先
清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

詳細は裏面をご覧ください



平成 29 年度 健康づくりリーダー養成研修プログラム

回	日程・会場	時 間	内 容
1	9月29日(金) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:45	開講式(オリエンテーション)
		9:50～10:20	「地域における健康づくりリーダーの役割と健康さっぽろ21(第二次)について」
		10:30～11:30	「健康づくりのための食生活」
2	10月4日(水) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:35	オリエンテーション
		9:35～10:35	「健康づくりから地域づくり」
		10:45～11:30	「滝田Hi遊会の健康づくり活動の歩み」
3	10月6日(金) 区役所2階 保健センター講堂 区役所3階 健康増進フロア	9:30～9:35	オリエンテーション
		9:35～10:35	「認知症予防はカラダづくりから！」
		10:45～11:45	ウォーキング実技
4	10月11日(水) 区役所2階 栄養実習室 平岡樹芸センター	9:15～12:00	行楽弁当の調理実習 区内ウォーキング(約4キロ)
5	10月12日(木) 区役所2階 保健センター講堂	13:30～13:35	オリエンテーション
		13:35～14:30	「滝田区のまちづくり」
		14:40～15:20	先輩リーダーとの交流会
		15:20～15:30	閉講式

(2) 平成29年度清田区歩こう会

実施内容 (日程・コース・参加者)

年3回実施

平成29年5月19日 平岡公園よくばりコース (約8km)

平成29年9月22日 のんびりてくてく高台コース (約7.5km)

平成30年1月30日 白旗山かんじきウォーキング (約2km)

平成29年度 第1回 清田区歩こう会

誰でも、どこでも、いつからでも、気軽に始められるウォーキング。
手軽に運動習慣が身につくだけでなく、肥満やストレスの解消、
生活習慣病の予防にも効果があります。

*日 時：平成29年5月19日(金曜日)

午前 9時30分～12時

*集合・解散場所：清田区役所前

*コ ー ス：平岡公園よくばりコース (約8km)
(普通コース、ゆっくりコースがあります。)

*持 ち 物：水分補給用飲料水、汗拭き用タオル

*申 込 み：不要。9時から受付を行います。

※雨天の場合は中止です。帽子、歩きやすい靴でご参加ください。

第2回 清田区歩こう会
平成29年9月

第3回 清田区歩こう会
平成30年1月
冬の白旗山かんじきウォーキング



※第2、3回についての詳細は後日お知らせします。

主 催：清田区健康・子ども課
清田区健康づくりリーダーの皆さん

詳 細：清田区健康・子ども課 TEL 889-2049



～清田区20周年記念～

平成29年度

第2回 清田区歩こう会

誰でも、どこでも、いつからでも、気軽に始められるウォーキング。
手軽に運動習慣が身につくだけでなく、肥満やストレスの解消、
生活習慣病の予防にも効果があります。

*日 時：平成29年9月22日(金曜日)

午前 9時30分～12時

*集合・解散場所：清田区役所前

*コース：のんびりテクテク高台コース(約1.5km)

*持ち物：水分補給用飲料水、汗拭き用タオル

*申込み：不要。9時から受付を行います。

※雨天の場合は中止です。

*清田区20周年記念グッズを差し上げます。

※帽子、歩きやすい靴でご参加ください。

第3回 清田区歩こう会 平成30年1月予定



冬の白旗山かんじきウォーキング

※詳細については後日お知らせします。



主催：清田区保健福祉部健康・子ども課
協力：清田Hi遊会
詳細：清田区健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kivota.kenko@city.sapporo.jp



～清田区20周年記念～
平成29年度
第3回 清田区歩こう会

今年度最後の「清田区歩こう会」は、雪の白旗山自然観察の森を散策します。
 真っ白な雪の森をかんじきをはいて歩けば、小鳥の群れや動物の足跡が見つかるかも・・・♪

*日 時：平成**30**年**1月30日**(**火曜日**)

*受付時間：午前**9時00分**～**9時20分**

*受付場所：清田区役所 **2階** 保健センター講堂

*開始時間：午前**9時30分**～**12時00分**

*集合・解散場所：清田区役所前(現地までは貸切バス利用)

*コース：**冬の白旗山かんじきウォーキング**
 ※かんじき約**1時間**(約**2km**)

*持ち物：水分補給用飲料水・汗拭き用タオル等

*費用・申込み：無料。平成**30**年**1月9日**(**火**)～

1月24日(**水**)までに電話、窓口、FAX、
 Eメールでお申し込み下さい。

※(土・日曜、祝日を除く。予約制:先着**80名**まで)



- ① かんじきは、白旗山森林活用センターで貸し出します。
- ② ストックの必要な方は、各自用意してください。
- ③ 長靴等、雪の入らない靴を履いてご参加ください。
- ④ 屋外ですので暖かい服装(帽子、手袋、重ね着)でおいでください。
- ⑤ 体力に自信のない方はご遠慮ください。
- ⑥ 運動制限のある方等は主治医にご相談ください。
- ⑦ 吹雪の場合は中止です。



主 催：清田区健康・子ども課 協 力：清田HI遊会
 詳細・申込み：清田区健康・子ども課(電話：889-2049 内線525)
 FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

さっぽろ市
 02-003-17-1850
 29-2-1186

(3) 平成29年度元気なまちづくり支援事業「ウォーキング健康づくり事業」

地区ウォーキング

平成29年度 清田・真栄地区ウォーキングのご案内



「清田区を歩こう」

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。



日 程	毎月 4 のつく日 (4日、14日、24日)
期 間	4月14日～11月14日
集合場所	清田青空公園(清田中学校付近)
集合時間	午前9時50分
出発時間	午前10時(雨天中止)
持ち物	水分補給用飲料水、 汗拭きタオル、帽子

☆動きやすい服装、運動靴でお越しください。集合場所と解散場所が異なります。
※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。

平岡地区	北野地区	里塚・美しが丘地区
日 程 毎月 8 のつく日 (8日、18日、28日)	日 程 毎月 5 のつく日 (5日、15日、25日)	日 程 毎月 7 のつく日 (7日、17日、27日)
期 間 4月8日～11月18日	期 間 4月15日～11月15日	期 間 4月7日～11月17日
集合場所 平岡東光ストア 西側駐車場	集合場所 北野中央公園の 高木橋寄り東屋	集合場所 里塚・美しが丘地区 センター正面広場

なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしておりませんので、ご了承ください。



主 催 : 清田Hi遊会(清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-2247
28-2-1279

平成29年度



「清田区を歩こう」

清田・真栄地区ウォーキングのご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。



日 程 毎月**4**のつく日

(4日、14日、24日)

期 間 4月14日～11月14日

集合場所 清田青空公園 (清田中学校付近)

集合時間 午前9時50分

出発時間 午前10時 (雨天中止)

持ち物 水分補給用飲料水、
汗拭きタオル、帽子



☆動きやすい服装、運動靴でお越しください。集合場所と解散場所が異なります。

※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。

平岡地区

日 程 毎月**8**のつく日
(8日、18日、28日)

期 間 4月8日～11月18日

集合場所 平岡東光ストア
西側駐車場

北野地区

日 程 毎月**5**のつく日
(5日、15日、25日)

期 間 4月15日～11月15日

集合場所 北野中央公園の
高木橋寄り東屋

里塚・美しが丘地区

日 程 毎月**7**のつく日
(7日、17日、27日)

期 間 4月7日～11月17日

集合場所 里塚・美しが丘地区
センター正面広場

なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしておりませんので、ご了承ください。



主 催 : 清田Hi遊会 (清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課 (保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-2247
28-2-1279

平成29年度



「清田区を歩こう」



里塚・美しが丘地区ウォーキング のご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。



日 程 毎月**7**のつく日

(7日、17日、27日)

期 間 4月7日～11月17日

集合場所 里塚・美しが丘地区センター正面広場 **集合時**

間 午前9時50分

出発時間 午前10時(雨天時は中止)

持ち物 水分補給用飲料水、汗拭きタオル、帽子

☆動きやすい服装、運動靴でお越しください。

※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。

平岡地区

日 程 毎月**8**のつく日
(8日、18日、28日)

期 間 4月8日～11月18日

集合場所 平岡東光ストア
西側駐車場

北野地区

日 程 毎月**5**のつく日
(5日、15日、25日)

期 間 4月15日～11月15日

集合場所 北野中央公園の
高木橋寄り東屋

清田・真栄地区

日 程 毎月**4**のつく日
(4日、14日、24日)

期 間 4月14日～11月14日

集合場所 清田青空公園
(清田中学校付近)



なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしてありませんので、ご了承ください。

主 催 : 清田H:遊会(清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-2251
20-2-1261

平成29年度



「清田区を歩こう」

SAPPORO

北野地区ウォーキングのご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。



日 程	毎月 5 のつく日 (5日、15日、25日)
期 間	4月15日～11月15日
集合場所	北野中央公園 (高木橋寄りの東屋)
集合時間	午前9時50分
出発時間	午前10時 (雨天時は中止)
持 ち 物	水分補給用飲料水、汗拭きタオル、帽子 ☆動きやすい服装、運動靴でお越しく下さい。

※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。

清田・真栄地区

日 程	毎月 4 のつく日 (4日、14日、24日)
期 間	4月14日～11月14日
集合場所	清田青空公園 (清田中学校付近)

平岡地区

日 程	毎月 8 のつく日 (8日、18日、28日)
期 間	4月8日～11月18日
集合場所	平岡東光ストア 西側駐車場

里塚・美しが丘地区

日 程	毎月 7 のつく日 (7日、17日、27日)
期 間	4月7日～11月17日
集合場所	里塚・美しが丘地区 センター正面広場

なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしておりませんので、ご了承ください。



主 催 : 清田Hi遊会 (清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課 (保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-16-2249
28-2-1280

4. 平成30年度清田区における健康づくり活動

(1) 平成30年度健康&介護予防フェア

① 実施内容

実施日：10月31日（水）

- ・保健福祉課・保険年金課・健康・子ども課の3課合同で実施した。
- ・清田区食生活改善推進員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、健康づくりリーダー、清田Hi遊会など関係団体・ボランティア等19団体と協力して実施した。

2018 清田区健康&介護予防フェア
平成30年10月31日(水)
10:00~14:00
会場 清田区役所1~3階
(受付・案内2階)

アンケート記入者に記念品プレゼント

<p>☆体力測定</p> <p>☆肺年齢測定 (先着120名)</p> <p>☆血管年齢測定 (先着120名)</p> <p>☆マツパーン体験 (先着20名)</p> <p>☆お口の健康度測定</p> <p>☆生活衛生展</p> <p>開始時間が各コーナーで異なります</p>	<p>今日から始める介護予防物忘れ相談プログラム</p> <p>先着50名・整理券あり</p>
<p>福祉作業所の製作品販売コーナーあります!</p> <p>手作りクッキー、スモークチーズ、手芸品などの販売</p>	<p>野菜をたっぷり使った試食の提供</p> <p>11時~なくなり次第終了</p>
<p>乳幼児集まれ!きよつちるーむ (手形、写真プレゼント)</p>	<p>肺がん検診も実施!</p>

フェアタイアップ企画

<p>9月12日(水) 14:00~15:00</p> <p>健康づくり講演会 市民健康教育</p> <p>講話：転倒骨折して寝たきりにならない為に ~骨粗鬆症の防ぎ方~</p> <p>講師：札幌清田整形外科病院 病院長 片平弦一郎 氏</p>	<p>9月26日(水) 9:30~12:00</p> <p>区民交流ウォーキング大会「第2回清田区歩こう会」</p> <p>コース：清田区の史跡探訪コース(約6.5km)</p> <p>申込不要、受付9:00から、雨天中止</p>
--	---

主催：清田区保健福祉部
 後援：札幌市医師会清田支部、札幌商工医師会清田支部、札幌基幹協会豊平清田支部、北海道理学療法士会札幌支部、札幌臨床検査技師会、北海道鍼灸師会清田支部、北海道鍼灸師会、北海道歯科医師会、清田区食生活改善推進員協議会、札幌市清田区民生委員協議会、清田区社会福祉協議会、清田区老人クラブ連合会、清田区第1地域包括支援センター、清田区第2地域包括支援センター、清田区介護予防センター清田・東区、清田区高齢者センター清田中央、清田区介護予防センター北野・守衛、清田区健康づくりリーダー清田協議会、清田区高齢者センター、子育てボランティア

協賛：サント株式会社

お問い合わせ先 **清田区健康・子ども課**
 電話889-2049 FAX889-2405 Eメール kiyota.kenko@city.sapporo.jp

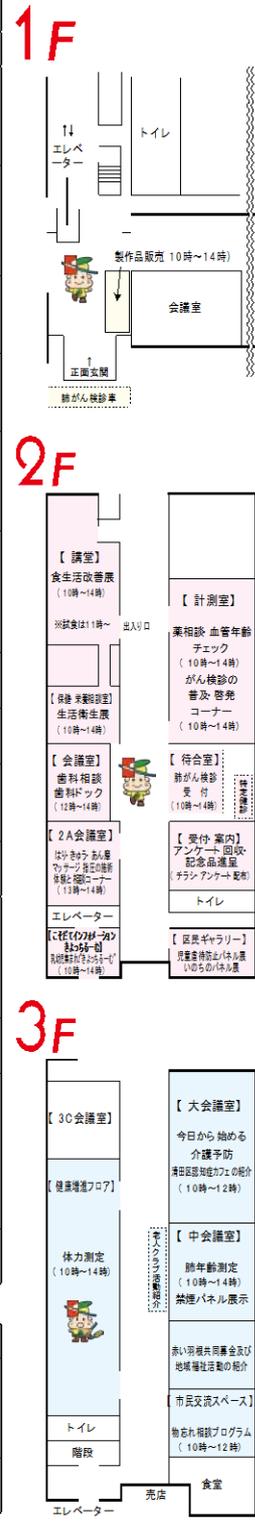
会場 プログラム

※各コーナーの込み具合によって、人数制限を行う場合もございます。
※は整理券を配布します。

コーナー名	時間	内容	会場
製作品販売	10:00～14:00	福祉作業所の製作品販売コーナー	1階 ロビー
乳幼児集まれ! "きよっちるーむ"	10:00～14:00	手形取りコーナー、身長・体重測定コーナー、利用者支援情報コーナー、写真撮影コーナー	2階 こそだてインフォメーションきよっちるーむ
児童虐待防止 パネル展	10:00～14:00	児童虐待防止に関するパネル展	2階 区民ギャラリー
いのちのパネル展		きづく・まぐ・つなぐ・みまもる ～いのちのパネル展～	
薬の相談 & 血管 年齢チェック	10:00～14:00	薬剤師による薬の相談 血管年齢のチェック ★先着120名	2階 計測室
歯科相談・ 歯科ドック	12:00～14:00	歯科医師による歯の相談コーナー お口の健康度チェック(咬合力測定、口臭測定、虫歯菌チェック)	2階 会議室
はり・きゅう・あん 摩 マッサージ 指圧の施術体 験と相談コーナー	13:00～14:00	鍼灸柔整マッサージ師会による「はり・きゅう・あん摩 マッサージ 指圧の施術体験と相談コーナー」 ★先着20名	2階 2A会議室
食生活改善展 「広げよう! たっぷり野菜で元気の輪」	10:00～14:00	試食、食育パネル展示、食生活改善推進員活動紹介(写真展示、ふれあいだよりの発行) ★11時～試食開始なくなり次第終了	2階 講堂
生活衛生展 「学ぼう! 食の安全安心」	10:00～14:00	食の安全・安心クイズラリー、パネル展示、パンフレット配布	2階 保健・栄養相談室
がん検診の普及・啓発 コーナー	10:00～14:00	対がん協会によるがん検診PR、がん検診モデルの展示など	2階 計測室
肺がん検診 「肺がん検診を受けよう!」	10:00～14:00	結核予防会による肺がん検診の実施けんしんけん(着ぐるみ)によるPR	2階 待合室 (1階玄関 肺がん検診車)
特定健診・ 特定保健指導のPR	10:00～14:00	特定健康診査、特定保健指導について紹介	2階 待合室
◎今日から始める介護予防	10:00～12:00	理学療法士による運動機能の評価(転倒評価)・脳トレの実施 清田区認知症カフェの紹介 物忘れ相談プログラム (★先着50名、整理券あり)	3階 大会議室 市民交流スペース
体力測定	10:00～14:00	握力・長座体前屈・足指力・開眼片足立ち測定	3階 健康増進フロア
肺年齢測定		臨床検査技師による肺年齢の測定 ★先着120名 禁煙パネル展	3階 中会議室
老人クラブ活動紹介 「老人クラブで、楽しく有意義なセカンドライフを」		老人クラブの活動について紹介	3階 中会議室前廊下
赤い羽根共同募金及び 地域福祉活動の紹介		赤い羽根共同募金活動や地域福祉活動についてのパネル展等	3階 社会福祉協議会前

フェアタイアップ企画

コーナー名	時間	内容	会場
健康づくり講演会 市民健康教育	9月12日(水) 14:00～15:00	講話: 転倒骨折して寝たきりにならない為に ～骨粗鬆症の防ぎ方～ 講師: 札幌清田整形外科病院 病院長 片平 弦一郎氏	清田区役所 2階講堂
区民交流ウォーキング大会 「第2回清田区歩こう会」	9月26日(水) 9:30～12:00	コース: 清田区の史跡探訪コース 約6.5km 申込不要、受付9時から、雨天中止	集合・解散場所 清田区役所前



(2) 平成30年度市民健康教育(地域健康教室)

<地域健康教室>

- ・10月24日「肺炎にご注意!」
- ・11月28日「めまいについて」

肺炎にご注意!

平成30年度 札幌市医師会・地域健康教室 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



■日時 : 平成30年10月24日(水曜日)
午後2時~午後3時

■会場 : 清田区役所 2階 保健センター講堂
(清田区平岡1条1丁目)

■講師 : 医療法人社団 恒仁会
ひらおか公園小児科
院長 長田 伸夫(ながた のぶお)氏

■参加料 : 無料

■申込み : 不要
当日直接会場へいらしてください。

■主催 : 清田区・札幌市医師会清田区支部

■問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-18-1728
30-2-1106

めまいについて

平成30年度 札幌市医師会・地域健康教室 ご案内



医療と保健にまつわる話題の最新情報をテーマに、清田区の医療機関の医師を講師に招いて講演会を開催します。



- 日時：平成30年11月28日（水曜日）
午後2時～午後3時
- 会場：清田区役所 2階 保健センター講堂
（清田区平岡1条1丁目）
- 講師：こいずみ耳鼻咽喉科
院長 小泉 純一（こいずみ じゅんいち）氏
- 参加料：無料
- 申込み：不要
当日直接会場へいらしてください。
- 主催：清田区・札幌市医師会清田区支部
- 問合せ：清田区保健福祉部健康・子ども課
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-18-2038
30-2-1267

(3) 平成30年度元気なまちづくり支援事業「健康アップ支援事業」

平成30年度では、隔週の火曜日においてスポーツ指導学科の大学4年生の澤井 三徳氏、大橋 亮哉氏が担当した。

平成30年度
健康増進フロア
土曜日の運動教室

教室日時 毎週土曜日（ただし、5月5日、8月11日、9月8日、11月3日、12月29日はお休みです。）
午前9時30分～午後4時（正午～午後1時は休館いたします）
※業務の都合によりやむを得ず休館する場合がありますので、予めご了承ください。

場 所 清田区役所 3階 健康増進フロア

内 容 ■ 運動教室
☆ ダンベルとストレッチ（筋肉づくり）【運動初心者向き】
午前 10時30分～11時20分
☆ リズムウォーキング【運動経験者向き】
午後 2時～2時50分

■ 運動機器の使用
・開館中の運動機器の使用は運動指導員の指示に従ってください。
・上記運動教室時間帯では運動機器の使用はできません。

対 象 者 札幌市内にお住まいの18歳以上の方

利 用 料 無 料 申し込み 不 要
（直接会場にお越しください。）

持 ち 物 運動靴（土足禁止）、運動しやすい服装（男女別更衣室、ロッカーあり）汗拭きタオル、水分補給用飲料水

問 合 せ 清田区保健福祉部健康・子ども課（保健センター）
TEL 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp

SAPPORO

さっぽろ市
02-Q03-18-453
30-2-364

イキイキ健康増進教室

札幌国際大学スポーツ人間学部と連携
して、運動教室を行います。

毎月第1、第3火曜日

教室日時 平成30年4月3日(火)～平成31年3月19日(火)
午前10時～11時(9時30分受付)

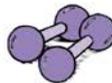
※ **9月18日(火)、1月1日(火)はお休みです。**

※業務の都合によりやむを得ず休館する場合がありますので、予めご了承願います。

場 所 清田区役所 3階 健康増進フロア

内 容 ☆ ダンベルとストレッチ (学生による指導)

利用料 無 料



定 員 40人 (当日直接会場にお越しください。先着)

対 象 者 札幌市内にお住まいの18歳以上の方

持 ち 物 運動靴 (土足禁止)、運動しやすい服装 (男女別更衣室、
ロッカーあり) 汗拭きタオル、水分補給用飲料水

問 合 せ 清田区保健福祉部健康・子ども課 (保健センター)
TEL 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp

SAPP
RO

さっぽろ市
02-Q03-11069
30-473

平成30年度清田Hi遊会との連携事業

(1) 平成30年度健康づくりリーダー養成研修

平成30年度

健康づくりリーダー養成研修

一般受講者募集のお知らせ

～地域の方々の健康づくりを応援するボランティアになってみませんか？～
～健康づくりを学び、自分と地域方々の健康づくりに取り組みましょう！～

対象 地域の健康づくりに関心があり、研修終了後地域、町内会及び保健センターの健康づくり事業にボランティアとして活動できる区民の方
(全プログラム参加可能な方)

※ 研修にはウォーキングの実技もありますので、運動制限のある方はご相談ください。

定員 30名

日程

(1)	9月25日(火)	9:30～11:30
(2)	9月27日(木)	9:30～11:45
(3)	10月2日(火)	13:30～15:40
(4)	10月3日(水)	9:15～12:00
(5)	10月10日(水)	9:30～11:30



内容 裏面に記載

会場 清田区役所 2階 保健センター講堂など

受講料 無料

申込方法 9月20日(木)までに電話または窓口(土・日曜、祝・休日を除く)、FAXまたはEメール(住所、氏名、年齢、電話番号、FAXの場合はFAX番号も明記)でお申込みください。

申込み・問合せ先
清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405
Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp

詳細は裏面をご覧ください



さっぽろ市
02-000-16-1438
30-2-952

平成 30 年度 健康づくりリーダー養成研修プログラム

回	日程・会場	時 間	内 容
1	9月25日(火) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:45	開講式(オリエンテーション)
		9:50～10:20	地域における健康づくりリーダーの役割と健康さっぽろ21(第2次)について
		10:30～11:30	健康づくりのための食生活
2	9月27日(木) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:35	オリエンテーション
		9:35～10:35	認知症予防はカラダづくりから!
		10:45～11:45	健康づくりから地域づくり
3	10月2日(火) 区役所2階 保健センター講堂 区役所3階 健康増進フロア	13:30～13:35	オリエンテーション
		13:35～14:30	清田Hi遊会の健康づくり活動の歩み
		14:40～15:40	ウォーキング実技
4	10月3日(水) 区役所2階 栄養実習室 平岡樹芸センター	9:15～12:00	行楽弁当の調理実習 区内ウォーキング(約4キロ)
5	10月10日(水) 区役所2階 保健センター講堂	9:30～9:35	オリエンテーション
		9:35～10:30	清田区のまちづくり
		10:40～11:20	先輩リーダーとの交流会
		11:20～11:30	閉講式

(2) 平成30年度清田区歩こう会

実施内容（日程・コース・参加者）

年2回実施

平成30年7月12日 北野地区緑地めぐり（約6km）

平成30年9月26日 清田区の史跡探訪コース（約6.5km）



平成30年度 清田歩こう会

緑豊かな清田区は大変恵まれた自然環境の中にあり、
歩く事はストレス解消など心のおそうじとも言われ、健康の
バロメーターにもなります。多数の参加者をお待ちしております。

***日 時：**平成**30**年**7**月**12**日(木曜日)
午前 9時30分～12時

***集合・解散場所：**清田区役所前

***コ ー ス：**「北野地区緑地めぐり」(約6キロ)
(ゆっくりコースもあります(約5キロ)。)

***持 ち 物：**汗拭き用タオル・水分補給用飲料水

***申 込 み：**不要。9時から受付を行います。

※ 雨天の場合は中止です。
※ 帽子、歩きやすい靴でご参加ください。

主 催：清田 H i 遊 会
(清田区健康づくりリーダーの皆さん)

詳 細：清田区健康・子ども課
TEL 889-2049(内線525)
FAX 889-2405
Eメール kiyofa.sukoyaka@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-18-873
30-2-619

平成30年度 第2回 清田区歩こう会

誰でも、どこでも、いつからでも、気軽に始められるウォーキング。

手軽に運動習慣が身につくだけでなく、肥満やストレスの解消、

生活習慣病の予防にも効果があります。

*日 時：平成30年9月26日(水曜日)

午前 9時30分～12時

*集合・解散場所：清田区役所前

*コース：清田区の史跡探訪コース(約6.5 km)

*持ち物：水分補給用飲料水、汗拭き用タオル

*申込み：不要。9時から受付を行います。

※雨天の場合は中止です。

※帽子、歩きやすい靴でご参加ください。

清田区健康・介護予防フェア2018 タイアップ企画

今年のフェアは、10月31日(水)10:00～14:00の予定です。

第3回 清田区歩こう会 平成31年1月予定



冬の白旗山かんじきウォーキング

※詳細については後日お知らせします。



主催：清田区保健福祉部健康・子ども課

協力：清田Hi遊会

詳細：清田区健康・子ども課

電話 889-2049 FAX 889-2405

Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-18-1336
30-2-892

(3) 平成30年度元気なまちづくり支援事業「ウォーキング健康づくり事業」

地区ウォーキング

平成30年度



「清田区を歩こう」

清田・真栄地区ウォーキングのご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。



日 程	毎月 4 のつく日 (4日、14日、24日)
期 間	4月14日～11月14日
集合場所	清田青空公園 (清田中学校付近)
集合時間	午前9時50分
出発時間	午前10時 (雨天中止)
持ち物	水分補給用飲料水、 汗拭きタオル、帽子



★動きやすい服装、運動靴でお越しください。集合場所と解散場所が異なります。
※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。
(雨天中止は除外。精勤賞は皆勤賞のマイナス3回以内。)

<p>平岡地区</p> <p>日 程 毎月8のつく日 (8日、18日、28日)</p> <p>期 間 4月8日～11月18日</p> <p>集合場所 平岡東光ストア 西側駐車場</p>	<p>北野地区</p> <p>日 程 毎月5のつく日 (5日、15日、25日)</p> <p>期 間 4月15日～11月15日</p> <p>集合場所 北野中央公園の 高木橋寄り東屋</p>	<p>里塚・美しが丘地区</p> <p>日 程 毎月7のつく日 (7日、17日、27日)</p> <p>期 間 4月7日～11月17日</p> <p>集合場所 里塚・美しが丘地区 センター正面広場</p>
---	--	---

なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしておりませんので、ご了承ください。

主 催 : 清田H i 遊会 (清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課 (保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp



平成30年度 「清田区を歩こう」 平岡地区ウォーキング のご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。

日 程	毎月 8 のつく日 (8日、18日、28日)
期 間	4月8日～11月18日
集合場所	平岡東光ストア西側駐車場
集合時間	午前9時50分
出発時間	午前10時(雨天時は中止)
持ち物	水分補給用飲料水、汗拭きタオル、帽子 ☆動きやすい服装、運動靴でお越しく下さい。

※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。
(雨天中止は除外。精勤賞は皆勤賞のマイナス3回以内。)

清田・真栄地区

日 程	毎月 4 のつく日 (4日、14日、24日)
期 間	4月14日～11月14日
集合場所	清田青空公園 (清田中学校付近)

北野地区

日 程	毎月 5 のつく日 (5日、15日、25日)
期 間	4月15日～11月15日
集合場所	北野中央公園の 高木橋寄り東屋

里塚・美しが丘地区

日 程	毎月 7 のつく日 (7日、17日、27日)
期 間	4月7日～11月17日
集合場所	里塚・美しが丘地区 センター正面広場

なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしておりませんので、ご了承ください。

主 催 : 清田H i 遊会(清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-2412
29-2-1450

平成30年度



「清田区を歩こう」



北野地区ウォーキング のご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。



日 程

毎月**5**のつく日

(5日、15日、25日)

期 間

4月15日～11月15日

集合場所

北野中央公園 (高木橋寄りの東屋)

集合時間

午前9時50分

出発時間

午前10時 (雨天時は中止)

持ち物

水分補給用飲料水、汗拭きタオル、帽子

☆動きやすい服装、運動靴でお越しください。

※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。
(雨天中止は除外。精勤賞は皆勤賞のマイナス3回以内。)

清田・真栄地区

日 程 毎月**4**のつく日

(4日、14日、24日)

期 間 4月14日～11月14日

集合場所 清田青空公園

(清田中学校付近)

平岡地区

日 程 毎月**8**のつく日

(8日、18日、28日)

期 間 4月8日～11月18日

集合場所 平岡東光ストア

西側駐車場

里塚・美しが丘地区

日 程 毎月**7**のつく日

(7日、17日、27日)

期 間 4月7日～11月17日

集合場所 里塚・美しが丘地区

センター正面広場

なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしていませんので、ご了承ください。

主 催 : 清田Hi遊会(清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-2410
29-2-1448

平成30年度



「清田区を歩こう」



里塚・美しが丘地区ウォーキング のご案内

清田区では、地区ごとにウォーキングを実施しています。
健康づくりリーダーと一緒に皆さんもウォーキングを楽しみませんか。
1時間半程度で終了しますので、気軽にご参加ください。
お住まいの地区以外の方も参加可能です。



日 程	毎月 7 のつく日 (7日、17日、27日)
期 間	4月7日～11月17日
集合場所	里塚・美しが丘地区センター正面広場
集合時間	午前9時50分
出発時間	午前10時(雨天時は中止)
持ち物	水分補給用飲料水、汗拭きタオル、帽子

☆動きやすい服装、運動靴でお越しください。

※地区ウォーキング終了後(11月)、各地区の皆勤賞、精勤賞の方には粗品をプレゼント。
(雨天中止は除外。精勤賞は皆勤賞のマイナス3回以内。)

平岡地区	北野地区	清田・真栄地区
日 程 毎月 8 のつく日 (8日、18日、28日)	日 程 毎月 5 のつく日 (5日、15日、25日)	日 程 毎月 4 のつく日 (4日、14日、24日)
期 間 4月8日～11月18日	期 間 4月15日～11月15日	期 間 4月14日～11月14日
集合場所 平岡東光ストア 西側駐車場	集合場所 北野中央公園の 高木橋寄り東屋	集合場所 清田青空公園 (清田中学校付近)

なお、地区ウォーキングは、各地区とも、事故などの対応のための
保険加入はしていませんので、ご了承ください。

主 催 : 清田H i 遊会(清田区健康づくりリーダー)
後 援 : 清田区保健福祉部健康・子ども課
問合せ : 清田区保健福祉部健康・子ども課(保健センター) 健やか推進係
電話 889-2049 FAX 889-2405 Eメール kiyota.sukoyaka@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-003-17-2411
29-2-1449

5. ウォーキングにおける測定方法

地区ウォーキングは4月7日～11月18日までの期間中、毎月4のつく日（4日、14日、24日）は清田・真栄地区、5のつく日（5日、15日、25日）は北野地区、7のつく日（7日、17日、27日）は里塚・美しが丘地区、8のつく日（8日、18日、28日）は平岡地区でウォーキングを行っている。地区ウォーキングが高齢者にとって最適な運動強度であることを検証する目的で、清田区の地区ウォーキングにおける心拍数、歩数および運動強度の測定を行った。

記入用紙には参加者の名前、安静時心拍数、運動時心拍数、歩数、移動距離、主観的運動強度を記入する欄があり、測定開始すぐにランタスティックを起動させ、5分ごとに心拍計から心拍数、万歩計から歩数を確認し、さらに、ランタスティックから距離を、主観的運動強度は参加者に運動強度の程度を数字で答えてもらった。

以下に、ウォーキング実施時に用いた記入用紙とアンケート用紙を示す。

	氏名		
	出発時刻		
	心拍数	歩数	移動距離
5分目			
10分目			
15分目			
20分目			
25分目			
30分目			
35分目			
40分目			
45分目			
50分目			
55分目			
60分目			
65分目			
70分目			
75分目			
80分目			
85分目			
90分目			
95分目			
100分目			
105分目			
110分目			
115分目			
120分目			
125分目			
130分目			
135分目			
140分目			

	氏名		
	出発時刻		
	心拍数	歩数	移動距離
5分目			
10分目			
15分目			
20分目			
25分目			
30分目			
35分目			
40分目			
45分目			
50分目			
55分目			
60分目			
65分目			
70分目			
75分目			
80分目			
85分目			
90分目			
95分目			
100分目			
105分目			
110分目			
115分目			
120分目			
125分目			
130分目			
135分目			
140分目			

等級	主観的運動強度
6	
7	非常に楽である
8	
9	かなり楽である
10	
11	楽である
12	
13	ややきつい
14	
15	きつい
16	
17	かなりきつい
18	
19	非常にきつい
20	

氏名 _____

年齢 _____

性別 _____

既往歴 _____

現病歴（投薬状況） _____

最も長い仕事歴（さしつかえなければ、具体的に _____）

（技術系・サービス・保安・農林漁業・運輸・公務員・事務員・その他（主婦含む））

その仕事に従事していた期間 _____年 _____月 ～ _____年 _____月

主な作業内容（主に立ったままする仕事・主に座ったままする仕事・両方同程度）

現在の活動

仕事の従事 有 無

仕事内容 _____

主な作業内容（主に立ったままする仕事・主に座ったままする仕事・両方同程度）

清田 Hi 遊会の会員 はい いいえ

はいで答えた方、会員歴は _____年

定期的な運動実施の有無

定期的な運動実施 有 無

実施種目は、 _____

1週間で _____日

運動実施時間は1回につき _____時間

連絡先

住所 _____

電話番号 _____

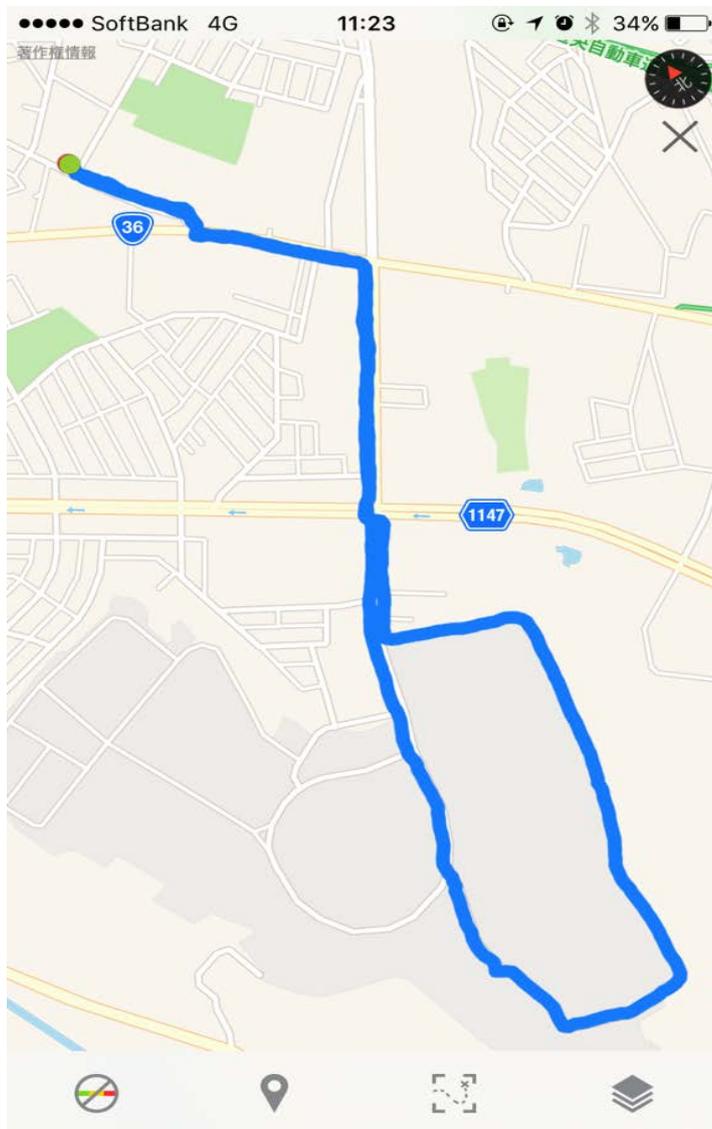
身のこなし能力に関する質問事項

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 暗い道を歩く | (できる・支障ある・できない) |
| 2. 人ごみの中をスムーズに歩く | (できる・支障ある・できない) |
| 3. 歩行中、前方から来る人とぶつかりそうになった時さっとさける | (できる・支障ある・できない) |
| 4. 手すりを持たないで階段を登る | (できる・支障ある・できない) |
| 5. 手すりを持たないで階段を降りる | (できる・支障ある・できない) |
| 6. 立ったままズボンまたはスカートをはく | (できる・支障ある・できない) |
| 7. 10秒間開眼で片足で立つ | (できる・支障ある・できない) |
| 8. 高い棚にあるものを上を向いて取る | (できる・支障ある・できない) |
| 9. 急に後ろを振り返る | (できる・支障ある・できない) |
| 10. バスや電車の中で立っている | (できる・支障ある・できない) |
| 11. 急に床から立ち上がる | (できる・支障ある・できない) |
| 12. 急に起きたり寝たりする | (できる・支障ある・できない) |
| 13. 走っている車や電車などを目で追う | (できる・支障ある・できない) |
| 14. クラクラしないで長く立っている | (できる・支障ある・できない) |
| 15. 上着の袖を自分で通す | (できる・支障ある・できない) |
| 16. 靴のヒモを結ぶ | (できる・支障ある・できない) |
| 17. 手指の折り曲げや手首の回転をスムーズに行う | (できる・支障ある・できない) |
| 18. 背中を後ろにそらす(後ろに曲げる) | (できる・支障ある・できない) |

6. 平成 28 年度の地区ウォーキングにおける経路、風景と、

アンケート、時速、および運動強度における結果

平成 28 年度は、4 地区それぞれを対象とした。清田地区 14 名、平岡地区 13 名、北野地区 15 名、里塚地区 16 名の高齢者合計 58 名を測定対象とした。参加する高齢者を対象にウォーキング実施前にアンケート調査を行い、その後、胸部に心拍計の送信部を、手首に心拍計の受信部を、腰部に万歩計をそれぞれ取り付け、上述した測定を 5 分ごとに行った。



平成 28 年度ランタスティックから記録された里塚・美しが丘地区のウォーキング経路



里塚・美しが丘地区ウォーキング写真 1



里塚・美しが丘地区ウォーキング写真 2



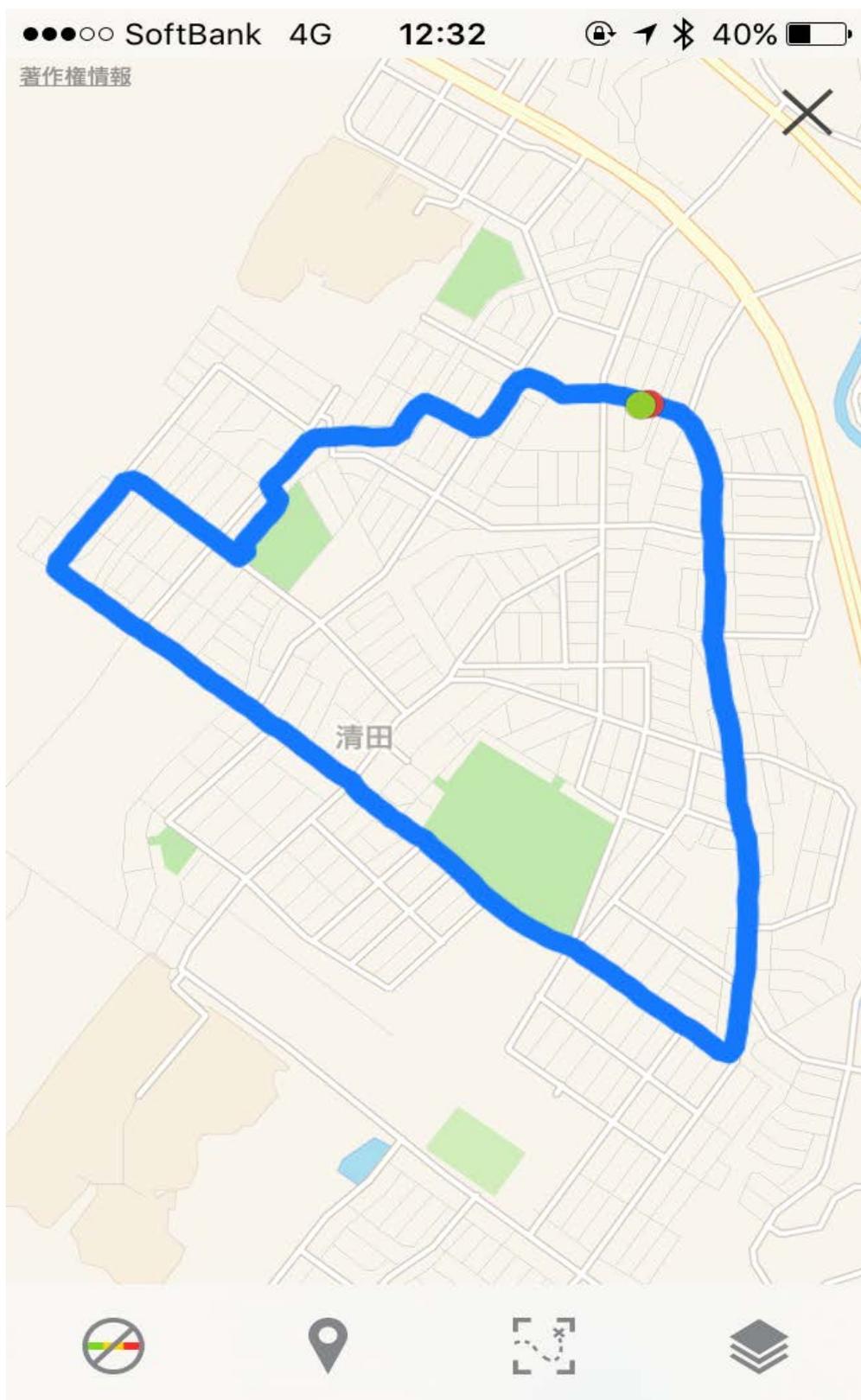
平成 28 年度ランタスティックから記録された平岡地区のウォーキング経路



平岡地区ウォーキング写真 1



平岡地区ウォーキング写真 2



平成 28 年度ランタスティックから記録された清田・真栄地区のウォーキング経路



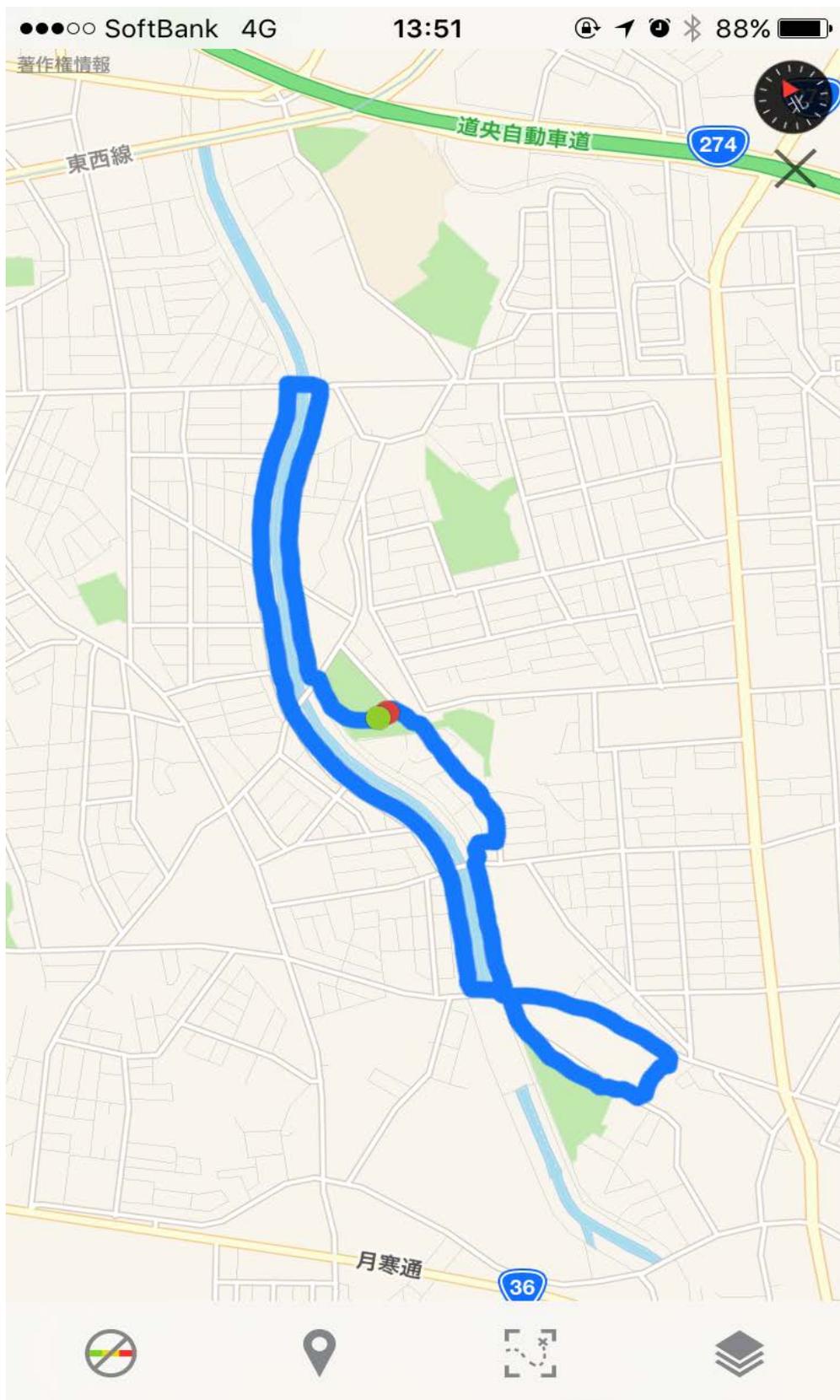
清田・真栄地区ウォーキング写真 1



清田・真栄地区ウォーキング写真 2



清田・真栄地区ウォーキング写真3



平成 28 年度ランタスティックから記録された北野地区のウォーキング経路



北野地区ウォーキング写真1



北野地区ウォーキング写真2



北野地区ウォーキング写真3



北野地区ウォーキング写真1



北野地区ウォーキング写真2



北野地区ウォーキング写真3

8. 平成 30 年度の地区ウォーキングにおける経路、風景と、 アンケート、時速、心拍数、および運動強度における結果

平成 30 年度は、清田・真栄地区で測定を実施した。高齢者 16 名と若年成人 10 名を対象にウォーキング実施前にアンケート調査を行い、その後、彼らの胸部に心拍計の送信部を、手首に心拍計の受信部を、腰部に万歩計をそれぞれ取り付け、上述した測定を 5 分ごとに行った。



平成 30 年度ランタスティックから記録された清田・真栄地区のウォーキング経路



清田・真栄地区ウォーキング写真1

清田・真栄地区ウォーキング写真2

清田・真栄地区ウォーキング写真 3

9. 結果

アンケートの結果、平成 28、平成 29、平成 30 年度のいずれも全ての質問項目においてできると答えた割合が 80%以上であった。これは、日常生活に支障ない活動を参加している高齢者のほとんどが行っているということを示している。

全てのウォーキングの測定終了後、ウォーキングデータの集計を行った。時速、運動時心拍数、運動時心拍数からの相対的運動強度、および主観的運動強度を求め、地区ごとの平均値と標準偏差を集計した。

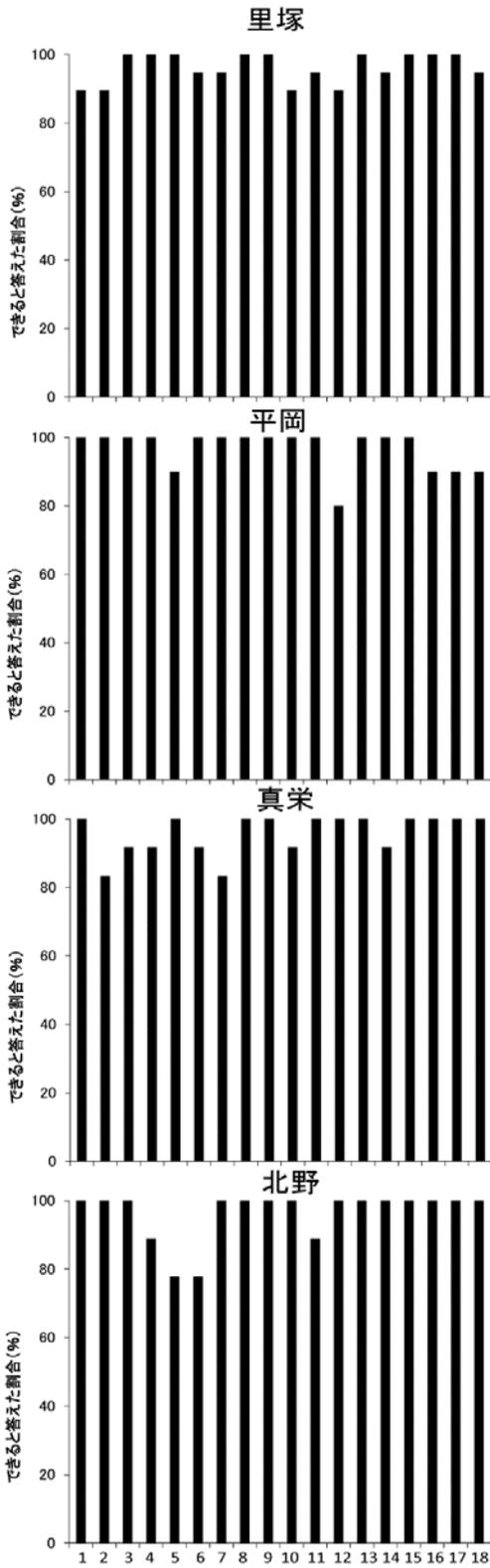
その結果、平成 28 年度の各地区ウォーキング開始 5 分～80 分までの 5 分ごとの時速は、里塚・美しが丘地区が $2.8 \pm 0.5 \sim 4.9 \pm 1.4$ km/時、平岡地区が $2.5 \pm 1.5 \sim 4.7 \pm 0.3$ km/時、清田・真栄地区が $3.1 \pm 1.0 \sim 4.6 \pm 0.3$ km/時、北野地区が $2.7 \pm 0.4 \sim 4.4 \pm 0.3$ km/時であった。運動時心拍数の平均は、里塚・美しが丘地区が $83.8 \pm 10.0 \sim 96.8 \pm 12.8$ 拍、平岡地区が $93.5 \pm 11.9 \sim 102.3 \pm 15.9$ 拍、清田・真栄地区が $98.9 \pm 14.5 \sim 106.5 \pm 20.5$ 拍、北野地区が $92.3 \pm 17.5 \sim 107.4 \pm 25.3$ 拍であった。相対的運動強度は、里塚・美しが丘地区が $13.0 \pm 5.8 \sim 29.8 \pm 12.6\%$ 、平岡地区が $21.1 \pm 11.6 \sim 34.5 \pm 14.9\%$ 、清田・真栄地区が $31.4 \pm 13.2 \sim 41.0 \pm 22.0\%$ 、北野地区が $23.8 \pm 14.7 \sim 44.8 \pm 27.7\%$ であった。主観的運動強度の平均は、里塚・美しが丘地区が $8.4 \pm 1.9 \sim 10.3 \pm 1.2$ 、平岡地区が $8.9 \pm 1.9 \sim 9.8 \pm 1.9$ 、清田・真栄地区が $8.8 \pm 2.1 \sim 11.5 \pm 0.7$ 、北野地区が $8.7 \pm 2.0 \sim 10.3 \pm 2.2$ であった。

平成 29 年度の北野地区ウォーキング開始 5 分～65 分までの 5 分ごとの時速は、 $2.2 \pm 1.3 \sim 5.0 \pm 1.0$ km/時であった。運動時心拍数の平均は、 $93.5 \pm 15.3 \sim 101.0 \pm 15.6$ 拍であった。相対的運動強度は、 $23.3 \pm 11.6 \sim 34.3 \pm 13.8\%$ であった。主観的運動強度の平均は、 $7.6 \pm 1.3 \sim 11.0 \pm 1.6$ であった。

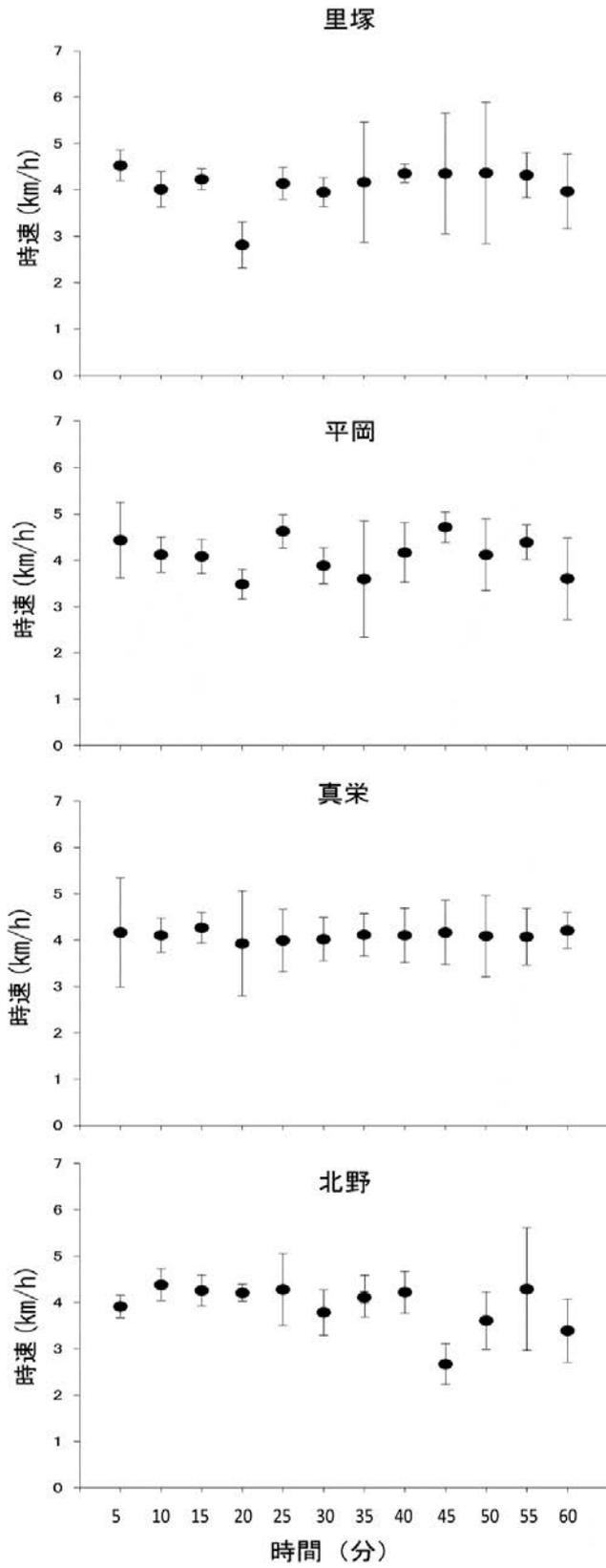
平成 30 年度の清田・真栄地区ウォーキング開始 5 分～50 分までの 5 分ごとの時速は、 $2.9 \pm 1.0 \sim 4.7 \pm 0.3$ km/時であった。運動時心拍数の平均は、 $90.9 \pm 13.9 \sim 100.5 \pm 13.4$ 拍であった。相対的運動強度は、 $19.6 \pm 12.6 \sim 33.9 \pm 13.7\%$ であった。主観的運動強度の平均は、 $8.4 \pm 2.2 \sim 9.0 \pm 2.4$ であった。

また、平成 30 年度は、一緒に参加した若年成人では、5 分ごとの時速は、 $3.2 \pm 1.0 \sim 4.7 \pm 0.3$ km/時であった。運動時心拍数の平均は、 $86.8 \pm 11.4 \sim 95.6 \pm 12.2$ 拍であった。相対的運動強度は、 $12.5 \pm 7.6 \sim 19.4 \pm 10.5\%$ であった。主観的運動強度の平均は、 $6.5 \pm 0.7 \sim 6.9 \pm 0.8$ であった。

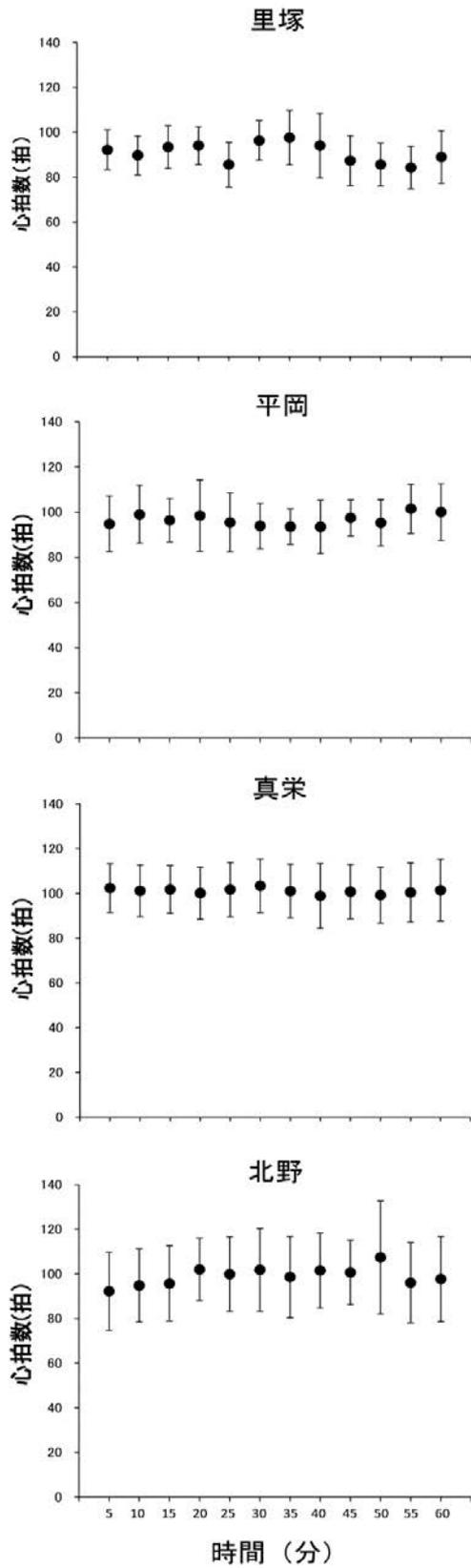
65～80 歳の高齢者を対象とした、心拍数からみた軽い適度な運動強度は、100～120 拍/分であることが報告されている。全地区とも、時速は 3～5km/時、心拍数が 80～110 拍、相対的運動強度は 20～40%、主観的運動強度は 8～12 であったことから、各地区で行われているウォーキングは高齢者において適切な運動強度で実施していたものと考えられる。



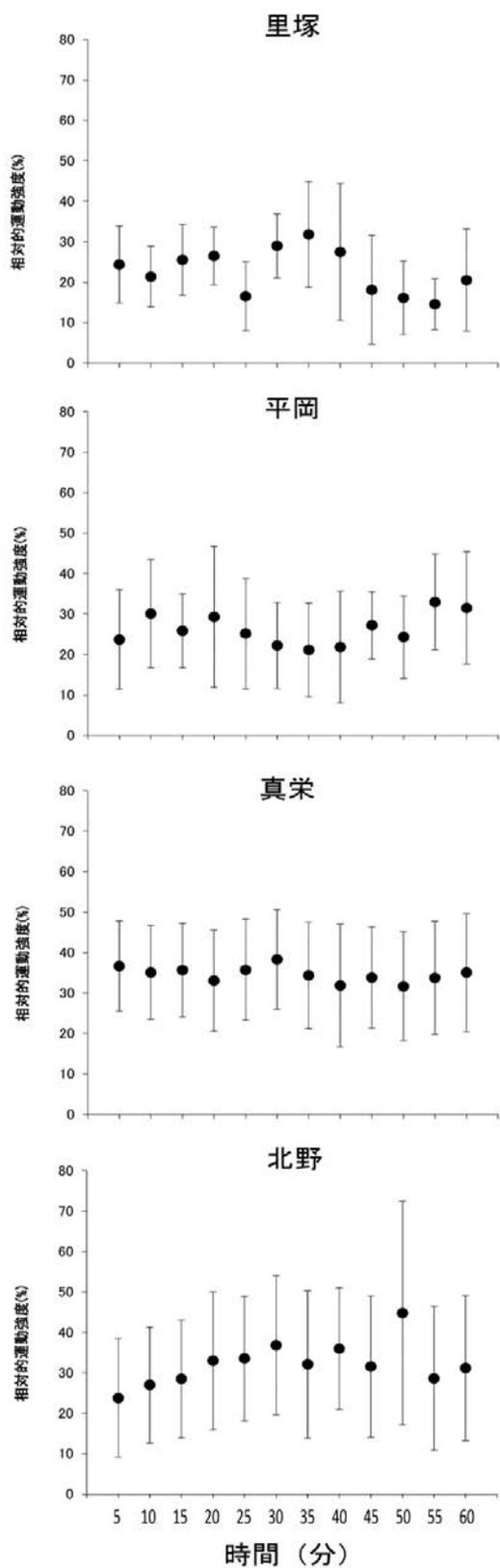
平成 28 年度の 4 地区のアンケート結果



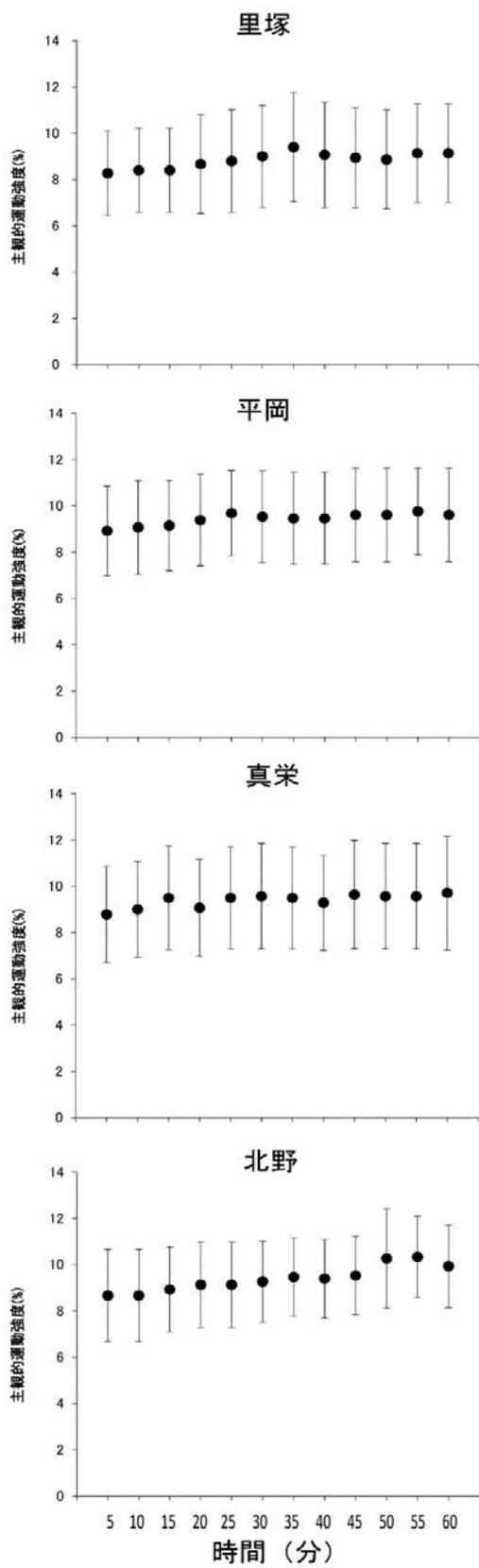
平成 28 年度の 4 地区の時速の平均値と標準偏差



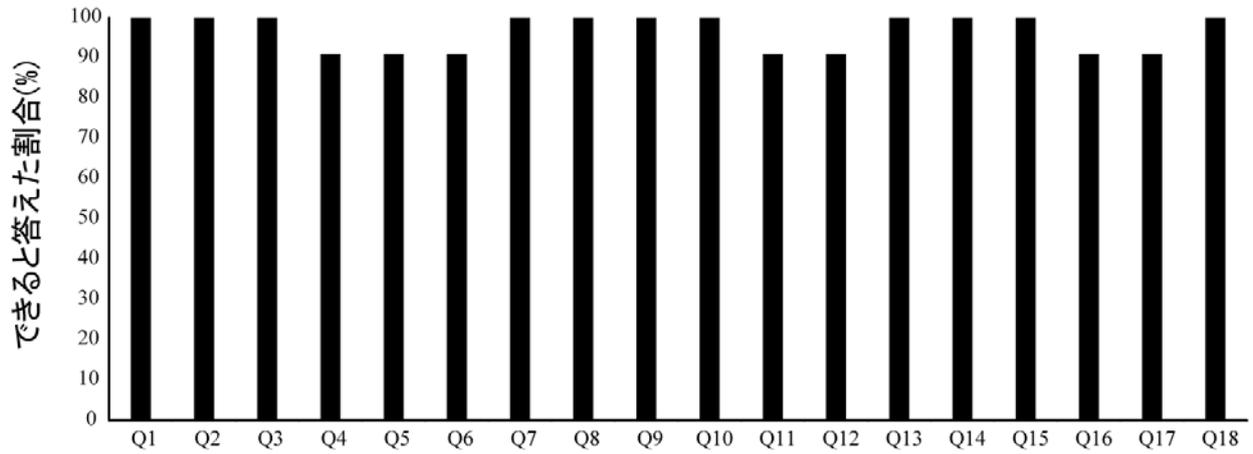
平成 28 年度の 4 地区の心拍数の平均値と標準偏差



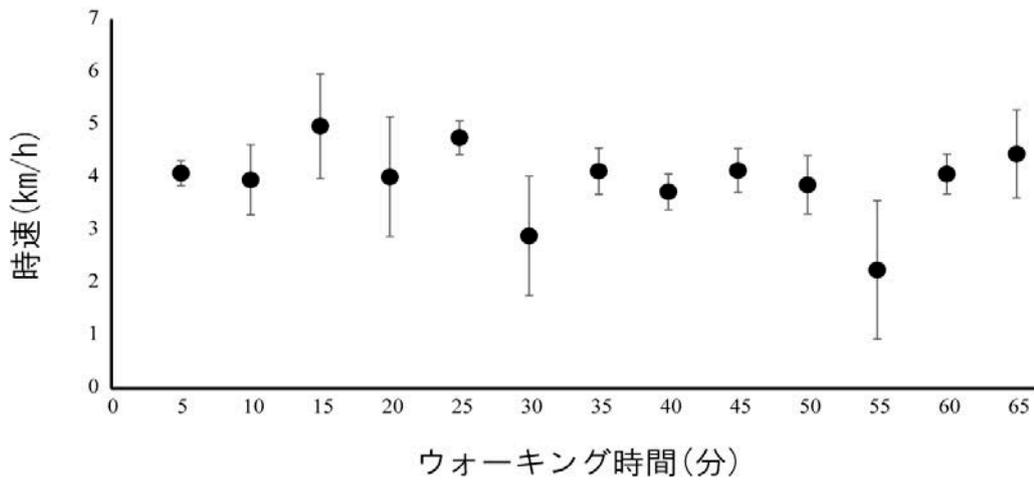
平成 28 年度の 4 地区の相対的運動強度の平均値と標準偏差



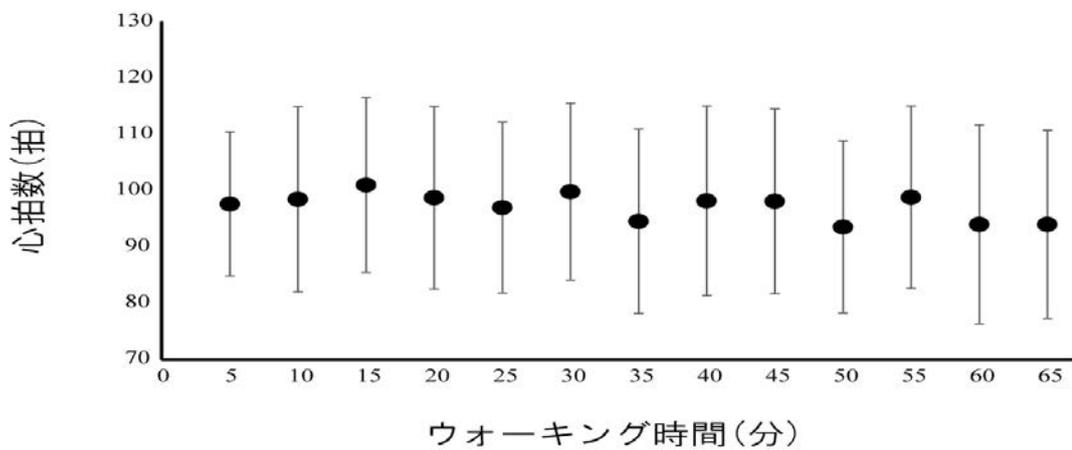
平成 28 年度の 4 地区の主観的運動強度の平均値と標準偏差



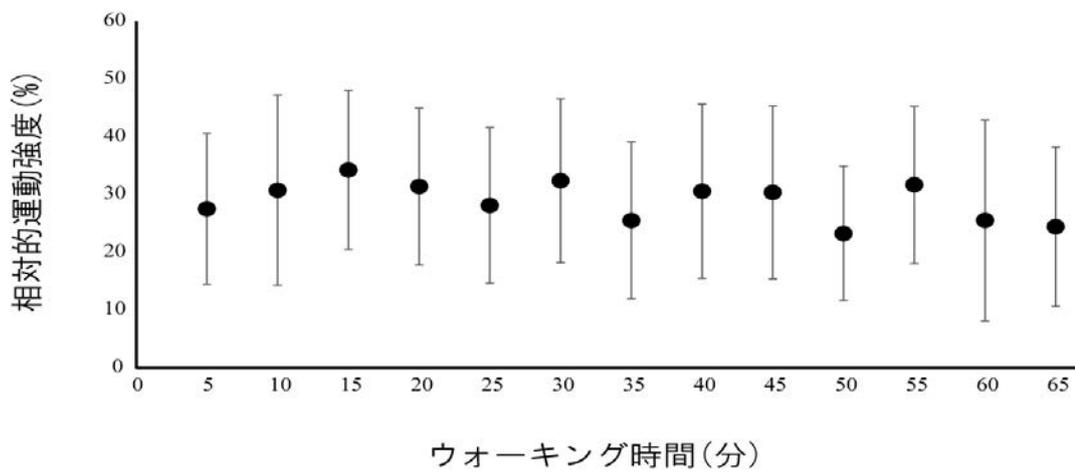
平成 29 年度のアンケート結果



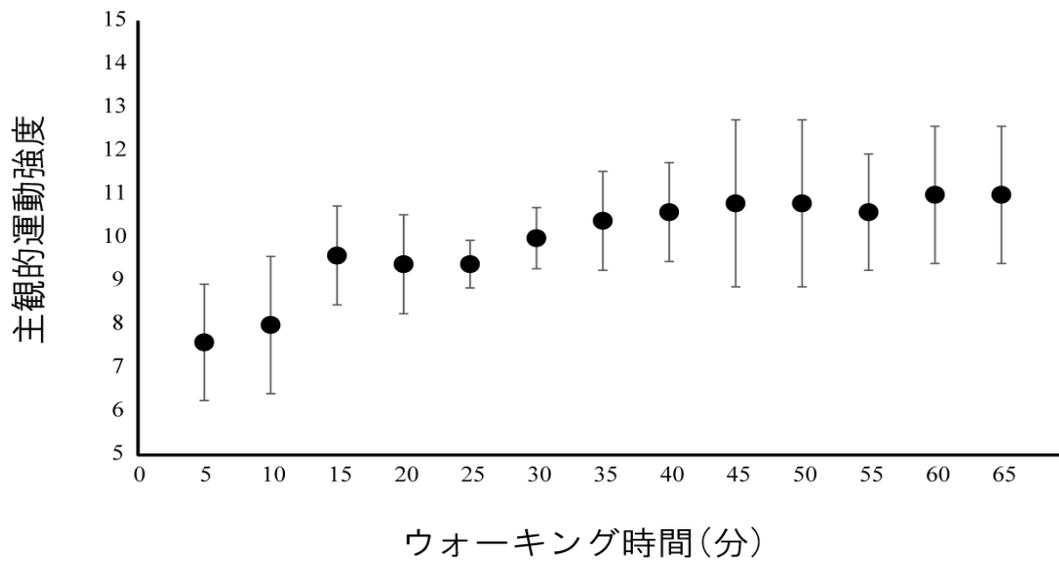
平成 29 年度の時速の平均値と標準偏差



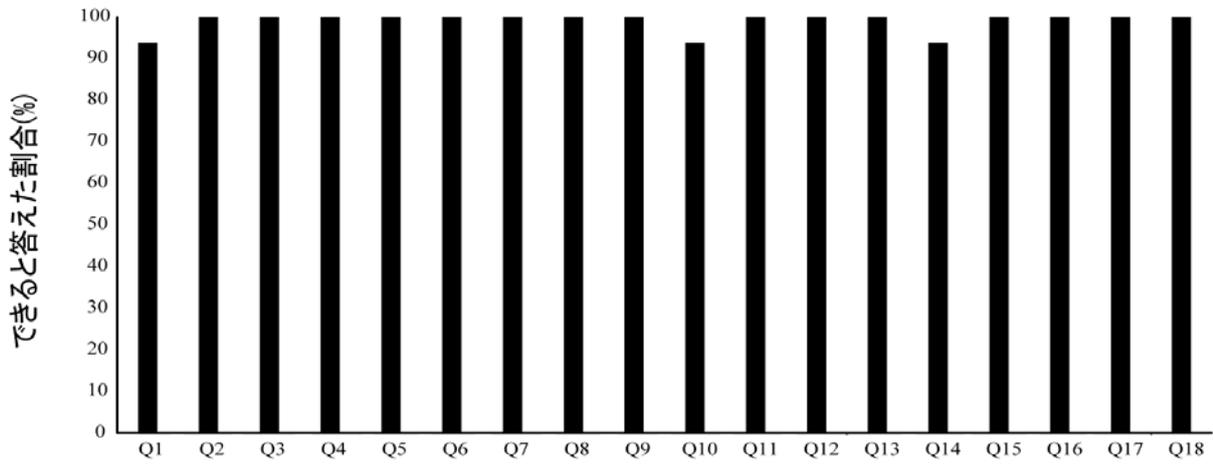
平成 29 年度の心拍数の平均値と標準偏差



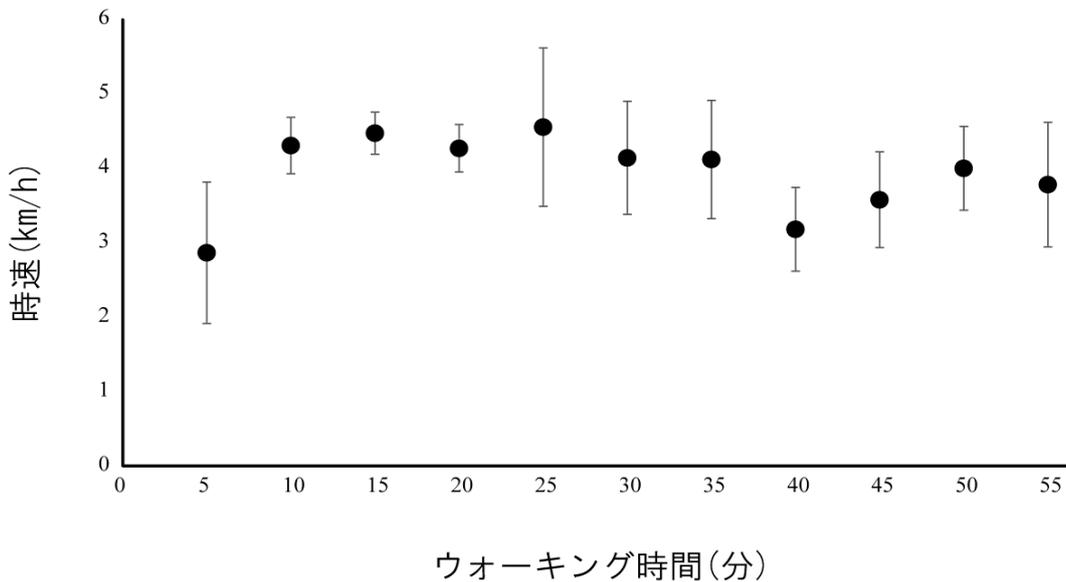
平成 29 年度の相対的運動強度の平均値と標準偏差



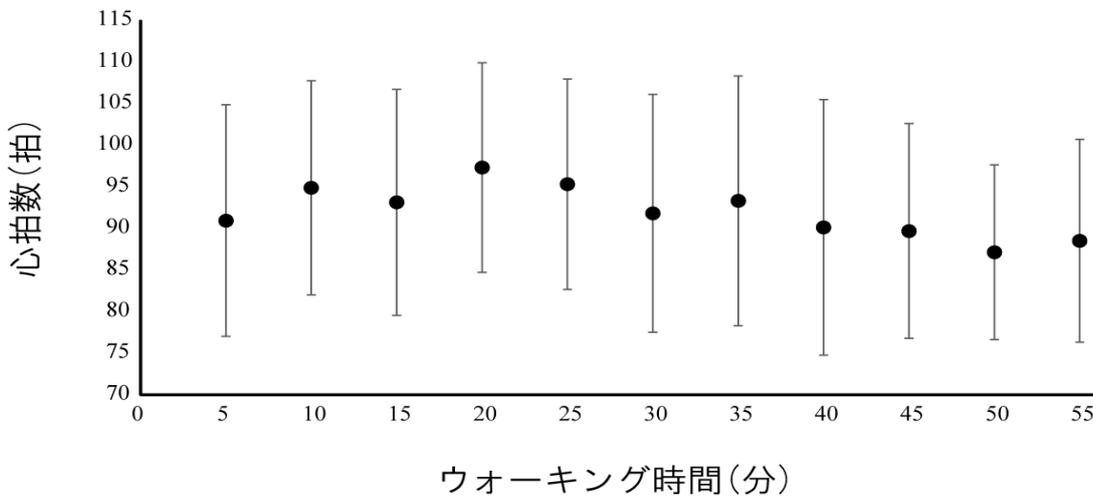
平成 29 年度の主観的運動強度の平均値と標準偏差



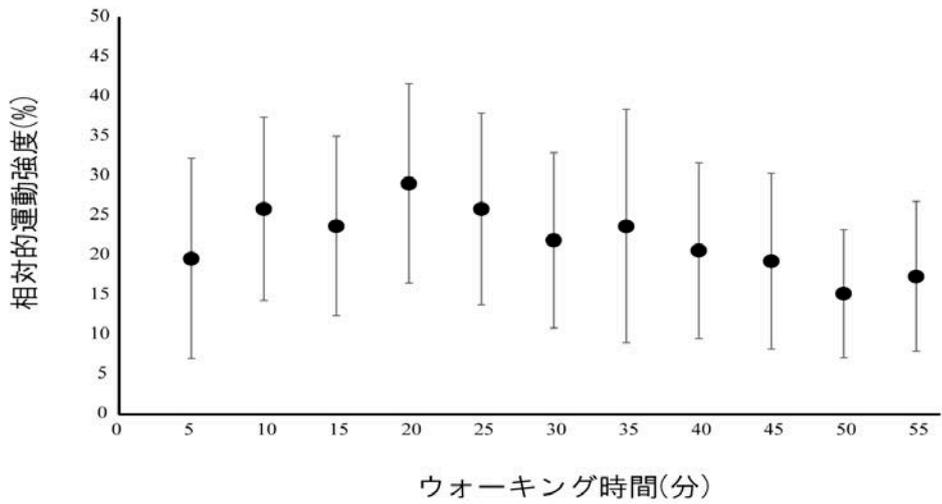
平成 30 年度アンケート結果



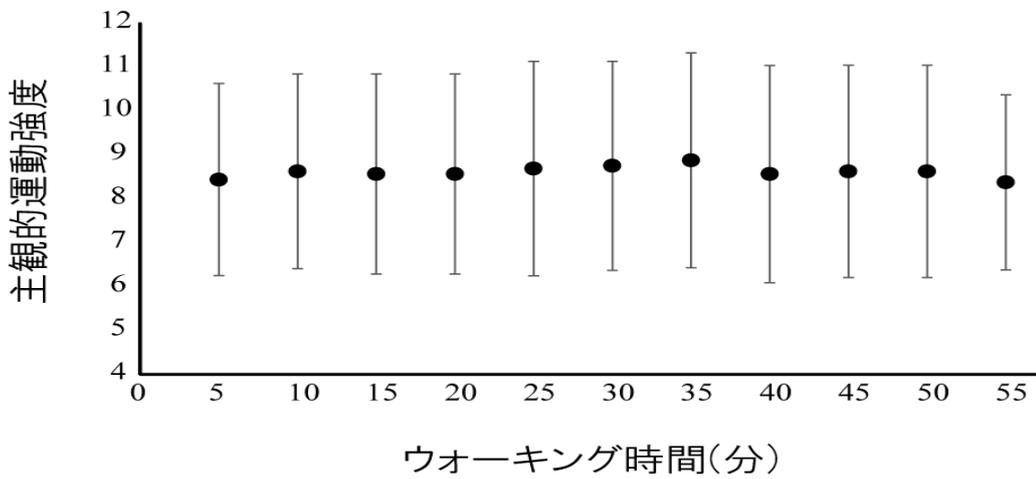
平成 30 年度の高齢者における時速の平均値と標準偏差



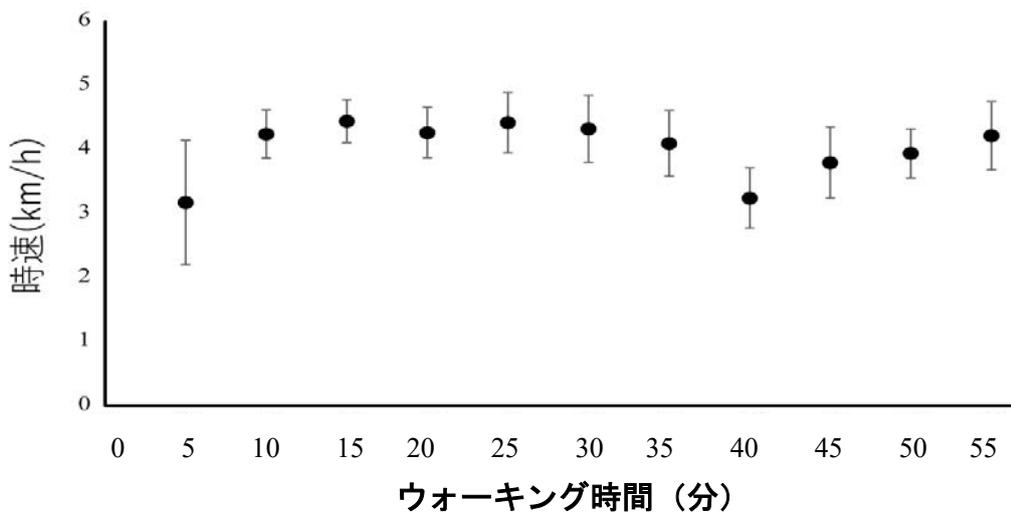
平成 30 年度の高齢者における心拍数の平均値と標準偏差



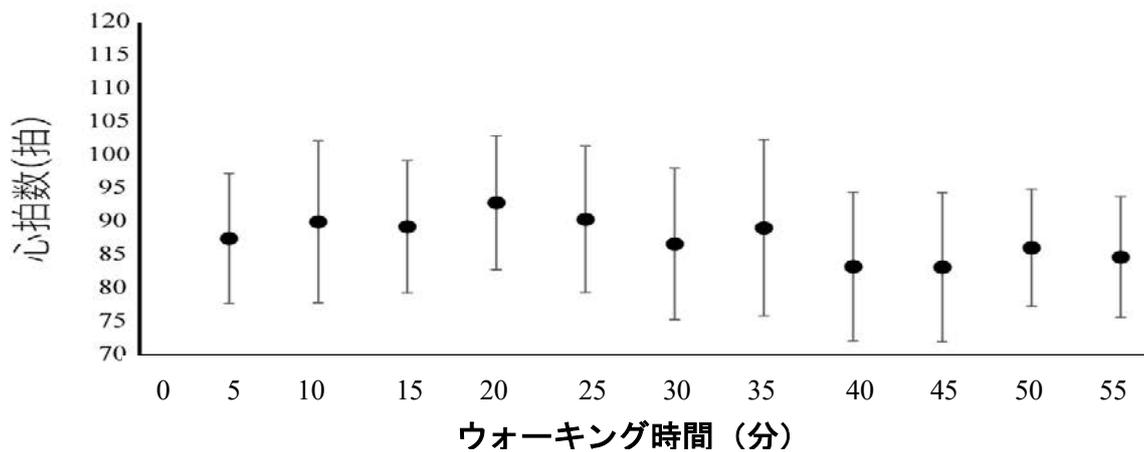
平成 30 年度の高齢者における相対的運動強度の平均値と標準偏差



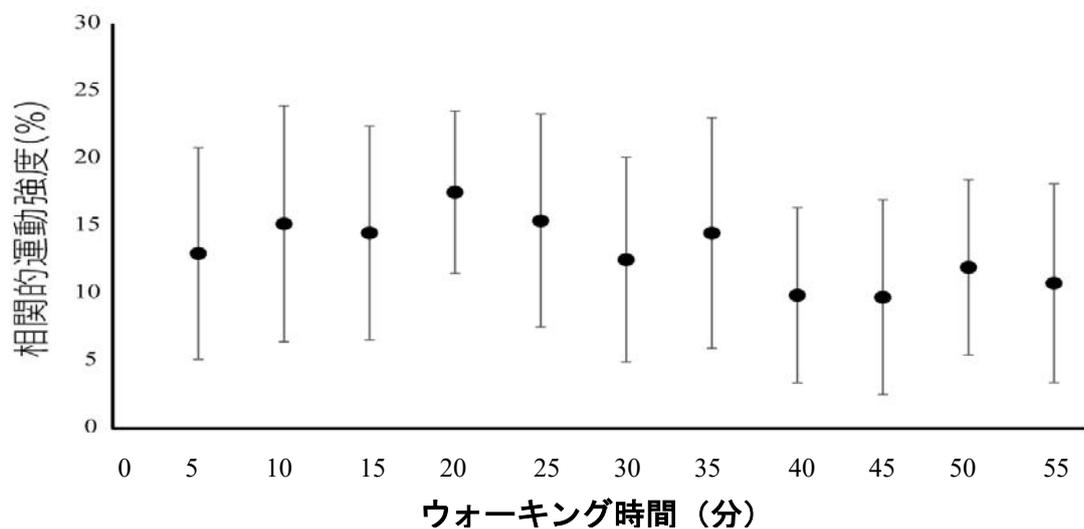
平成 30 年度の高齢者における主観的運動強度の平均値と標準偏差



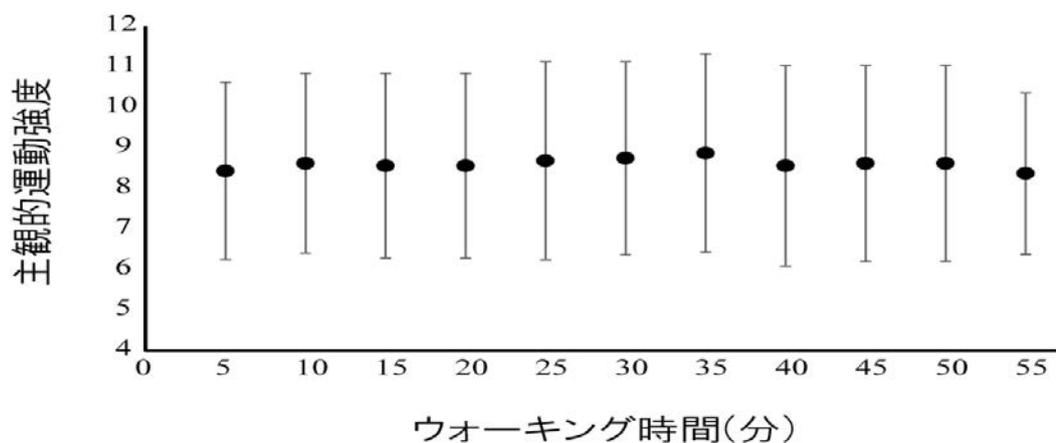
平成 30 年度の学生における時速の平均値と標準偏差



平成 30 年度の学生における心拍数の平均値と標準偏差



平成 30 年度の学生における相対的運動強度の平均値と標準偏差



平成 30 年度の学生における主観的運動強度の平均値と標準偏差

(2) 美唄市における健康づくり活動：美唄サテライト・キャンパスにおける札幌国際大学の活動と美唄市で実施のウォーキング活動の実態調査

1. はじめに

美唄市は、平成 24 年度、美唄サテライト・キャンパスを開設した。美唄市は、地域活性化や人材の育成、学術振興に関する連携協定を締結している札幌国際大学等との連携のもと、美唄サテライト・キャンパスを運営している。外部環境の変化への適切な対応や市が抱える課題の解決も視野に入れ、①意欲ある産業人材の育成、②自治体のガバナンス能力の向上、③次代を担う若者への質の高い教育の提供、④住み慣れた地域で豊かさを実感できる暮らしを実現することに焦点が当てられている。

札幌国際大学は、平成 21 年 7 月に美唄市との連携協定締結後、美唄サテライト・キャンパスに積極的に参画している。本報告では、美唄サテライト・キャンパスにおける本学の活動に焦点を当てて述べるとともに、平成 28～30 年度における、美唄市で実施されているウォーキング活動を対象とした実態調査の結果について述べることとする。

2. 美唄サテライト・キャンパス平成 24 年度

(1) サテライトキャンパス

平成 24 年度の講座の割合、参加人数、アンケート実施結果、および札幌国際大学の活動について以下の表 1～表 5 に示す。

平成 24 年度の 15 の講座の参加申込者の延べ人数は 296 人となり、美唄市が目標としていた 150 人を大幅に上回った (参加申込者のうち 92%が美唄市に在住している)。受講者の多く (全講座平均で約 94%) は、講座に対して、高い評価であった。産業系人材養成講座では 26 名、まちづくりを担う人材養成講座では 18 名、市民教養講座では 43 名の合計 87 名の方に修了証書 (毎回出席した者) が交付された。

札幌国際大学と美唄市との連携事業として「スポーツツーリズム共同調査」および「美唄歴史文化共同調査」を担当した。スポーツツーリズム共同調査は、林と村田の 2 名の教員が担当した。美唄歴史文化共同調査は、丹治と井上の 2 名の教員が担当した。

札幌国際大学が担当した公開講座は、「観光まちづくりの展開 (春期)」、「観光まちづくりの展開 (秋季)」、「楽しく学ぶ韓国語」、「やさしい中国語入門」および「実践！健康づくり」であった。観光まちづくりの展開 (春期)は、越塚、宮武、井上の 3 名の教員が担当した。観光まちづくりの展開 (秋季) は、井上、吉岡の 2 名の教員が担当した。楽しく学ぶ韓国語は、吉井教員が担当した。やさしい中国語入門は、吉井教員が担当した。実践！健康づくりは、国田、蔵満、新井、後藤の 4 名の教員が担当した。

表1 平成24年度の講座の実施内容

	産業系人材養成講座(人)	まちづくりを担う 人材養成講座(人)	市民教養講座(人)	合計(人)
申込人数	101	81	114	296
市内に在住	93	74	106	273(92%)
市外に在住	8	7	8	23(8%)
男性	81	62	50	193(65%)
女性	20	19	64	103(35%)

表2 平成24年度の講座の参加人数

産業系人材養成講座(人)		まちづくりを担う人材養成講座(人)		市民教養講座(人)	
観光のまちづくりの展開(春季)	22	地域主権改革の動きと、市町村の果たす役割	17	楽しく学ぶ韓国語	33
観光のまちづくりの展開(秋季)	22	自治体や各種団体、企業職員の企画立案能力の向上	13	やさしい中国語入門	16
地域資源を活用した 新たな品づくり	13	市民との連携、協働したまちづくりをどう進めるか	14	日本絵画の魅力を探る	25
地場製品の販路拡大	28	安全、安心なまちづくりに向けて	25	美唄の歴史を学ぶ	25
まちなかの賑わい創出	16	社会全体で進める子育て支援	12	実践！健康づくり	15
計	101	計	81	計	114

表3 平成24年度の講座別のアンケート結果

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
参加申込者(人)	101	81	114	合計：296 平均：約20
1回当たりの出席者(人)	約12	約9	約17	平均：約13
修了証書発行数	26	18	43	合計：87
理解度	約85%	約98%	約85%	平均：約88%
有用度	約88%	約99%	約95%	平均：約94%

表 4 平成 24 年度の札幌国際大学と美唄市との連携による協働事業

事業名	実施時期	実施内容
スポーツツーリズム 共同調査チーム (札幌国際大学)	8/29, 30	内 容：:美唄市におけるスポーツツーリズムの展開の可能性について 調査・検討(林、村田) 場 所：市内各所、市役所会議室 参加者：大学生、市内のスポーツ関係者
美唄歴史文化共同調査チーム (札幌国際大学)	10/26, 27	内 容：秋の美唄・ふるさとの魅力発見フィールドワーク(丹治、井上) 場 所：市内各所、市役所会議室 参加者：大学生、市内のスポーツ関係者
出前講座	10/11	内 容：地域の歴史・文化に根ざした食と観光のあり方 場 所：美唄尚栄高校 参加者：高校生

表 5 平成 24 年度において、札幌国際大学が担当した公開講座

講座名	実施日	実施場所	講師
観光まちづくりの展開 春季(全 5 回)	5/12, 19, 26 6/2, 9	美唄商工会議所	観光学部 越塚、宮武、井上
観光まちづくりの展開 秋季(全 5 回)	10/13, 20, 27 11/3, 10	美唄商工会議所	観光学部 井上、吉岡
楽しく学ぶ韓国語(全 5 回)	5/19, 26 6/2, 9, 16	美唄市役所	観光学部 吉井
やさしい中国入門(全 5 回)	9/15, 29 10/6, 13, 20	美唄市役所	観光学部 吉井
実践！健康づくり(全 5 回)	9/29 10/6, 13, 27	美唄市役所	スポーツ人間学部 国田、蔵満、新井、後藤

3. 美唄サテライト・キャンパス平成 25 年度

平成 25 年度の講座の割合、参加人数、アンケート実施結果、および札幌国際大学の活動について以下の表 6 ～ 11 に示す。

平成 25 年度の 12 の講座の参加申込者の延べ人数は 284 人となり、1 講座当たりの平均は、平成 24 年度の実績値の 20 人を上回る 24 人となった(93%が美唄市に在住)。男女別にみると、産業系人材養成講座とまちづくりを担う人材養成講座は男性が多い(7～8割)のに対し、市民教養講座は女性が多い(6割)。毎回出席した者に修了証書が交付された。122 名(12 講座)への交付であり、平成 24 年度の 87 名(15 講座)を大幅に上回った。出席者の 8 割以上の方が「理解できた(理解度)」と回答した(全講座の平均は、83%)。出席者の 9 割以上の方が「参考になった(有用度)」と回答した(全講座の平均は、91%)。

札幌国際大学と美唄市との連携事業として「美唄フットパス・スタートアップ事業」を担当した。美唄フットパス・スタートアップ事業は、林教員が担当した。美唄市の食の魅力を

活かしたコースを企画立案し、フットパス・イベントの実証開催を行った。

札幌国際大学が担当した公開講座は、以下の通りである。産業系人材養成講座を吉岡先生が3講座、まちづくりを担う人材養成講座を千葉教員が2講座、牛嶋教員が3講座、飯田教員が5講座、市民教養講座を吉井教員が10講座、吉岡教員が2講座、関口教員が1講座、井上教員が2講座、河本教員が1講座担当した。

表6 平成25年度の講座の実施内容

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
参加申込者(人)	93	69	122	合計：284
1講座当たりの参加申込者(人)	23	23	25	平均：24
市内に在住(人)	91	63	109	263(93%)
市外に在住(人)	2	6	13	21(7%)
男性(人)	72	50	52	174(61%)
女性(人)	21	19	70	110(39%)

表7 平成25年度の講座と参加人数①

産業系人材養成講座	合計：93人	まちづくりを担う人材養成講座	合計：69人
従来の観光とは異なる「着地型観光」とは？		プレゼンテーション① ～いかにわかりやすく表現し、正しく伝えるか～	
ニューツーリズムの旗手「エコ」ツーリズム		プレゼンテーション② ～人を動かす効果的な表現力～	
これから伸びが期待される「アートツーリズム」		燃えて闘う組織づくり	
「iT革命(iPhone Twitter)」到来～革命の主役たち～		組織力向上とリーダーシップの発揮	
スマートフォン、タブレットの スマートな活用法		組織開発と職務権限	
新しいコミュニケーションの取り方 ～SNSのビジネスへの活用について～		まちづくりを進める上で、企業と協働するために 必要なポイントを整理しながら考えます。	
農商工連携の考え方		まちづくりを進める上で、行政と協働するために 必要なポイントを整理しながら考えます。	
農商工連携とマーケット		コミュニティカフェとは？ 近年、注目されている コミュニティカフェが地域に果たせる役割や可能性を 事例を元に考えます。	
道内農商工連携の実践例		中学生・高校生を除雪ボランティアとして育てる 取組みを解説し、議論します。	
会計の手続きと財務諸表の作成		札幌市の市営住宅で広がる、炭鉱離職者を含む 高齢者を支える主婦の取組みを紹介します。	
経営分析と損益分岐点		災害発生時の要支援者・支援者を募り、 日常の活動をスタートする取組みを紹介します。	
経営分析とキャッシュ・フロー		公園や湿原などの自然を守りながら活用する 取組みを 紹介し、議論します。	
		子どもと高齢者を見守り、地域の安全・安心を 高める取組みを紹介し、議論します。	

表 8 平成 25 年度の講座と参加人数②

市民教養講座		合計：122 人
韓国語ってどんな言葉？ 自分の名前を紹介する	立体感を強調するように細部を描きこみます	
韓国語の特徴を学び、日本語をハングルで表記する	質感の違いを描き分けます	
「～は～です」の文型を勉強して、自分の名前や趣味、家族について話す	ガイダンス ～北海道の炭鉱と様々な時代・分野との関わり・特徴～	
数字と韓国神話について	北海道の歴史の中での炭鉱・石炭産業	
便利な表現と近代韓国語	住友赤平鉱(道内大手鉱の典型事例)	
動詞や形容詞の活用や韓国の食べ物について	三菱端島鉱(北海道との対比事例)	
時間の表現(過去形,進行形,未来形)や韓国の観光地(ソウル市内)について	まとめ、炭鉱の記憶をもとにした未来への展望	
敬語の表現や韓国の観光地(ソウル市以外)について	食べることによる健康維持の秘訣～最新の栄養学の話から～	
さまざまな表現(1)韓国の文化や習慣について	健康と栄養～薬膳の話～	
さまざまな表現(2)K-POP 等韓国の流行について	肉製品の加工について (焼き鳥を始め、様々な肉製品に関する話をします)	
西洋と東洋の絵画における人物表現の違いを考察します	身近な食品「乳」の不思議	
陰影や固有の色(カラー)を明暗に置き換えます	美唄の特産野菜であるアスパラガスについて	

表 9 平成 25 年度の講座別のアンケート結果

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
修了証書発行数(人)	41	15	66	合計:122
理解度	約 83%	約 96%	約 85%	平均:83%
有用度	約 90%	約 94%	約 90%	平均：91%

表 10 平成 25 年度の札幌国際大学と美唄市との連携による協働事業

事業名	実施時期	実施内容
美唄フットパス・スタートアップ事業 「全身で美唄満喫」エコ・ウォーキング! (札幌国際大学)	10/21 試歩,11/10 本番 は、悪天候のため中止	美唄市の食の魅力を活かしたコースを企画立案し、フットパス・イベントを実証開催(場所:ユ〜リン館～アルテピアッツァ美唄～ユ〜リン館をめぐるコース)(林)

表 11 平成 25 年度において札幌国際大学が担当した公開講座

講座名	実施日	実施場所	講師
従来の観光とは異なる「着地型観光」とは？	10/22	美唄商工会議所	観光学部 吉岡
ニューツーリズムの旗手「エコツーリズム」	11/5	美唄商工会議所	観光学部 吉岡
これから伸びが期待される「アートツーリズム」	11/19	美唄商工会議所	観光学部 吉岡
プレゼンテーション① ～いかにわかりやすく表現し、正しく伝えるか～	9/18	美唄市役所	観光学部 千葉
プレゼンテーション②～人を動かす効果的な表現力～	9/25	美唄市役所	観光学部 千葉
燃えて闘う組織づくり	11/6	美唄市役所	スポーツ人間学部 牛嶋
組織力向上とリーダーシップの発揮	11/20	美唄市役所	スポーツ人間学部 牛嶋
組織開発と職務権限	1/4	美唄市役所	スポーツ人間学部 牛嶋
中学生・高校生を除雪ボランティアとして 育てる取組みを解説し、議論します。	6/15	美唄市役所	スポーツ人間学部 飯田
札幌市の市営住宅で広がる、炭鉱離職者を含む 高齢者を支える主婦の取組を紹介しします。	6/29	美唄市役所	スポーツ人間学部 飯田
災害発生時の要支援者・支援者を募り、 日常の活動をスタートする取組を紹介しします。	6/29	美唄市役所	スポーツ人間学部 飯田
公園や湿原などの自然を守りながら活用する 取組を紹介し、議論します。	7/6	美唄市役所	スポーツ人間学部 飯田
子どもと高齢者を見守り、 地域の安全・安心を高める 取組を紹介し、議論します。	7/6	美唄市役所	スポーツ人間学部 飯田
韓国語ってどんな言葉？ 自分の名前を紹介する	5/18	美唄市役所	観光学部 吉井
韓国語の特徴を学び、日本語をハングルで表記する	5/25	美唄市役所	観光学部 吉井
「～は～です」の文型を勉強して、 自分の名前や趣味、家族について話す	6/1	美唄市役所	観光学部 吉井
敬語の表現や韓国の観光地(ソウル市以外)について	6/1	美唄市役所	観光学部 吉井
数字と韓国神話について	6/8	美唄市役所	観光学部 吉井
便利な表現と近代韓国語	6/15	美唄市役所	観光学部 吉井
動詞や形容詞の活用や韓国の食べ物について	5/18	美唄市役所	観光学部 吉井
間の表現(過去形,進行形,未来形)や、 韓国の観光地(ソウル市内)について	5/25	美唄市役所	観光学部 吉井
さまざまな表現(1)韓国の文化や習慣について	6/8	美唄市役所	観光学部 吉井
さまざまな表現(2)K-POP 等韓国の流行について	6/15	美唄市役所	観光学部 吉井
ガイドンス ～北海道の炭鉱と様々な時代・分野との関わり・特徴～	5/25	美唄市役所	観光学部 吉岡
北海道の歴史の中での炭鉱・石炭産業	6/1	美唄市役所	人文学部 関口
住友赤平鉱(道内大手鉱の典型事例)	6/8	美唄市役所	観光学部 井上
三菱端島鉱(北海道との対比例)	6/15	美唄市役所	観光学部 井上
まとめ、炭鉱の記憶をもとにした未来への展望	6/29	美唄市役所	観光学部 吉岡
農業を活かした観光振興	1/23,30	美唄尚栄高校	観光学部 河本

4. 美唄サテライト・キャンパス平成 26 年度

平成 26 年度の講座の割合、参加人数、アンケート実施結果、および札幌国際大学の活動について以下の表 12 ～ 17 に示す。

平成 26 年度の 16 の講座の参加申込者の延べ人数は 304 人 (平成 25 年度=284 人/12 講座) となり、1 講座当たりの平均は、平成 25 年度 (実績値=24 人) より 5 人少ない 19 人となったが、ほぼ美唄市の目標 (今年度の目標値=20 人) が達成された(94%が美唄市に在住)。系統別の 1 講座当たりの平均は、産業系人材養成講座で 21 人、まちづくりを担う人材養成講座で 24 人、市民教養講座で 15 人となった。男女別にみると、産業系人材養成講座において「手描き POP」と「農産物の加工」の講座に多くの女性が受講され増加傾向となった。また、市民教養講座は、これまで同様、受講者の半数以上が女性となった。全回出席した者に修了証書が交付されたが、平成 26 年度は 132 名 (16 講座) に交付され、平成 25 年の 122 名 (12 講座) を上回った(交付率 43%)。出席者の約 9 割の方が「理解できた (理解度)」と回答した(全講座の平均は 89%)。出席者の 9 割以上が「参考になった (有用度)」と回答した(全講座の平均は 95%)。講座別の参加申込人数について、産業系人材養成講座では、「農産物の加工について」が 28 人、まちづくりを担う人材養成講座では、「相手に伝わる文章力の UP!」が 34 人、市民教養講座では、「映像と写真でみる昭和の美唄」が 29 人で、それぞれ、系統別の中で一番多くの申し込みがあった。

札幌国際大学と美唄市との連携事業として「札幌国際大学卓球部によるレッスンと交流試合」および「札幌国際大学シアターオーケストラ及び札幌交響楽団 OB による、美唄市内の吹奏楽団体との合同演奏」を担当した。札幌国際大学卓球部によるレッスンと交流試合は国田教員が担当した。はじめに、6 月に開催された全空知小中学生卓球大会参加者を対象に、卓球フォームを映像等で記録し、記録したフォームを振り返りワンポイントレッスンを行った。その後、希望に応じて大学生との交流試合を行った。また、秋には、札幌国際大学へ美唄市内卓球部員等を迎え、最新機器を用いた運動技能の測定、および学生との交流試合を実施した。札幌国際大学シアターオーケストラ及び札幌交響楽団 OB による、美唄市内の吹奏楽団体との合同演奏はワークショップでは河本教員が担当した。音楽交流によるまちづくりとして、札幌国際大学シアターオーケストラと札幌交響楽団 OB が、美唄市内の中学・高校を含む吹奏楽団体とともに、合同演奏会に向けた練習を行った。発表の場として、美唄市民文化祭の音楽祭に「美唄サテライト・キャンパス with 札幌国際大学」として出演した。

またさらに、札幌国際大学が担当した公開講座は、産業系人材養成講座を吉岡教員が 3 講座、市民教養講座を吉井教員が 7 講座、竹内教員が 8 講座、蔵満教員と新井教員が 5 講座であった。

表 12 平成 26 年度の講座の実施内容

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
参加申込者(人)	84	97	123	合計：304
1 講座当たりの参加申込者(人)	21	24	15	平均：19
市内に在住(人)	78	92	116	286(94%)
市外に在住(人)	6	5	7	18(6%)
男性(人)	37	72	50	159(52%)
女性(人)	47	25	73	145(48%)

表 13 平成 26 年度の講座と参加人数①

産業系人材養成講座	合計：84 人	まちづくりを担う人材養成講座	合計：97 人
「ニューツーリズムとは？」		社会人基礎としての文章力を磨く ～文章力を養う方法を考える～	
グループ別のワークショップ ～グループ毎に分かれて意見交換～		語い力を強化する ～漢語活用力を鍛える～	
全体ワークショップ ～受講者全員と講師と一緒に考えて～		文章作成のテクニック(1) ～実用文の基本事項～	
ドラッカーの『顧客創造』から始まるコミュニティ・ビジネス		文章作成のテクニック(2) ～文章作成に役立つ「公式」力～	
事業の戦略プランの作り方		レポート作成の方法	
魅力的な事業の戦略プランをつくらう！		市民、企業、関係団体、行政と進める まちづくり方策について	
今なぜPOPが人気なのか？～目からウロコのマーカの使い方～		(株)北海道日本ハムファイターズとまちづくりについて ～グループ別のワークショップも実施します～	
日本全国のPOP事例を公開～重要！POP作成3つのステップ～		(株)北海道日本ハムファイターズとの連携した まちづくりの進め方について～全体ワークショップを 実施し、受講者全員と講師と一緒に考えてみます～	
思わず買いたくなるキャッチコピー術 ～実践！自店で使えるPOP制作～		プレゼンテーション① ～いかにわかりやすく表現し、正しく伝えるか～	
大豆や野菜等の調理・加工に関して～道内市町村の実践例を参考に～		プレゼンテーション②～人を動かす表現力～	
大豆や野菜等を活用した調理実習		プレゼンテーション③～聴き手がうなずく 表現力を身につける(実習1)～	
		プレゼンテーション④ ～聴き手がうなずく表現力で話す(実習2)～	
		「街なかの活性化」プランを考えてみます。～バスの運行を 意識しながら、街の中心核の活性化のプランについて 考えてみます～	
		「市民の足の確保」のプランを考えてみます。 ～商店街や病院へのアクセスを意識しながら 公共交通システムのプランについて考えてみます～	
		全体ワークショップ～2つのプランが最大の効果を 発揮するための方策について、受講者全員と講師が 一緒に考えてみます～	

表 14 平成 26 年度の講座と参加人数②

市民教養講座		合計：123 人
韓国語ってどんな言葉？～文字のハングルとはどんな構造なのか。基本的な文法とはどういうものなのかを学びます。自分の名前を紹介できるところまでいきます～	肥満予防と健康のための美味しい話 ～健康は一日にしてならず！身体や頭を動かして、日々の生活習慣の積み重ねの大切さを皆さんで考えてみましょう～	
韓国語の特徴 ～今回は日本語と違う部分について学びます。これでハングルで書かれたものを読むことができるようになります。また、自分の名前をハングルで書いてみましょう～	昭和 10 年頃の美唄 ～三菱美唄・三井美唄炭鉱の街並みと暮らしの様子を中心に～	
韓国語の表現～「～は～です」の基本的な文型や表現を使って、自分の名前や趣味、家族について、少し詳しく自己紹介できるようになります。また、数字も学びます～	昭和 22 年頃の美唄 ～戦後復興期の石炭産業と文化活動～	
漢字語を聞き取る ～日本語と韓国語では、同じ漢字語をよく使います[映画(ヨンファ)、関係(カンゲ)など]。漢字語をドラマの一場面を観ながら聞き取れるところまでいきます～	昭和 25 年以降の美唄 ～美唄市の誕生と産業の発展。そして、エネルギー革命～	
動詞などの変化について ～「行きます」「食べます」といった「～ます」に当たる表現の動詞や形容詞の変化のパターンが分かってきます～	現在の美唄 1(フィールドワーク) ～旧三井美唄炭鉱地区(南美唄、東明等)を訪問し、実際に現地を見ながら学びます～	
辞書の使い方について ～基本は紙ベースの辞書ですが、電子辞書やスマホアプリなどからも調べることができるようになります～	現在の美唄 2(フィールドワーク) ～旧三菱美唄炭鉱地区(我路、東美唄等)を訪問し、実際に現地を見ながら学びます～	
様々な表現について～雑誌の文章などを使って、どのような表現があるのか学びます。ここまで来れば、韓国語について、これからどのような勉強をすれば良いか分かってきます～	油絵の具の特徴と用具の使用方法を知る ～多様な表現、様々な表現技法の説明～	
オリエンテーション、自己紹介(It's nice to meet you.) ～趣味・職業・出身地などを紹介をして、相手とのコミュニケーションを図ります～	制作 1 ～技法の選択 下描き 着色～	
私の家族(Who are you talking about?) ～自分の家族や知人について、人の様子を説明する表現の仕方を学びます～<発音練習 1 : bad, cap/cut, come>	制作 2 ～形や色、マチエール(絵肌)を確認しながらの制作～	
私の一日(When do you start?) ～自分の一日を説明する表現を学びます。いつ、どこで、何を、どうする、ということをお話し合います～ <発音練習 2 : see, slow/month, think/ship, shop>	制作 3 ～形や色、マチエールを確認しながらの制作、講評～	
道案内(Where is it?) ～外国旅行に必要な道を尋ねたり、建物を表す表現を学びます～ <発音練習 3 : love, sail/run, red>	音楽の効果 ～音楽を聴いて、懐かしくなったり、楽しくなったりしたことはありませんか？人の脳はどのように音楽を感じるのでしょうか。身近な音楽からその仕組みに迫ります～	
自分の回りの出来事(Tell me what happened.) ～自分の身の回りに起きたことを相手に伝える表現を学びます～ <発音練習 1 : potato, about, husband>	現在の美唄 1(フィールドワーク) ～旧三井美唄炭鉱地区(南美唄、東明等)を訪問し、実際に現地を見ながら学びます～	
自分の意見(I think I'd like) ～テーマを決めて自分の意見を述べます。相手の意見を聞くことも大切なコミュニケーションの要素です～ <発音練習 2 : stentence rhythm>	現在の美唄 2(フィールドワーク) ～旧三菱美唄炭鉱地区(我路、東美唄等)を訪問し、実際に現地を見ながら学びます～	
待ち合わせ(What's playing?)～相手と待ち合わせる時に必要なコミュニケーションを学びます。時間、場所、催しの内容などについて説明できるように練習をします～<発音練習 3:My sister's prettier than yours.>	油絵の具の特徴と用具の使用方法を知る ～多様な表現、様々な表現技法の説明～	
復習(What are you going to do?)～これからの予定や計画について述べる表現を学びます。近い将来のことや 5 年後、10 年後の自分のことを話合しましょう～ <復習 : tongue twisters: She sells seashells on the sea shore.>	制作 1 ～技法の選択 下描き 着色～	
レクリエーションウォーキング ～道端や野山など、春を感じる風景や現象を探しながらゲーム感覚で楽しく歩きます～※天候が良ければ屋外で実施します	制作 2 ～形や色、マチエール(絵肌)を確認しながらの制作～	
ノルディックウォーキング ～ポールを使用し、腕など上半身も鍛えながら歩きます～ ※天候が良ければ屋外で実施します。	制作 3 ～形や色、マチエールを確認しながらの制作、講評～	

コミュニケーションゲーム～日用品や簡単な道具を使って、楽しく身体を動かしながらコミュニケーションの重要性を学びます～	音楽の効果 ～音楽を聴いて、懐かしくなったり、楽しくなったりしたことはありませんか？人の脳はどのように音楽を感じるのでしょうか。身近な音楽からその仕組みに迫ります～
コミュニケーションゲーム～「クップ」「日レクボール」などニュースポーツも紹介します～※天候が良ければ屋外で実施します。	自分に合った音楽 ～音楽の好みは人それぞれであり、童謡、唱歌、歌謡曲、演歌、クラシックなど音楽は広く分類されます。実際にいろいろな音楽を聴いて自分に合った新しい音楽を発見します～
創作スポーツ「スポーツじゃんけん」 ～蔵満先生と新井先生が中心となり開発した老若男女、障がいの有無に関わらず、スポーツ感覚で楽しめるじゃんけんゲームを紹介します～	音楽とリラクゼーション ～参加者全員で音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を演奏したりして心身をリラックスさせ音楽のパワーを共に実感しましょう～
米粉を使った健康的で新しい日本型食生活 ～米粉の新しい食べ方と、健康に良い日本型食生活の魅力を探ります。地産地消や食風土の国際比較についても学びます～	音楽と健康づくり～日常生活に音楽をうまく取り入れて、健康づくりに役立てましょう。実際に音楽に合わせた簡単な運動をご紹介します～
たまねぎの健康パワー ～たまねぎは、毎日の食卓に欠かせない大事な野菜です。その健康パワーについて再確認しましょう～	

表 14 平成 26 年度の講座別のアンケート結果

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う人材養成講座	市民教養講座	全講座の合計・平均
修了証書発行数(人)	45	37	50	132
理解度	約 93%	約 92%	約 85%	平均:約 89%
有用度	約 95%	約 97%	約 94%	平均:約 95%

表 15 平成 26 年度の札幌国際大学と美唄市との連携による協働事業

事業名	実施時期	実施内容
札幌国際大学卓球部による レッスン・交流試合	6/4 11/22 1/24	内 容：美唄サテライト・キャンパス事業の一環として、技術指導、交流試合(国田) 場 所：美唄市総合体育館、札幌国際大学 参 加者：小学生、中学生、大学生
音楽交流によるまちづくり「キャンプ」 ～美唄サテライト・キャンパス with 札幌国際大学～	11/8,9	内 容：美唄市内の吹奏楽団体と札幌国際大学との連携による協働事業(河本) 場 所：美唄東中学校、市民会館大ホール 参 加者：美唄市民吹奏楽団、中学生、高校生、大学生
ふれあいコンサート (札幌国際大学)	3/9,10	内 容：市内の幼稚園に芸術鑑賞の機会を創出するとともに大学生の活動の場を確保する 場 所：美唄アカシア幼稚園、美唄市立児童会館、栄幼稚園 参 加者：園児、大学生

表 16 平成 26 年度において札幌国際大学が担当した公開講座①

講座名	実施日	実施場所	講師
「ニューツーリズムとは？」	5/23	美唄商工会議所	観光学部 吉岡
グループ別のワークショップ～グループ毎に分かれて意見交換～	5/29	美唄商工会議所	観光学部 吉岡
全体ワークショップ～受講者全員と講師と一緒に考えて～	5/30	美唄商工会議所	観光学部 吉岡
韓国語ってどんな言葉？ ～文字のハングルとはどんな構造なのか。 基本的な文法とはどういうものなのかを学びます。 自分の名前を紹介できるところまでいきます～	5/17	美唄市役所	人文学部 吉井
韓国語の特徴 ～今回は日本語と違う部分について学びます。これでハングルで 書かれたものを読むことができるようになります。 また、自分の名前をハングルで書いてみましょう～	5/24	美唄市役所	人文学部 吉井
韓国語の表現 ～「～は～です」の基本的な文型や表現を使って、自分の名前や 趣味、家族について、少し詳しく自己紹介できるようになります。 また、数字も学びます～	5/31	美唄市役所	人文学部 吉井
漢字語を聞き取る ～日本語と韓国語では、同じ漢字語をよく使います [映画(ヨンファ)、関係(カンゲ)など]。漢字語をドラマの 一場面を観ながら聞き取れるところまでいきます～	6/7	美唄市役所	人文学部 吉井
動詞などの変化について～「行きます」「食べます」といった 「～ます」に当たる表現の動詞や 形容詞の変化のパターンが分かってきます～	6/14	美唄市役所	人文学部 吉井
辞書の使い方について～基本は紙ベースの辞書ですが、電子辞書や スマホアプリなどからも調べることができるようになります～	6/21	美唄市役所	人文学部 吉井
様々な表現について ～雑誌の文章などを使って、どのような表現があるのか学びます。 ここまで来れば、韓国語について、 これからどのような勉強をすれば良いか分かってきます～	6/28	美唄市役所	人文学部 吉井
オリエンテーション、自己紹介(It's nice to meet you.) ～趣味・職業・出身地などを紹介をして、 相手とのコミュニケーションを図ります～	6/14	美唄市役所	人文学部 竹内
私の家族(Who are you talking about?)～自分の家族や知人について、 人の様子を説明する表現の仕方を学びます～ <発音練習 1 : bad, cap/cut, come>	6/28	美唄市役所	人文学部 竹内
私の一日(When do you start?)～自分の一日を説明する表現を 学びます。いつ、どこで、何を、どうする、ということ を話し合います～<発音練習 2 : see, slow/month, think/ship, shop>	7/5	美唄市役所	人文学部 竹内
道案内(Where is it?) ～外国旅行に必要な道を尋ねたり、建物を表す表現を学びます～ <発音練習 3 : love, sail/run, red>	7/12	美唄市役所	人文学部 竹内
自分の回りの出来事(Tell me what happened.) ～自分の身の回りに起きたことを相手に伝える表現を学びます～ <発音練習 1 : potato, about, husband>	7/5	美唄市役所	人文学部 竹内
自分の意見(I think I'd like) ～テーマを決めて自分の意見を述べます。 相手の意見を聞くことも大切なコミュニケーションの要素です～ <発音練習 2 : stentence rhythm>	7/12	美唄市役所	人文学部 竹内
待ち合わせ(What's playing?) ～相手と待ち合わせる時に必要なコミュニケーションを 学びます。時間、場所、催しの内容などについて 説明できるように練習をします～ <発音練習 3 : My sister's prettier than yours.>	7/19	美唄市役所	人文学部 竹内
復習(What are you going to do?)～これからの予定や計画について 述べる表現を学びます。近い将来のことや 5 年後、10 年後の 自分のことを話合しましょう～ <復習 : tongue twisters: She sells seashells on the sea shore.>	7/26	美唄市役所	人文学部 竹内

表 17 平成 26 年度において札幌国際大学が担当した公開講座②

レクリエーションウォーキング ～道端や野山など、春を感じる風景や現象を探しながら ゲーム感覚で楽しく歩きます～ ※天候が良ければ屋外で実施します	5/17	美唄市総合体育館 メインアリーナ	スポーツ人間学部 蔵満 新井
ノルディックウォーキング ～ポールを使用し、腕など上半身も鍛えながら歩きます～ ※天候が良ければ屋外で実施します。	5/24	美唄市立 中央小学校 体育館	スポーツ人間学部 蔵満 新井
コミュニケーションゲーム ～日用品や簡単な道具を使って、楽しく身体を動かしながら コミュニケーションの重要性を学びます～	6/28	美唄市総合体育館 サブアリーナ	スポーツ人間学部 蔵満 新井
コミュニケーションゲーム ～「クップ」「日レクボール」などニュースポーツも紹介します～ ※天候が良ければ屋外で実施します。	6/28	美唄市総合体育館 サブアリーナ	スポーツ人間学部 蔵満 新井
創作スポーツ「スポーツじゃんけん」 ～蔵満先生と新井先生が中心となり開発した老若男女、 障がいの有無に関わらず、 スポーツ感覚で楽しめるじゃんけんゲームを紹介します～	7/5	美唄市総合体育館 サブアリーナ	スポーツ人間学部 蔵満 新井

5. 美唄サテライト・キャンパス平成 27 年度

平成 27 年度の講座の割合、参加人数、アンケート実施結果、および札幌国際大学の活動について以下の表 18 ～ 23 に示す。

平成 27 年度の 13 の講座の参加申込者の延べ人数は 222 人 (平成 26 年度 = 304 人 / 16 講座) となり、1 講座あたりの平均は、平成 26 年度 (実績値 = 19 人) より 2 人少ない 17 人となったが、美唄市の目標 (今年度の目標値 = 15 人) には達成した (95% が美唄市に在住)。系統別の 1 講座当たりの平均は、産業系人材養成講座で 18 人、まちづくりを担う人材養成講座で 15 人、市民教養講座で 18 人となった。男女別にみると、産業系人材養成講座は、男性が多い傾向 (約 7 割) にあり、まちづくりを担う人材養成講座の男女比は、ほぼ同じだった。市民教養講座は、女性が多い傾向 (約 7 割) となった。全回出席した者に修了証書を交付しているが、平成 27 年度は 110 名 (13 講座) に交付し交付率 49.5%、昨年度の交付率 43% (132 名、16 講座) を上回った。出席者の 9 割以上の方が「理解できた (理解度)」と回答した (全講座の平均は 91%)。出席者の 8 割以上の方が「参考になった (有用度)」と回答した (全講座の平均は 84%)。

平成 27 年度札幌国際大学と美唄市との連携事業として「札幌国際大学卓球部によるレッスンと交流試合」および「札幌国際大学シアターオーケストラ及び札幌交響楽団 OB による、美唄市内の吹奏楽団体との合同演奏」を担当した。札幌国際大学卓球部によるレッスンと交流試合は美唄市総合体育館において、国田教員が担当した。全空知小中学生卓球大会参加者を対象に、卓球フォームを映像等で記録し、記録したフォームを振り返りワンポイントレッスンをを行った。その後、希望に応じて大学生との交流試合を行った。また、札幌国際大学へ市内卓球部員等を迎え、最新機器を用いて運動技能の測定および学生との交流試合を実施した。札幌国際大学シアターオーケストラ及び札幌交響楽団 OB による、美唄市内の吹奏楽団体との合同演奏はワークショップにおいて河本教員が担当した。音楽交流によるまちづく

りとして、札幌国際大学シアターオーケストラと札幌交響楽団 OB が、美唄市内の中学・高校を含む吹奏楽団体とともに、合同演奏会に向けた練習を行った。発表の場として、美唄市民文化祭の音楽祭に「美唄サテライト・キャンパス with 札幌国際大学」として出演した。

平成 27 年度は、産業系人材養成講座を宮武教員が 3 講座、市民教養講座を吉井教員が 5 講座、竹内教員が 6 講座担当した。出前授業は、井上教員が担当した。

表 18 平成 27 年度の講座の実施内容

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
参加申込者(人)	54	60	108	合計：222
1 講座当たりの参加申込者(人)	18	15	18	平均：17
市内に在住(人)	50	58	102	210(95%)
市外に在住(人)	4	2	6	12(5%)
男性(人)	38	32	32	102(46%)
女性(人)	16	28	76	120(54%)

表 19 平成 27 年度の講座の参加人数

産業系人材養成講座	合計：54 人	まちづくりを担う人材養成講座	合計：60 人
観光 ICT とは？		ディベートとは何か？～提案の仕方と議論の仕方～	
地域情報発信について考える～グループ毎に分かれて 魅力ある地域情報、発信の方法について考えます～		ディベートに挑戦してみよう 1～具体的な提案について、 そのメリットとデメリットを考えてみましょう！～	
全体ワークショップ～グループ毎に考えた企画を発表し合い、 意見交換をします～		ディベートに挑戦してみよう 2～反駁(はんぱく)と 反論の違いとは？ちゃんとした議論とは？～	
アイキャッチの秘密～人の足を止める不思議な図形／基礎編～		プレゼンテーション 1～いかにわかりやすく表現し、 正しく伝えるか～	
見てしまう POP と読まれない POP の秘密 ～キャッチコピー 1 行のマジック～		プレゼンテーション 2～伝えたいことを 確実に伝えるために～	
あなたのお店が記憶に残る脳の秘密 ～レイアウト、色、イラスト～		プレゼンテーション 3～学問的な内容もよりわかりやすく～	
全てのポジションで使える POP の秘密 ～これまでに学んだスキルを使い自社使用の POP を製作～		社会人基礎としての文章力を磨く ～文章力を養う方法を考える～	
身の丈にあった企業を巧みに利用する ～大手とタイアップした事業展開の利点・欠点、その手法とは？～		語彙力を強化する～漢語・カタカナ語の活用力を鍛える～	
地域ブランドを作る～地域の名前・産品をブランド化するには？～ <地域ブランドありきの生産・加工は、 供給者のエゴになりかねない>		文章作成のテクニック(1)～実用文の基本事項～	
びばいの「おいしい」の可能性～これまで育ててきたブランド食品 を、誰にどう発信していくのか？～他の商品との本当の違いを探る		文章作成のテクニック(2)～文章作成に役立つ「公式」～。	
		要らない物を買ってしまった！(お金の問題 Part1 Part2)	
		渡る世間は鬼ばかり？(家族の問題) ～家族間の様々なトラブルのうち、家族のお金をめぐる問題と して代表的な『相続』を中心に考えていきます～	
		どこへ行く？個人情報(新しい問題) 個人情報やマイナンバー制度、プライバシーなどについて法律 的な観点から考えていきます～	

表 20 平成 27 年度の講座の参加人数

市民教養講座		合計：108 人
韓国語の文法～基本的な文法、特に用言の活用について整理します。 韓国語の用言の活用パターンを学びます～	健康は自らの努力で育てるもの～私たちの身体は、食べ物で作られています。皆さんと一緒に、日本の食文化を薬膳の視点から見直してみませんか？～	
汗蒸幕にて～エステ、サウナではどのような表現が必要になるのか、実践的な会話から学びます～	サプリメント(栄養補助食品)の活用～サプリメントは、普段の食生活で必要とされる栄養素の基準量を満たしていれば摂取する必要がないものです。ご自身の栄養素摂取量を把握し、本当にサプリメントが必要かを一緒に考えてみませんか？～(賢い消費者になるために)～私たちは商品の価格と財布の中身で買い物をしています。今一度、消費者目線から食の安全・安心を考えてみましょう～	
水産市場にて～市場にはどのようなものがあるのか、また、どのように注文するのでしょうか。食べ物に関する会話を練習します～	健康とは何か？(講義)～健康概念を問い直してみます。また、からだの持つ自然治癒力について学びます～	
遊覧船に乗る～ここでは、交通の利用の仕方について主に考えます～	実践・養生体操「八段錦」(実技) ～「八段錦」の前半 4 つの身体操法を学びます～	
服を買う～市場には、さまざまなものが売られています。買い物に関する会話を考えます～	実践・養生体操「八段錦」(実技) ～「八段錦」の前半 4 つの身体操法の復習と後半 4 つの身体操法を学びます～	
オリエンテーション、自己紹介(It's nice to meet you.) ～趣味・職業・出身地などを紹介して、相手とのコミュニケーションを図ります～	実践・養生体操「八段錦」(実技) ～「八段錦」の身体操法の総復習と、からだの気付きについてディスカッションをします～	
身の回りの物・部屋の様子(What's this?) ～身の回りの物を用いて、日常生活を表現する方法を学びます～<発音練習 1 :telephones/desks/watches>	油絵の具の特徴と用具の使用法 2.制作 ～下描き、着色～	
出身地と家族(Where are you from?)～自分の出身地や家族の様子を表現する方法を学びます～<発音練習 2 :Brazil/Mexico/Malaysia>	アイヌ民族の歴史～歴史の時間に習った日本(本州・四国・九州)の歴史とは異なる北海道周辺の歴史について、アイヌ民族に焦点を当てて学んでいきます。北海道を新たな視点で見えていきましょう～	
服装・身なり(I'm not wearing boots!)～衣類や靴など身につけるものを用いて、今行われている事柄を表現します～ <発音練習 3:socks, shirt/clothes, glove>	アイヌ文化について～アイヌの人たちの着物の素材は？家にも地域差はあるの？食べ物はどうにして得て、調理したの？様々な側面から迫ります～	
現在行っている行動と時間(What are you doing?)～時間と行動を表す表現を学んで、現在、誰が何をしているか英語で表現する方法を学びます～<発音練習 4:Is she getting up?>	アイヌ語について ～アイヌ語と日本語は似ているのでしょうか？アイヌ語はどのような言葉か？方言は？地名など身近にあるアイヌ語についても学んでいきます～	
日常生活と習慣(My sister works downtown.)～毎日の生活や習慣を英語で表現する方法を学びます～ <発音練習 5 :takes/goes/dances/does>	ウレシパ・フェスタ(一般社団法人札幌大学ウレシパクラブ主催)～札幌大学にはアイヌ民族の学生を対象としたウレシパ奨学金制度があります。今年で第 6 回を迎える、アイヌ民族と和人の学生たちによる札幌大学ウレシパクラブの成果発表(講演、舞踊・展示)から多文化共生のあり方を考えます～	
健康は自らの努力で育てるもの～私たちの身体は、食べ物で作られています。皆さんと一緒に、日本の食文化を薬膳の視点から見直してみませんか？～		

表 21 平成 27 年度の講座別のアンケート結果

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
修了証書発行数(人)	20	33	57	合計:110
理解度	約 95%	約 90%	約 91%	平均:約 91%
有用度	約 89%	約 88%	約 75%	平均:約 84%

表 22 平成 27 年度の札幌国際大学と美唄市との連携による協働事業

事業名	実施時期	実施内容
札幌国際大学卓球部による レッスン・交流試合	5/24 8/21, 22 11/21	内 容：美唄サテライト・キャンパス事業の一環として指導、交流試合(国田) 場 所：美唄市総合体育館、札幌国際大学 参加者：小学生、中学生、大学生
音楽交流によるまちづくり「キャンプ」 ～美唄サテライト・キャンパス with 札幌国際大学	11/7,8	内 容：美唄市内の吹奏楽団体と札幌国際大学との連携による協働事業(河本) 場 所：美唄中央小学校、市民会館ホール 参加者：市民吹奏楽団、小・中学生、高校生、大学生

表 23 平成 27 年度において札幌国際大学が担当した公開講座

講座名	実施日	実施場所	講師
観光 ICT とは？	5/20	ピパオイの里プラザ	観光学部 宮武
地域情報発信について考える～グループ毎に分かれて 魅力ある地域情報、発信の方法について考えます～	5/27	ピパオイの里プラザ	観光学部 宮武
全体ワークショップ ～グループ毎に考えた企画を発表し合い、意見交換をします～	6/3	ピパオイの里プラザ	観光学部 宮武
韓国語の文法～基本的な文法、特に用言の活用について 整理します。韓国語の用言の活用パターンを学びます～	5/16	美唄市役所	人文学部 吉井
汗蒸幕にて～エステ、サウナではどのような表現が 必要になるのか、実践的な会話から学びます～	5/23	美唄市役所	人文学部 吉井
水産市場にて ～市場にはどのようなものがあるのか、また、どのように注文す るのでしょうか。食べ物に関する会話を練習します～	5/30	美唄市役所	人文学部 吉井
遊覧船に乗る ～ここでは、交通の利用の仕方について主に考えます～	6/6	美唄市役所	人文学部 吉井
服を買う～市場には、さまざまなものが売られています。 買い物に関する会話を考えます～	6/6	美唄市役所	人文学部 吉井
オリエンテーション、自己紹介(It's nice to meet you.) ～趣味・職業・出身地などを紹介して、相手との コミュニケーションを図ります～	5/16	美唄市役所	人文学部 竹内
身の回りの物・部屋の様子(What's this?) ～身の回りの物を用いて、日常生活を表現する方法を学びます～ ＜発音練習 1 :telephones/desks/watches＞	5/16	美唄市役所	人文学部 竹内
出身地と家族(Where are you from?) ～自分の出身地や家族のを 表現する方法を学びます～＜発音練習 2 :Brazil/Mexico/Malaysia＞	5/30	美唄市役所	人文学部 竹内
服装・身なり(I'm not wearing boots!)～衣類や靴など身につけるを 用いて、今行われている事柄を表現します～ ＜発音練習 3 :socks, shirt/clothes, glove＞	5/30	美唄市役所	人文学部 竹内
現在行っている行動と時間(What are you doing?)～時間と行動を 表す表現を学んで、現在、誰が何をしているか 英語で表現する方法を学びます～＜発音練習 4 :Is she getting up?＞	6/6	美唄市役所	人文学部 竹内
日常生活と習慣(My sister works downtown.)～毎日の生活や習慣を 英語で表現する方法を学びます～	6/6	美唄市役所	人文学部 竹内
「蘇るマチ；そこにあるタカラ」	9/18	美唄尚栄高校	観光学部 井上

6. 美唄サテライト・キャンパス平成 28 年度

平成 28 年度の講座の割合、参加人数、アンケート実施結果、および札幌国際大学の活動について以下の表 24～29 に示す。

平成 28 年度の 10 講座の参加申込者延べ人数は現在 141 人（平成 27 年度=222 人/13 講座）となり、1 講座当たりの平均は、平成 27 年度(実績値=17 人) より 3 人少ない 14 人となり、美唄市の目標であった 15 人に達することはできなかった（96%が美唄市に在住）。系統別の 1 講座当たりの平均は、産業系人材教養講座で 22 人、まちづくりを担う人材養成講座で 8 人、市民教養講座で 15 人となった。男女別にみると、産業系人材教養講座は、男性が多い傾向（約 85%）にあり、まちづくりを担う人材養成講座も男性が多い傾向（約 74%）にあり、市民教養講座の男女比は（5.4:4.6）とほぼ同じだった。全体として男性 62%、女性 38%と昨年の女性が多い傾向（約 70%）と異なり男性が多い傾向になった。

修了証書交付は、平成 28 年度では 83 名（10 講座）、58.9%であった。出席者の 9 割以上の方が「理解できた（理解度）」と回答した（全講座の平均は、98%）。出席者の 9 割以上の方が「参考になった（有用度）」と回答した（全講座の平均は、90%）。

札幌国際大学と美唄市との連携事業としては、①スポーツ少年団指導・交流試合及び高齢者に向けたウォーキング実践、②音楽交流によるまちづくり「ワークショップ」・「キャンプ」、③美唄サテライト・キャンパス with 札幌国際大学、および④既存施設を改修する合宿施設を活用したクラブ合宿の誘致を担当した。①は国田教員、清田教員、阿南教員が担当した。②、③は河本教員が担当した。④は清田教員が担当した。

平成 28 年度の公開講座は、まちづくりを担う人材養成講座を小林教員が 3 講座、関教員が 3 講座、市民教養講座を吉岡教員が 2 講座を担当した。

表 24 平成 28 年度の講座の実施内容

	産業系人材 養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養 講座	全講座の 合計・平均
参加申込者(人)	44	23	74	合計：141
1 講座当たりの 参加申込者(人)	22	8	15	平均：14
道民カレッジ	0	0	0	0
市職員研修	11	10	-	21
地域人材育成事業	5	0	-	5
市内に在住(人)	44	22	69	135(96%)
市外に在住(人)	0	1	5	6(4%)
男性(人)	37	17	34	88(62%)
女性(人)	7	6	40	53(38%)

表 25 平成 28 年度の講座と参加人数①

産業系人材養成講座	合計：44 人	まちづくりを担う人材養成講座	合計：23 人
都市構造の評価に関するハンドブックの概要		プレゼンテーション 1 ～いかにわかりやすく表現し、正しく伝えるか～	
儲かりそうなことは失敗を恐れず即実践		プレゼンテーション 2 ～伝えたいことを確実に伝えるために～	
実際に企画をプレゼンテーション		プレゼンテーション 3 ～聴き手がうなずく表現力を身につける～	
(1)日本文化における「交渉」と異文化（TPP 参加国）などにおける「ネゴシエーション」のコンセプトやパーセプションとは？ (2)欧米の交渉代表と日本の交渉代表の相違点・類似点 (3)つわ者どもとの対外交渉 (4)交渉学教育で日本は後進国（ハーバード大学の経済学ノーベル賞受賞者の意見）		ディベートとは何か？ ～提案の仕方と議論の仕方～	
(1)日本流交渉術とハーバード流交渉術とは？ (2)人の心理（社会的発達ステップと見えない人々の世界観と交渉姿勢とは？）（管理職は組織・社会集団・異文化との対応の仕方（交渉対策）を見据えているか？）		ディベートに挑戦してみよう 1 ～具体的な提案について、そのメリットとデメリットを考えてみましょう！～	
(1)エゴグラムと組織内・外の人物とコミュニケーション・交流分（自我の状態・パーソナリティの種類と構造の 5 つの因子で分析） (2)組織の部下・上司の分析と交渉スタイル[CP 型・NP 型・A 型・FC 型・AC 型]		ディベートに挑戦してみよう 2 ～反駁（はんばく）と反論の違いとは？ ちゃんとした議論とは？～	
		発想の出し方を学ぶ ～演習 1 地域が抱える問題・課題について発想する～	
		情報の整理・分析方法を学ぶ ～演習 2 地域が抱える問題・課題を整理・構造化する～	
		解決策の作り方のポイントを学ぶ ～演習 3 地域が抱える問題・課題に対する解決策を考える～	

表 26 平成 28 年度の講座と参加人数②

市民教養講座	合計：74 人
わかってはいるけど食べてしまう」を減らすために 一行動科学を用いて健康的な食生活をー ～新鮮な野菜を中心とした食事は理想の食生活です。しかし、過食や偏食を繰り返してしまうこともあります。食行動の変容や意思決定に働きかける行動科学の技法を用いて自身が出来る理想の食生活を考えてみませんか。～	
農産物の栄養と健康について ～野菜などの農産物には、栄養が豊富な時期とそうでない時期があります。この回では、美唄産の農産物を中心に、健康づくりに関係する食材または食事内容について学びます～	
美唄に根ざした健康体操の実践 ～農作業をはじめ仕事の疲労を起りにくくするためには事前の体力強化と事後のセルフケアが大切です。しかしながら、忙しくてそのような時間はないというのが正直なところではないでしょうか？そこで、本講座までに無理なく日常生活に取り入れることができ、しかも美唄に根ざした健康体操を考案します。本講座ではその体操を皆さんで楽しみながら実践しましょう～	
1. 自由な形の土鈴をつくりましょう 2. 午前中に製作したものの中をくりぬき鈴子を入れ成型します	
愛する二人別れる二人(家族の問題 Part 1) 結婚・離婚 結婚や離婚をめぐる状況は、我国の家族法が制定された時代とは大きく異なってきました。そのことが、現在さまざまな問題を生んでいます。この講義では婚姻と離婚をテーマに、法律と裁判の現状から、今後の婚姻と離婚を考えていきます。	
死んだらどうなる？私の財産(家族の問題 Part 2) 相続 相続問題は、多くの人が身近に感じる法律問題です。しかし、問題だと思っけていても、基本的な仕組みはよく理解していない方も多くいます。この講座では、相続の基本的な仕組み、よく生じる問題をわかり易く説明し、考えていきます。	
マイナンバーがやってきた (マイナンバー制度について) 今年 1 月から「マイナンバー制度」が始まりました。しかし、番号は受取ったが、それをどうしたら良いのか、手持無沙汰になっている方が多くいます。この講座では、マイナンバー制度とはなにか、何が問題なのか、マイナンバーをどう扱うべきかについて、考えていきます。	
からだが劈（ひら）かれるとき～自己と他者の関係性を捉えなおす～	

<p>劈（ひら）かれたからだを求めて～股関節の柔らかさと軸を捉えなおす～</p>
<p>机上で学ぶ-炭鉱遺産の意味と価値 そらち「炭鉱の記憶」ガイドマニュアルを手がかりに、炭鉱という巨大なシステムを理解する知識を学びます。 石炭産業を取り巻く時代変化、石炭生産の仕組み、炭鉱社会の構造と特徴などから、美唄の炭鉱の特徴を浮き彫りにします。</p>
<p>現場で学ぶ-炭鉱遺産を歩く 講義で得た知識を、実際の現場を歩いて確認しながら学びます。 (東明～盤の沢～我路～旭台付近を、バスに乗り降りしながら歩く予定です)</p>

表 27 平成 28 年度の講座別のアンケート結果

	産業系 人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
修了証書発行数(人)	23	17	43	合計：83
理解度	約 93%	100%	約 99%	平均：約 98%
有用度	約 93%	約 85%	約 92%	平均：約 90%

表 28 平成 28 年度の札幌国際大学と美唄市との連携による協働事業

事業名	実施時期	実施内容
スポーツ少年団指導・交流試合及び 高齢者に向けたウォーキング実践 (札幌国際大学)	4/15 8/3,4,5 10/7	内 容：スポーツ活動中の動作を高速度カメラで記録し 技能向上や怪我の防止について指導及び解説 大学生、大学院生が参加者の心拍を測定しながら コースをウォーキング(国田、清田、阿南) 場 所：美唄総合体育館 参 加 者：小学生、一般市民
音楽交流によるまちづくり 「ワークショップ」・「キャンプ」 (札幌国際大学)	8/18,19	内 容：大学生による音楽演奏を福祉施設等で開催(河本) 場 所：ピバの子保育園、恵風園・恵祥園 参 加 者：一般市民
美唄サテライト・キャンパス With 札幌国際大学	3/5	内 容：大学生と中学生、高校生、一般市民と交流(河本)、 合同練習を行い、演奏会を開催 場 所：市民会館大ホール 参 加 者：中学生、高校生、大学生、一般市民
既存施設を改修する合宿施設を 活用したクラブ合宿を誘致 (札幌国際大学)	3/4,5,22~24	内 容：大学生と小学生、高校生のバスケットボール部による 交流試合(清田) 場 所：美唄総合体育館、美唄市民会館 参 加 者：大学生、小学生、高校生

表 29 平成 28 年度において札幌国際大学が担当した公開講座

講座名	実施日	実施場所	講師
プレゼンテーション 1 ～いかにわかりやすく表現し、正しく伝えるか～	6/7	ピバオイの里 プラザ	短期大学学部 小林
プレゼンテーション 2 ～伝えたいことを確実に伝えるために～	6/14	ピバオイの里 プラザ	短期大学学部 小林
プレゼンテーション 3 ～聴き手がうなずく表現力を身につける～	6/21	ピバオイの里 プラザ	短期大学学部 小林
発想の出し方を学ぶ ～演習 1 地域が抱える問題・課題について発想する～	9/12	ピバオイの里 プラザ	スポーツ人間学部 関
情報の整理・分析方法を学ぶ ～演習 2 地域が抱える問題・課題を整理・構造化する～	9/13	ピバオイの里 プラザ	スポーツ人間学部 関
解決策の作り方のポイントを学ぶ ～演習 3 地域が抱える問題・課題に対する解決策を考える～	9/16	ピバオイの里 プラザ	スポーツ人間学部 関
机上で学ぶ-炭鉱遺産の意味と価値	9/24	美唄市役所	観光学部 吉岡
現場で学ぶ-炭鉱遺産を歩く	10/1	フィールド・ワーク 美唄市内	観光学部 吉岡
【美唄で考える；美唄で探す；美唄のタカラ】	10/20	美唄尚栄高校	観光学部 河本

高齢者の健康の維持・増進を目的としたヘルシーウォーキング事業に関する札幌国際大学と美唄市との協働活動について述べることにする。

実施要項を別紙に示す(図1-①,1-②,1-③)。

平成28年度 ヘルシーウォーキング事業 実施要領(案)

1、経過

平成14年度からヘルシーウォーキングを開催。平成19年度より、水中ウォーキングを開催。平成24年ノルディックウォーキング練習会を開催。ヘルシーウォーキングとノルディックウォーキング練習会は、運動推進員と協働で開催し、水中ヘルシーウォーキングはNPO法人美唄市体育協会と協働開催してきたところです。その結果、市民の関心が高まり、ノルディックウォーキング等、幅広い運動に取り組んでいる市民が増加しています。一方で、若い世代の運動不足や、高齢化による身体機能の低下から、運動を継続していくことが難しい現状も見られます。

平成25年度市町村健康増進計画である「びばいヘルシーライフ21(第2期)」では、重点テーマとして「健康づくりのための運動」と、「受動喫煙予防の推進」を掲げており、より一層の環境づくりが求められています。

そのため、今年度も昨年度に引き続き、運動推進員やNPO法人美唄市体育協会と連携を強化し、より一層の市民への啓発を図っていく他、サテライトキャンパスのプログラムに位置づけ、各年代や生活スタイル、体調に合ったウォーキングができるよう、開催日時や、個々の参加者の目的に合わせたペース配分等実施体制を工夫し、開催することとします。

2、目的

- 1) からだを動かすことの楽しさを感じることができ、運動を通じた健康づくりのきっかけとなる
- 2) 運動をともにする仲間との出会いや交流を通し、健康づくり活動を継続する意欲が高まる
- 3) 通年を通して運動を継続できる

3、実施主体 美唄市

4、対象者 市民

*重点対象者：新規参加者(健康づくりのための運動に取り組むきっかけづくりとなる)

5、周知方法

広報メロディー(毎月の実施内容のほか、すこやかロードに認定された2コースを周知)

運動推進員を通して各サークルや団体へPR

他保健事業・地区活動により周知

総合体育館・プール館内等でのポスター掲示

ホームページ

- ### 6、申込
- 安全なウォーキングを行うため、前日までに保健センターへ申込を行う。
申込順に交付番号を設定。交付番号を記入した、ウォーキング手帳を交付

7、実施内容

1) びばいすこやかウォーキング

①ウォーキング講習会

ねらい：正しい姿勢で効果的なウォーキングについて知り、日頃の健康づくりに生かすことができる。また、プログラムをきっかけにウォーキングを始めるきっかけとなる。

日時：平成28年4月15日(金) 10:00~11:30(9:30受付開始)

場所：総合体育館(メインアリーナ)、~~田園あぜ道コース(一部)~~

内容：○ウォーキングの正しい姿勢とその効果

○ポール・ウォーキング

講師：○札幌国際大学

○吉田裕子氏

図1-① 平成28年度ヘルシーウォーキング事業 実施要領(案)

②ヘルシーウォーキング

(日程・内容)

- 第1回 5月13日(金) 四季をめぐる丘東明公園散策コース「春：桜満開」※1
- 第2回 6月10日(金) アルテのピクニックコース
- 第3回 7月8日(金) 国道一直線コース
- 第4回 8月5日(金) まちなかスイーツコース
- 第5回 9月16日(金) 田園あぜ道コース
- 第6回 10月7日(金) サテライトキャンパス ・ 皆勤賞表彰式 ※2
(チャレンジデー 5月25日(水) 公園散策コース)
(びばい休日すこやかウォーキング 9月11日(日))

・雨天中止

・流れ：集合→受付(9時30分より)・準備体操→出発(10時)→随時休憩→到着・解散(各自昼食や散策など)

※1 5月は旭公園、ベルコ・ツルハ裏の東屋を選択できるようにする。

※2 10月7日(金) 10:00~11:30(受付9:30~) 総合体育館

9:30~ 受付

10:00~ 開会挨拶・講師紹介

正しいウォーキングの姿勢のチェック

10:20~ ウォーキング出発 (田園あぜ道コース一部)

11:15~ 脈拍数チェックと運動指導

11:25~ 皆勤賞表彰式

・皆勤賞表彰式：第6回の実施終了後、日頃の健康づくりの取り組みの保証と健康づくりへの活動意欲向上のため、第1回~第6回全日程に参加した方に賞状と記念品を贈呈する

昨年度皆勤賞該当となった方は、賞状のみの贈呈とする

②ノルディックウォーキング練習会(おとら会)

日時：平成28年5月2日~10月末まで、毎週月曜日

場所：ベルコ・ツルハ裏の東屋

実施方法：周知、人数の把握は保健センター

実施については運動推進員が中心となって実施する。

2) 水中ウォーキング

(日時・内容)

日時：平成28年11月~H29年3月まで月1回実施

場所：温水プール「すい~む」

実施方法：周知や参加者の把握については保健センターが担当

実施については、NPO法人美唄市体育協会運動指導員が担当する

実施内容：NPO法人美唄市体育協会運動指導員による指導のもと、エアロビクスの要素を含めた水中でのウォーキングを実施

8、従事スタッフ 保健師、NPO法人美唄市体育協会運動指導員、
札幌国際大学教授・学生、元運動推進員吉田裕子

9、地域スタッフ 運動推進員：出発前に担当者とコース・休憩場所の確認
準備体操、ペース配分・コースの誘導の決定、参加者の様子を把握しながら安全に実施できるよう担当者と役割を担う

- 10、評価指標
- 1) 参加者が身体を動かすことの楽しさを感じることができた
 - 2) 参加者が運動を共にする仲間との出会いや交流ができたか
 - 3) 運動を継続する人が増えたか
- 11、留意点
- 1) びばいすこやかウォーキングは運動推進員が中心となり、企画・運営。参加者、特に初心者が安全・安心してウォーキングできるよう留意する。
 - 2) 水中ウォーキングでは、NPO 法人美唄市体育協会運動指導員がプログラムを進行。内容等については参加者の状況等把握しながら検討していき、参加者が無理なく継続して水中ウォーキングに取り組めるよう検討しながら実施する。
 - 3) 健康づくり啓発事業としてより効果を高めるため、保健指導事業・健康づくりサークル支援事業・健康づくり組織支援など他の保健事業や地区活動と連動して実施していく。
 - 4) 運動を通じた健康づくりが市民に広がるよう、教育委員会・NPO 法人美唄市体育協会等関係機関と連携を図りながら実施する。
 - 5) 平成 21 年度、北海道健康づくり財団において認定された「東明桜並木コース」「公園散策コース」の 2 コースを活用する他、美唄の魅力あるウォーキングコースを運動推進員オリジナルコースとして完成。

(平成 28 年 3 月作成)

平成 28 年 10 月のウォーキング活動時の歩行速度、心拍数および運動強度

美唄市で行われているウォーキング活動が高齢者にとって最適な運動強度であることを検証する目的で、ウォーキング中の歩行速度、心拍数、および運動強度の測定を行った。

測定当日は、ウォーキング参加者を対象に心拍計と万歩計を取り付け、その後、ウォーキング実施前にアンケート調査と安静時心拍数の測定を行った。その後、ウォーキングに同行しながら、移動距離、歩数、主観的運動強度、および運動時心拍数を 5 分毎に測定した。検者が心拍計から心拍数、万歩計から歩数を確認し、さらに、スマートフォンアプリのランタスティックから移動距離を、主観的運動強度は参加者に運動強度の程度を数字で答えてもらった。

以下に、アンケート、ウォーキング実施時に用いた記入用紙と主観的運動強度の等級、ウォーキング経路とウォーキング活動写真を示す(図 2-①～図 6)。

氏名 _____

年齢 _____

性別 _____

既往歴 _____

現病歴 (投薬状況) _____

最も長い仕事歴 (さしつかえなければ、具体的に _____)
(技術系・サービス・保安・農林漁業・運輸・公務員・事務員・その他 (主婦含む))

その仕事に従事していた期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月
主な作業内容 (主に立ったままする仕事・主に座ったままする仕事・両方同程度)

現在の活動

仕事の従事 有 無

仕事内容 _____

主な作業内容 (主に立ったままする仕事・主に座ったままする仕事・両方同程度)

清田 Hi 遊会の会員 はい いいえ

はいで答えた方、会員歴は _____ 年

定期的な運動実施の有無

定期的な運動実施 有 無

実施種目は、 _____

1 週間で _____ 日

運動実施時間は 1 回につき _____ 時間

連絡先

住所 _____

電話番号 _____

図 2-① アンケート用紙

身のこなし能力に関する質問事項

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 暗い道を歩く | (できる・支障ある・できない) |
| 2. 人ごみの中をスムーズに歩く | (できる・支障ある・できない) |
| 3. 歩行中、前方から来る人とぶつかりそうになった時さっとさける | (できる・支障ある・できない) |
| 4. 手すりを持たないで階段を登る | (できる・支障ある・できない) |
| 5. 手すりを持たないで階段を降りる | (できる・支障ある・できない) |
| 6. 立ったままズボンまたはスカートをはく | (できる・支障ある・できない) |
| 7. 10秒間開眼で片足で立つ | (できる・支障ある・できない) |
| 8. 高い棚にあるものを上を向いて取る | (できる・支障ある・できない) |
| 9. 急に後ろを振り返る | (できる・支障ある・できない) |
| 10. バスや電車の中で立っている | (できる・支障ある・できない) |
| 11. 急に床から立ち上がる | (できる・支障ある・できない) |
| 12. 急に起きたり寝たりする | (できる・支障ある・できない) |
| 13. 走っている車や電車などを目で追う | (できる・支障ある・できない) |
| 14. クラクラしないで長く立っている | (できる・支障ある・できない) |
| 15. 上着の袖を自分で通す | (できる・支障ある・できない) |
| 16. 靴のヒモを結ぶ | (できる・支障ある・できない) |
| 17. 手指の折り曲げや手首の回転をスムーズに行う | (できる・支障ある・できない) |
| 18. 背中を後ろにそらす(後ろに曲げる) | (できる・支障ある・できない) |

図2-② アンケート用紙

	氏名		
	出発時刻	心拍数	歩数
5分目			
10分目			
15分目			
20分目			
25分目			
30分目			
35分目			
40分目			
45分目			
50分目			
55分目			
60分目			
65分目			
70分目			
75分目			
80分目			
85分目			
90分目			
95分目			
100分目			
105分目			
110分目			
115分目			
120分目			
125分目			
130分目			
135分目			
140分目			

	氏名		
	出発時刻	心拍数	歩数
5分目			
10分目			
15分目			
20分目			
25分目			
30分目			
35分目			
40分目			
45分目			
50分目			
55分目			
60分目			
65分目			
70分目			
75分目			
80分目			
85分目			
90分目			
95分目			
100分目			
105分目			
110分目			
115分目			
120分目			
125分目			
130分目			
135分目			
140分目			

図3 測定用

紙

等級	主観的運動強度
6	
7	非常に楽である
8	
9	かなり楽である
10	
11	楽である
12	
13	ややきつい
14	
15	きつい
16	
17	かなりきつい
18	
19	非常にきつい
20	



図4 主観的運動強度 等級

図5 ウォーキング経路



図6 ウォーキングの様子

平成 28 年度の結果

アンケートの結果、全項目において、身のこなしができると答えた割合が 65%以上であった(図 7)。日常生活に支障ない活動を参加者のほとんどが行っていることを示している。

以下に結果を示す(図 8 ~ 図 11)。ウォーキング開始 5~30 分までの 5 分ごとの時速は $4.6 \pm 1.0 \sim 5.6 \pm 0.6$ km/時、主観的運動強度は $9.1 \pm 2.1 \sim 9.9 \pm 1.9$ 、運動時の心拍数は $104.5 \pm 23.5 \sim 109.3 \pm 20.4$ 拍/分、さらに、心拍数から算出した相対的運動強度は $42.1 \pm 27.5 \sim 48.1 \pm 25.3$ %となった。65~80 歳以上の高齢者にとって、運動中の心拍数が 100~120 拍/分となるような有酸素運動を、比較的長時間持続することが重要であると考えられるが、本研究の結果は、美唄市で行われているウォーキング活動が、高齢者にとって適度な運動強度で行っていることが明らかとなった。

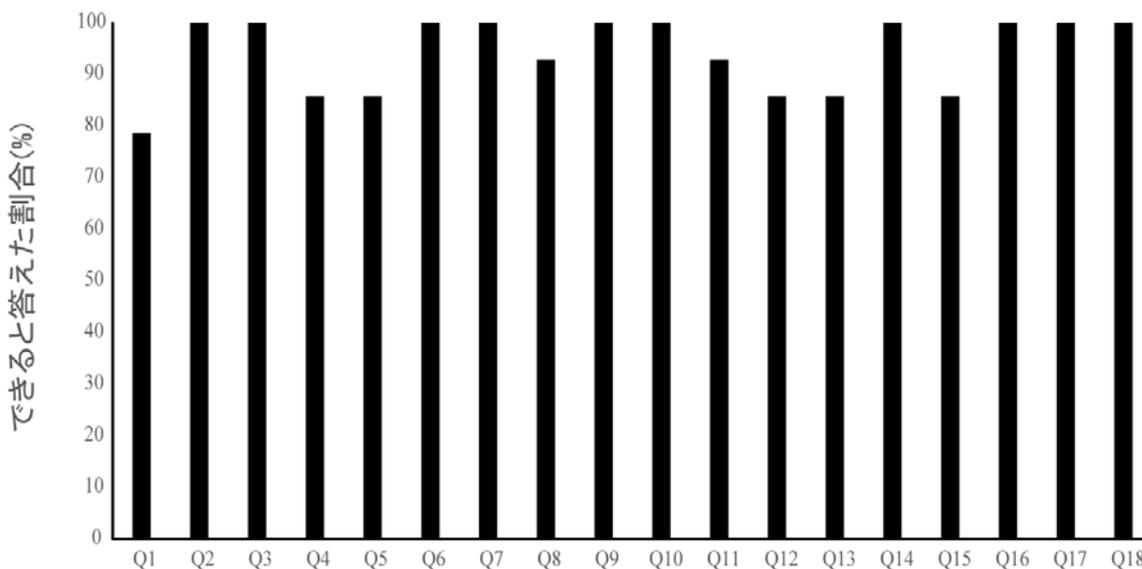


図 7 アンケート結果

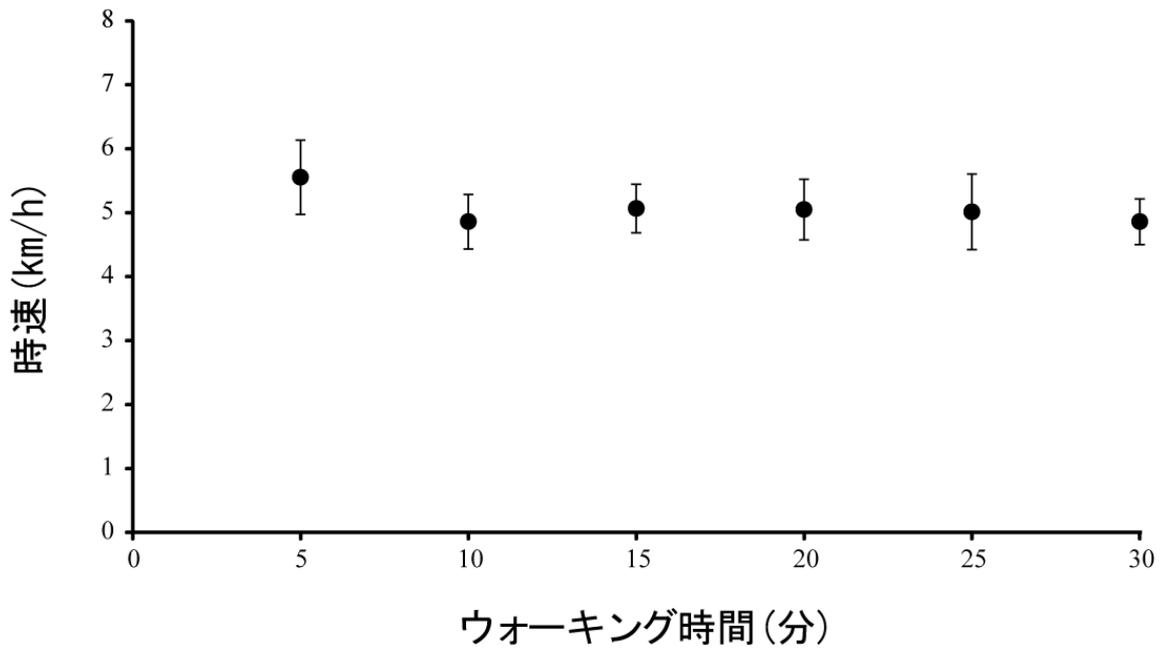


図 8 時速の平均値と標準偏差

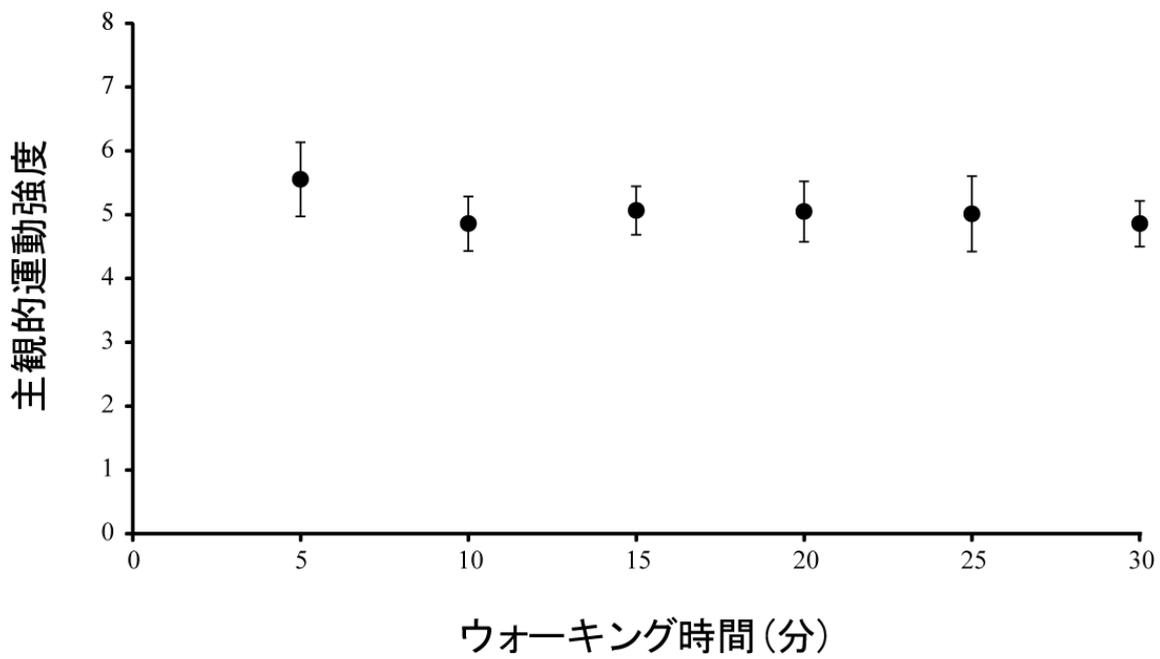


図 9 主観的運動強度の平均値と標準偏差

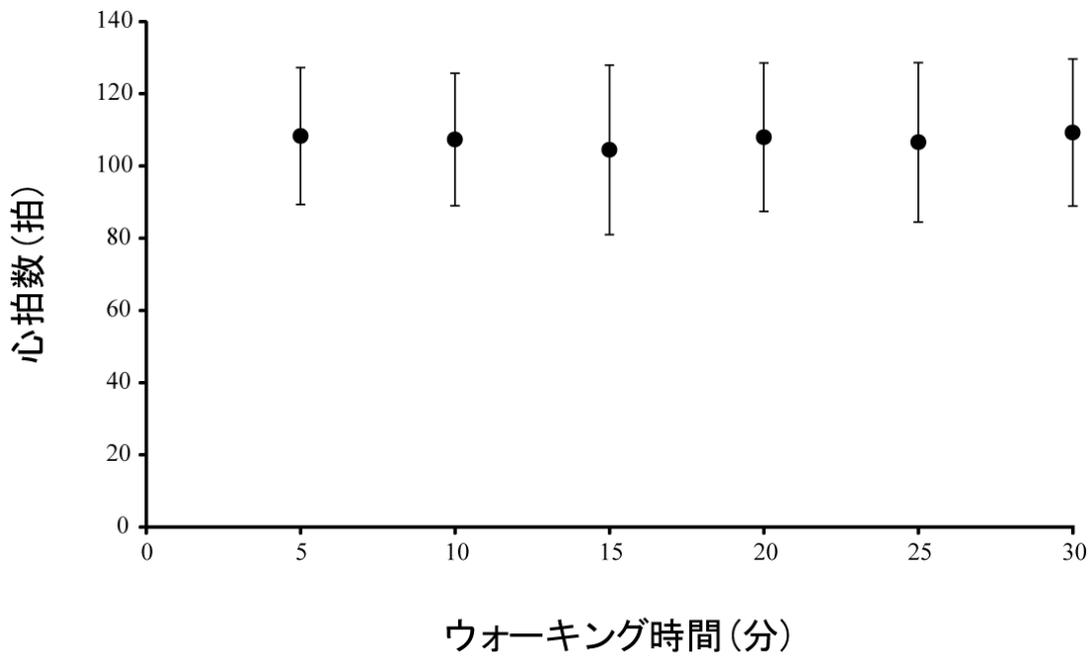


図 10 心拍数の平均値と標準偏差

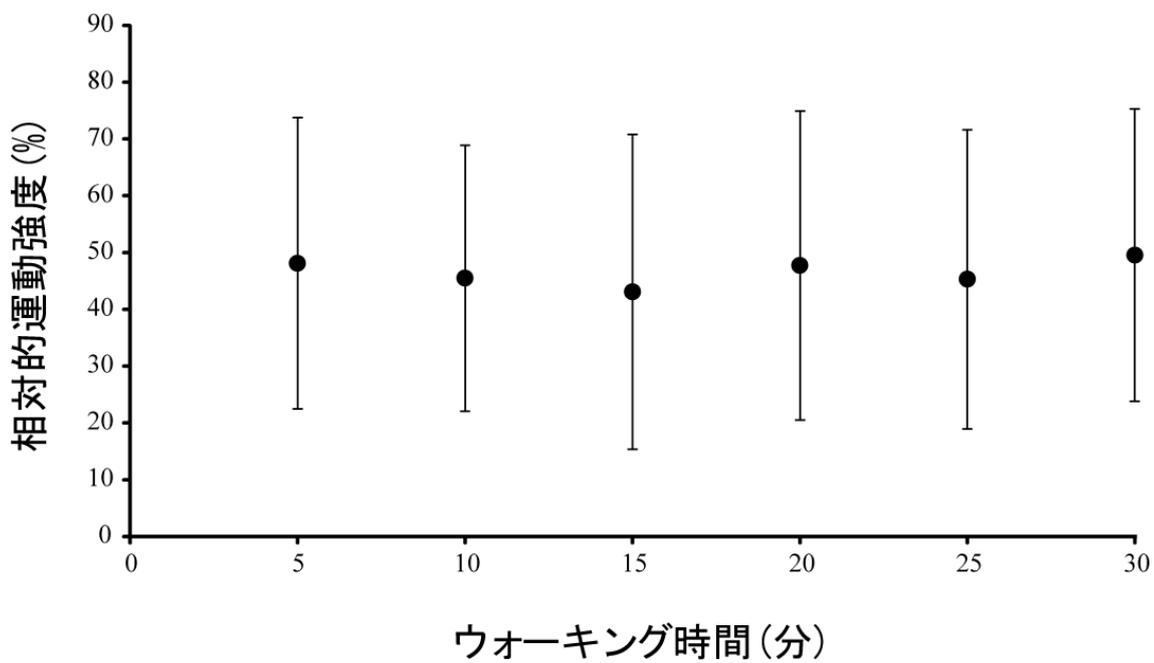


図 11 相対的運動強度の平均値と標準偏差

7. 美唄サテライト・キャンパス平成 29 年度

平成 29 年度の講座の割合、参加人数、アンケート実施結果、および札幌国際大学の活動について以下の表 30 ～36 に示す。

平成 29 年度の 11 講座 (特別講座 1 講座含む) の参加申込者延べ人数は 203 人 (平成 28 年度 =141 人/10 講座) となり、1 講座当たりの平均は、平成 28 年度(実績値=14.1 人) より 4.4 人多い 18.5 人となり、美唄市の目標であった 15 人に達した(94.6%が美唄市に在住)。系統別の 1 講座当たりの平均は、産業系人材教養講座で 20.5 人、まちづくりを担う人材養成講座で 17 人、市民教養講座で 16.6 人、特別講座で 28 人となった。男女別にみると、産業系人材教養講座は、男性が多い傾向 (約 80.5%) にあり、まちづくりを担う人材養成講座も男性が多い傾向 (約 64.7%) にあり、市民教養講座は、女性が少し多い傾向 (約 57.8%) にあり、特別講座の男女比は (5:5) と同じだった。全体として男性 56.7%、女性 43.3%と昨年同様の少し男性が多い傾向となった。修了証書は、平成 29 年度では 114 名、56.2%交付された。出席者の 7 割以上の方が「理解できた (理解度)」と回答した(全講座の平均は、74.3%)。出席者の 9 割以上の方が「参考になった (有用度)」と回答した(全講座の平均は、93.0%)。

平成 29 年度の札幌国際大学の協働事業としては、①スポーツ少年団指導・交流試合及び高齢者に向けたウォーキング実践、②楽交流によるまちづくり「ワークショップ」・「キャンプ」、③美唄サテライト・キャンパス with 札幌国際大学、④既存施設を改修する合宿施設を活用したクラブ合宿誘致を担当した。①は国田教員、清田教員、阿南教員が担当した。②、③は河本教員が担当した。④は清田教員が担当した。公開講座は、河本教員が 1 講座担当した。

表 30 平成 29 年度の講座の実施内容

	産業系 人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	特別講座	全講座の 合計・平均
参加申込者(人)	41	51	83	28	合計：203
1 講座当たりの 参加申込者(人)	20.5	17.0	16.6	28.0	平均：18.5
道民カレッジ	0	0	0	0	0
市職員研修	2	16	-	1	0
地域人材育成事業	3	1	-	1	5
市内に在住(人)	38	48	78	28	192(94.6%)
市外に在住(人)	3	3	5	0	11(5.4%)
男性(人)	33	33	35	14	115(56.7%)
女性(人)	8	18	48	14	88(43.3%)

表 31 平成 29 年度の講座と参加人数①

産業系人材養成講座	合計：41 人	まちづくりを担う人材養成講座	合計：51 人
北海道経済と産業構造		「語彙（ごい）力を強化する」	
北海道経済と人口構造		「文章スキルを磨く」	
北海道経済の強みを伸ばすには		「読み手に伝わる文章を書く」	
身近な困りごとの真因を探り解決する		そもそも「デザインする」とはどういうことなのか、 実例として「ピパの子保育園」のロゴ制作過程を 紹介したうえで、チラシや資料をつくるにあたって 大切なことを項目ごとにお伝えします。	
グループワークにより身近な問題をQC手法で解決する		1 回目の続きです。主にビジュアルに関することを 中心にお伝えします。	
美唄市地域商店街の活性化をプラス思考で考えよう		自分は何ができるか	
農商工連携の考え方		自分（共同企画者）が中心的存在になった時の 問題点とその解決方法は何か	
農商工連携とマーケット		賛同者がいれば実践へ	
道内農商工連携の実践例			
会計の手続きと財務諸表の作成			
経営分析と損益分岐点			
経営分析とキャッシュ・フロー			

表 32 平成 29 年度の講座と参加人数②

市民教養講座	合計：83 人
1 デッサンの歴史、洋の東西の違い	
1 制作（鉛筆～水彩） 2 講評	
栄養および運動の状況を「健康通知箋」でチェック	
新しい減塩調理法 -乳和食のすすめ-	
これだけは摂りたい毎日の食事 -たんぱく質を加えるひと工夫-	
ブームに乗せられて～気を付けたい終活～	
私の日記はどこへ行く～私的な情報と「終活」～	
私はたったひとり？～家族と「終活」～	
美唄市街地の成り立ちと変遷（座学）	
美唄市街地の現状（美唄市街地を巡ろう）	
「祈りの心」「明日もある」の2種類の言葉をお描きいただきます。	
「星降る夜」「あけましておめでとうございます」2種類の言葉をお描きいただきます。	
迎春「寒中お見舞い申し上げます」の2種類の言葉をお描きいただきます。	

表 33 平成 29 年度の講座と参加人数③

特別講座	合計：28 人
異文化コミュニケーションの基本とあいさつ表現	
街中で道案内をする 1	
街中で道案内をする 2	
観光地で案内をする 1	
観光地で案内をする 2	
飲食店で案内をする 1	
飲食店で案内をする 2	
販売店で案内をする 1	
販売店で案内をする 2	
ゲスト講師プレゼンテーションとまとめ	

表 34 平成 29 年度の講座別のアンケート結果

	産業系 人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	特別講座	全講座の 合計・平均
修了証書発行数(人)	13	33	61	7	114
理解度	70.4%	70.7%	78.4%	80.0%	平均:74.3%
有用度	80.6%	94.0%	97.6%	100.0%	平均：93.0%

表 35 平成 29 年度の札幌国際大学と美唄市の連携による協働事業

事業名	実施時期	実施内容
スポーツ少年団指導・交流試合及び 高齢者に向けたウォーキング実践 (札幌国際大学)	8/2,4 10/6	内 容：スポーツ活動中の動作を高速度カメラで記録し技能向上 や怪我の防止について指導及び解説 大学生、大学院生が参加者の心拍を測定しながらコースを ウォーキング(国田) 場 所：美唄総合体育館 参 加 者：小学生、一般市民
美唄サテライト・キャンパス With 札幌国際大学	3/3,4	内 容：大学生と中学生、高校生、一般市民と交流、 合同練習を行い、演奏会を開催(河本) 場 所：市民会館大ホール 参 加 者：中学生、高校生、大学生、一般市民
既存施設を改修する合宿施設を 活用したクラブ合宿を誘致 (札幌国際大学)	3/28~30	内 容：札幌国際大学男子バスケットボール部の合宿(清田) 場 所：美唄総合体育館 参 加 者：大学生

表 36 平成 29 年度において札幌国際大学が担当した公開講座

講座名	実施日	実施場所	講師
【美唄で考える；美唄で探す；美唄のタカラ】	9/7	美唄尚栄高校	観光学部 河本

平成 29 年度 10 月のウォーキング活動時の歩行速度、心拍数および運動強度

美唄市で行われているすこやかウォーキングが高齢者にとって最適な運動強度であることを検証する目的で、平成 28 年度と同様な方法で、アンケート、安静時心拍数、時速、主観的運動強度、運動時心拍数、心拍数から算出した相対的運動強度を検討した。実施報告書、ウォーキング経路とウォーキング活動写真を示す (図 14～図 16)。

スポーツ少年団指導・交流試合及び高齢者に向けたウォーキング実践事業について 札幌国際大学・大学院 (スポーツ健康指導研究科) による実施報告③ —美唄サテライト・キャンパス (地域と大学の連携による協働事業)—

1. 目的 本事業は、美唄市と札幌国際大学、札幌大谷大学、札幌大学の協働事業として実施するもので、スポーツ少年団指導・交流試合及び高齢者に向けたウォーキング実践を行うものである。
2. 主催
美唄サテライト・キャンパス運営協議会
札幌国際大学・大学院 (スポーツ健康指導研究科) 国田 賢治 教授
3. 内容 今年度事業として関係三大学へ提案依頼、札幌国際大学・大学院 (スポーツ健康指導研究科) 国田 賢治 教授から今年度事業として提案を頂き、実施しました。なお、今回の提案を受けて、高齢者に向けたウォーキング実践事業については、保健福祉部健康推進課で主催実施している「びばいすこやかウォーキング」と連携した事業とし、ウォーキング参加者にアンケート (身のこなし能力に関する質問事項) を取り、心拍計を取り付けスタート時、ウォーキング時 (5分ごと)、ゴール時に心拍数を測定、また状況把握のためマンツーマンで会話することでよりよりウォーキングの状況を把握することができることを確認し国田先生から総評をいただきました。
4. 日時 平成 29 年 10 月 6 日 (金) 高齢者に向けたウォーキング実践事業
5. 場所 美唄市総合体育館 田園あぜ道ショートコース (市内ウォーキング) 別紙
6. 参加者
札幌国際大学・大学院 (スポーツ健康指導研究科) 国田 賢治 教授
札幌国際大学・大学院 (スポーツ健康指導研究科) 阿南 浩司 講師
札幌国際大学・大学院 大学院生 4 名 大学生 6 名
「びばいすこやかウォーキング」 10 名 (心拍計取付) + 10 名
5 名 (美唄市職員)

図 14 高齢者に向けたウォーキング実践事業 実施報告



図 15-① ウォーキングの様子



図 15-② ウォーキングの様子



図 16 ウォーキング経路

8. 美唄サテライト・キャンパス平成 30 年度(中間報告)

平成 30 年 12 月現在の講座の割合、参加人数、アンケート実施結果、および札幌国際大学の活動について以下の表 37 ～ 表 43 に示す。

平成 30 年 12 月現在の 13 講座の参加申込者延べ人数は現在 207 人 (平成 29 年度=202 人/11 講座) となり、1 講座当たりの平均は、平成 29 年度(実績値=18.6 人) より 2.7 人少ない 15.9 人となったが、美唄市の目標であった 15 人に達することができた(93.0%が美唄市に在住)。系統別の 1 講座当たりの平均は、産業系人材教養講座で 22.3 人、まちづくりを担う人材養成講座で 10.5 人、市民教養講座で 16.3 人となった。男女別にみると、産業系人材教養講座は、男性が多い傾向 (約 73.1%) にあり、まちづくりを担う人材養成講座も男性が多い傾向 (約 71.4%) にあり、市民教養講座は、女性が少し多い傾向 (約 54.1%) になった。全体として男性 63.5%、女性 36.5%と昨年同様男性が多い傾向となった。

修了証書交付は、平成 30 年 12 月現在では 127 名、65.1%であった。平成 29 年度は交付率 58.3% (98 名、11 講座)、平成 28 年度は交付率 58.9% (83 名、10 講座)、平成 27 年度は交付率 49.5% (110 名、13 講座)、平成 26 年度は交付率 43% (132 名、16 講座)であり、今年度が最も高い値となった。出席者の 8 割の方が「理解できた (理解度)」と回答した (全講座の平均は、79.2%)。出席者の 9 割の方が「参考になった (有用度)」と回答した (全講座の平均は、89.9%)。

札幌国際大学と美唄市との連携事業としては、①高齢者を対象としたウォーキング実践、②既存施設を改修する合宿施設を活用したクラブ合宿誘致を担当したまたは担当する予定である。①は国田教員、阿南教員が担当した。②は後藤教員が担当する予定である。

平成30年度12月18日現在では、公開講座は、産業系人材養成講座を河本教員が1講座、まちづくりを担う人材養成講座を小林教員が3講座、市民教養講座を吉岡教員が2講座、出前授業を後藤教員が担当した。

表 37 平成30年12月現在の講座の実施内容

	産業系人材養成講座	まちづくりを担う人材養成講座	市民教養講座	全講座の合計・平均
参加申込者(人)	67	42	98	合計：207
1講座当たりの参加申込者(人)	22.3	10.5	16.3	平均：15.9
道民カレッジ	0	0	0	0
市職員研修	12	13	-	25
中小企業等振興補助金	5(2)	0	-	5(2)
市内に在住(人)	61	40	91	192(93.0%)
市外に在住(人)	6	2	7	15(7.0%)
男性(人)	49	30	45	124(63.5%)
女性(人)	18	12	53	83(36.5%)

表 38 平成30年度の講座と参加人数①

産業系人材養成講座	合計：67人	まちづくりを担う人材養成講座	合計：42人
現代金融を読み解く1 ～「仮想通貨」をめぐる課題と展望～ 1.「コインチェック仮想通貨流出問題」の顛末 2.仮想通貨とはなにか 1)仮想通貨の基礎知識 2)仮想通貨の発生と現在までの経緯 3) 最大手「ビットコイン」の例から 4)いわゆる「電子マネー」との相違点 5)「金本位制」との不思議な共通 3.まとめ		世界のスーパーパワーであるアメリカに前代未聞のアメリカ・ファーストのトランプ大統領。トランプ氏を説得し、心理や行動・思考パターンを変えるための交渉とは何か？トランプ大統領と北朝鮮の金正恩委員長との交渉はありえるのか？狭間にある日本は交渉の面でどう対応するのか？講師がポーツマスでフィールド・ワークを行った「日露ポーツマス講和会議(交渉)」小村寿太郎全権大使と現代の日本の政界人の交渉力の比較も取り上げたい。	
現代金融を読み解く2 ～「過去の教訓か？ら学ぶ」ということ～ 第一次世界大戦の空前の好景気が一転、突如襲った「大不況」、関東大震災の「震災手形」処理問題が「大企業・大手銀行の倒産」にまで発展した事例、「世界恐慌」に対し日本が採った策は、まさかの「戦争と特殊な金融政策」だった本講義では 1.金融恐慌をめぐる歴史的経緯と「潮目」 2.その時々々の為政者・経営者の判断(成功と失敗)を振り返りながら 3.今を生きる私たちの「教訓」を読み解いてみたい		異文化ビジネス交渉を心理学の視点で分析する。ケーススタディとしてヒルマン監督・ダルビッシュ投手・二刀流の大谷選手の対メジャー交渉を取り上げる。その他、異文化ビジネス交渉の特徴とお国柄と交渉の流儀について心理学の視点で比較・対照してみよう。	
仮想通貨や地域通貨とフィンテック 1.スマートフォンを用いたアプリやアジアの事例とその理由 2.ネット社会におけるビジネス上の地域(田舎)優位性 3.「貨幣とは何か？」を理解してビジネスチャンスを広げるために必要な事例		「語彙力を鍛えよう」周知のとおり日本語は、漢語(漢字)と和語と外来語(カタカナ語)があります。文章を作成するにあたっては、一定数の漢語(主として二字熟語、同音異義語)の活用力が求められます。漢語の原義、二字熟語名詞(名詞)と動詞の相性、慣用的用法を取り上げて学んでいきます。	

表 39 平成 30 年度の講座と参加人数②

<p>美唄の情報を発信しよう～美唄ファン獲得のために～ この講座では、美唄の魅力を伝える方法について理解していただくとともに、ご自身が情報発信者となるために、何が必要であるか、何を身につけるべきかを学んでいただきます。みなさんが経験（一般的・客観的：知識・技能）・体験（主観的・個人的）してこられた過去を振り返り、自己満足ではなく、感動を人に伝えることで、交流人口を増やし、美唄のまちの活性化に活かしていただきます。</p>	<p>「文章作成の基本を身に付けよう」実用文を作成するにあたっては、文の構造を意識しなければなりません。今回の講義では、主語と述語の対応、慣用的用法、句読点の打ち方、助詞の使い方、知っておくと便利な公式などを取り上げて学んでいきます。</p>
<p>“ショック”と音・音楽で楽しい美唄を創る五つのヒント～住んで良かった、来てみて良かった美唄にするために～“ショック”と聞いてどんな字を連想しましたか。それらは、音・音楽と関連づけることで、新たな出会いや教育、産業へと発展します。音・音楽は聴いたり演奏したりして楽しむだけでなく、車のように、何かと何かを繋ぐ役割も果たします。そして、それらの取り組みは毎年のメンテナンスが必要で、車の整備や車検と似ています。この講座では、私が関わってきた音楽交流による取り組みを中心に、これからの美唄を創っていくためのヒントを5つにまとめ、それをまちづくりに活かしていく具体的な方法を、みなさんと一緒に考えていきます。人生100年時代を“ショック”と音・音楽から一緒に考えませんか。</p>	<p>「悪文の例を分析してみよう」 今回の講義では、読みにくい文章、意味が通っていない文章など、いわゆる「悪文」を取り上げて、様々な面から修正すべき点をとともに考えていきます。</p>
<p>美唄のスピリチュアリズム ～ゼロベース思考で読み解く未来像～ 「地域活性化政策」には、様々なブームがありました。テクノポリス構想、リゾートシティ構想、カジノ構想、攻める農林水産業にインバウンド観光のための農泊・渚泊・民泊など全国の産炭地域を須く覆ったエネルギー政策もまた、それ以上の熱狂で迎えられ、そして消え入るように終焉しました。そして、「美唄」には何が遺されたのでしょうか？原点に戻って考えて「診」ませんか キーワード：人はなぜ集まる？スモールタウンは有効地域資源は偏在を識る目的と目標と評価</p>	<p>文字と文章の法則 そもそも「デザインする」とはどういうことなのか。実例を通してながらチラシや資料をつくるにあたって大切なことを項目ごとにお伝えします。 (WORD や POWERPOINT でも対応可！)</p>
<p>チョークによる基本的な表現方法を学ぶ ～黒板に描く事と紙に描く事の大きな違い・チョークでグラデーションを作る方法・消す事と描く事・混色について～</p>	<p>レイアウトの法則 1 回目の続きです。チラシや冊子を作る際、文字と文章が美しいだけでは成立しません。レイアウトについてもカッコよく見せるコツが存在します。それらを実例を含め紹介します。(自ら制作したチラシ等をお持ちください)</p>
<p>チョークで様々な物を描く ～立体感を表現するために必要な陰影をについて・柔らかい質感と硬い質感について・空間表現について～</p>	<p>例えば私なら 2 回目にお持ちいただいたチラシや制作物をもとに、私ならこうする！というアイデアを参加者のみなさんと時間の許す限り考えるワークショップを行います。</p>
<p>チョークで文字を描く ～数種類の字体サンプルを選び様々な文字を書く・立体的な文字・質感のある文字・文字表現の字と図の関係～</p>	<p>プレゼンテーション 1 ～いかにわかりやすく表現し、正しく伝えるか～</p>
	<p>プレゼンテーション 2 ～伝えたいことを確実に伝えるために～</p>
	<p>プレゼンテーション 3 ～聴き手がうなずく表現力を身につける～</p>

表 40 平成 30 年度の講座と参加人数③

市民教養講座	合計：98人
<p style="text-align: center;">私は絶対騙されない～高齢社会の消費者問題～</p> <p>たとえば買物という行為は、皆さんにとって日常茶飯事だと思います。だからこそ、「自分は騙されない」「騙されるはずがない」といった過信をしてしまい、トラブルに巻き込まれることがあります。この講座では、特に高齢者が巻き込まれる消費者トラブルから本人、家族が取り得る対処法を考えます。</p>	
<p style="text-align: center;">私の財産を守りたい～成年後見制度～</p> <p>残念ながら加齢は、人の判断能力を低下させることがあります。判断能力の低下は、時に自らの財産を脅かすこととなります。成年後見制度は、そのような状況を救済するための制度であるともいえます。この講義では、知っているようで知らない、成年後見制度をじっくり考えていきます。</p>	
<p style="text-align: center;">免許は絶対返さない～交通事故と法～</p> <p>最近、高齢者ドライバーによる事故の増加に伴い、高齢者の免許返上が促されています。はたして免許は返すべきなのでしょうか？この講義では、交通事故を起こした場合の法的責任という観点から、高齢者ドライバーをめぐる問題について考えていきます。</p>	
<p style="text-align: center;">アイヌの伝統を多面的・専門的に学びましょう～人々の暮らし、神々のロマン、大地のめぐみ、造形の伝統～</p> <p style="text-align: center;">学芸員による各コーナーの解説と体験学習による講話</p>	
<p style="text-align: center;">机上で学ぶ?美唄の炭鉱（三井美唄炭鉱を中心に）を学ぶー（デスクワーク）</p> <p style="text-align: center;">三井財閥の北海道戦略における北海道・空知・美唄の炭鉱の位置づけを通して、美唄の炭鉱の特徴を学びます。</p>	
<p style="text-align: center;">現場で学ぶ炭鉱遺産を歩くー（フィールド・ワーク）</p> <p>講義で得た知識を、実際の現場を歩いて確認しながら学びます。（南美唄地区を、バスに乗り降りしながら歩く予定です）三井美唄炭鉱職員・鉱員住宅群、三井美唄炭鉱事務所、三井美唄互楽館など</p>	
<p>乳和食とは、和食にミルクを活用することで、和食のデメリットを解消し、手軽においしく、バランスよく減塩ができる新しい和食のスタイルです。その味は、ミルクマジックの手法を用いることで、殆どミルクを感じさせない、日常食べている和食と同じ味わいです。本講座では、講義および調理実習形式でご紹介します。血圧や体脂肪率が高めの方、骨密度が低めの方はもちろん、育ち盛りの子どもたちにも、ぜひおすすめします。</p>	
<p style="text-align: center;">彩り野菜の育て方～トマトとアスパラガスを中心に～</p> <p>家庭菜園の定番野菜であるトマトと美唄市の特産野菜であるアスパラガスについて、品種の特性や苗の選び方、家庭菜園での栽培ポイント、食物としての栄養価などを幅広くご紹介します。</p>	
<p style="text-align: center;">ジャガイモ、エダマメ、スイートコーンの栽培の基本～たくさん収穫するために～</p> <p>家庭菜園の定番であるジャガイモ、エダマメ、スイートコーンについて、美味しいものをたくさん収穫するための栽培のポイントを紹介します。質問・疑問点がある方は事前に頂き(申込期間があります)、できる範囲でお答えしようと思います。</p>	
<p style="text-align: center;">札幌大谷大学卒業制作展鑑賞(図録プレゼント)&道立近代美術館&三岸好太郎美術館見学</p> <p>～近代美術を鑑賞しましょう～札幌市市民ギャラリー：札幌大谷大学卒業制作展道立近代美術館：近美コレクション名品展、ガラスと近代洋画の名品三岸好太郎美術館：三岸好太郎セレクション</p>	

表 41 平成 30 年度の講座別のアンケート結果

	産業系 人材養成講座	まちづくりを担う 人材養成講座	市民教養講座	全講座の 合計・平均
修了証書発行数(人)	24	24	79	合計：127
理解度	約 70.3%	77.2%	90.0%	平均：79.2%
有用度	約 79.9%	97.2%	92.5%	平均：89.9%

表 42 平成 30 年度の札幌国際大学と美唄市との連携による協働事業

事業名	実施時期	実施内容
高齢者に向けたウォーキング実践 (札幌国際大学)	4/27 8/3 10/5	内 容：心拍数計を取り付けながら、大学生・院生、教員とコースをウォーキング (国田) 場 所：美唄市 参加者：一般市民、大学生
既存施設を改修する合宿施設を活用したクラブ合宿を誘致	(2019 年 3 月)	内 容：2019 年 3 月実施予定 (後藤) 場 所：トマ～レ美唄、美唄総合体育館 参加者：大学生

表 43 平成 30 年度において札幌国際大学が担当した公開講座

講座名	実施日	実施場所	講師
”ショック”と音・音楽で楽しい美唄を創る五つのヒント	8/31	ピパオイの里 プラザ	短期大学部 河本
～三井財閥の北海道戦略から見る北海道・空知・美唄の炭鉱の位置づけ～	9/15	美唄市役所	観光学部 吉岡
プレゼンテーション①	10/11	美唄市役所	短期大学部 小林
プレゼンテーション②	10/18	美唄市役所	短期大学部 小林
プレゼンテーション③	10/25	美唄市役所	短期大学部 小林

高齢者に向けたウォーキング実践事業の実施要項および事業内容を図 17、図 18 に示す。

- 高齢者に向けたウォーキング実践事業について
札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科）による実施報告①
—美唄サテライト・キャンパス（地域と大学の連携による協働事業）—
1. 目的 本事業は、美唄市と札幌国際大学、札幌大谷大学、札幌大学の協働事業として実施するもので、高齢者に向けたウォーキング実践を行うものである。
 2. 主催
美唄サテライト・キャンパス運営協議会
札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科） 国田 賢治 教授
 3. 内容 今年度事業として関係三大学へ提案依頼、札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科）国田 賢治 教授から今年度事業として提案を頂き、継続実施することとします。なお、今回の提案を受けて、高齢者に向けたウォーキング実践事業については、保健福祉部健康推進課で主催実施している「びばいすこやかウォーキング」と連携した事業とします。
4月には札幌国際大学 教授 国田 賢治 による「ウォーキング時の心拍データの変化について」と題して、過去2年間のデータを活用して発表いただき、ウォーキングについての質問やウォーキング時の正しい歩き方をご指導いただき、5月からのびばいすこやかウォーキングで意識してウォーキングしていただき、自己チェックすることで、日常の身体の使い方、姿勢を意識して今後のウォーキングや日常生活に目標を持ち、健康に生活する意欲を高めることを目的とします。
 4. 日時 平成30年4月27日（金） 10:00～12:00
 5. 場所 美唄市総合体育館（サブアリーナ）
 6. 参加者 札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科） 国田賢治教授及び大学院生2名
参加市民 20名
 7. 実施内容
高齢者に向けたウォーキング実践事業
札幌国際大学大学院 国田賢治教授による過去2年間のデータを活用して「ウォーキング時の心拍データの変化について」と題して発表が行われました。
またウォーキングについての質問やウォーキング時の正しい歩き方をご指導いただき、正しくきれいな姿勢の大切さと手に入れるための方法などをアドバイスいただき、実際にウォーキングをしながら、日常の身体の使い方、姿勢を意識してウォーキングすることの大切さを説明いただき、今年度5月からのびばいすこやかウォーキングで意識してウォーキングしていただき8月と10月に予定の協働事業への参加を促進しました。

図 17 高齢者に向けたウォーキング実践事業 実施報告



図 18 事業の様子

平成 30 年 10 月のウォーキング活動時の歩行速度、心拍数および運動強度

平成 28 年度および平成 29 年度と同様の測定を行った。以下に、ウォーキング実施事業、ウォーキング経路およびウォーキングの様子を示す (図 19～22)。

平成 30 年度 すこやかウォーキング事業 実施要領

- 1 目的 市民が健康づくりのための運動に関心をもち取り組むきっかけとなる。
- 2 実施主体 美唄市健康推進課
- 3 共 催 美唄市教育委員会 (生涯学習課、スポーツ振興課、サテライト・キャンパス推進室)
- 4 対象者 市民
- 5 周知方法
 - 1) 広報メロディー
 - 2) フェイスブック
 - 3) ホームページ
 - 4) 運動推進員を通して各サークルや団体へPR
 - 5) 他保健事業・地区活動により周知
 - 6) 総合体育館・プール館内等でのリーフレットの配置やポスター掲示

6 実施内容

日程	時間	コース	集合場所	持ち物	備考
5月11日(金)	受付開始 9時30分～	公園散策コース	ツルハ裏 あずまや	飲み物、タオル、 帽子	
6月8日(金)		公園散策コース	ツルハ裏 あずまや	飲み物、タオル、 帽子	
7月6日(金)	ウォーキング 開始	公園散策コース～ 南美唄を巡ろう～	ツルハ裏 あずまや	飲み物、タオル、 帽子	
8月3日(金)	10時00分～	まちなかスイーツ コース	中央公園	飲み物、タオル、 帽子	サテライト・キャン パス協働
9月14日(金)	終了時間 11時30分	公園散策コース	ツルハ裏 あずまや	飲み物、タオル、 帽子	
10月5日(金) ※予定	※雨天中止 (10月を除く)	田園あぜ道コース ※心拍測定の実施 ※皆勤賞表彰式を 予定	総合体育館	飲み物、タオル、 帽子、入館料 200円	サテライト・キャン パス協働 ※講師として、札 幌国際大学より国 田賢治教授にお越 しいただく

※4月27日(金)ウォーキング講習会(講師:札幌国際大学国田教授)にて、これまでウォーキングに取り組んだ成果を確認し、改めて目的と正しい歩き方を確認した上で今年度ウォーキングに取り組む動機づけを図る。

7 評価指標

- 1) 参加者が自分の体力に合わせ、身体を動かす楽しさを感じることができたか。
- 2) 参加者が運動を共にする仲間との出会いや交流ができ、運動を継続することができたか。

8 留意点

- 1) 運動推進員が中心となり企画・運営。平成21年度、北海道健康づくり財団において認定された「公園散策コース」を活用し、参加者の安心・安全なウォーキングをサポートする。保健センターは救護待機。
- 2) 健康づくり啓発事業としてより効果を高めるため、保健指導事業・健康づくり組織支援など他の保健事業や地区活動と連動して実施していく。
- 3) 運動を通した健康づくりが市民に広がるよう教育委員会等関係機関と連携を図りながら実施する。

図 19 平成 30 年度 すこやかウォーキング事業 実施要領

高齢者に向けたウォーキング実践事業について
札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科）による実施報告③
—美唄サテライト・キャンパス（地域と大学の連携による協働事業）—

1. 目的 本事業は、美唄市と札幌国際大学、札幌大谷大学、札幌大学の協働事業として実施するもので、高齢者に向けたウォーキング実践を行うものである。
2. 主催
美唄サテライト・キャンパス運営協議会
札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科） 国田 賢治 教授
3. 内容 今年度事業として関係三大学へ提案依頼、札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科）国田 賢治 教授から今年度事業として提案を頂き、実施しました。なお、今回の提案を受けて、保健福祉部健康推進課で主催実施している「びばいすこやかウォーキング」と連携した事業とし、ウォーキング参加者にアンケート（身のこなし能力に関する質問事項）を取り、心拍計を取り付けスタート時、ウォーキング時（5分ごと）、ゴール時に心拍数を測定、また状況把握のためマンツーマンで会話することでよりよいウォーキングの状況を把握することができを確認し国田先生から総評をいただきました。
4. 日時 平成30年10月5日（金） 高齢者に向けたウォーキング実践事業
5. 場所 美唄市総合体育館 田園あぜ道ショートコース（市内ウォーキング）別紙
6. 参加者
札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科） 国田 賢治 教授
札幌国際大学・大学院（スポーツ健康指導研究科） 阿南 浩司 講師
札幌国際大学・大学院 大学院生・大学生 23名
「びばいすこやかウォーキング」 21名（心拍計取付）+ 6名
4名（美唄市職員）

図 20 高齢者に向けたウォーキング実践事業 実施報告



図 21-① ウォーキングの様子



図 21-② ウォーキングの様子



図 22 ウォーキング経路

平成 29・30 年度 測定結果

平成 29 年度および 30 年度は、同一経路を同一時間でウォーキングした。これらデータをあわせた結果を以下に示す。アンケートの結果、全ての質問項目においてできると答えた割合が 95%であった (図 23)。日常生活に支障ない活動を参加者のほとんどが行っているということを示している。以下にウォーキング時の結果を示す (図 24～図 30)。

高齢者では、ウォーキング開始 5～30 分までの 5 分ごとの時速は $4.7 \pm 1.2 \sim 5.7 \pm 0.9$ km/時、主観的運動強度は $8.9 \pm 2.3 \sim 10.1 \pm 2.8$ 、運動時の心拍数は $106.4 \pm 14.4 \sim 112.3 \pm 14.0$ 拍/分、さらに、心拍数から算出した相対的運動強度は $46.1 \pm 18.7 \sim 54.0 \pm 18.7\%$ となった。一方、若年成人における時速は $4.7 \pm 1.3 \sim 5.5 \pm 1.0$ km/時、主観的運動強度はいずれも 7.6 ± 2.3 、運動時の心拍数は $88.1 \pm 13.7 \sim 90.6 \pm 16.4$ 拍/分、さらに、心拍数から算出した相対的運動強度は $17.8 \pm 9.4 \sim 19.6 \pm 11.8\%$ となった。

以上の結果から、美唄市で行われているウォーキング活動は、高齢者にとっては、適度な運動強度で行っていることが明らかとなった。

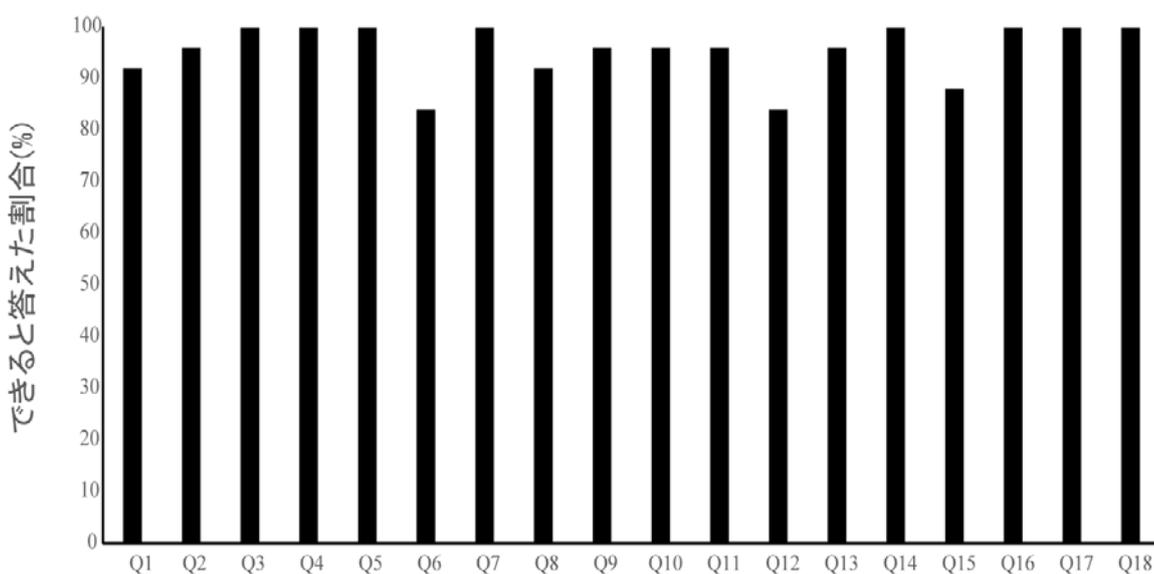


図 23 高齢者 アンケート

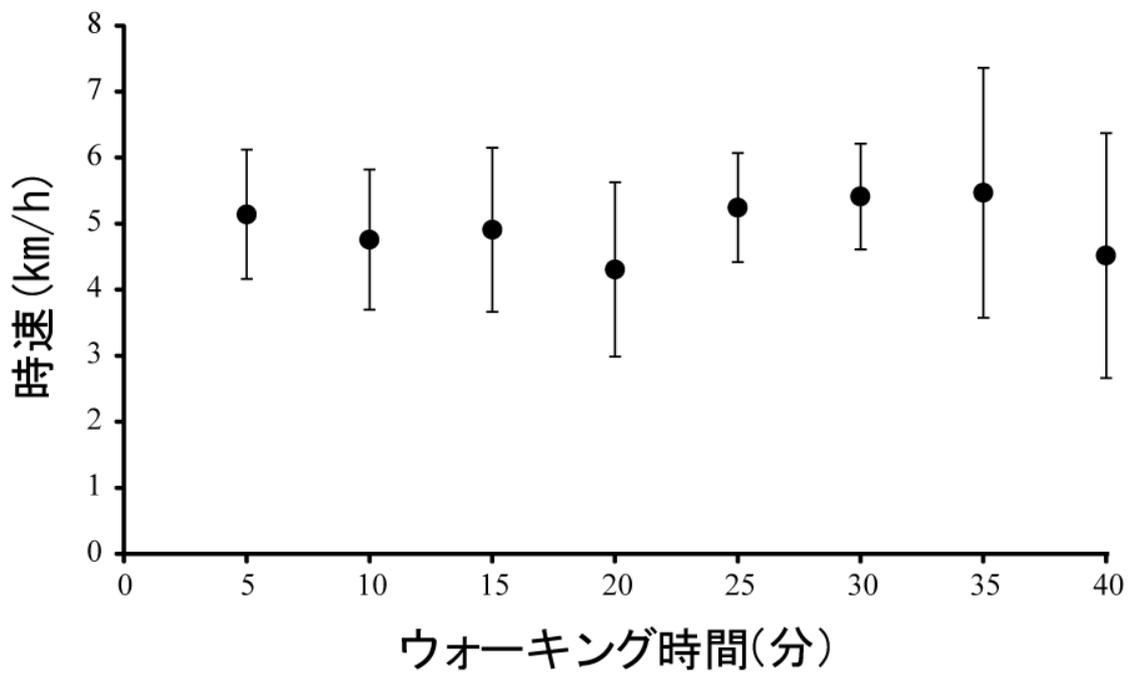


図 24 高齢者 時速の平均値と標準偏差

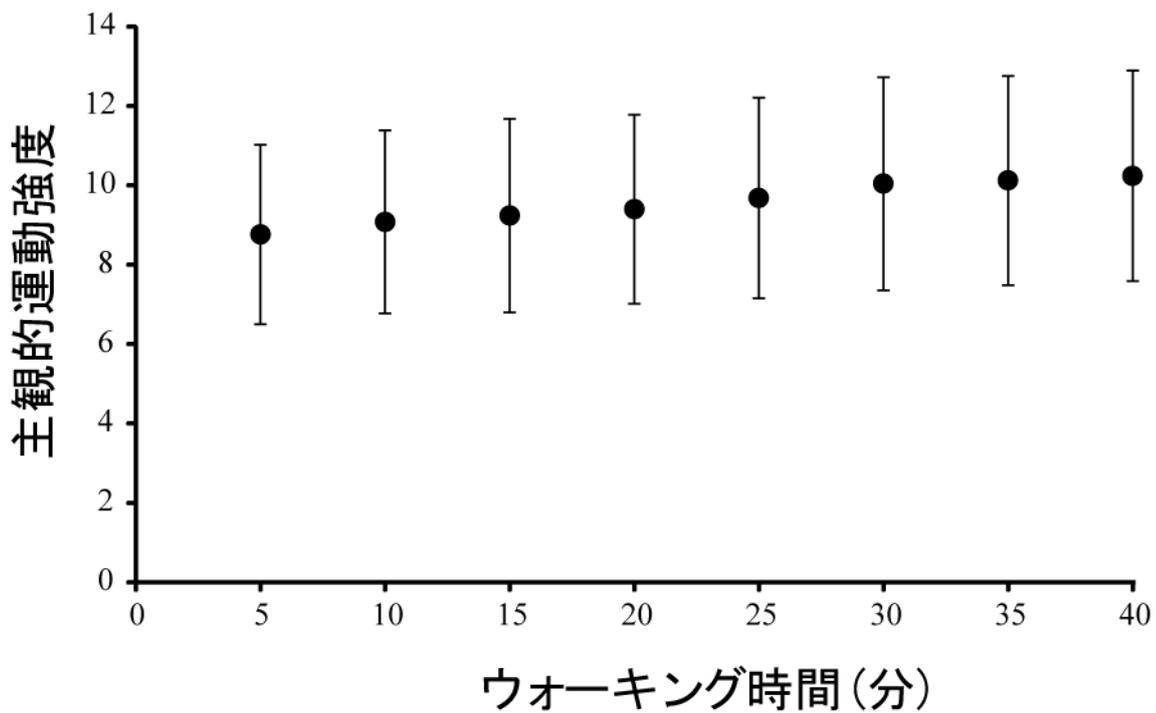


図 25 高齢者 主観的運動強度の平均値と標準偏差

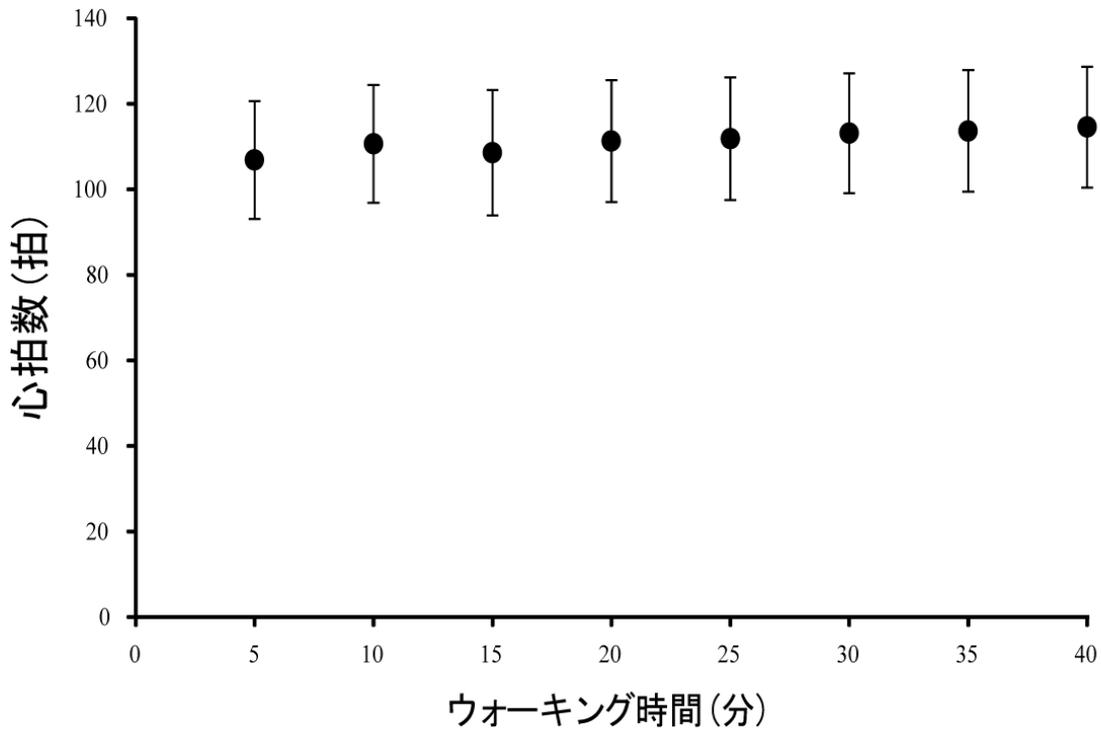


図 26 高齢者 心拍数の平均値と標準偏差

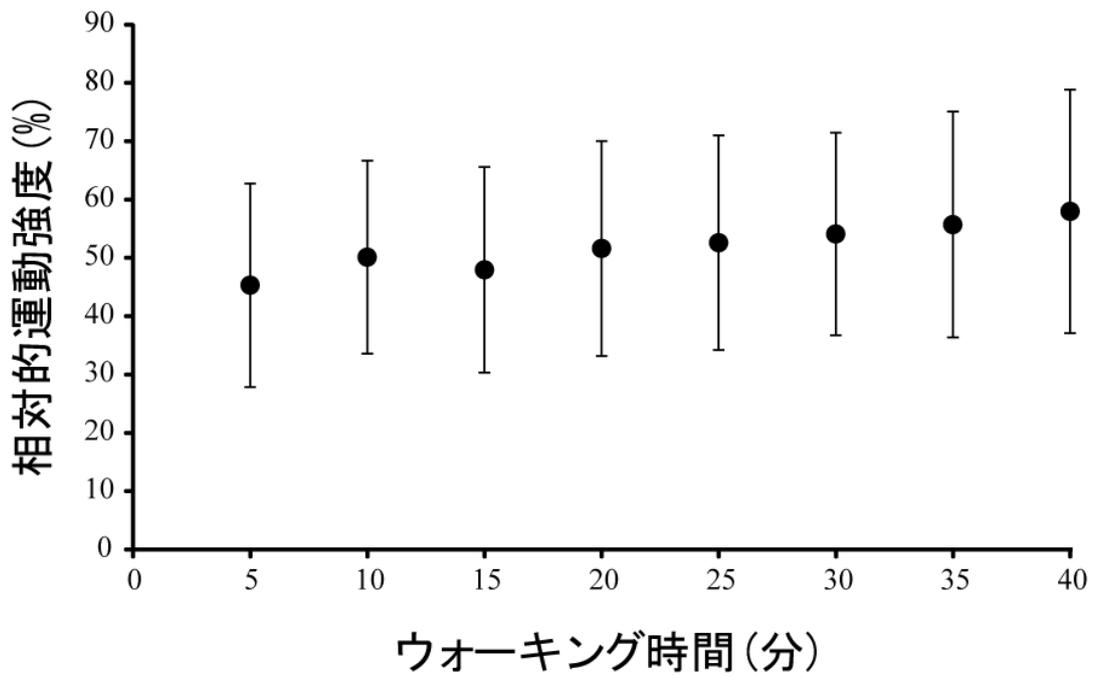


図 27 高齢者 相対的運動強度の平均値と標準偏差

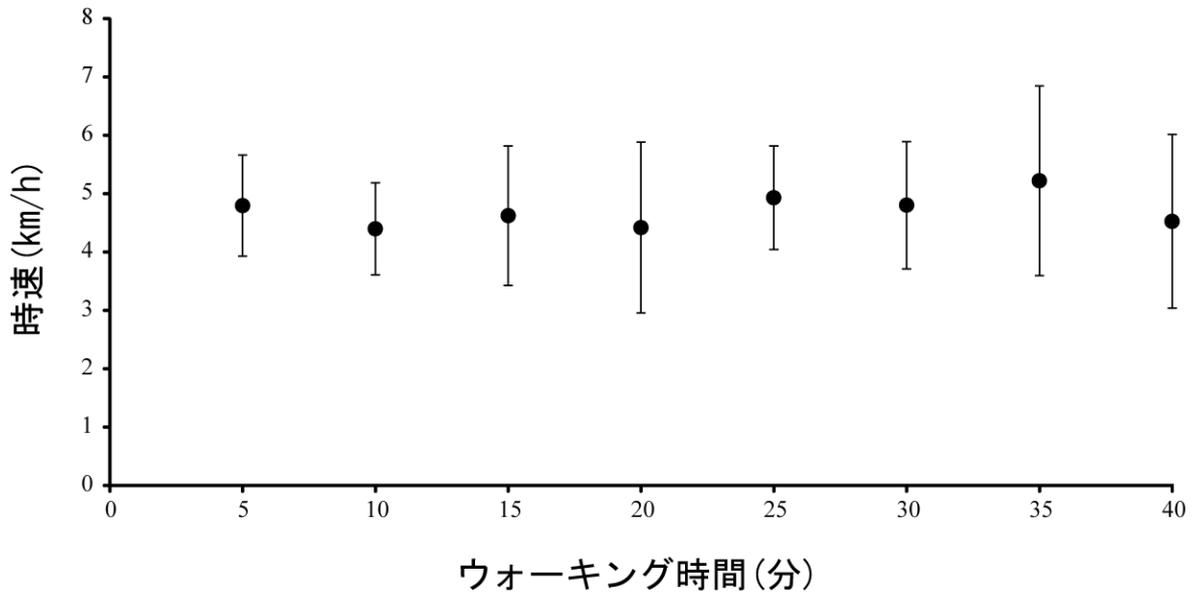


図 28 学生 時速の平均値と標準偏差

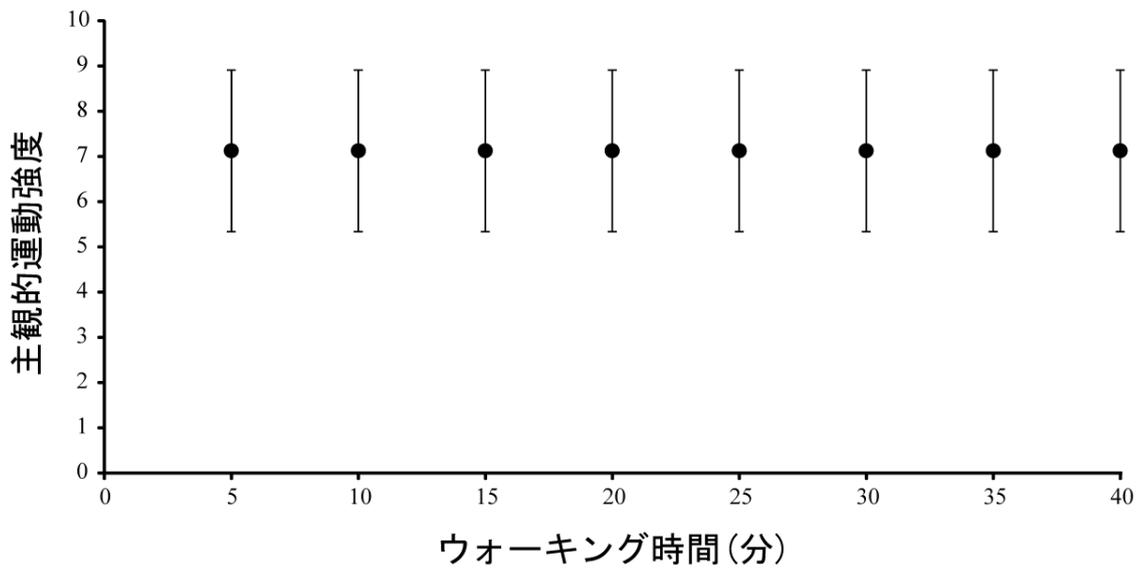


図 29 学生 主観的運動強度の平均値と標準偏差

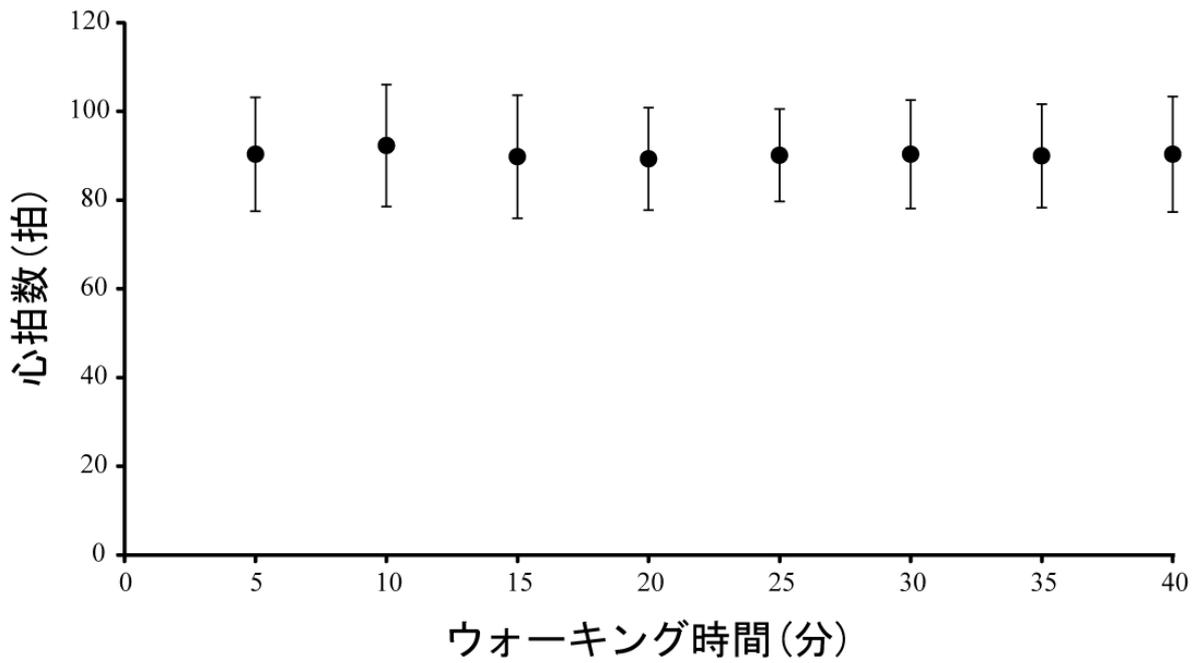


図 30 学生 心拍数の平均値と標準偏差

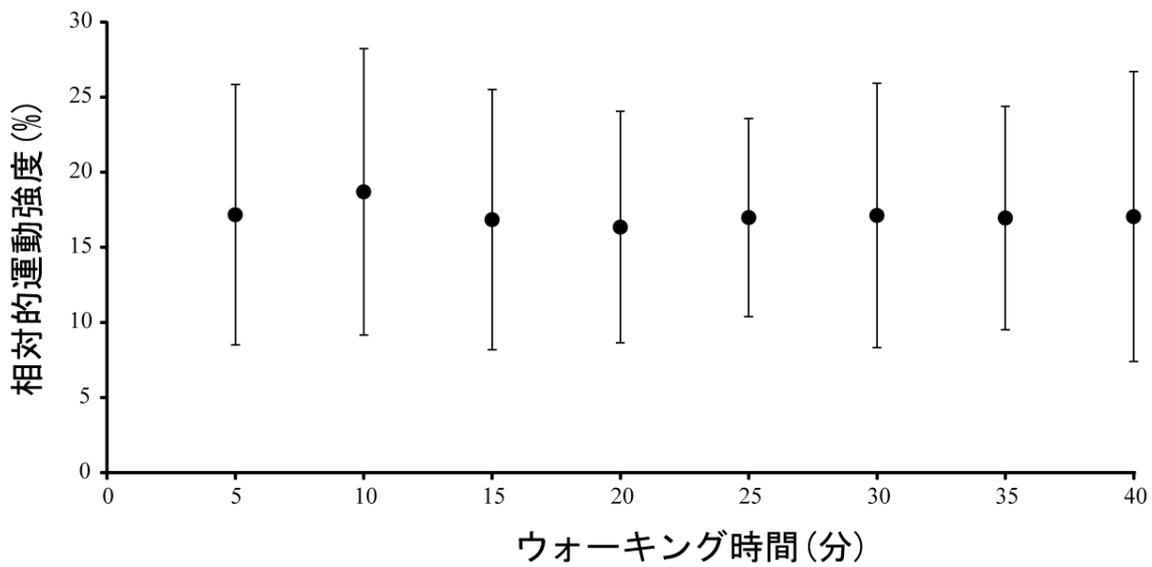


図 31 学生 相対的運動強度の平均値と標準偏差

札幌国際大学地域・産学連携センター年報 第3号

2019(令和元年)年3月 発行

編集 札幌国際大学地域・産学連携センター

発行 札幌国際大学

〒004-8602 札幌市清田区清田4条1丁目4番1号

電話011-881-8844 FAX011-885-3370
